ハイコミック名作

戦争と平和(上)

作画　岸田　恋

原作　トルストイ　構成　恋塚　稔

戦争と平和(上)

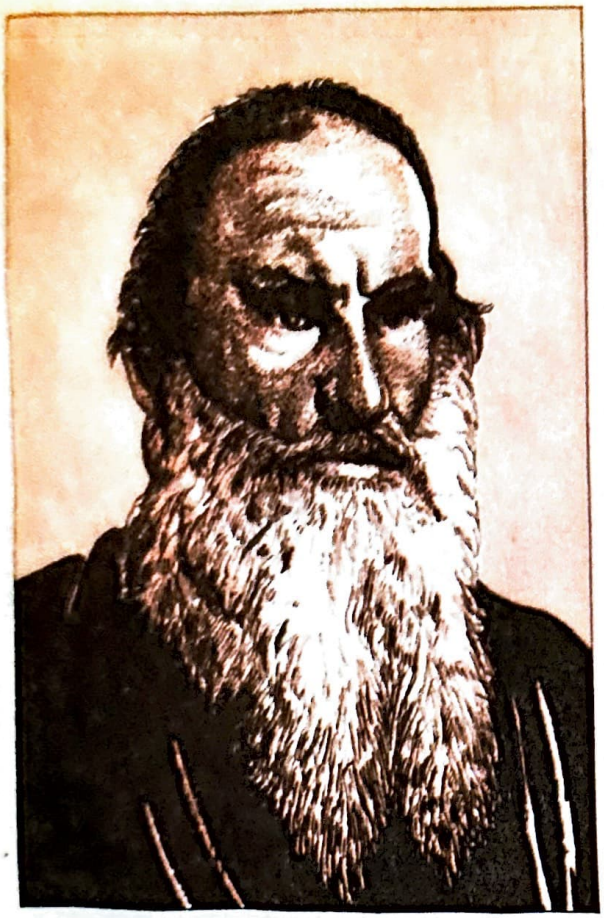
作画　岸田　恋
原作　トルストイ　構成　恋塚　稔

ハイコミック名作
第1期 全12巻

1. 不思議の国のアリス 既刊
2. ロミオとジュリエット 既刊
3. カルメン 既刊
4. 若草物語 既刊
5. 赤と黒 既刊
6. あしながおじさん 既刊
7. 椿　姫 既刊
8. 愛の妖精 既刊
9. 赤毛のアン 既刊
10. 嵐が丘 既刊
11. 戦争と平和(上) 既刊
12. 戦争と平和(下) 既刊

戦争と平和(上)

『戦争と平和』
レフ・トルストイ



〈一八二八～一九一〇〉
ロシア（現在のソ連）の文豪。
モスクワの南にあるヤースナヤ・ポリャーナで、古い家柄の伯爵家の四男として生まれました。

しかし、幼いころに両親を失った内気な少年・トルストイを育ててくれたのは優しいおばさんたちでした。特に、信心深いアレクサンドラおばさんの「聖者のお話」は、少年に大きな影響を与えます。

十六歳で入学したカザン大学を二年足らずで中退し、生まれ故郷に引きこもった青年トルストイは、農事改革や小作人の生活向上に努力しますが、失敗してしまいます。

失望した青年は、ペテルブルグで乱れた生活をおくります。しかし真に彼の魂を満たすことはできず、コーカサスで軍隊に入り、雄

大な自然のなかで立ち直るのです。

砲兵隊将校の勤務をしながら、文学活動を開始し『幼年時代』で作家としてのスタートを飾ります。

クリミヤ戦争に参加する一方で、『少年時代』その他の作品を次々と書きあげ、首都ペテルブルグ（現レニングラード市）時代には、輝かしい新進作家として迎えられました。

しかし、まるで社会に背をむけているような文壇の人々に失望したトルストイは、静かな田園の故郷ヤースナヤ・ポリャーナで文学と農業にいそしむことになります。

三十四歳のとき、ツフィアと結婚してからの約十五年間は、作家トルストイの円熟期で、一八六四年、十分な調査と研究に基づき、豊かな構想力をもって書き始めたのが、この大作『戦争と平和』なのです。この作品は、ナポレオン戦争におけるロシア人民の抵抗を描き五年後に完成しました。

一九一〇年、八十二歳のトルストイは、突然家を飛び出し、孤独な旅の途中病気になって、名も知れぬ小さな鉄道の駅舎で、息をひきとりました。

代表作には本作品のほか、小説『アンナ・カレーニナ』『復活』や戯曲『闇の力』、評論『われら何をなすべきか』などがあります。

プロローグ

一八〇一年
マレンゴの戦いで勝利した
フランス第一統領
ナポレオン・ボナパルトは
オーストリアと平和条約を
締結した

翌一八〇二年には
イギリスとも
和平をむすんだ

ここにフランス革命
勃発当時から続いていた
長い戦争は終結し
ヨーロッパの人々は
つかのまの平和に
酔いしれていた…

はあ

はあ

——だが

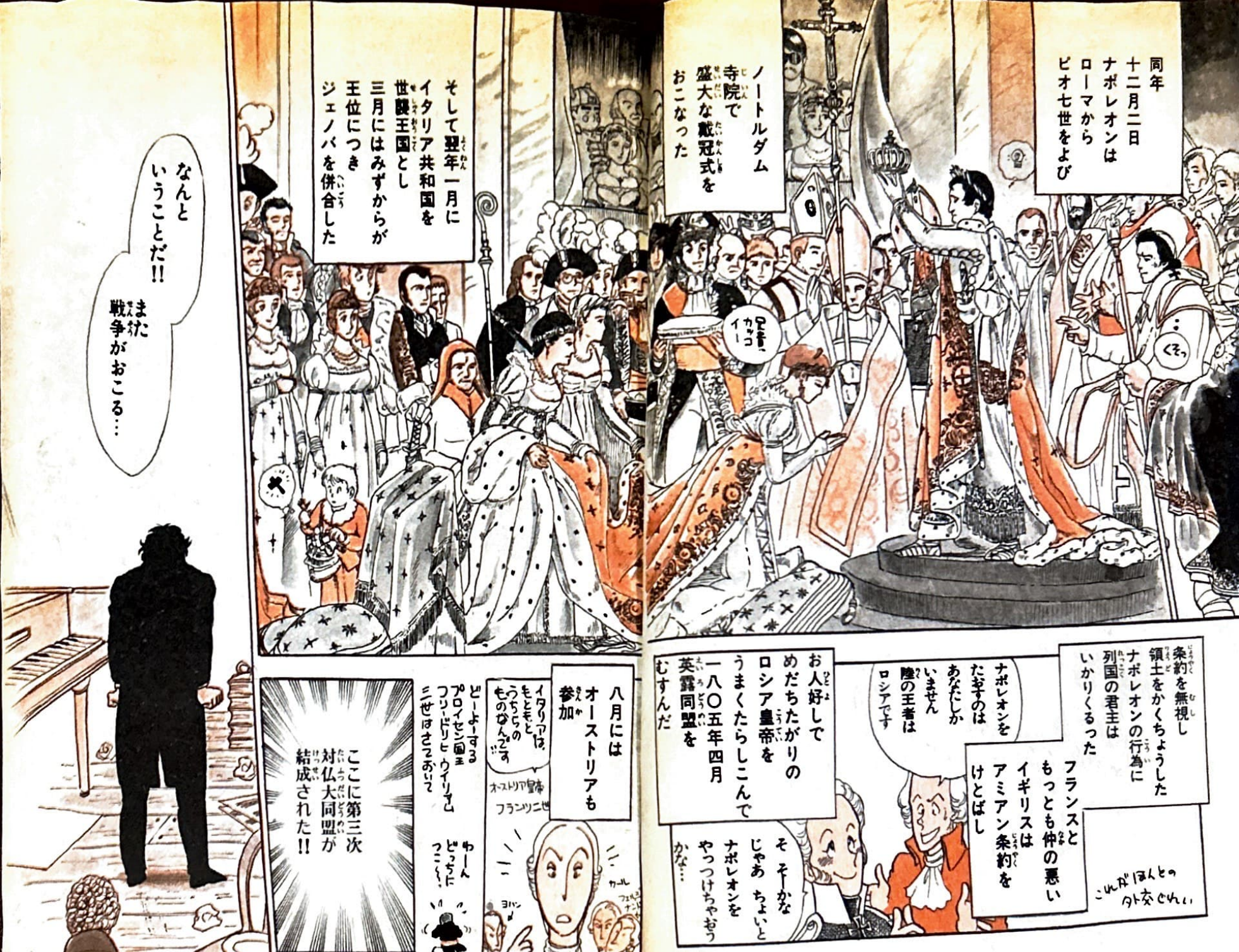
1804年帝政オーストリア　ウィーン

ルートビヒ
バン・ベートーベン
33歳

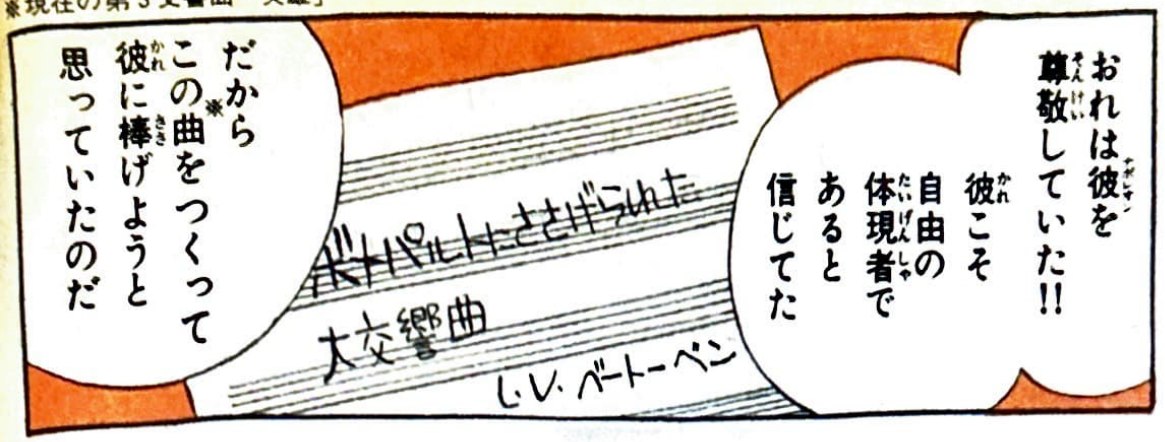
バタ!

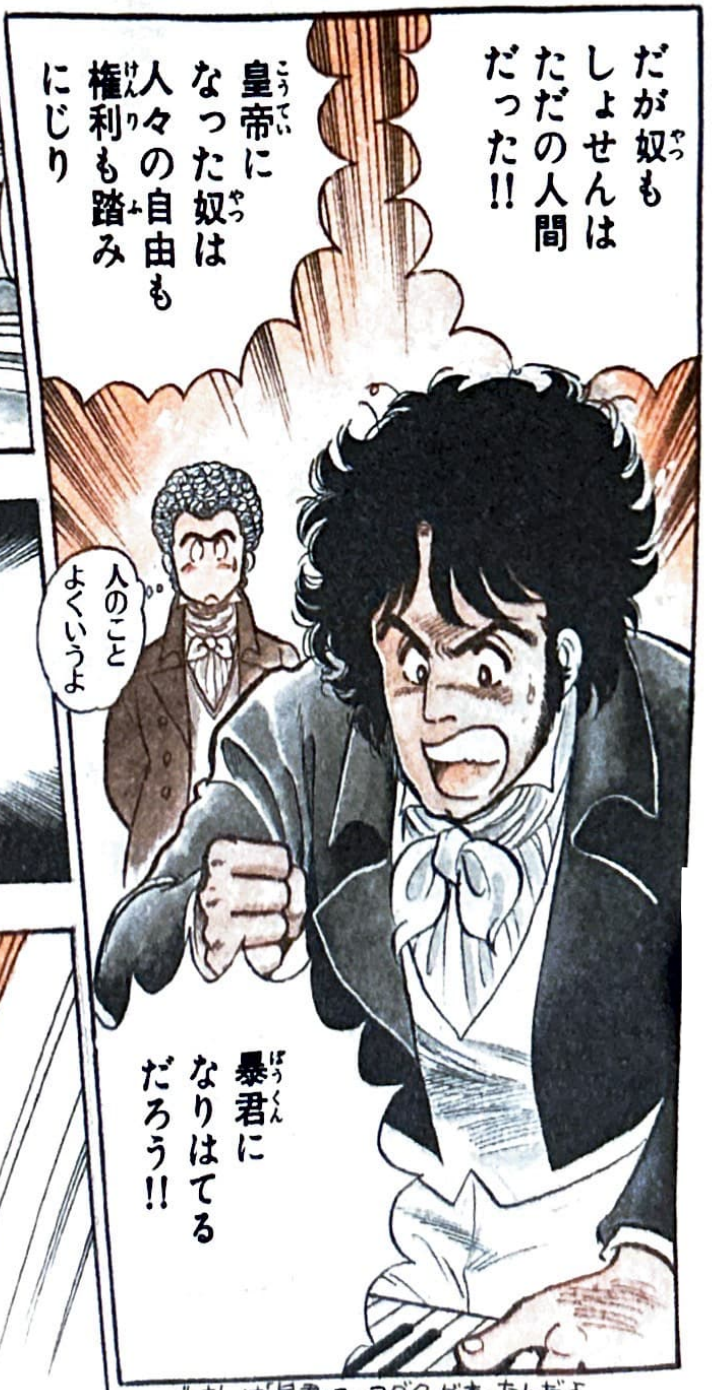
ベートーベン
先生!!

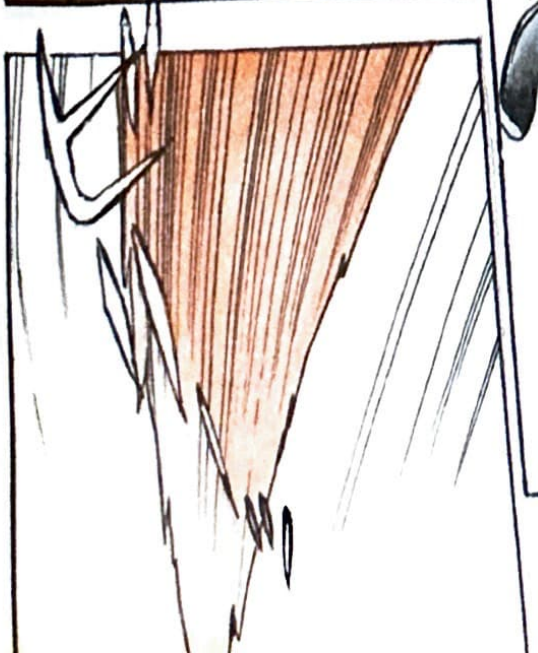
なんだ
リース
どうした
あいかわらず
へんなカオだな
おまえ
ナポレオンが
皇帝になりました!!
おだやいさまです
ポロ
このころベーさんはもう耳が悪かったのです
なんです
か――っ
ナポレオンが
フランス皇帝に
なったんです!!
ピク
ぬわんだとーっ!!?
がく
がく
がく
一八〇四年五月十八日
ナポレオン・ボナパルトは
「フランス人民の皇帝」
と宣言された


条約を無視し
領土をかくちょうした
ナポレオンの行為に
列国の君主は
いかりくるった
ナポレオンを
たおすのは
あなたしか
いません
陸の王者は
ロシアです
フランスと
もっとも仲の悪い
イギリスは
アミアン条約を
けとばし
お人好しで
めだちたがりの
ロシア皇帝を
うまくたらしこんで
一八〇五年四月
英露同盟を
むすんだ
そ そーかな
じゃあ ちょいと
ナポレオンを
やっつけちゃおうかな…
こんがほんとの
外交ぐんしゅ
同年
十二月二日
ナポレオンは
ローマから
ピオ七世をよび
ノートルダム
寺院で
盛大な戴冠式を
おこなった
そして翌年一月に
イタリア共和国を
世襲王国とし
三月にはみずからが
王位につき
ジェノバを併合した
八月には
オーストリアも
参加
イタリアは
もともと
うちらの
ものなんだ
オーストリア皇帝
フランツ二世
ヨハン
カール
フェルディナンド
ぴーよーする
プロイセン国王
フリードリヒ・ウイリアム
三世はさておいて
やーん
どっちに
つこ〜
ここに第三次
対仏大同盟が
結成された!!
なんと
いうことだ!!
また
戦争がおこる…

※現在の第3交響曲「英雄」







ベーさんは「暴君」てーアダ名があったんだよ

いまや再び
ヨーロッパは
二つに
引きさかれた

イギリス　ウィリアム・ピット

プロイセン　フリードリヒ・ウィリアム三世

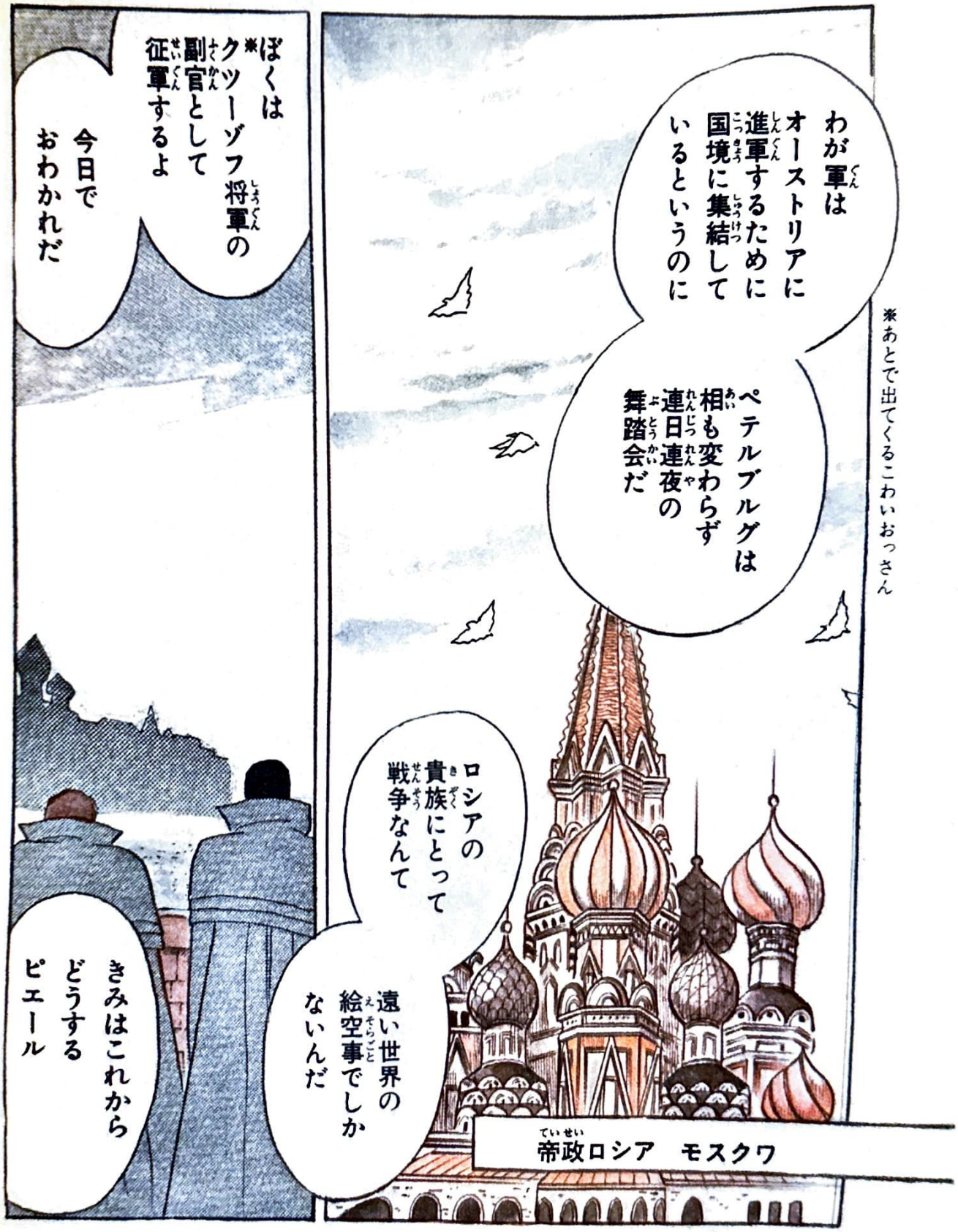
ロシア　アレクサンドルー世

こうして
ナポレオンと
フランス帝国を
めぐる

長い戦いの幕が
切っておとされた
のである…!!

オーストリア　フランツ二世

第1章　ロシア　1805年

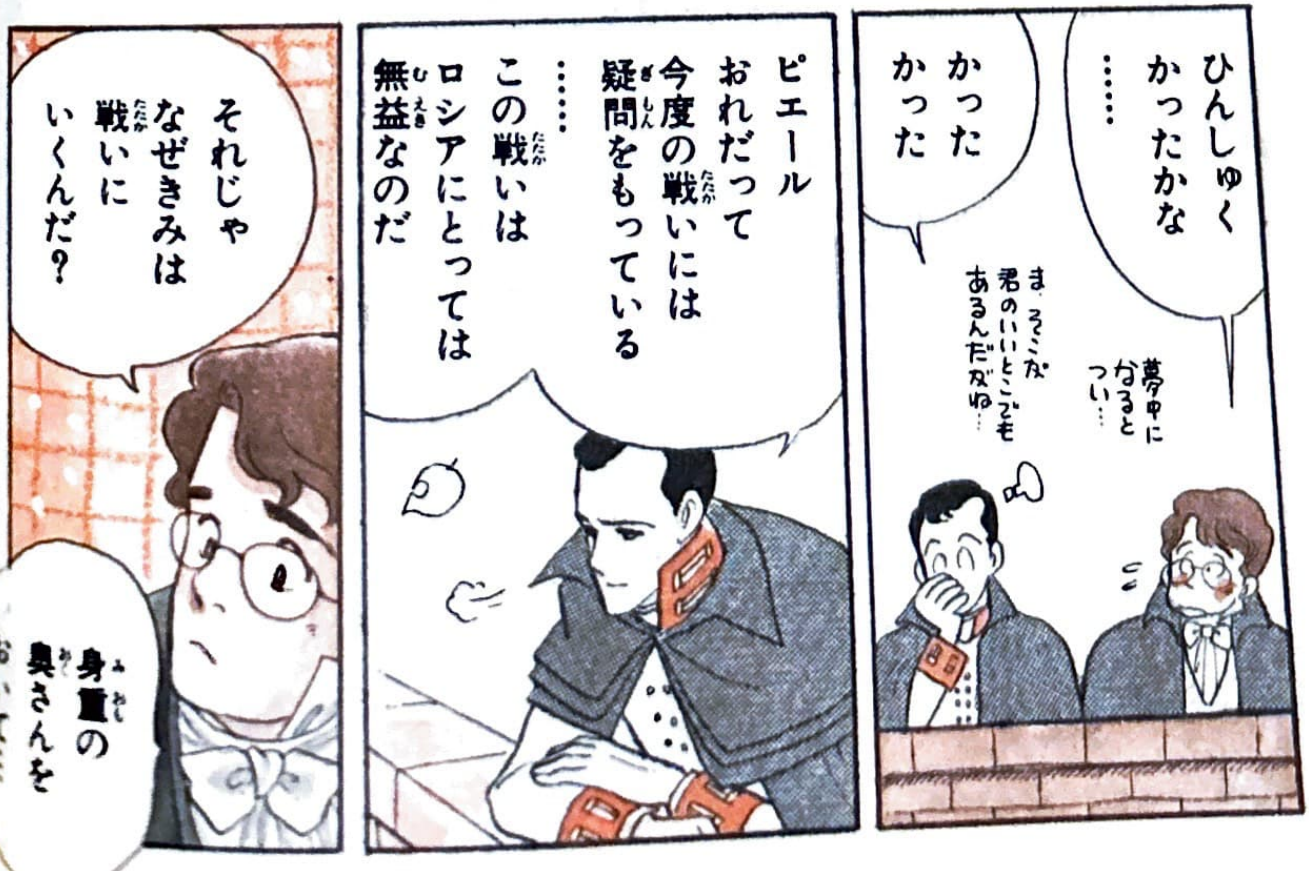


※あとで出てくるこわいおっさん

う…ん
留学から帰ってずっと考えてるんだけど…
なるとしたら軍人か役人か…
だけどぼくはどうしてもフランスと戦う気にはなれないんだ
ピエール・ベズウーホフ
祖国防衛のためならともかくどうしてイギリスやオーストリアに味方して
偉大なナポレオンを敵にまわさなくちゃいけないんだ
そんなことは
人前でいうなよ　ゆうべみたいに…
ゆうべ？
アンドレイ・ボルコンスキー

ナポレオンを
馬鹿に
するのは
やめな
さいっ!!
どん!

彼は
フランス革命が
もたらした
偉業から
生まれた
真の英雄です
!!
ぼくたちが
たばになって
かかっても
かなうような
相手では
ありません!!


ひんしゅく
かったかな
……
かった
かった
夢中に
なると
つい…
ま、そこが
君のいいところでも
あるんだがね…
ピエール
おれだって
今度の戦いには
疑問をもっている
……
この戦いは
ロシアにとっては
無益なのだ
それじゃ
なぜきみは
戦いに
いくんだ?
身重の
奥さんを
おいて…

妻か……

ピエール
ぼくはそいつから
逃げるために
戦争にいくんだ

えっ…？

結婚なんか
するなよ
ピエール

少なくとも男は
自分のやりたいことを
すべて成しとげたと
思うまではな…

結婚は
すべての夢も
希望も
うばいとって
しまう

人生の
墓場とは
よくいったものさ

ピエール
きみは
無為な人生は
おくるなよ

それから
アナトーリや
ドロホフたちと
つきあうのは
やめたまえ
あんなヤクザたちと
毎日飲んだくれて
いるなんて
よくないよ
やめるんだ!!

う…
どき
うん……
ピエール
きみは
いい奴だ
きみは
幸せになる
権利がある
幸せになる
権利だって…?
自分の
将来のことを
だけど
アンドレイ…
おれは妾の子
なんだぜ…

実の父親からは
金ももらってるし
勉強もさせてもらった…

でも　血はつながってても
アカの他人には
変わりない…

この世に身よりと
よべる人なんて
いやしない…

おれは
人ぼっちなんだ…

飲んだくれるしか
ないじゃないか…

ドロホフ

よ――し
みんな
きけーっ

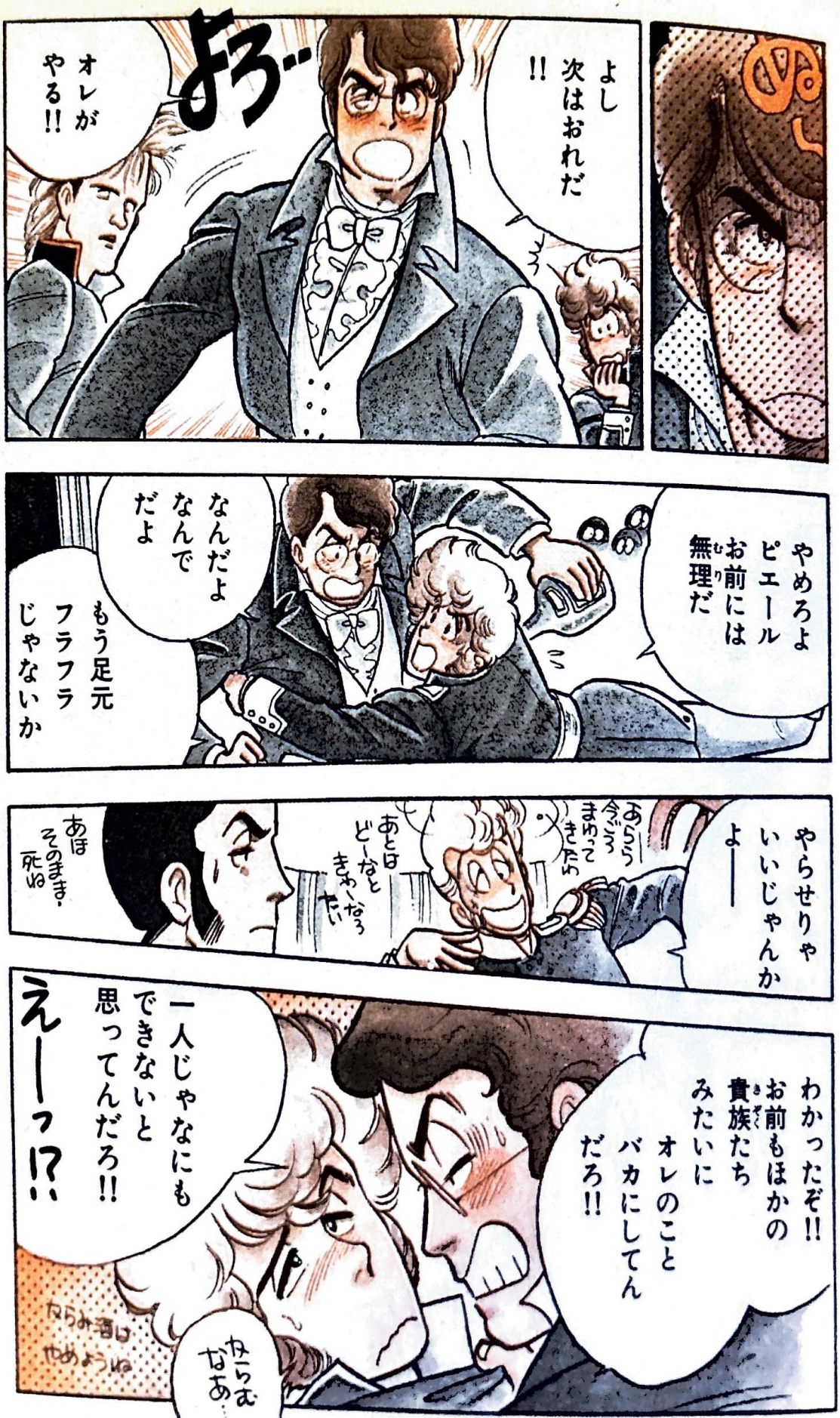
いまからおれが
この窓わくに
立って

このラムを
一気に飲み
ほせるかどうか
賭けね――か!?

よい子のみんなはマネしてはいけないよ

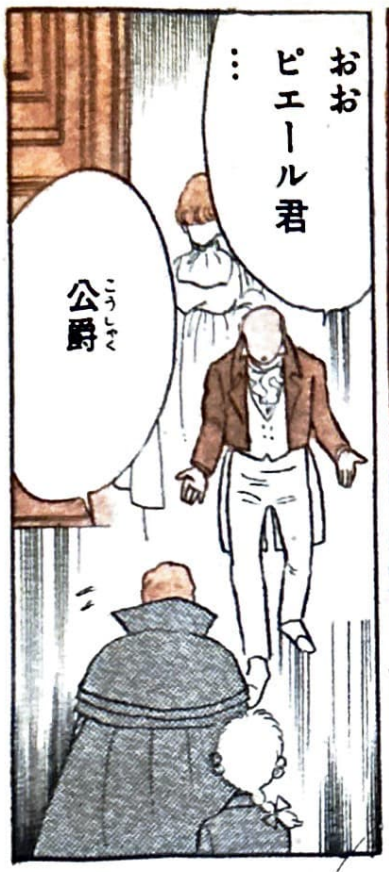
どおっ!!
ゆら
ゆら
RUM
ロシアの誉
モスクワ
ばんざい
!!
よし
音楽だ
!!
きょーも
お酒が
のめるのは
!!
I just call
to say
IkKI!
ボロボロ
さんの
おかげです
今も昔もなめらん一気のみ　急性アル中には気をつけよう
いっき
!!
いっき
!!
ゴクン
ゴクン

いっ…
き…
ドン
わっ!!
やった
ぞ!!
じゃーん
ロシアの誉
空だ!!
ちくしょーっ
負けた!!
…
やんや
やんや
やんや
!!
すげえぞ
ドロホフ
ヒック

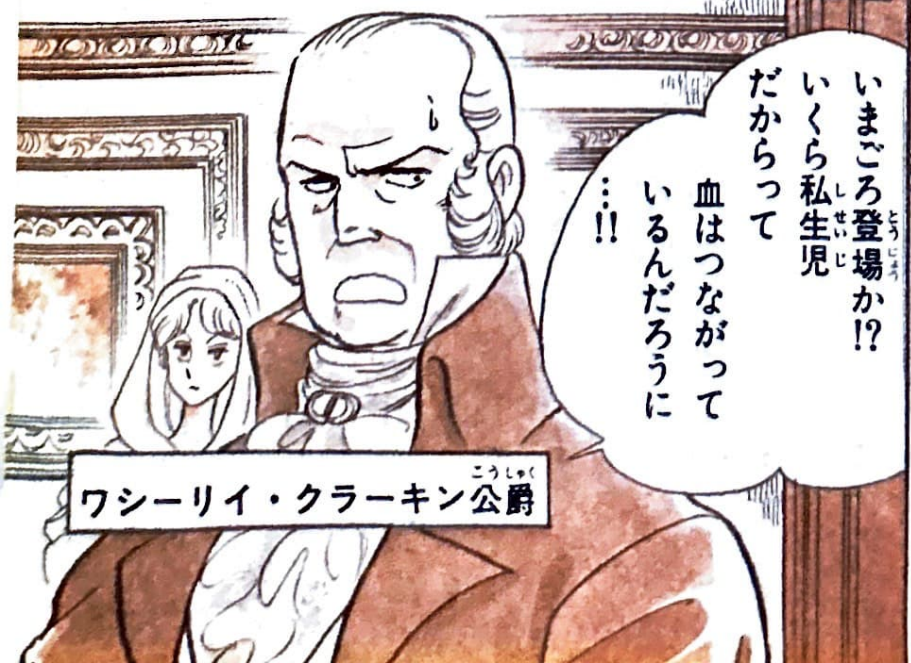

よし
次はおれだ
!!
よろ…
オレが
やる!!
やめろよ
ピエール
お前には
無理だ
なんだよ
なんで
だよ
もう足元
フラフラ
じゃないか
やらせりゃ
いいじゃんか
よ——
あらら
今ごろ
まわって
きたの
あとは
どーなと
きゃ〜なっ
たい
あほ
そのまま
死ぬ
わかったぞ!!
お前もほかの
貴族たち
みたいに
オレのこと
バカにしてん
だろ!!
一人じゃなにも
できないと
思ってんだろ!!
えーっ!?
からみ酒は
やめようね
からむなあ…

ピエールさま…!!
あン?
おビ…
じろっ
あンだおめーは
ウィ…
つ…使いの者です
こ…こわそーなにいちゃんばっかりだよ〜っ
あの…伯爵(はくしゃく)さまのよーだいが…

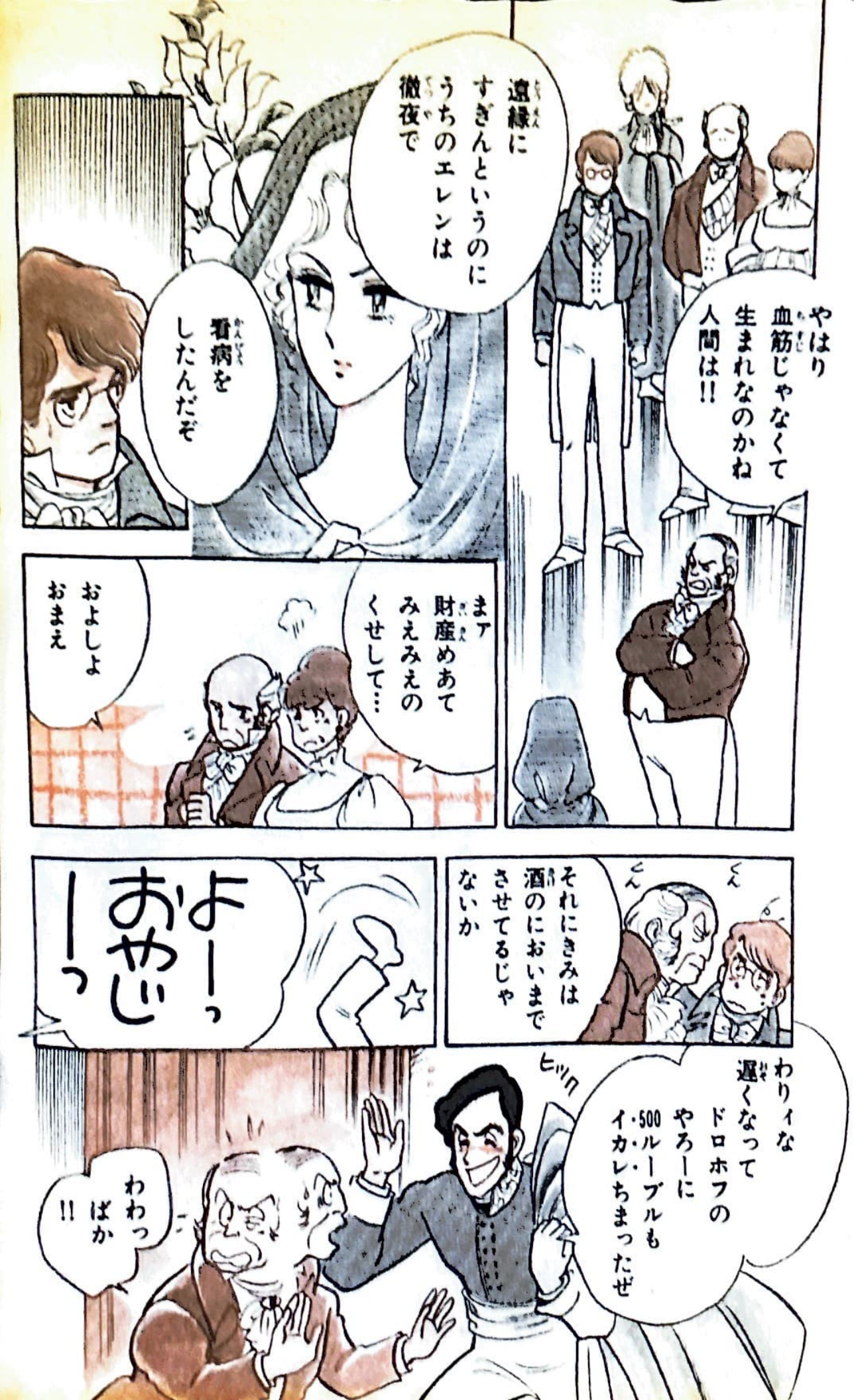
ピエールは
ロシアーの大富豪
キリール・ベズウーホフ
伯爵の私生児
なのである



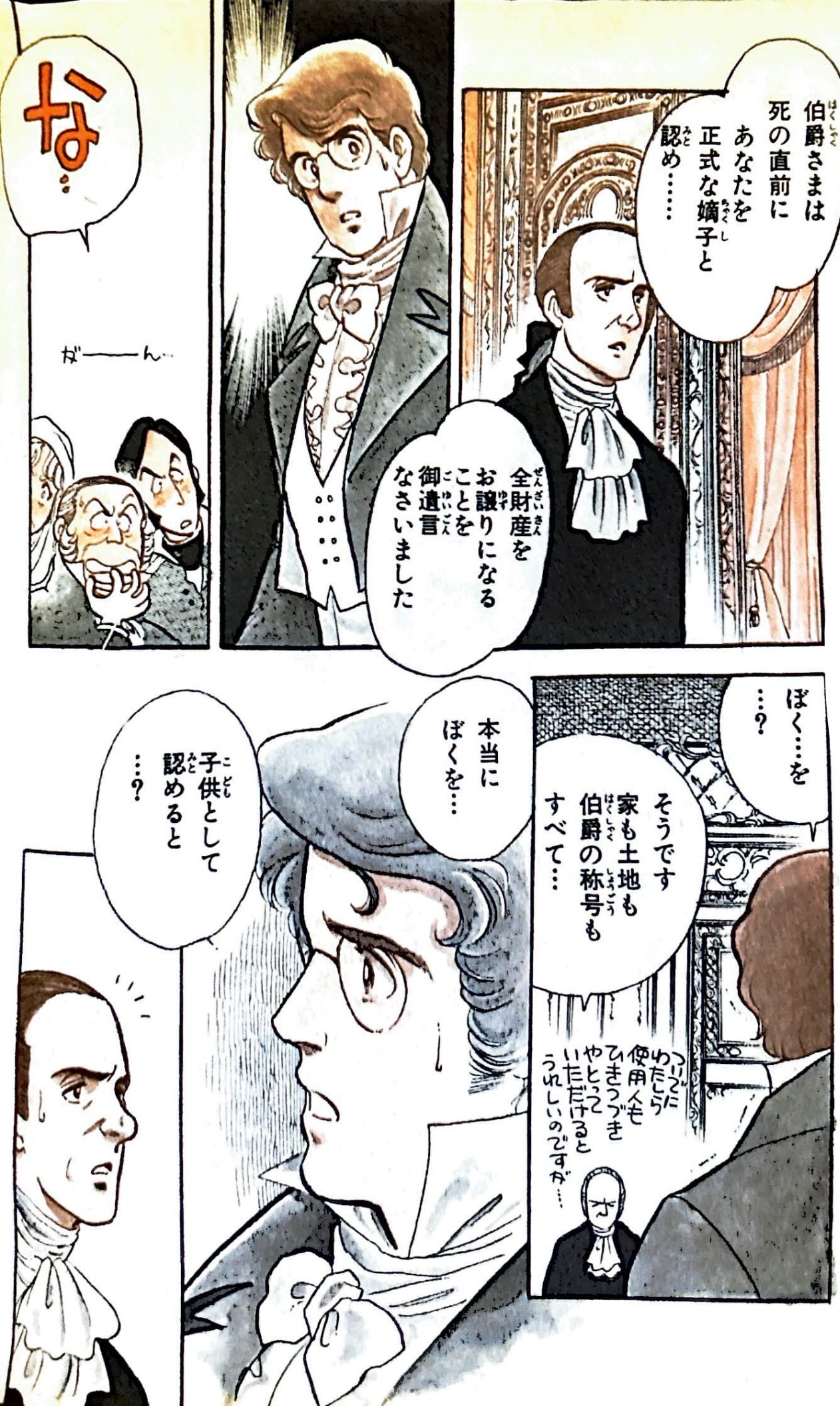
彼の母はすでになく
実父である伯爵は
病床についていた



ワシーリイ・クラーキン公爵

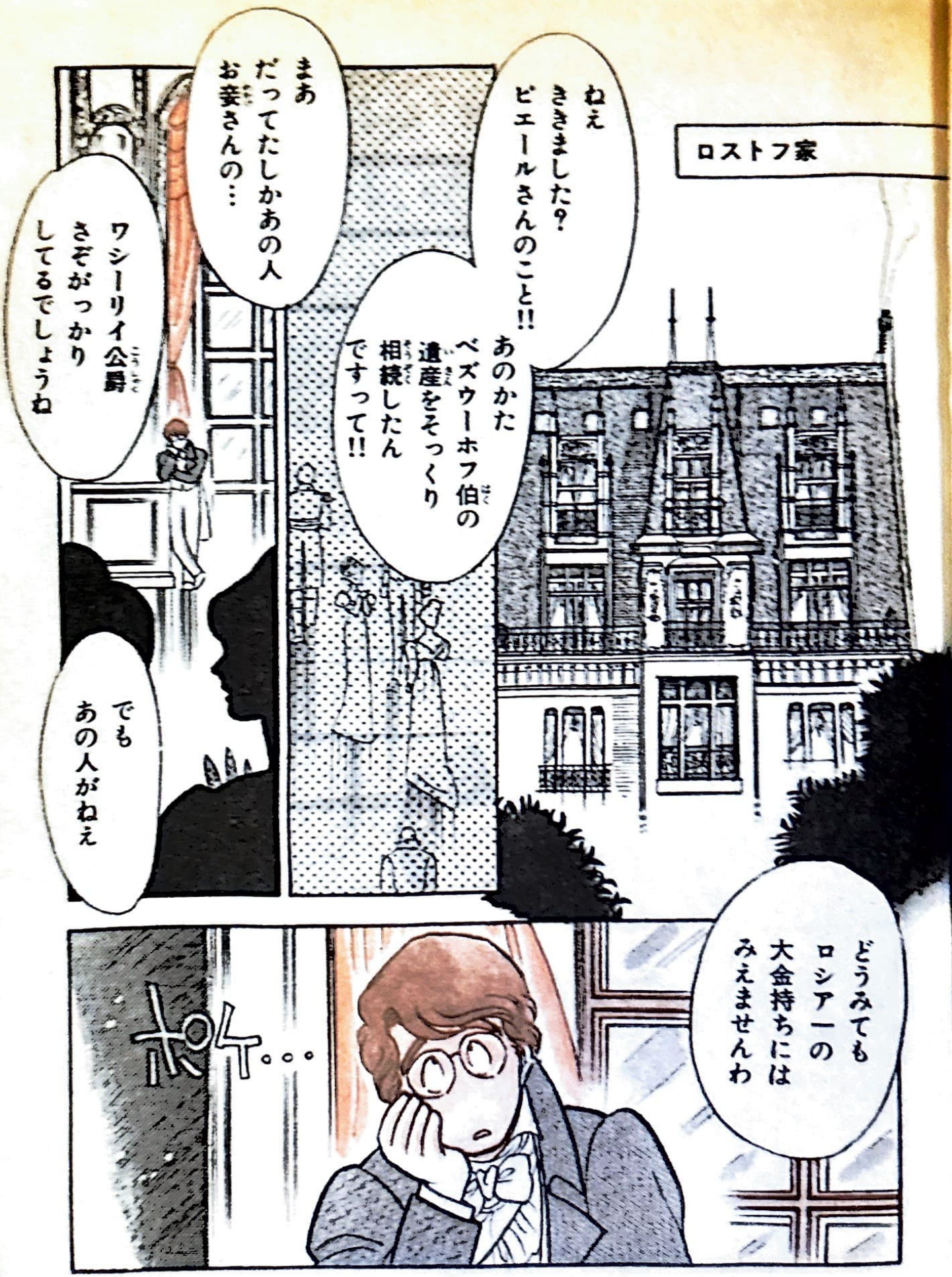

やはり
血筋じゃなくて
生まれなのかね
人間は!!
遠縁に
すぎんというのに
うちのエレンは
徹夜で
看病を
したんだぞ
まア
財産めあて
みえみえの
くせして…
およしよ
おまえ
それにきみは
酒のにおいまで
させてるじゃ
ないか
わりィな
遅くなって
ドロホフの
やろーに
500ルーブルも
イカレちまったぜ
ヒック
よーっ
おやじ
ーっ
わわっ
ばか
!!

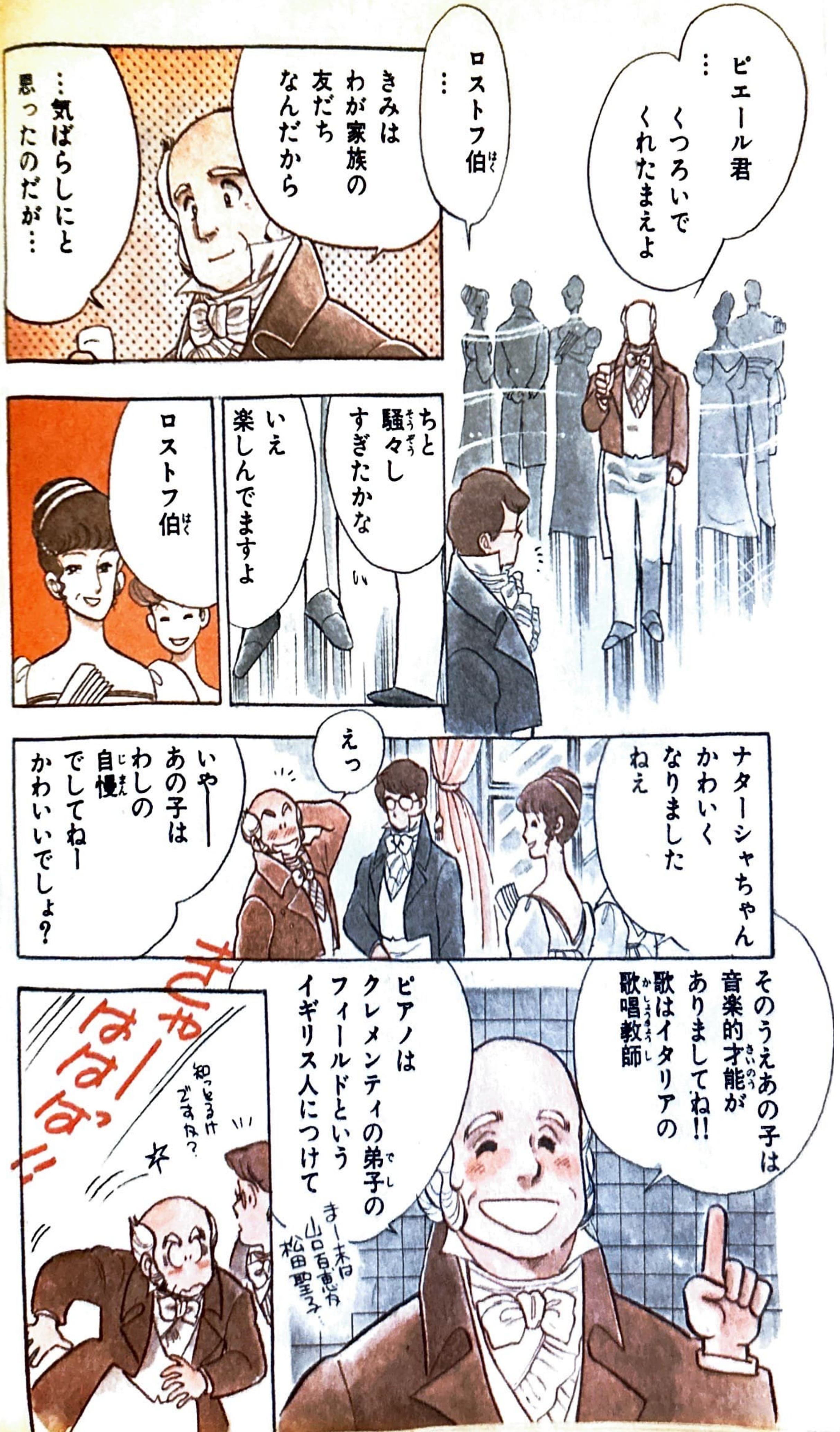
でもあのクソジジイくたばりそうなんだろそしたら遺産ガッポリ…
よさんかっ!!
あっけ…
みなさま……
伯爵さまが……
ピエールさま…

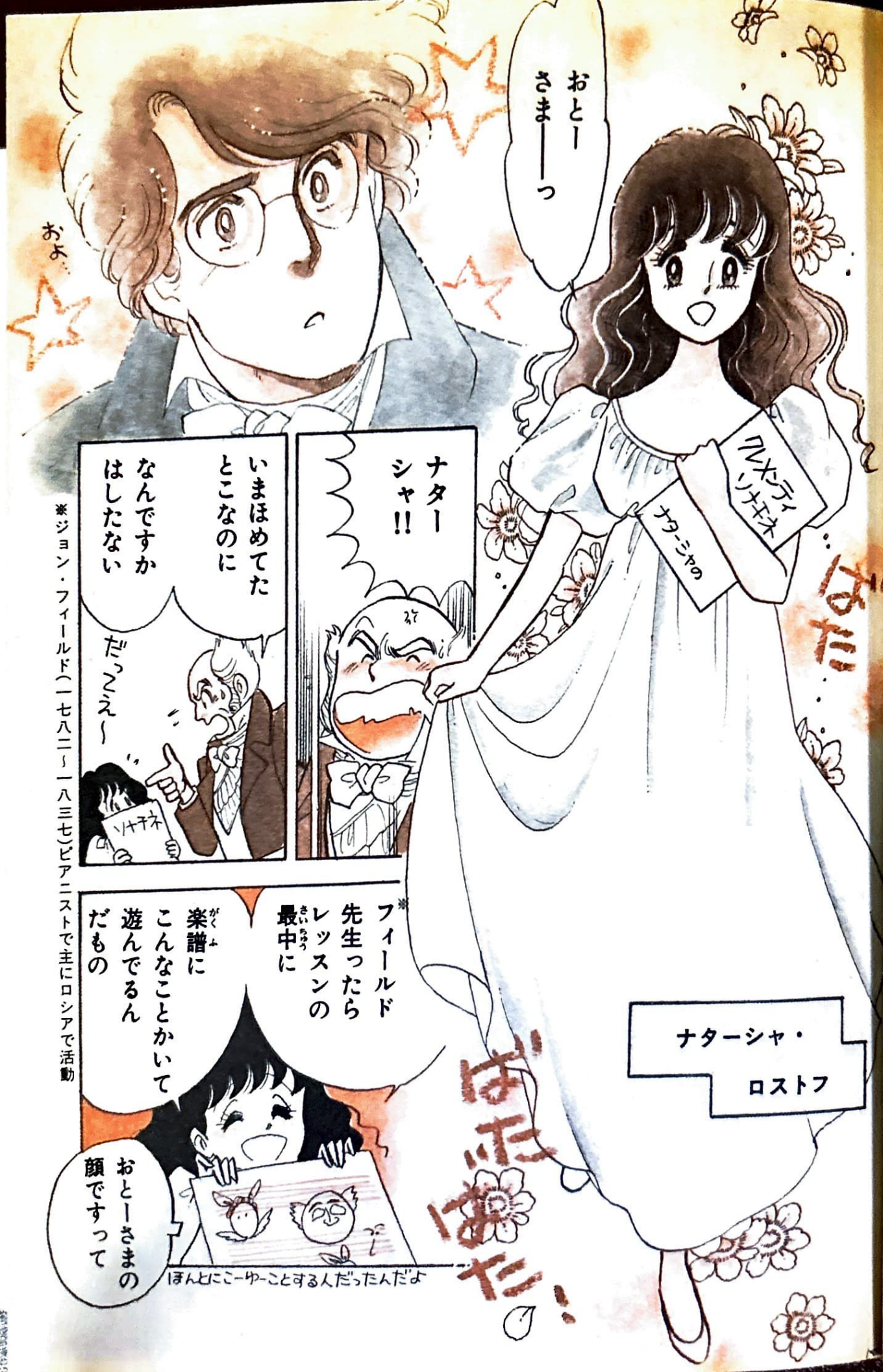

伯爵さまは
死の直前に
あなたを
正式な嫡子と
認め……
全財産を
お譲りになる
ことを
御遺言
なさいました
……
な…
が――ん…
ぼく…を
…？
そうです
家も土地も
伯爵の称号も
すべて…
つづいた
わたしら
使用人も
ひきつづき
やとって
いただけると
うれしいのですが…
本当に
ぼくを…
子供として
認めると
…？

はい…
伯爵は
死の直前まで
あなたさまの
名前を
よびつづけて
おられました
許して
くれ…
——と…
なあーんだ
一銭も
もらえ
ねーのか
だまらんか!!
なあに
…
まだ
手はある
ロストフ
伯…

ぼくはこの人を
憎んでました
…この人がぼくに
親切なのも
この人が
おかした罪の
当然の償いだと
思ってました
でも
この人は…
…本当に
ぼくを…
と…
おとうさんと
よべる人が
できたのに
遅すぎた
遅すぎたんです…!!

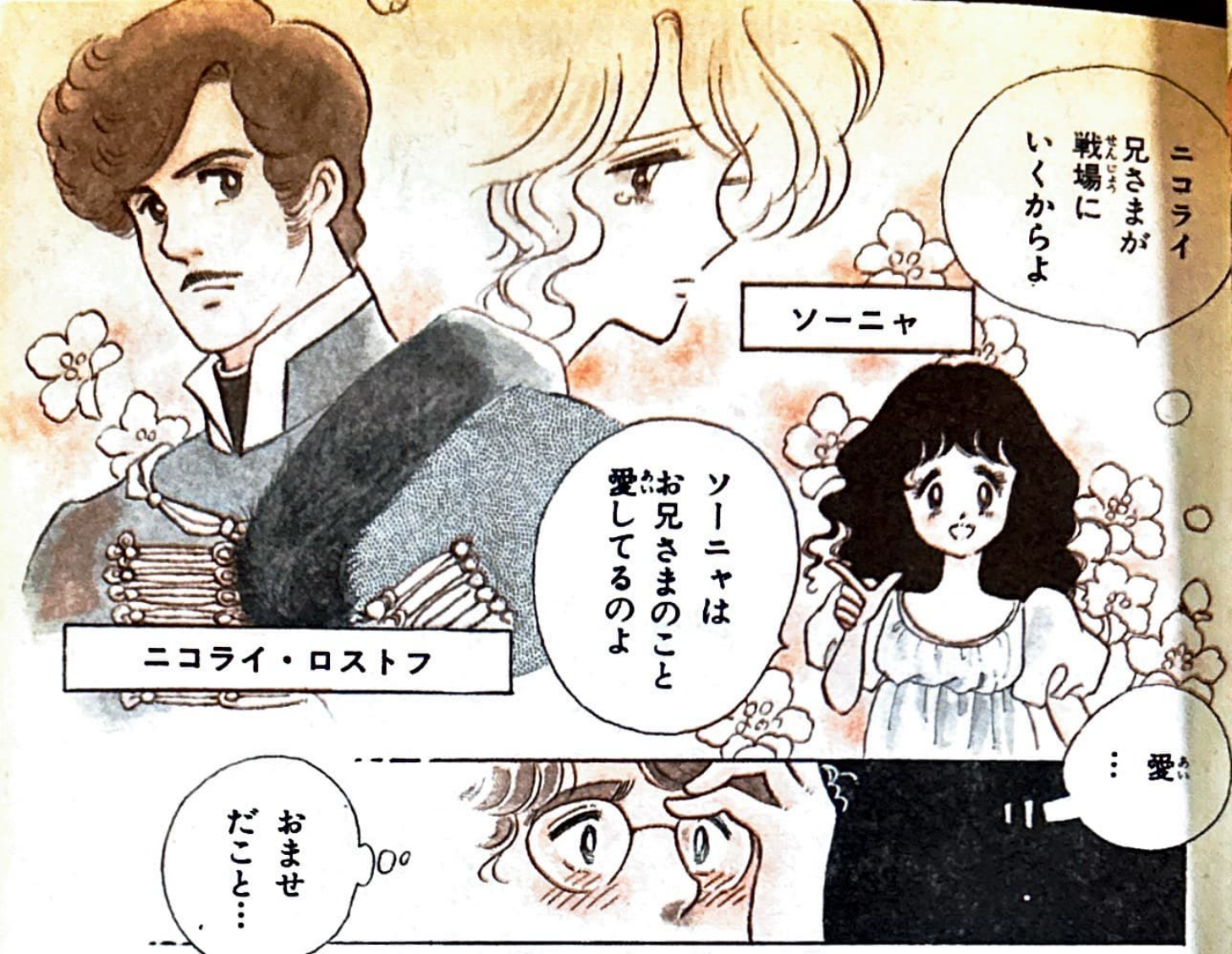

ロストフ家
どうみても
ロシア一の
大金持ちには
みえませんわ
ホケ…
でも
あの人がねえ
ワシーリイ公爵
さぞがっかり
してるでしょうね
まあ
だってたしかあの人
お妾さんの…
ねえ
ききました？
ピエールさんのこと!!
あのかた
ベズウーホフ伯の
遺産をそっくり
相続したん
ですって!!

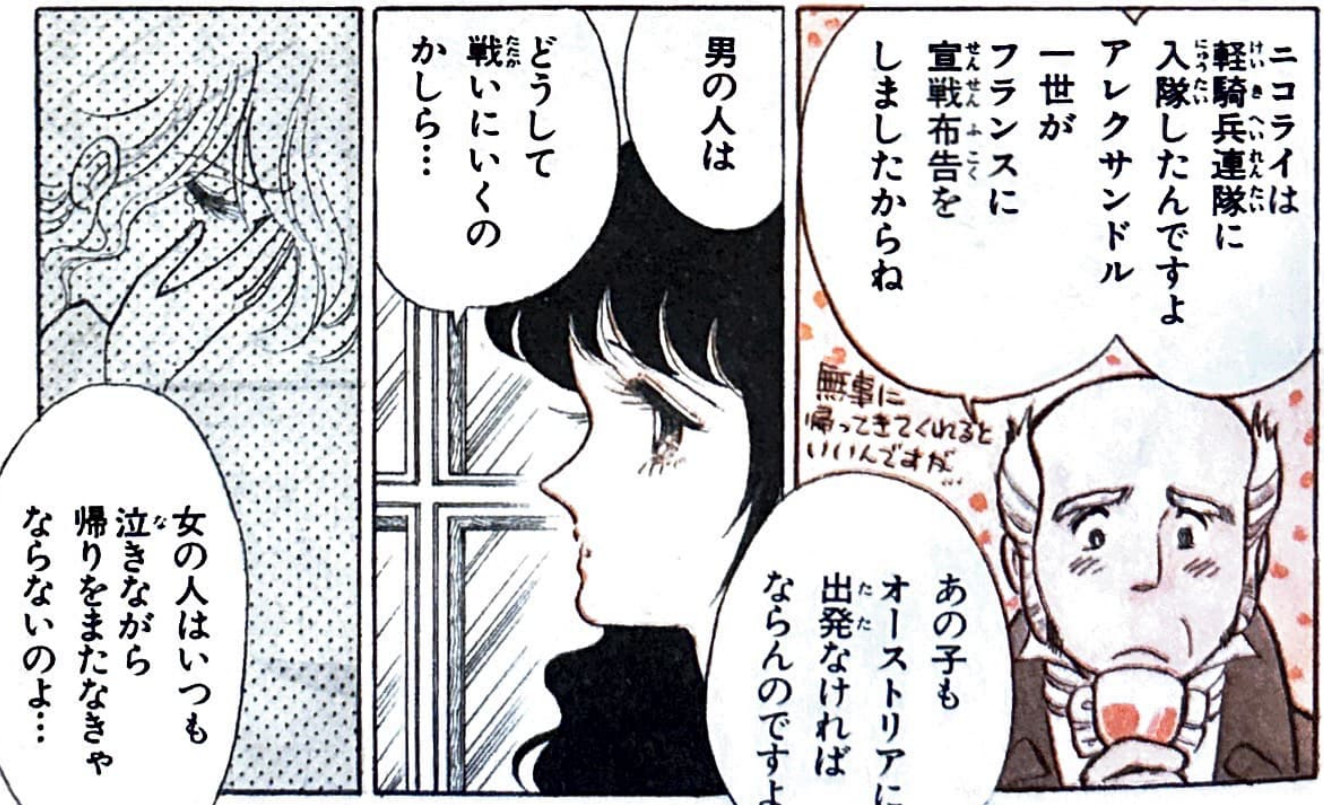

ピエール君…くつろいでくれたまえよ
ロストフ伯…
きみはわが家族の友だちなんだから
…気ばらしにと思ったのだが…
ちと騒々しすぎたかな
いえ楽しんでますよ
ロストフ伯
ナターシャちゃんかわいくなりましたねえ
えっ
いやーあの子はわしの自慢でしてねーかわいいでしょ?
そのうえあの子は音楽的才能がありましてね!!歌はイタリアの歌唱教師
ピアノはクレメンティの弟子のフィールドというイギリス人につけて
きゃーなななっ!!

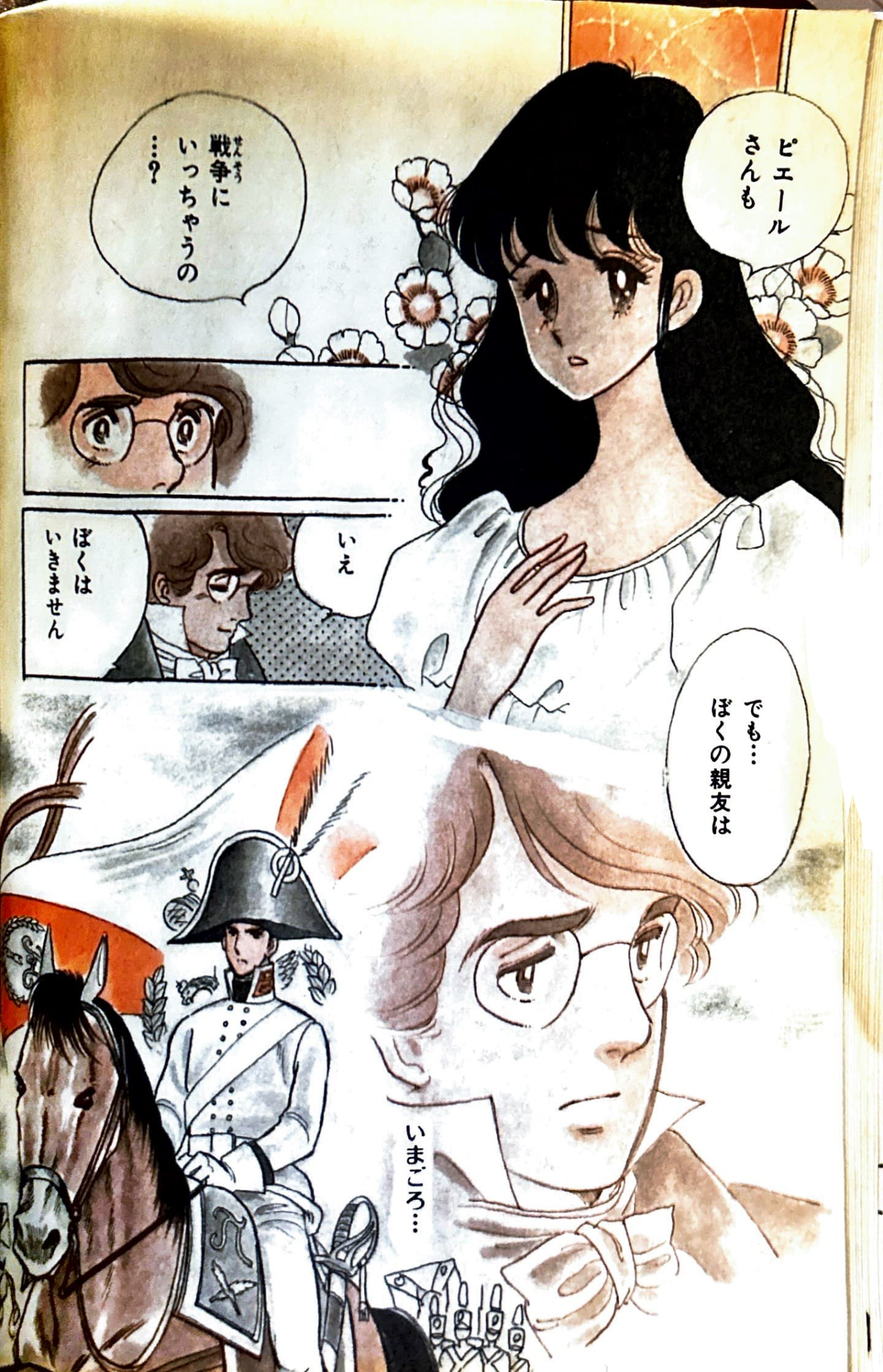


※ジョン・フィールド(一七八二～一八三七)ピアニストで主にロシアで活動

なっ
ピエールさん
今日おみえに
なってから
ずーっと
ムッツリ
してらした
でしょ
やった!!
笑ったわ
!!
えっ…?
心配してたのよ!!
やっぱり
笑った顔の
ほうが素敵
だわ!!
は…
いとこの
ソーニャなんか
今日は朝から
ずーっと
泣きっぱなし
なのよ
どうして
…?

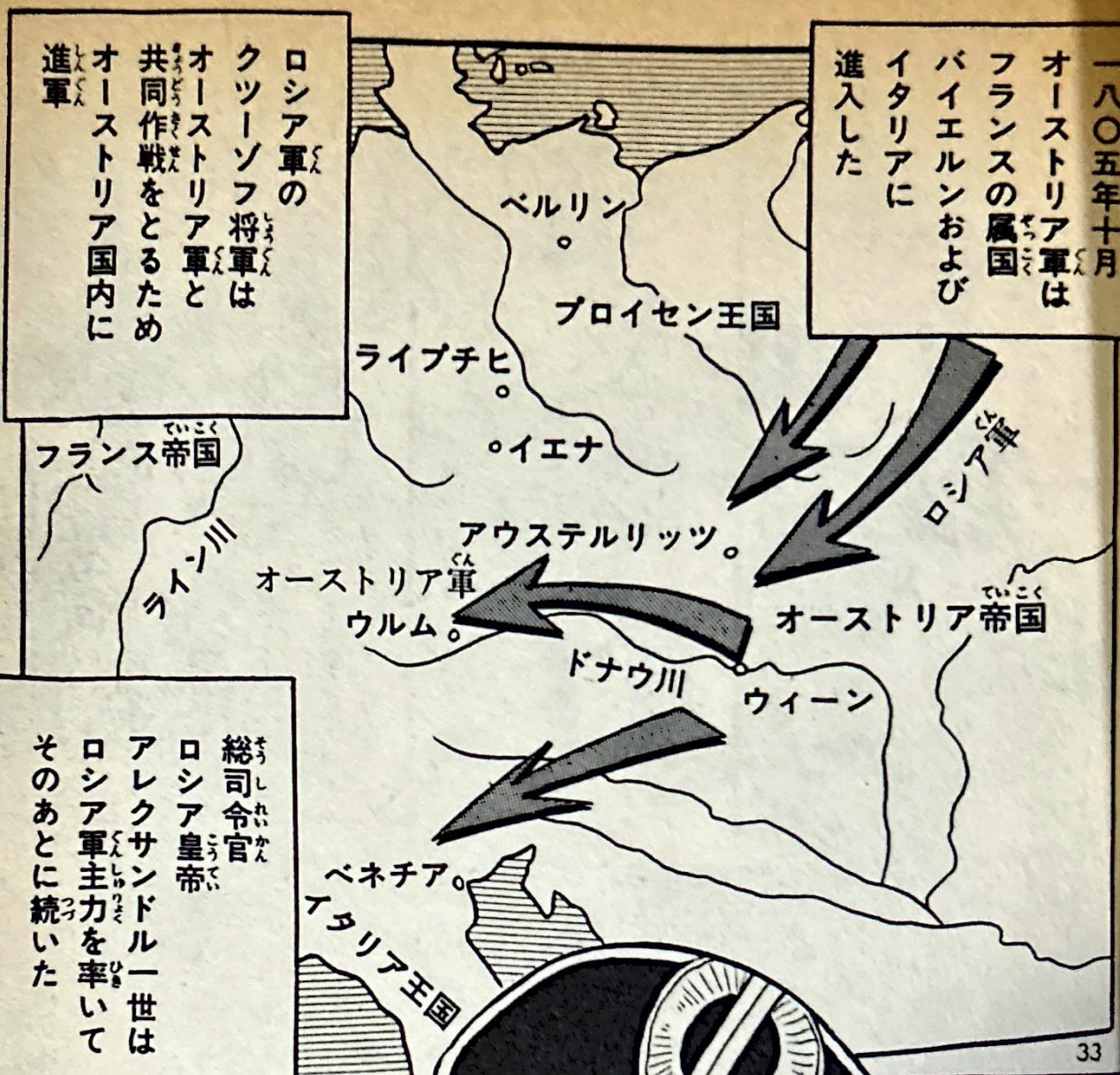

ニコライ
兄さまが
戦場に
いくからよ
ソーニャ
ソーニャは
お兄さまのこと
愛してるのよ
ニコライ・ロストフ
愛
…
おませ
だこと…


ニコライは
軽騎兵連隊に
入隊したんですよ
アレクサンドル
一世が
フランスに
宣戦布告を
しましたからね
無事に
帰ってきてくれると
いいんですが…
あの子も
オーストリアに
出発なければ
ならんのですよ
男の人は
どうして
戦いにいくの
かしら…
女の人はいつも
泣きながら
帰りをまたなきゃ
ならないのよ…


ピエールさんも
戦争にいっちゃうの…？
いえ
ぼくはいきません
でも…ぼくの親友は
いまごろ…

一八〇五年十月
オーストリア軍は
フランスの属国
バイエルンおよび
イタリアに
進入した

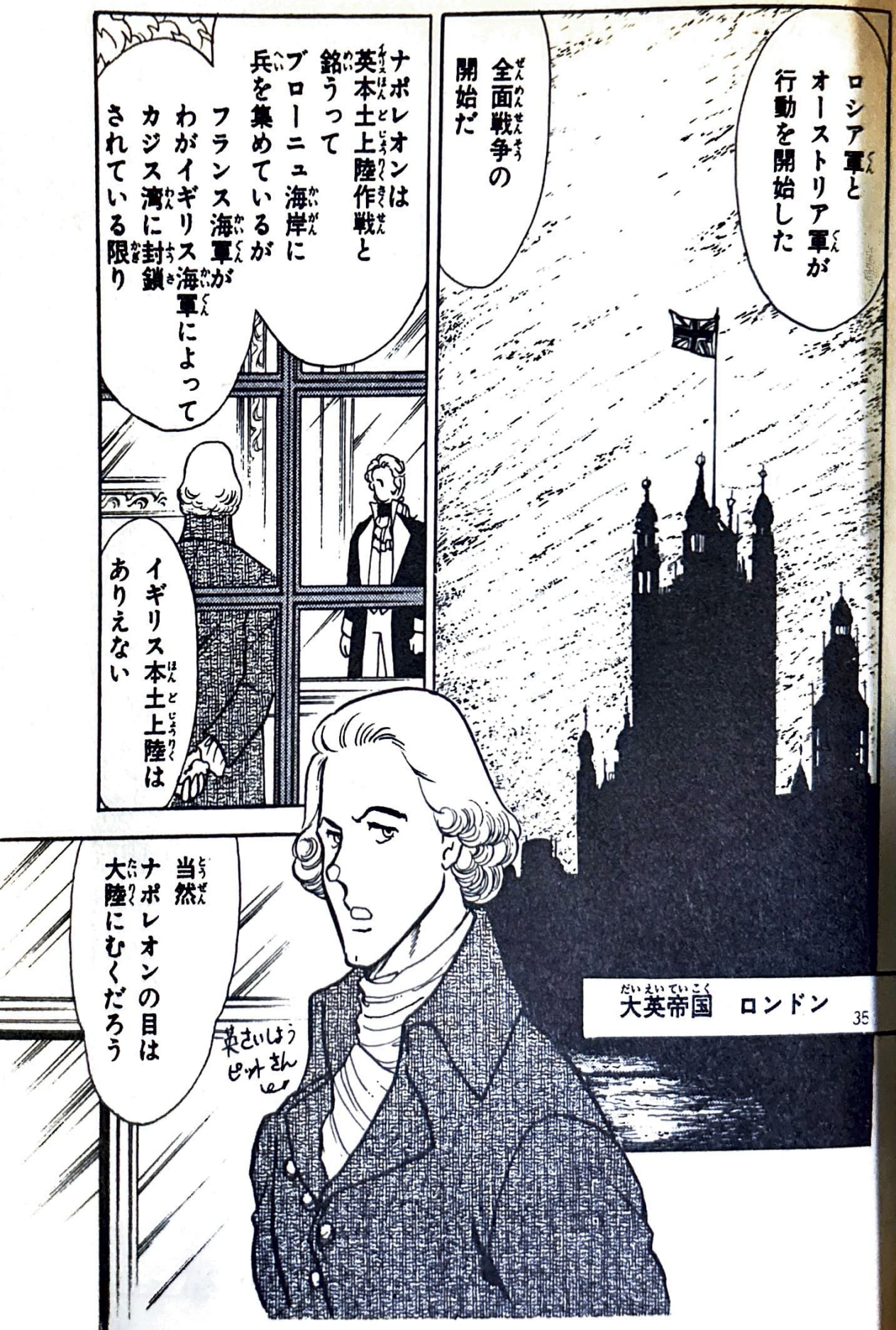
ロシア軍の
クツーゾフ将軍は
オーストリア軍と
共同作戦をとるため
オーストリア国内に
進軍

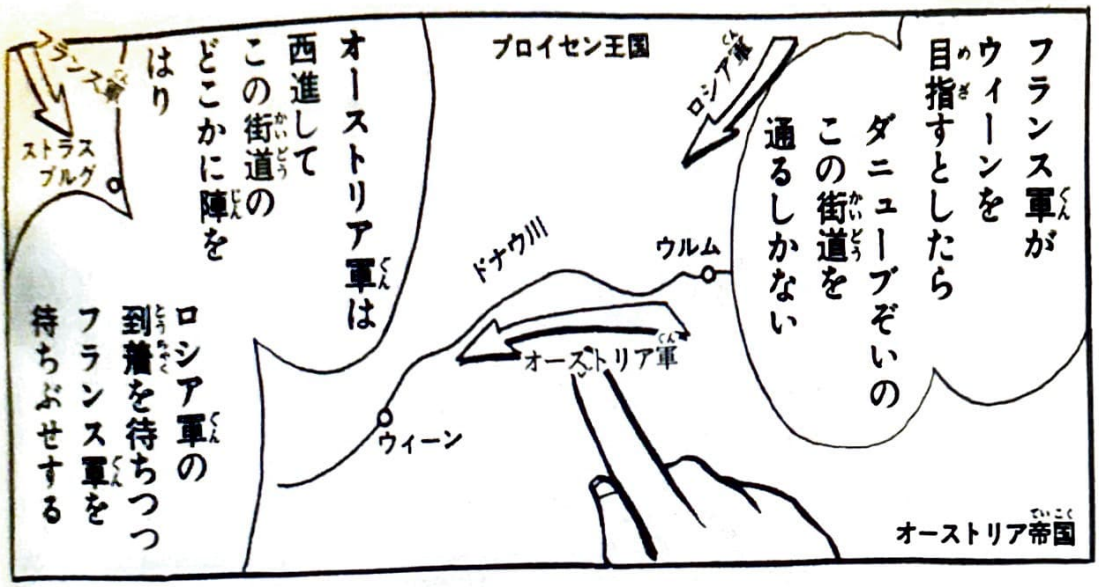


総司令官
ロシア皇帝
アレクサンドル一世は
ロシア軍主力を率いて
そのあとに続いた

アンドレイは
クツーゾフの副官として
従軍していた

オーストリア
ばんざい!!
ロシア軍
ばんざい!!
おいロストフ
ドイツの
お百姓さんが
手をふってるぜ
ありがとう
じいさん!!
34
オーストリア
ばんざい
ロシア
ばんざい!!
そして
世界
ばんざい!!
うわ〜〜
なんだ
こいつ
めずらしい
やつだな
せ〜!!
原作に
ちゃんと
かいて
あるんだぞ!!
なんだよ
いいじゃ
ないか!!


ロシア軍とオーストリア軍が行動を開始した
全面戦争の開始だ
ナポレオンは英本土上陸作戦と銘うってブローニュ海岸に兵を集めているがフランス海軍がわがイギリス海軍によってカジス湾に封鎖されている限り
イギリス本土上陸はありえない
当然ナポレオンの目は大陸にむくだろう
大英帝国　ロンドン
35


フランス軍がウィーンを目指すとしたら
ダニューブぞいのこの街道を通るしかない
プロイセン王国
ロシア軍
ドナウ川
ウルム
オーストリア軍
ウィーン
フランス軍
ストラスブルグ
オーストリアは西進してこの街道のどこかに陣をはり
ロシア軍の到着を待ちつつフランス軍を待ちぶせする
オーストリア帝国

連合軍が合流したらナポレオンに勝ちめはありませんね
数のうえではな…だが…
わたしがナポレオンだったら
いや…
ありえんことだいくらナポレオンでもそんなに速くは動けまい
彼らはまだフランス国内で兵を集めてるころだ

とにかく
あとは
ロシア
オーストリア
連合軍の
奮闘を
期待する
しかない

さあ
お茶に
しよう

37

バイエルン
ウルム

ほ――
これはみごとな
川マスだ!!

。。。。。。

これは
現地調達
かね?

うん
これは
うまい

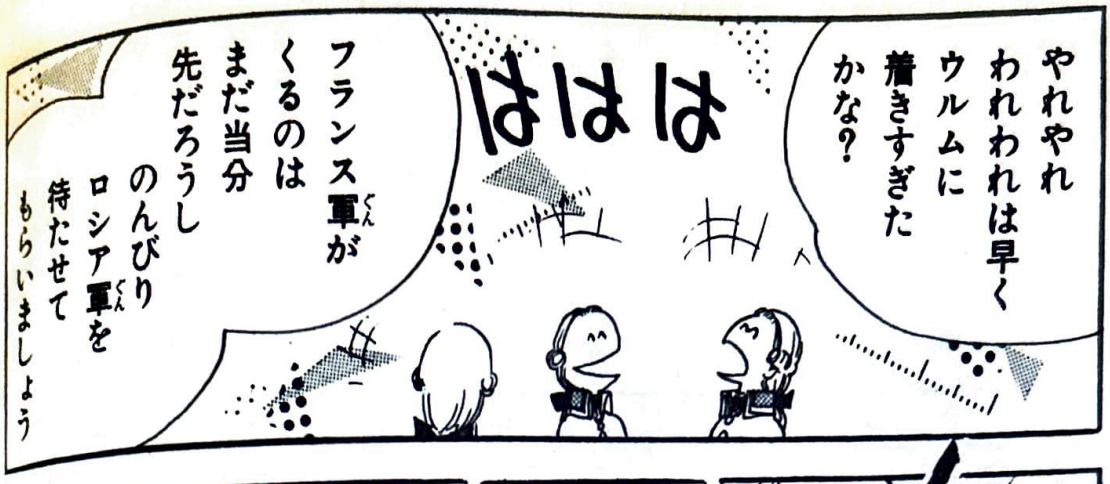
これで食後に
いい音楽でもあれば…

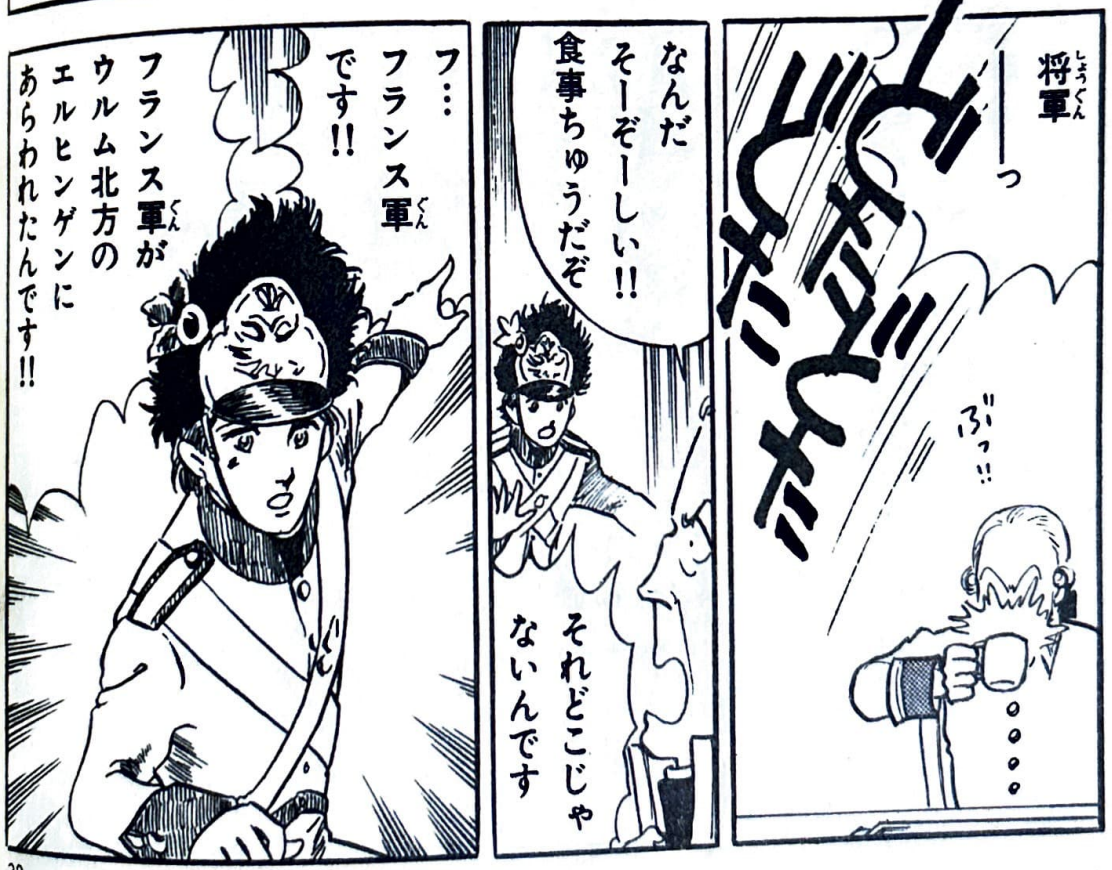
ぱく

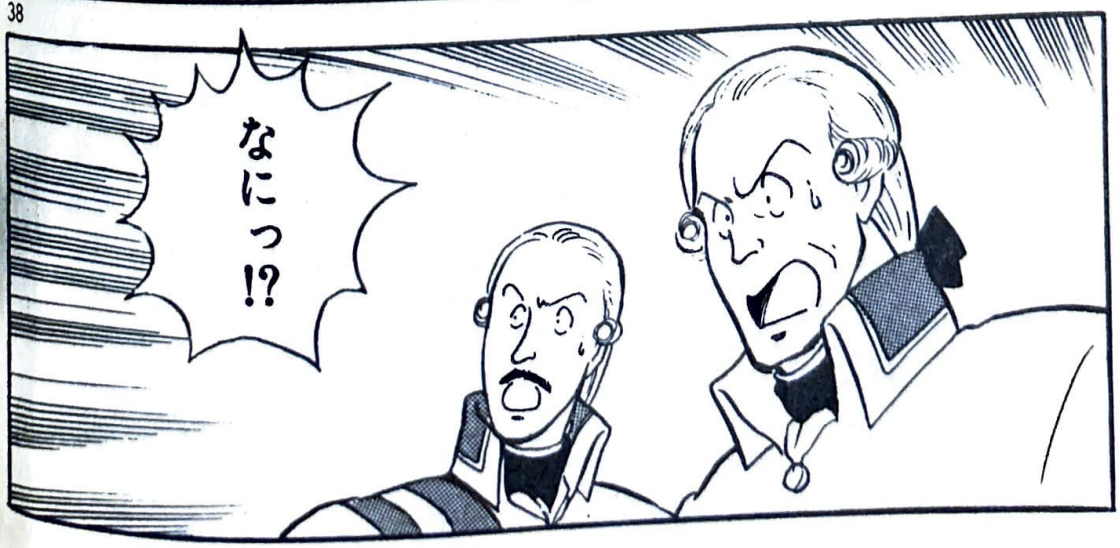
ウィーンなら
ともかく
こんな田舎では
望めますまい

。。。

オーストリア将軍　マック


やれやれ
われわれは早く
ウルムに
着きすぎた
かな?
ははは
フランス軍が
くるのは
まだ当分
先だろうし
のんびり
ロシア軍を
待たせて
もらいましょう


将軍
――っ
ドンドンドン
ぶっ!!
。。。。
なんだ
そーぞーしい!!
食事ちゅうだぞ
それどこじゃ
ないんです
フ…
フランス軍
です!!
フランス軍が
ウルム北方の
エルヒンゲンに
あらわれたんです!!


なにっ!?

わーはっはっはーっ!!

いくぞーっ

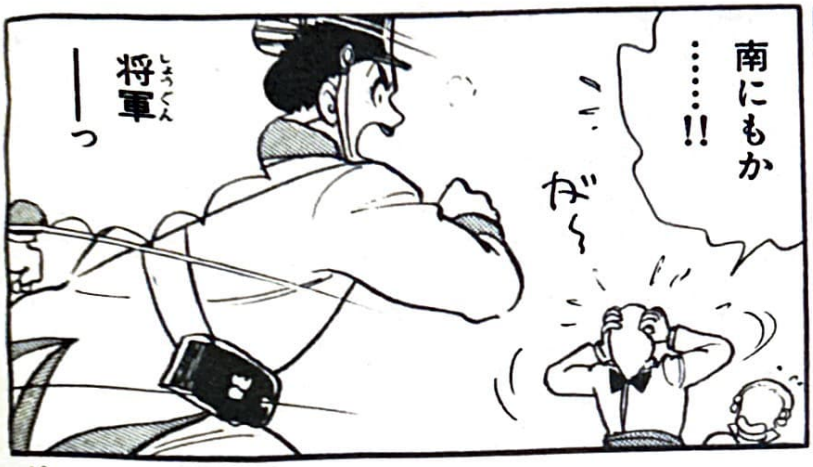
第6軍団司令
ネイ元帥

EN AVANT
進軍!!

1805年10月14日
ウルム北方
エルヒンゲン

エルヒルゲンは陥落!!
ライン左岸はフランス軍でいっぱいです
北への退路はたたれました!!

将軍——っ
チロル方面にもフランス軍があらわれました


南にもか……!!
ぐ～
将軍——っ

40

こんどはどこだ

まっ正面ですっ

ウルムは完全に包囲されています
なんや
なんやとは
なんや
なぜだ!! なぜ そんなことができるんだ……
フランス軍のくつには羽根がはえてるのか…!?
これでマックは孤立したな
フランスの機動力をばかにしたらこうなるんだ
……

さて
マックの
降伏を
むかえる
準備でも
するか

フランス皇帝 ナポレオン・ボナパルト

どうも
よい子の
みなさん

あたくし
大陸軍の参謀を
まかされてる
ベルチェといいます

いやー
さむい

といっても
作戦は陛下が
たてるんですが

ウルム戦の
地図は
こうなって
おります

ロシア軍

ドナウボルツ

ウルム

ムーニカ

イメウ川

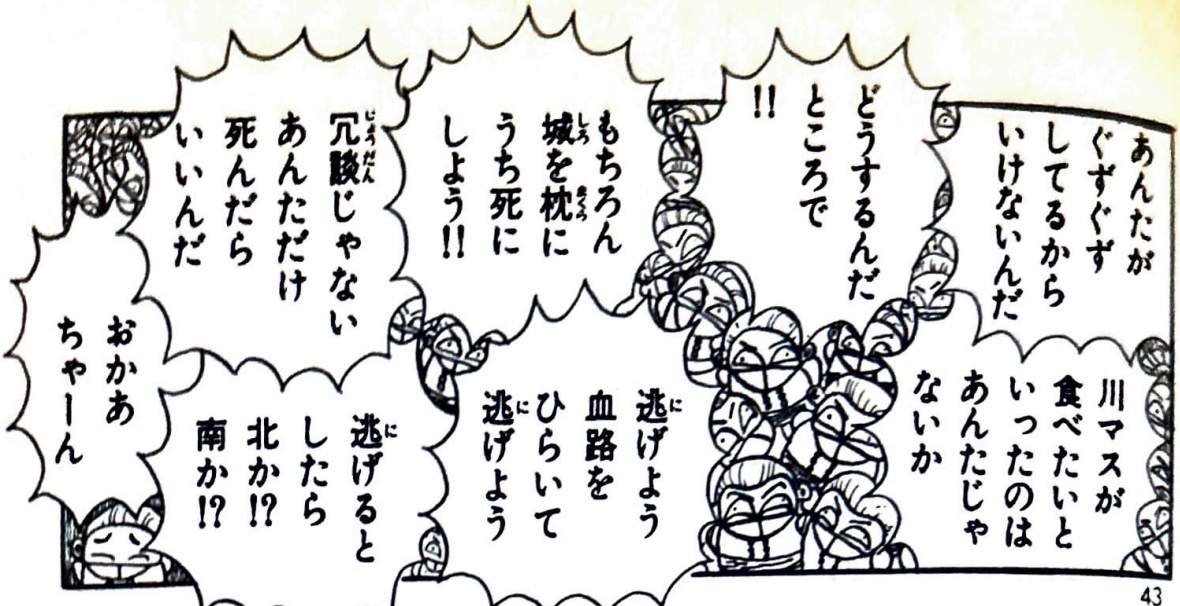
われわれは
神技的スピードで
ウルムを背から包囲
してロシア軍との
連絡を断ったわけです

42

たいへんだな
お前も

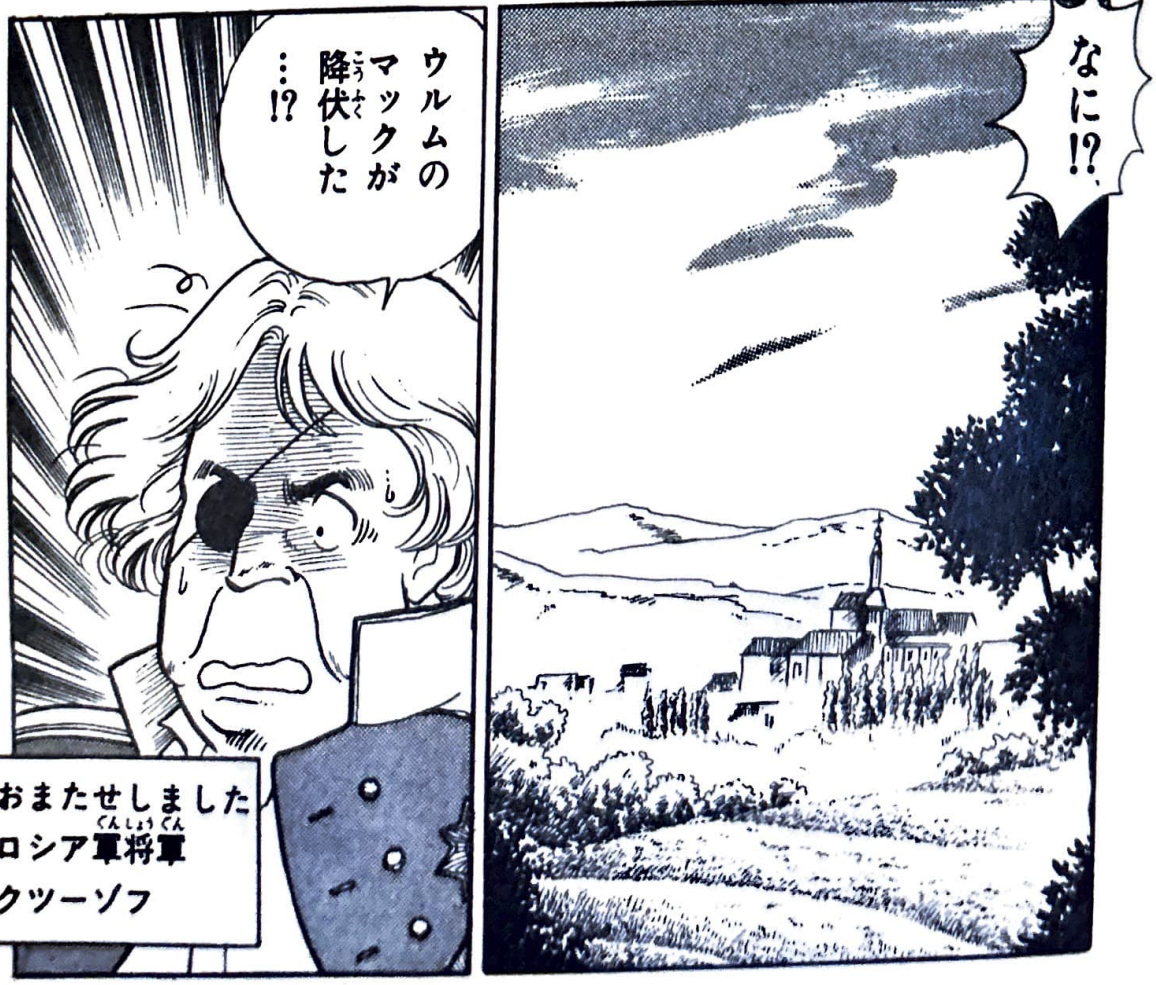
なんか
いい
おじさん
ぶり
やがって
この
くそじじいが

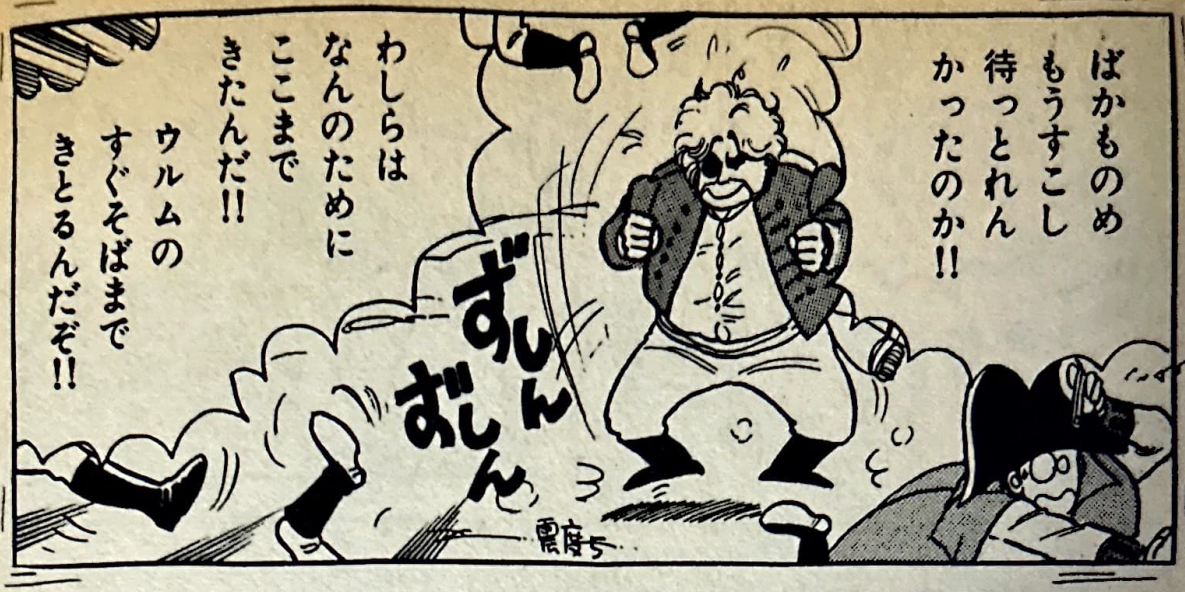
いや
やはり
とりあえず
少年少女の
ために…


あんたがぐずぐずしてるからいけないんだ
川マスが食べたいといったのはあんたじゃないか
どうするんだところで!!
もちろん城を枕にうち死にしよう!!
逃げよう血路をひらいて逃げよう
冗談じゃないあんただけ死んだらいいんだ
逃げるとしたら北か!? 南か!?
おかあちゃーん

43

マック将軍!!
もはや自分が
う…
う〜〜む


なに!?
ウルムのマックが降伏した…!?
おまたせしました
ロシア軍将軍
クツーゾフ


ばかものめ
もうすこし
待っとれん
かったのか!!
わしらは
なんのために
ここまで
きたんだ!!
ウルムの
すぐそばまで
きとるんだぞ!!
ずしん
ずしん
アンドレイ百戸長

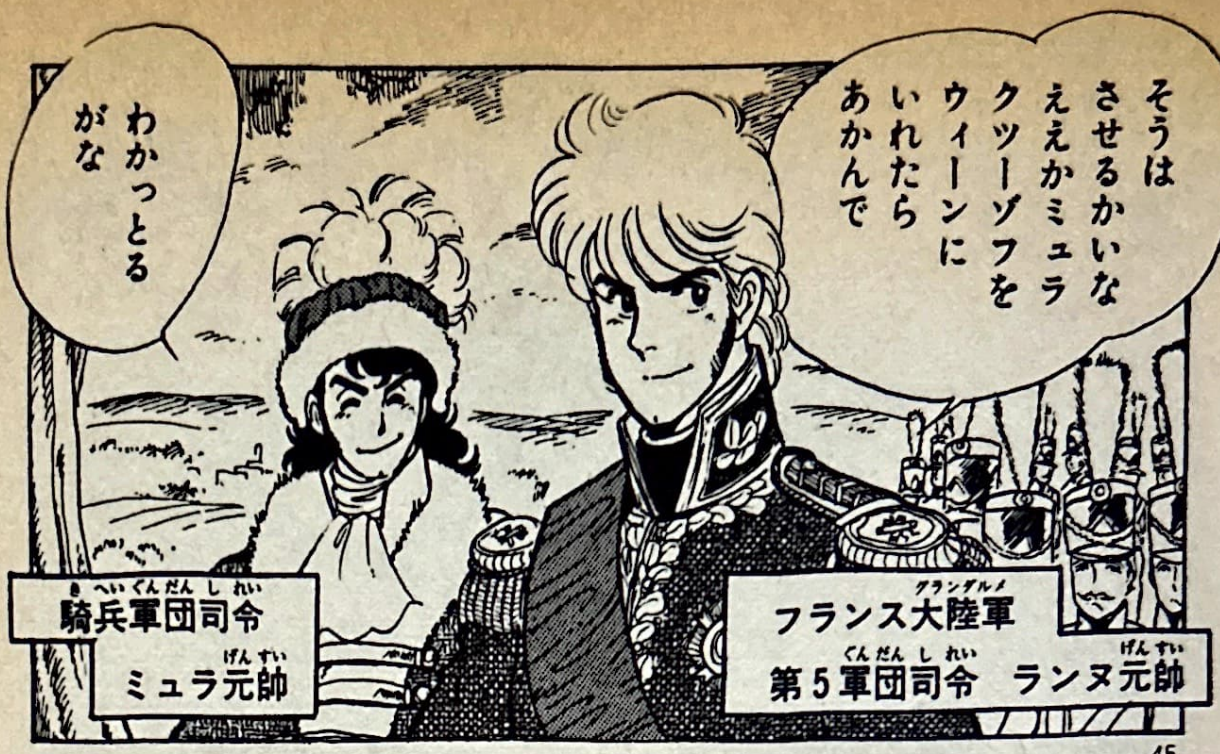
あの…
将軍
まだ
なんか
あるのか!!

フランスの
前衛部隊がそこまで
せまって
きてるんです

44

どうします
将軍
きまっとる
じゃないか

逃げよう
はあ

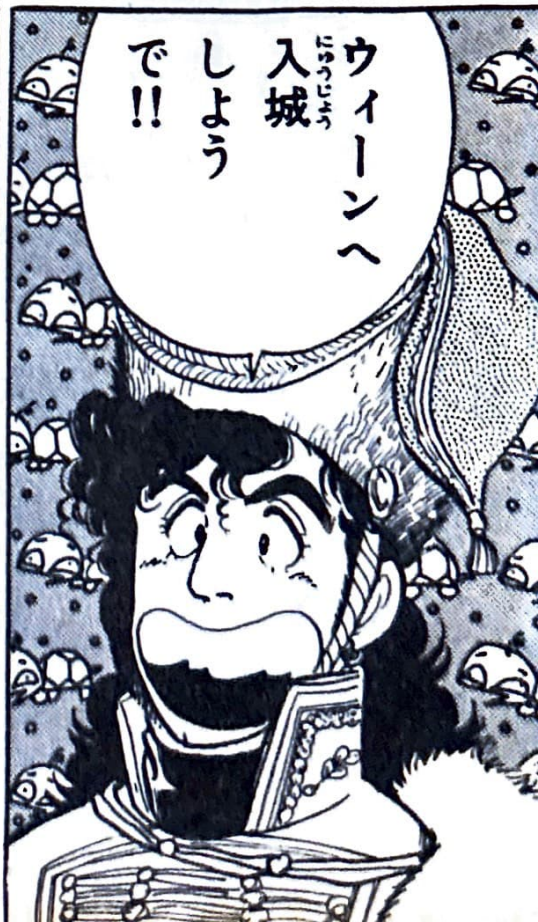

そうは
させるかいな
ええかミュラ
クツーゾフを
ウィーンに
いれたら
あかんで
わかっとる
がな
騎兵軍団司令
ミュラ元帥
フランス大陸軍
第5軍団司令　ランヌ元帥

ほんまに
わかっとんのか
がは
はは
わかっとるわい
わいの頭は
ウィーン入城のための
作戦でいっぱいや
どんな
作戦や
行軍のときは
よごれるさかい
このみどりの服
着といてやな
入城のときは
まっさらの
白で金ぶちの服を
着てめだつ…と

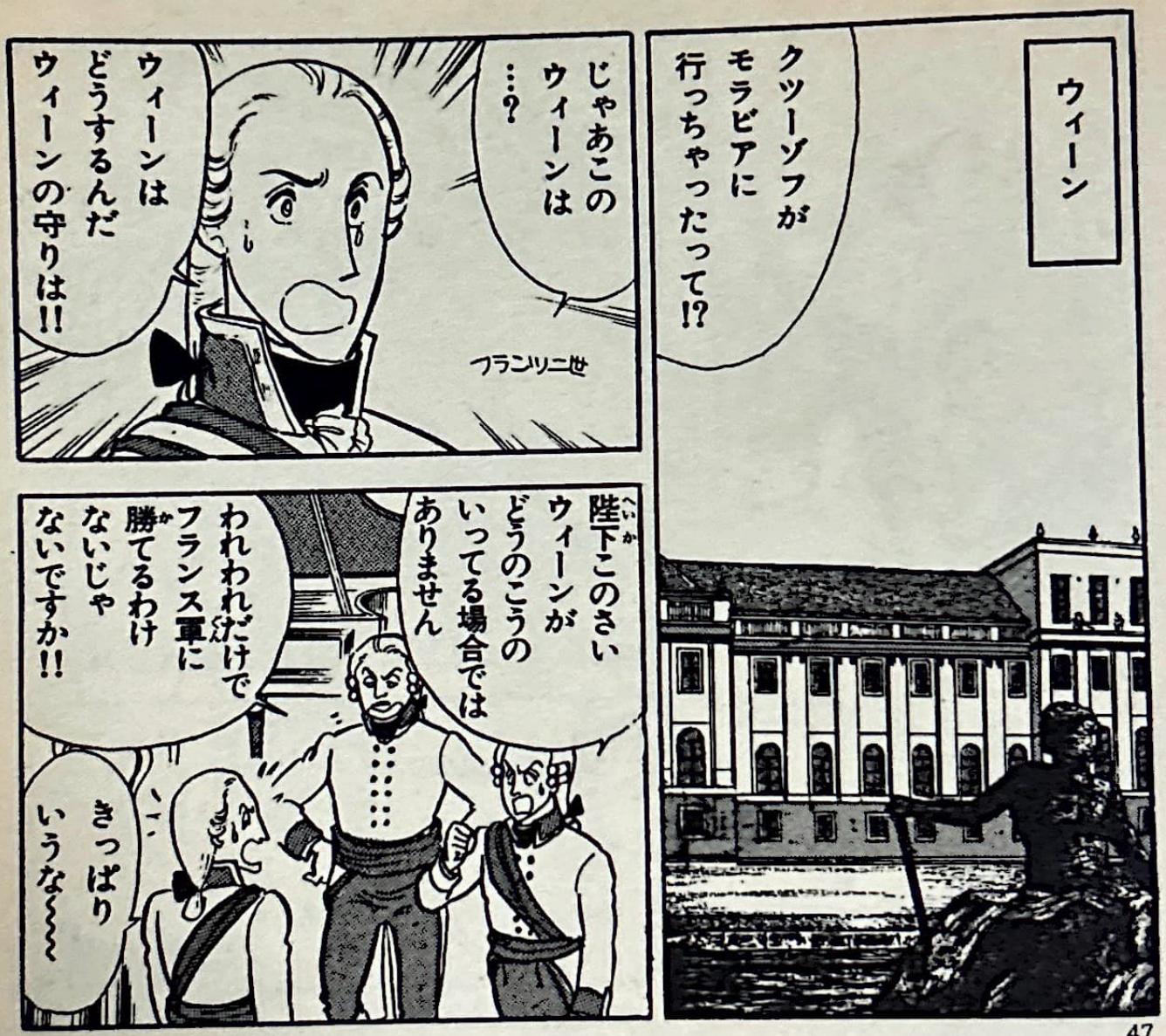
われわれは
行軍だけで
マックを
敗った
——つぎは
クツーゾフだ
奴は
オーストリア軍を
つぶされ
主力軍からは
遠くはなれ
孤立している
フランス軍本営

こいつはでないのだけがとりえなんだ

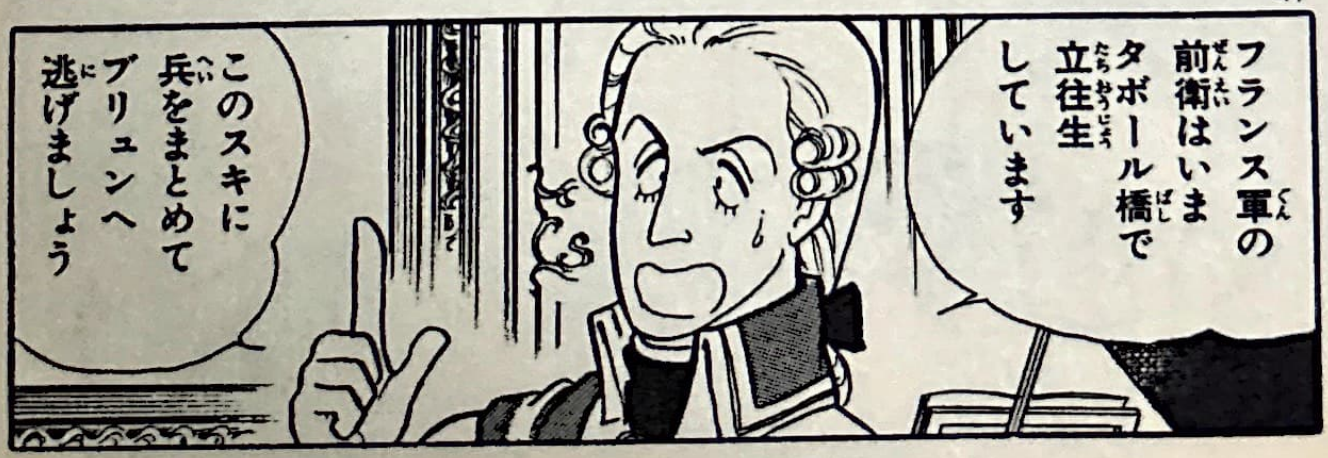
46



第3章　シェングラーベン



47



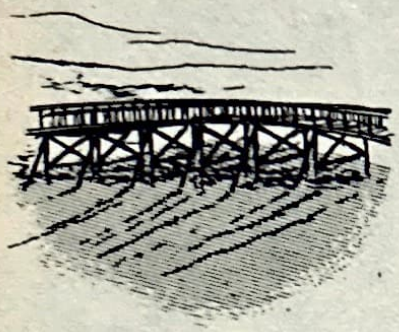
攻撃したかて
橋を爆破されたら
おしまいや

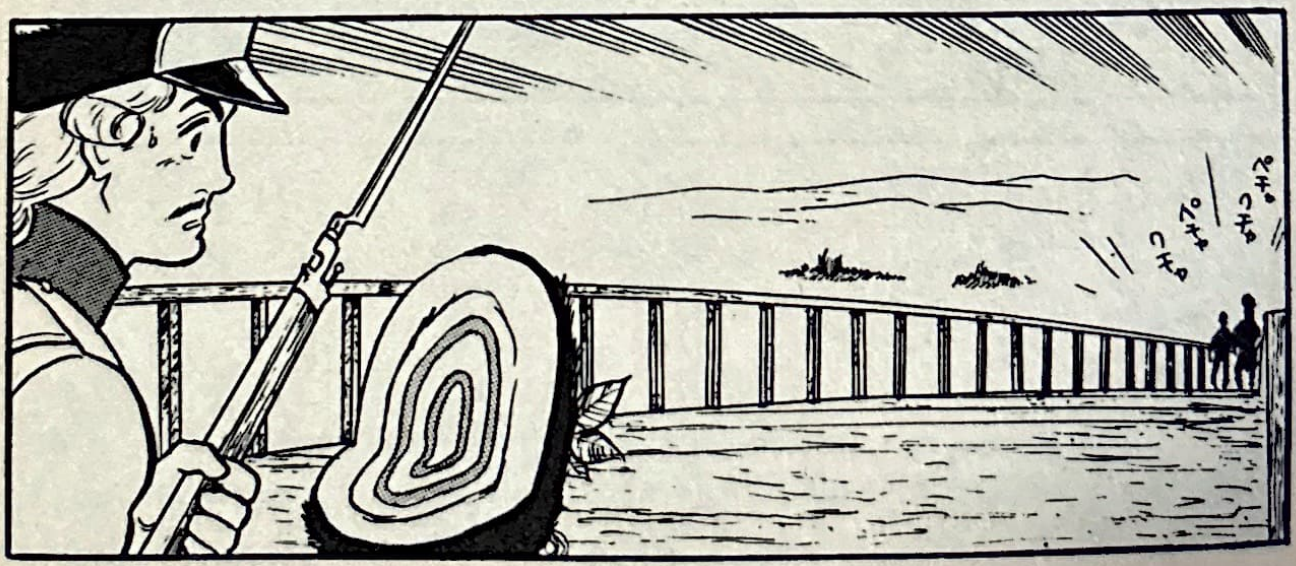
ほんなら
どないせえ
ちゅうんや

いい方法が
ひとつだけ
ある…

——ばかばかしい
作戦やけどな

うまくいったら
おなぐさみや





ぽかーん
やあ
オーストリアの
みなさま
グーテン
モルゲン！
プチ
ワキャ
グ…
グーテン
はっ
とまれ!!
なんの用だ
!!
50
ああもう
そんな
ブッソーなもの
しまっとくなはれ
なにっ
？

休戦や
休戦条約が
締結
されたんや

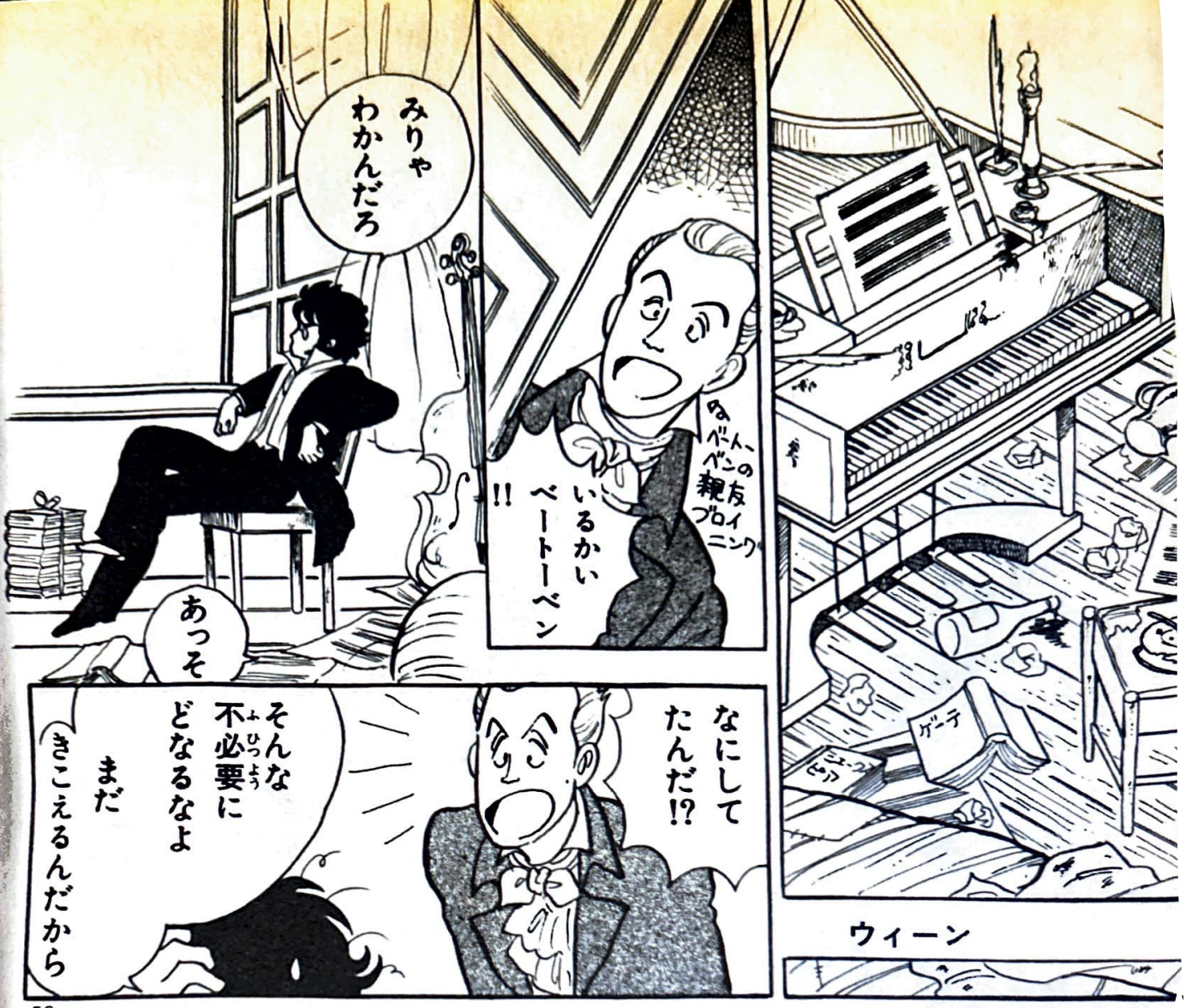
これで
戦争はおしまい
みなさん解散
はい
それまでよ

う…
うそだ!!

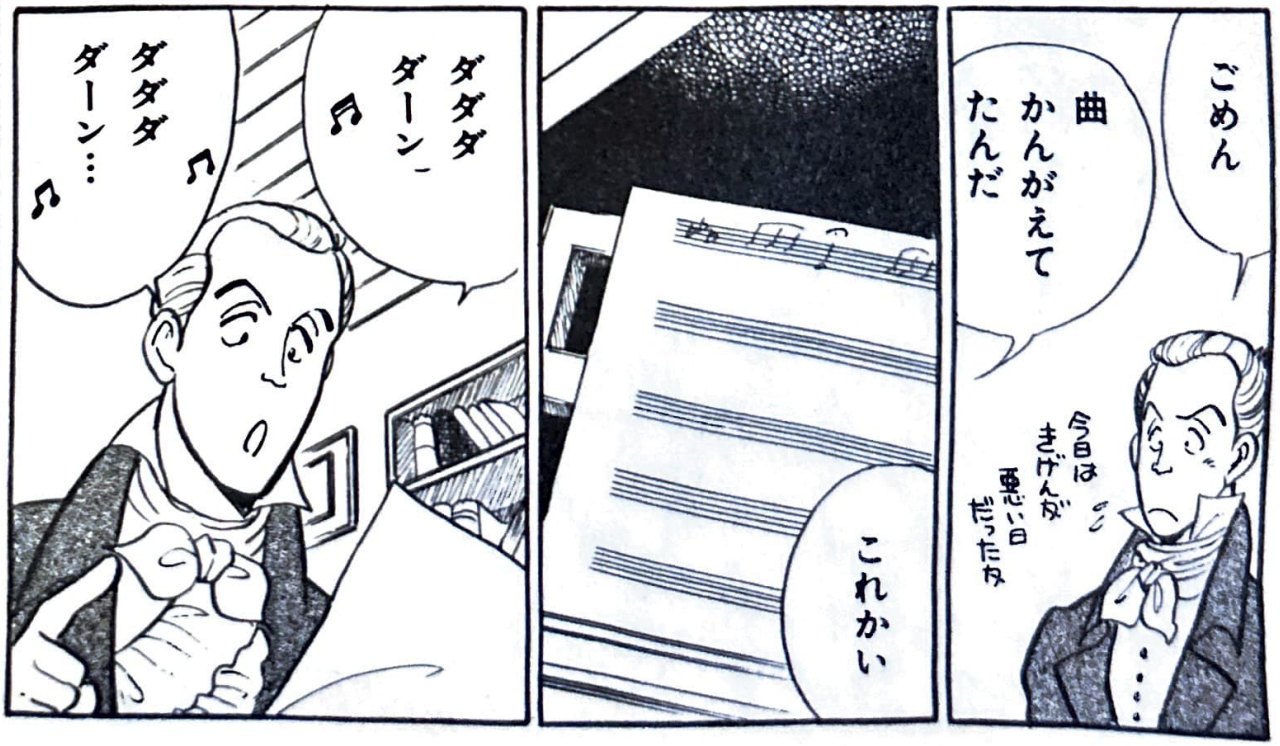
うそや
おまへんて
わいらは
元帥でっせ

元帥がそんな
せこいうそ
つきますかいな

ガカ
ガカ

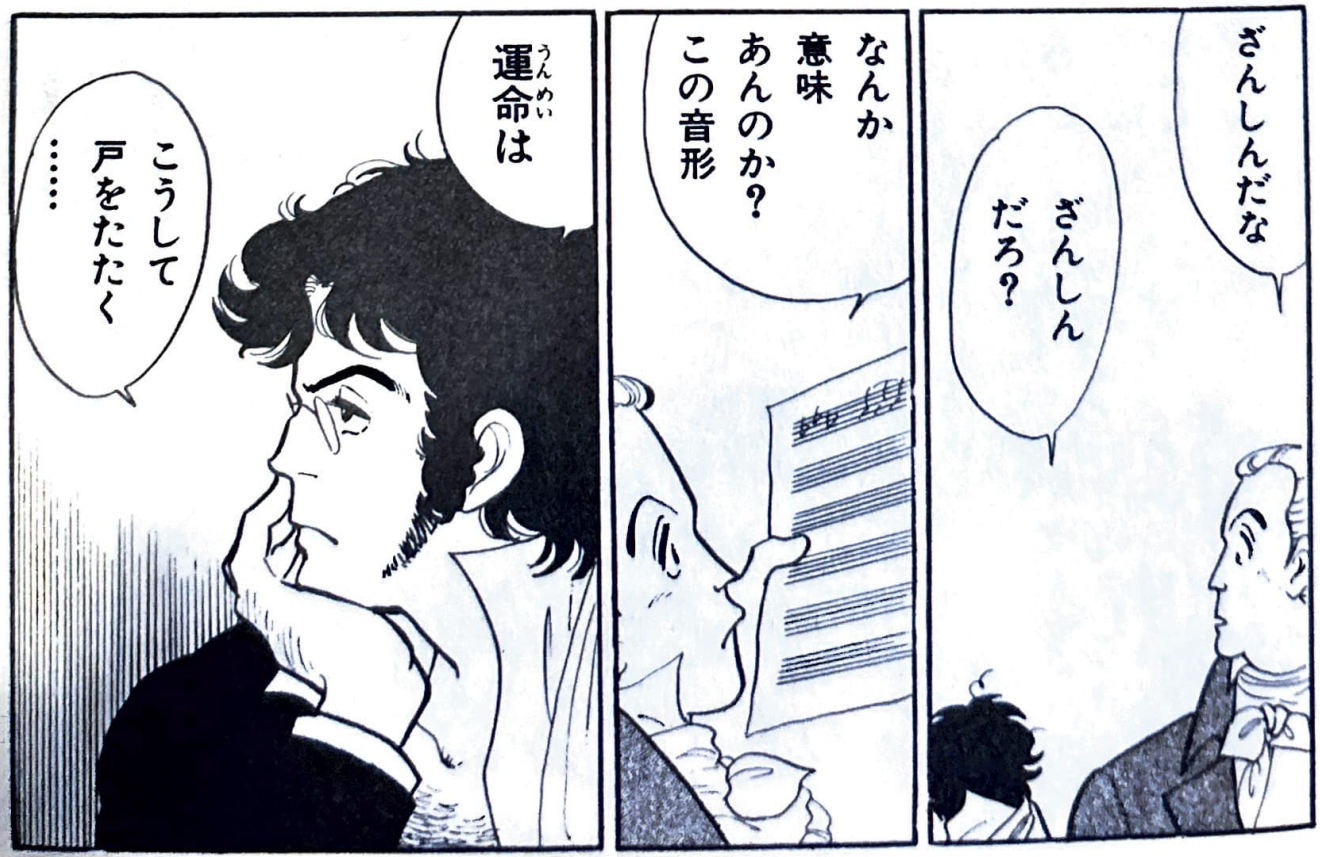

みりゃ
わかんだろ
ベートーベンの親友ブロイニング
いるかい
ベートーベン
!!
あっそ
なにして
たんだ!?
そんな
不必要に
どなるなよ
まだ
きこえるんだから
ウィーン

52


ごめん
曲
かんがえて
たんだ
今日は
きげんが
悪い日
だったな
…
これかい
ダダダ
ダーン♪
ダダダ
ダーン…♪

30代のベーさんはめがねをなけてたんだよ

53



なんだ
かっこいいな

かっこいいだろ？

ホントは
深い意味は
ないんだ

運命か
いまのウィーン
みたいだな

タボール橋の
一件
きいたか
まんまと
フランスの元帥に
だまされて

橋をあけわたし
ちゃったんだと!!
まぬけ
だよなあ

オーストリア軍
なんてその程度の
もんじゃねえか

※レオノーレ（現在のフィデリオ）

お前も
たいへんだな
もうすぐ
お前の
※はじめての
オペラの
初演だと
いうのに

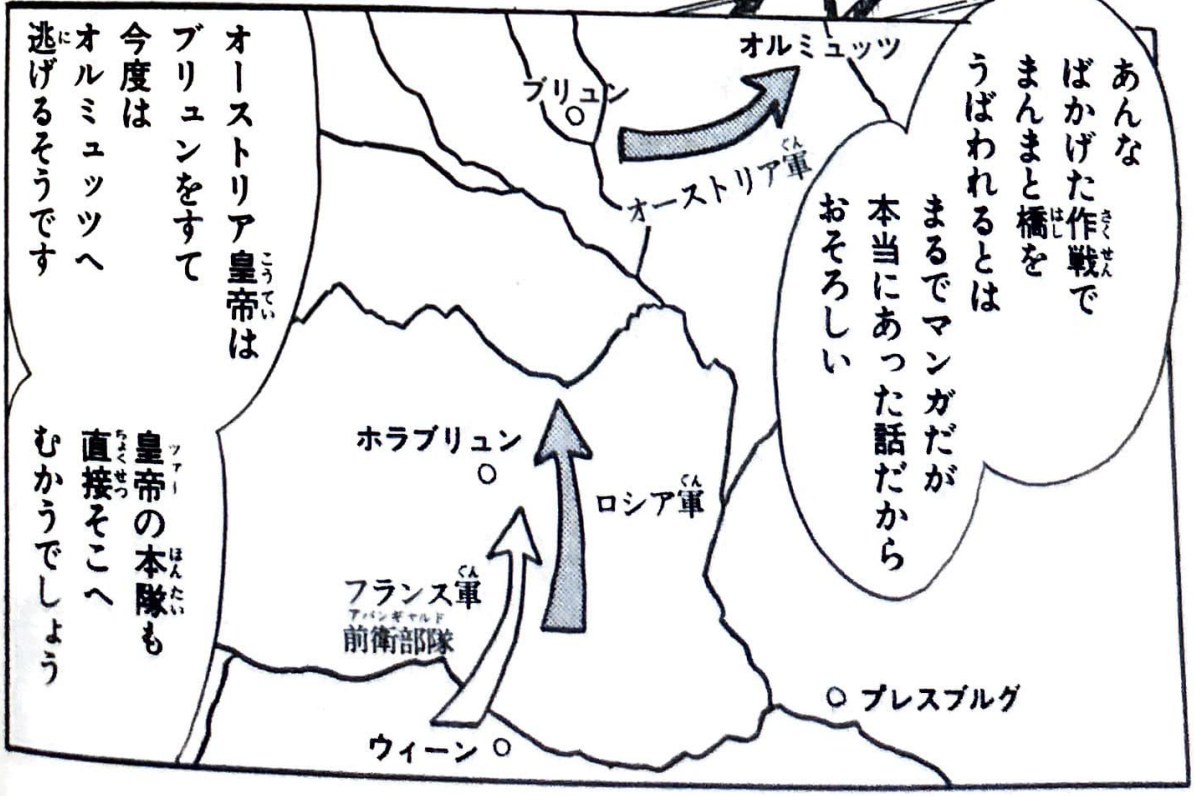
貴族は
みんな
街から
逃げちまったし

もうすぐ
ウィーンは
フランス軍に
占領
されちまう
客なんか
一人も
こないかも
しれんぞ

客がこなくても
初日はあける
がんこ者
55
ありがとさん
「エロイカ」はロプコビッツ公にあげるんだって？
ナポレオンにくらべりゃロプコビッツなんてクソみてえなもんだ
ああ…くれくれってうるせえからな

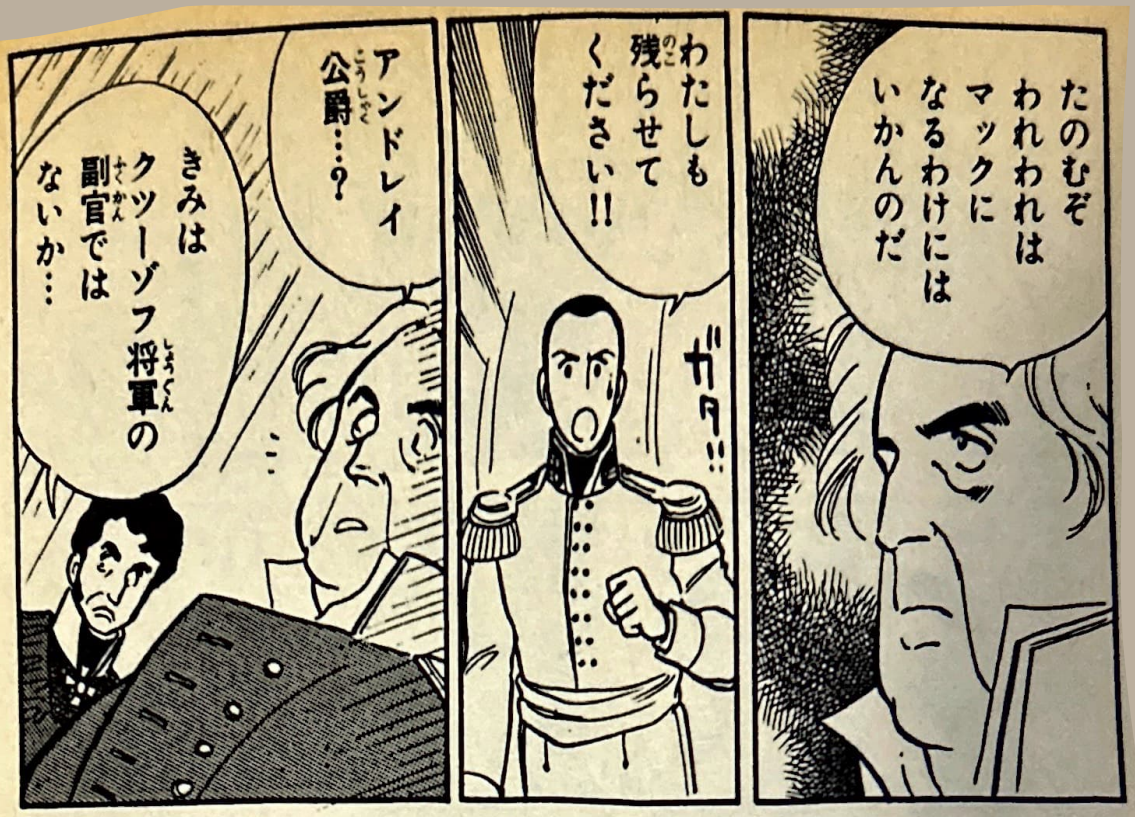
ルイ…？
さむいな
しめるぞ
雪でも
ふるのかな

56


あんな
ばかげた作戦で
まんまと橋を
うばわれるとは
まるでマンガだが
本当にあった話だから
おそろしい
オーストリア皇帝は
ブリュンをすて
今度は
オルミュッツへ
逃げるそうです
皇帝の本隊も
直接そこへ
むかうでしょう
オルミュッツ
ブリュン
オーストリア軍
ホラブリュン
ロシア軍
フランス軍
前衛部隊
ブレスブルグ
ウィーン

57

ロシア軍　バグラチオン将軍


たのむぞ
われわれは
マックに
なるわけには
いかんのだ
わたしも
残らせて
ください!!
ガタ!!
アンドレイ
公爵…?
きみは
クツーゾフ将軍の
副官では
ないか…

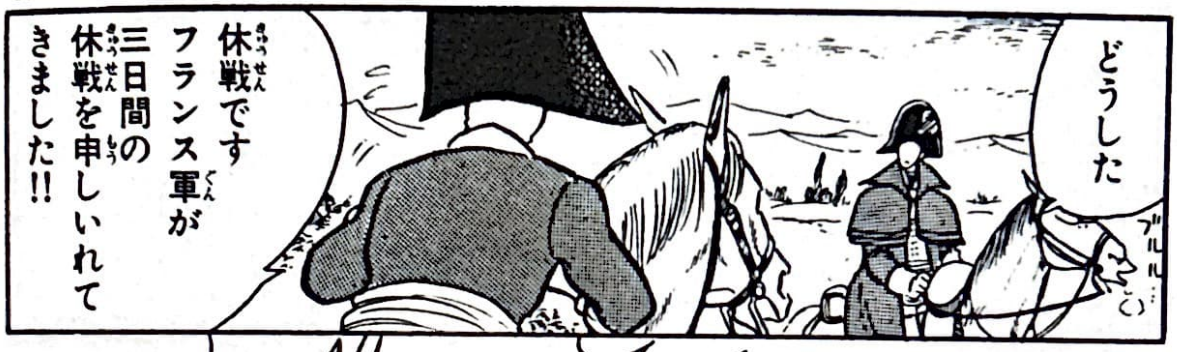
戦闘に
参加したいんです!!
ロシアをでてから
まともな戦闘も
せず
逃げまわって
ばかりいるのは
……

58

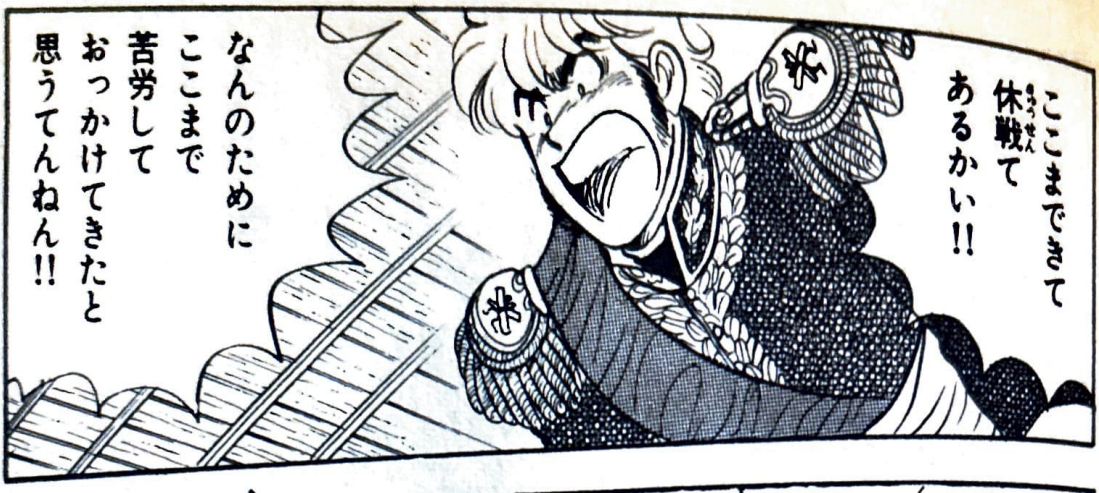
きみは
まだ若いな
逃げるのも
作戦のうちだ
だが
残りたいと
いうのなら
とめはしない

ツナイム街道 シェングラーベン村
いよいよ一戦おっぱじめるらしいな!!
59
どうした顔が青いぞロストフ
だっ…大丈夫です
ナターシャのお兄さん
へ――やっとだぜ逃げてばかりでケツがむずがゆくってしゃーねかったんだ
お前元気だなあ…おれなんか強行軍で寝てないし足は棒みたいだしろくなもん食ってねえし…

おりゃな
酒さえあれば
元気いっぱい
なのよ
わはは
…たしかに
みんなつかれきってる
これだけの兵で
フランス軍をくいとめ
られるかどうか…
アンドレイ
公爵!!

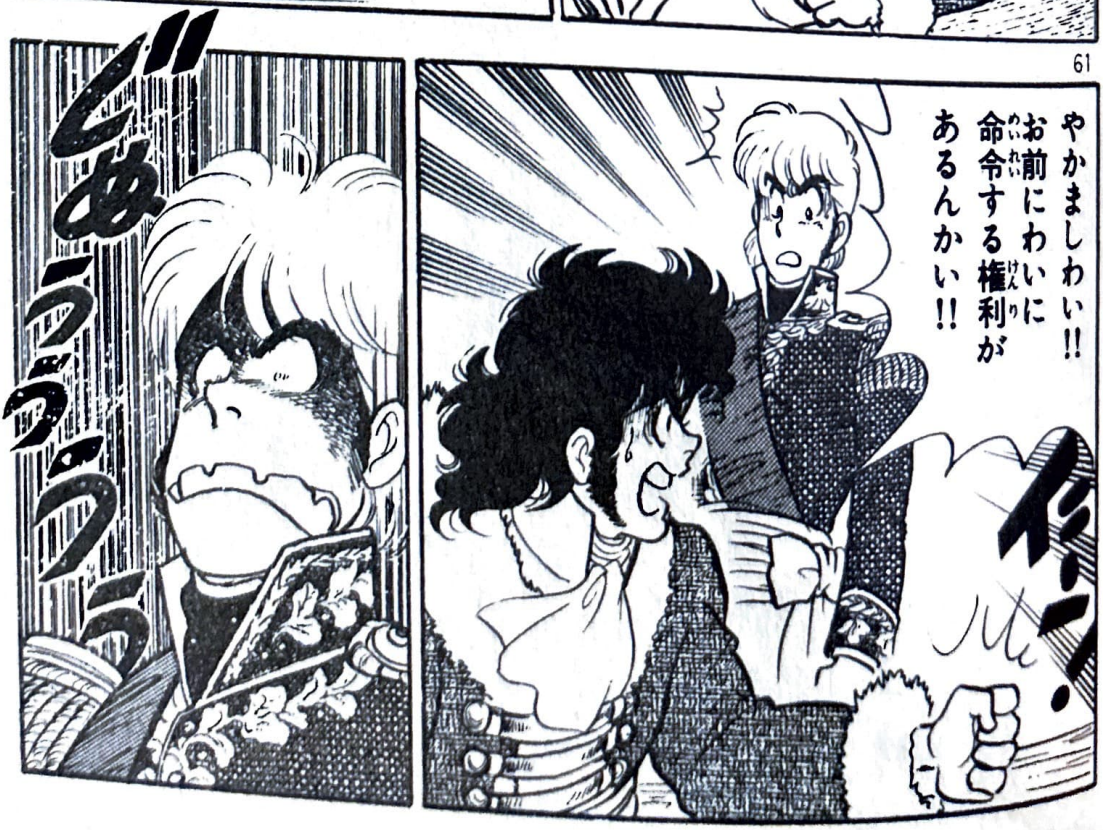

どうした
ブルルル…
休戦です
フランス軍が
三日間の
休戦を申しいれて
きました!!

なに!?
とぁほ!


ここまできて
休戦て
あるかい!!
なんのために
ここまで
苦労して
おっかけてきたと
思うてんねん!!

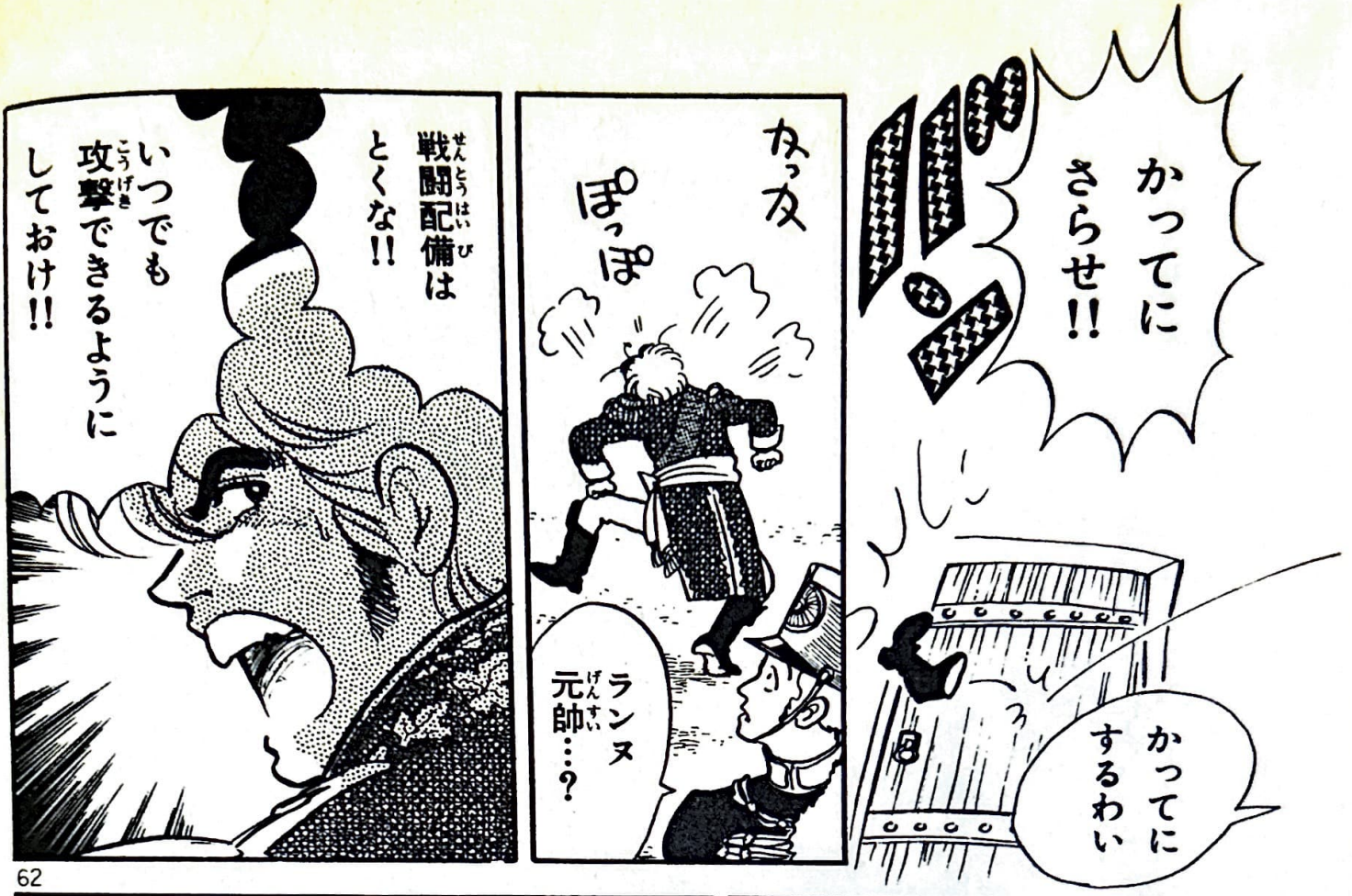
そうや!!
その追撃で
馬も兵も
くたくたや!!
せやから
本隊がくるまで
休もうていうてんのや!
あほオ!!
こっちが休む
ちゅうことは
むこうにも休みを
あたえるこっちゃで!!

61

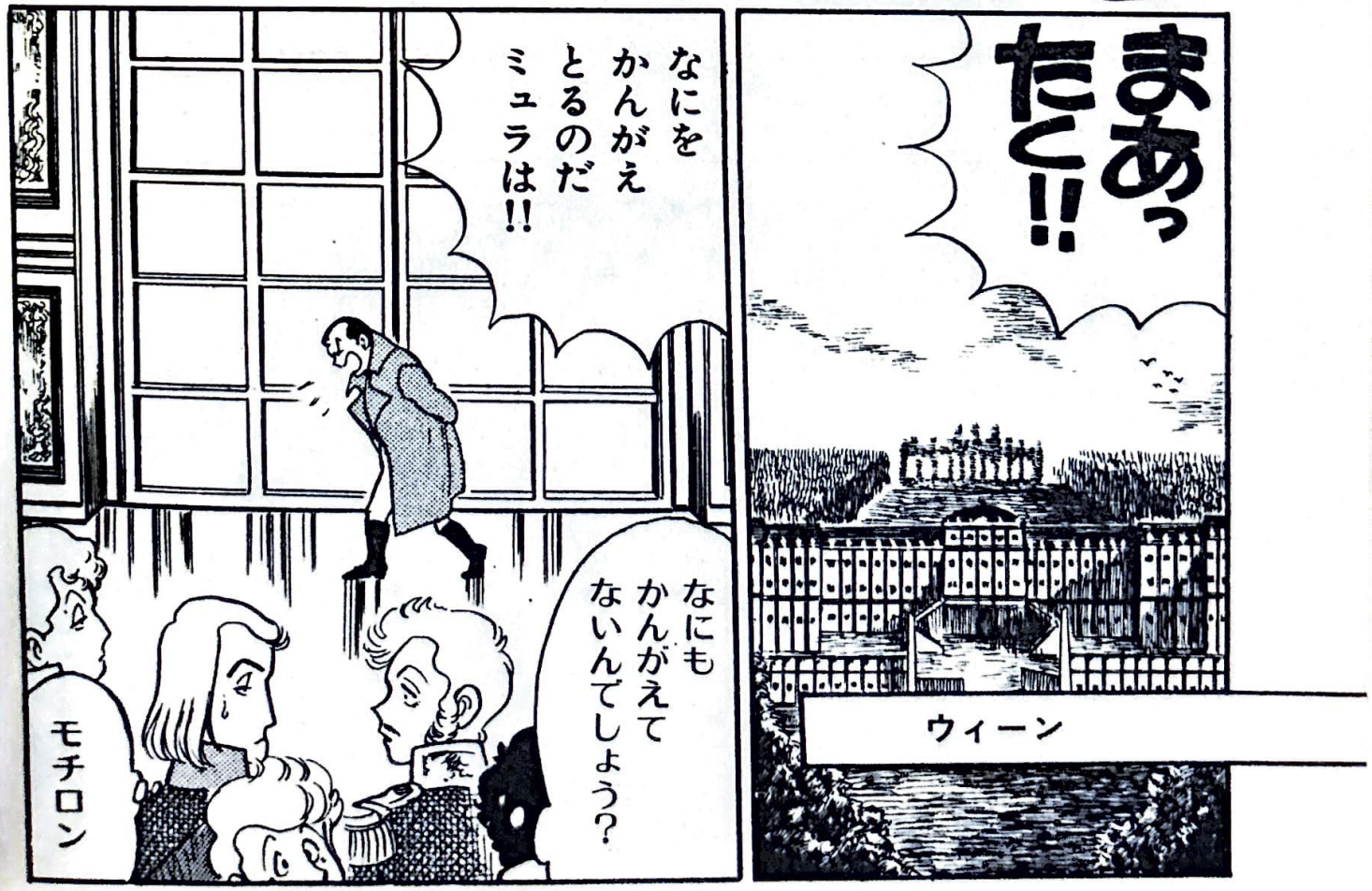

やかましわい!!
お前にわいに
命令する権利が
あるんかい!!
ぐぬぬぬ

ここまできて休戦てあるかい!!
なんのためにここまで苦労しておっかけてきたと思うてんねん!!
そうや!! その追撃で馬も兵もくたくたや!!
せやから本隊がくるまで休もうていうてんのや!
あほォ!!
こっちが休むちゅうことはむこうにも休みをあたえるこっちゃで!!
やかましわい!! お前にわいに命令する権利があるんかい!!
ドン!
ぐぬうううう

61


かってにさらせ!!
かってにするわい
カッカ
ぽっぽ
ランヌ元帥…?
戦闘配備はとくな!!
いつでも攻撃できるようにしておけ!!

62


まあったと!!
ウィーン
なにをかんがえとるのだミュラは!!
なにもかんがえてないんでしょう?
モチロン

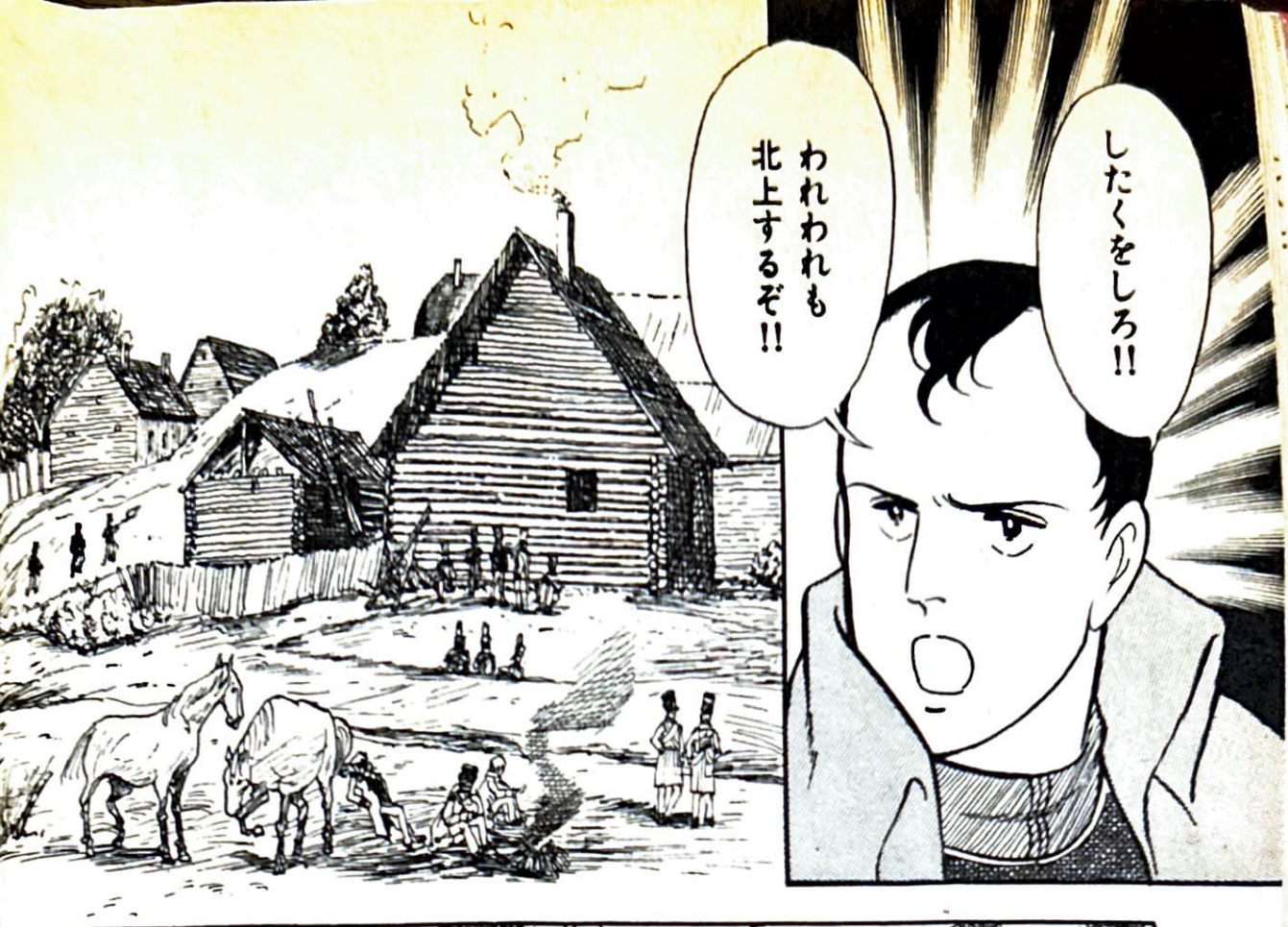
すぐつかいをやって
ミュラに攻撃を
開始させろ!!
もっとも

敵はもう
十分休息を
とってしまった
前衛だけでは
シェングラーベンは
ぬけない

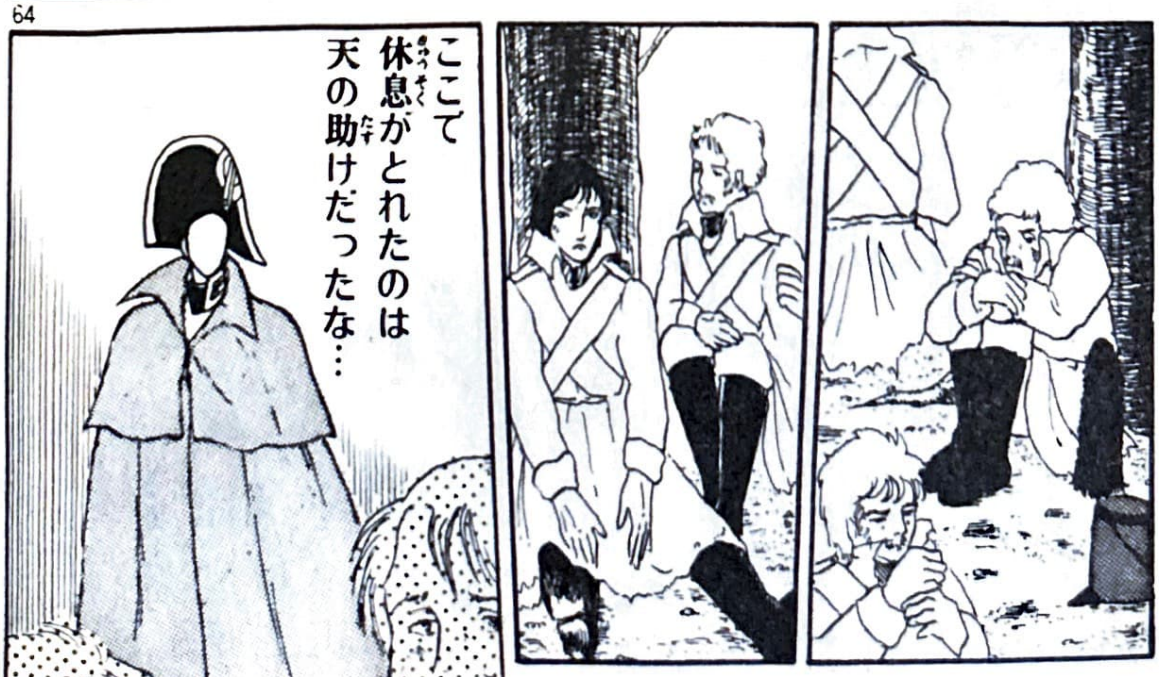
63

クツーゾフは
オルミュッツで
ロシア主力軍と
合流してしまう
だろう
…とすると
ウィーン北方での
一大決戦は
まぬがれない

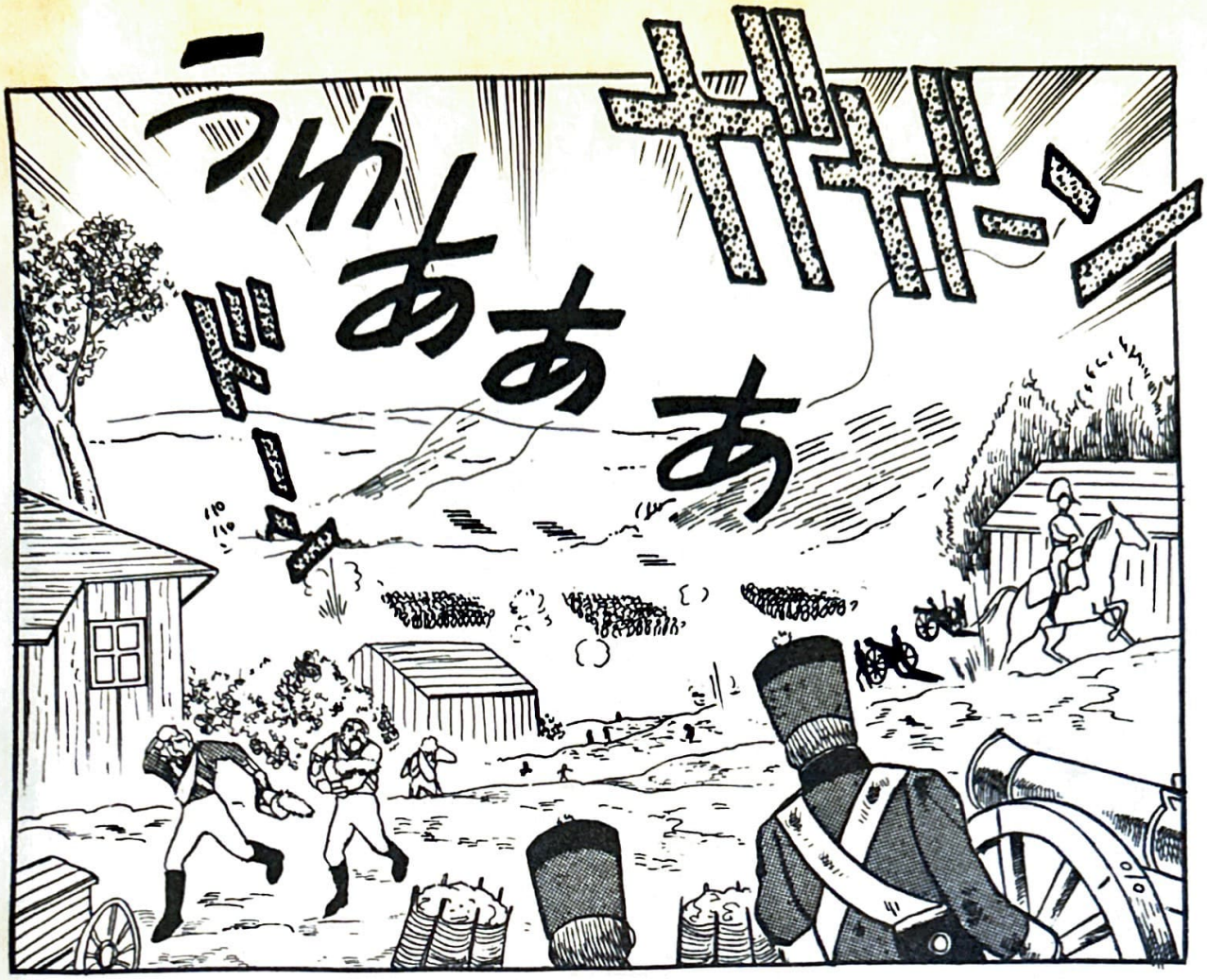
よし
ゴチ
だ
ずる
あたっ



64



ドドド
はじまった…!!


ガガーン
うわあああ
パパン

66

ほら
みてみい
やっぱり
おこられた
やんけ!!
あほんだら
あほんだら
あほんだら
あほんだら
あほんだら
じゃか
ましーわい
すぎたことは
しゃあない
やんか!!
そんな
なんべんも
いわんでも
わいは
あほや
!!

こうなりゃ
皇帝(こうてい)が
こっちにくる前に
たたきつぶし
たる!!
行けえ
――っ

アンドレイ
砲撃が
はじまった!!
われわれも
突撃
するぞ!!

はい!!

突撃!!

67

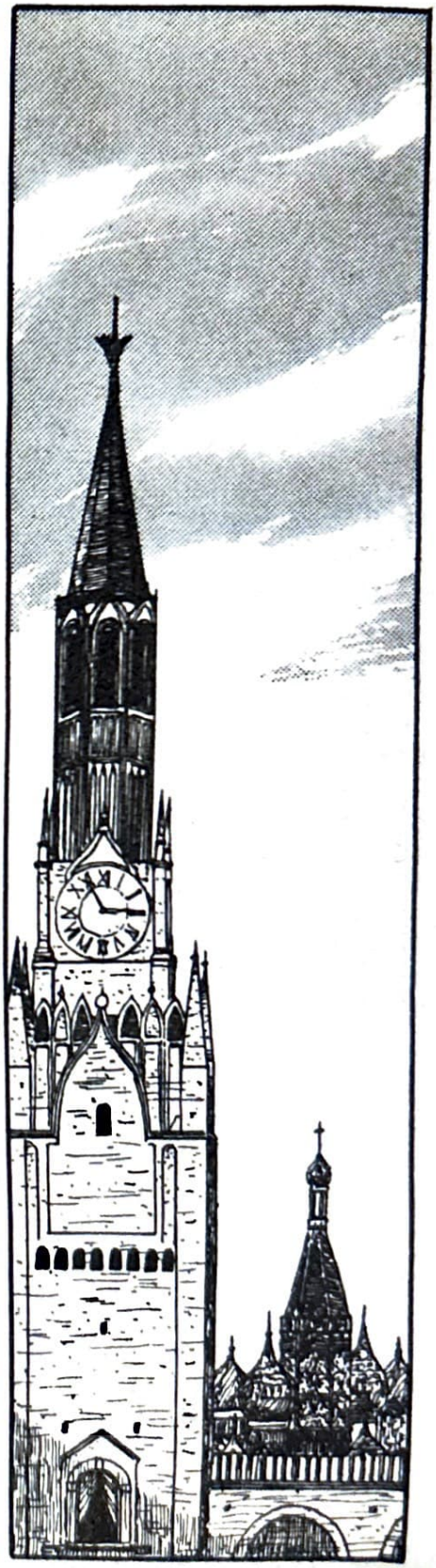
バグラチオン軍四千の兵は
ナポレオンにおこられて
焦ったミュラの前面に展開し
よくこれをくいとめた

バグラチオンがフランスの前衛と戦ってるあいだにクツーゾフ軍は無事にオルミュッツへ逃げた

激烈をきわめた戦闘も日暮れとともにおわりバグラチオンの残兵もクツーゾフのあとを追って退却した

翌日フランス軍は攻撃を断念——ロシア軍の前衛はオルミュッツで無事主力軍と合流をはたした

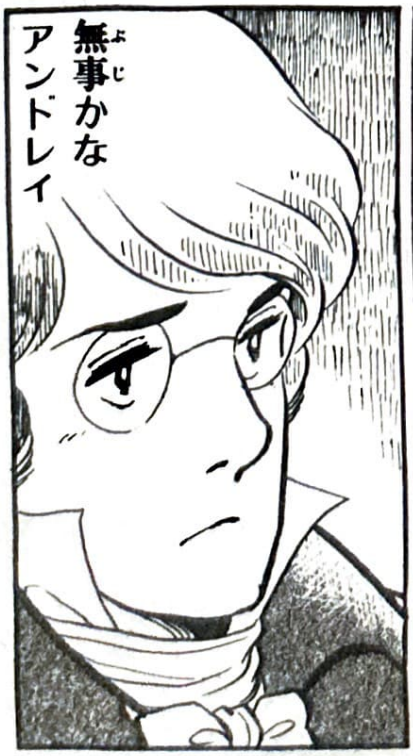
第4章　地上の星座



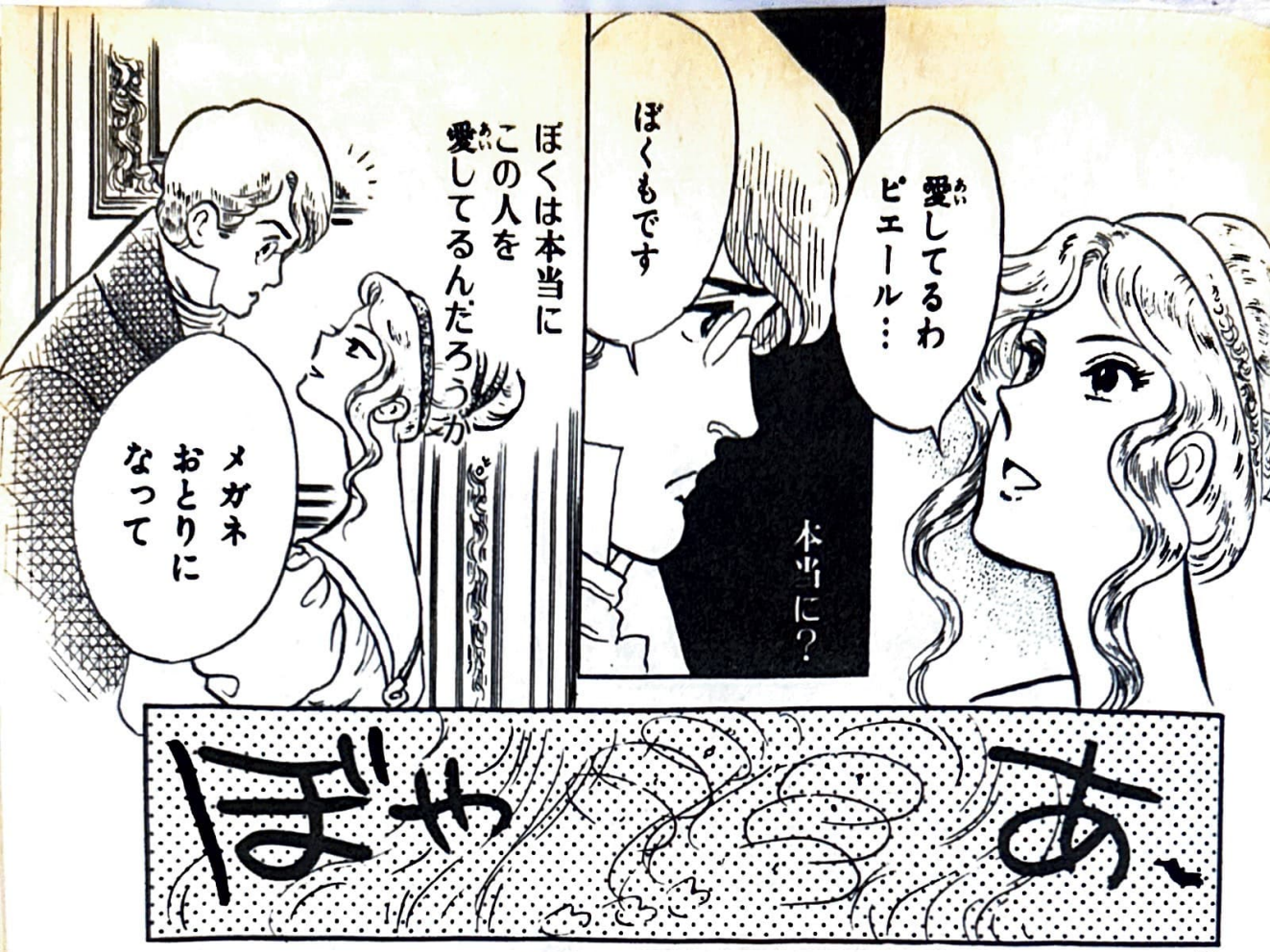
きき ましたか
わが ロシア軍と
とうとう
フランス軍と
戦ったそうですよ
それで
勝ったのですか
…それとも…
きまってるじゃ
ありませんか
大勝利ですよ!!

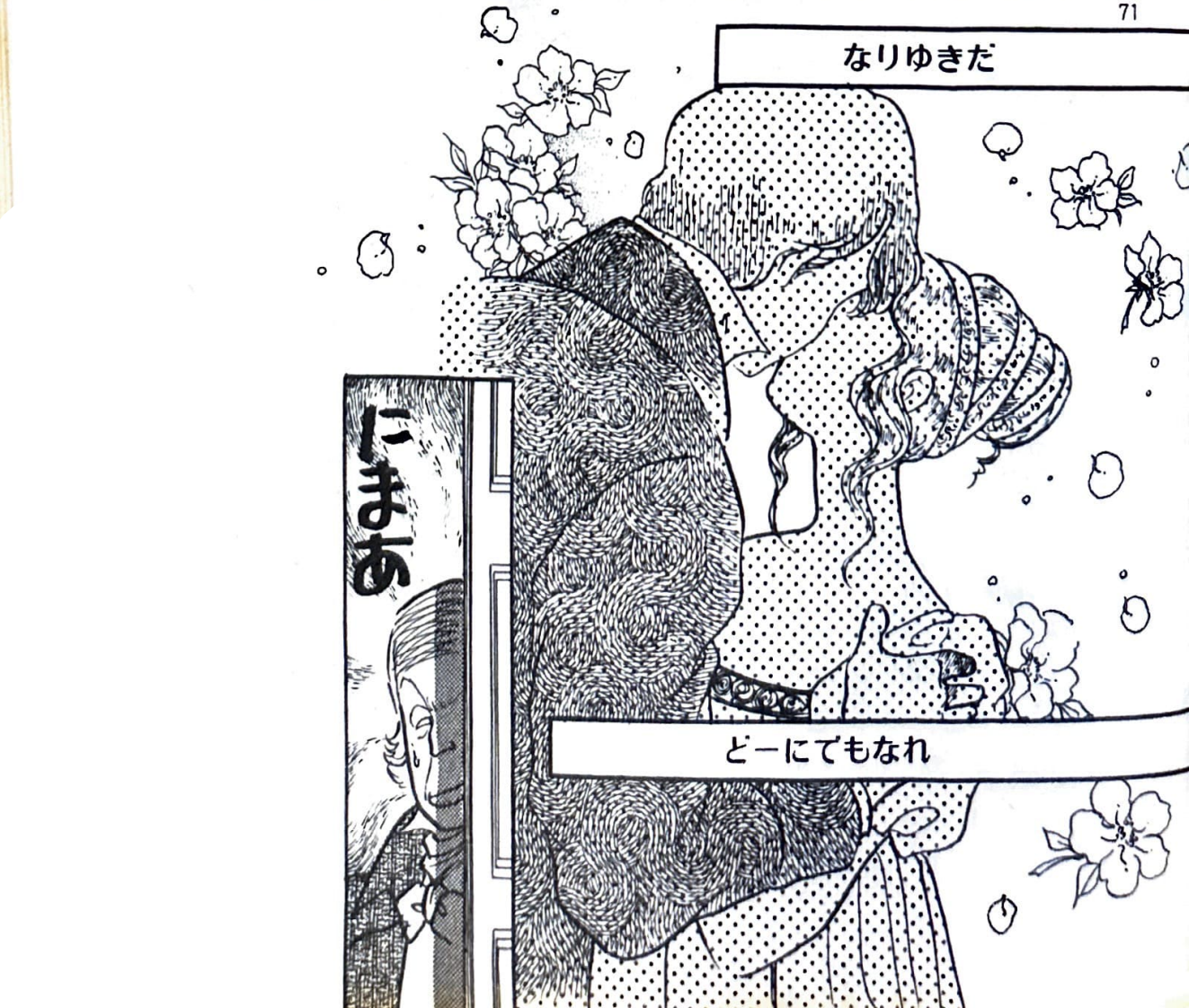
69

今ごろは
皇帝の本隊と
合流して
フランス軍の
息の根を
とめるために
動いてるころで
しょう
……


無事かな
アンドレイ

ここの人たちを
みていると
同じヨーロッパで
戦争が
おこっている
なんて
信じられ
ないな
まるで
巨人阪神戦の
ゆくえでも
話しあってる
みたいだ…
ピエール君
よかったよ
決心して
くれて
きみは地位も
名誉もある
あとは
よき妻を
めとり
よき家庭を
きずく…
娘のエレンは
きっときみを
幸せにして
くれるよ


愛してるわ
ピエール…
ぼくもです
本当に?
ぼくは本当に
この人を
愛してるんだろうか
メガネ
おとりに
なって
ぼやあ〜


なりゆきだ
どーにでもなれ
にまあ

フランス軍の
追撃をのがれ
ロシア・オーストリア
連合軍は
ようやく
オルミュッツで
合流した
アレクサンドル・
フランツ両皇帝は
きたる決戦を前に
士気を高めるため
大閲兵式を
おこなった
みてください
フランツ皇帝
みな意気
さかんです
大丈夫
われわれは
きっと
あのコルシカ男に
勝てますよ
ロシア皇帝
アレクサンドル一世

ブリュン近く
フランス軍野営地

とうとう
ロシア軍は
合流して
しまったか
……

これ以上
追撃するのは
不可能だ

ここまでが
行動の
限界だ…

1805年10月21日

陛下！

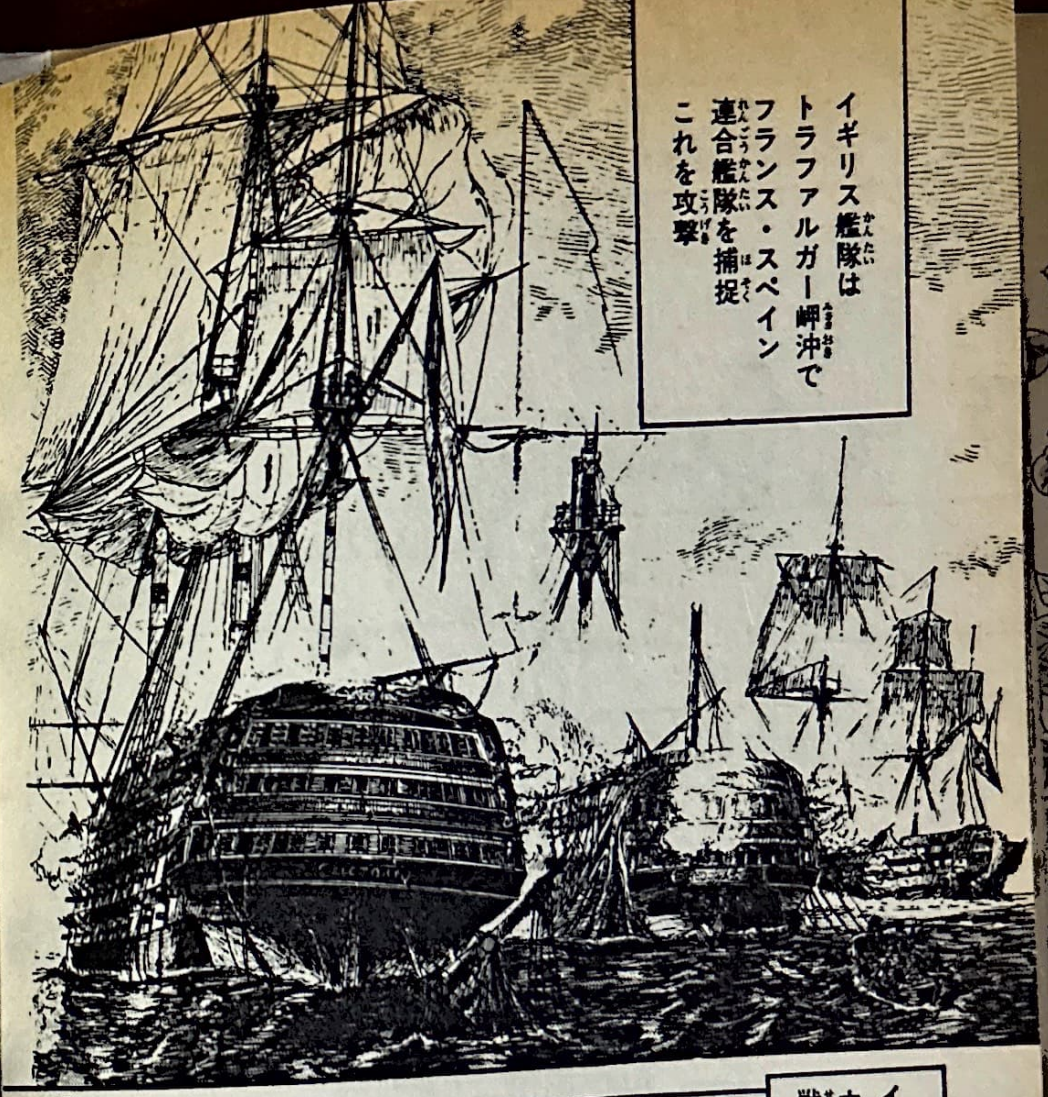
73

どうした

――た…
たいへんです!!

※「ENGLAND EXPECTS THAT
EVERY MAN WILL DO HIS DUTY」

※イギリスは諸君がその義務をなしとげることを期待する



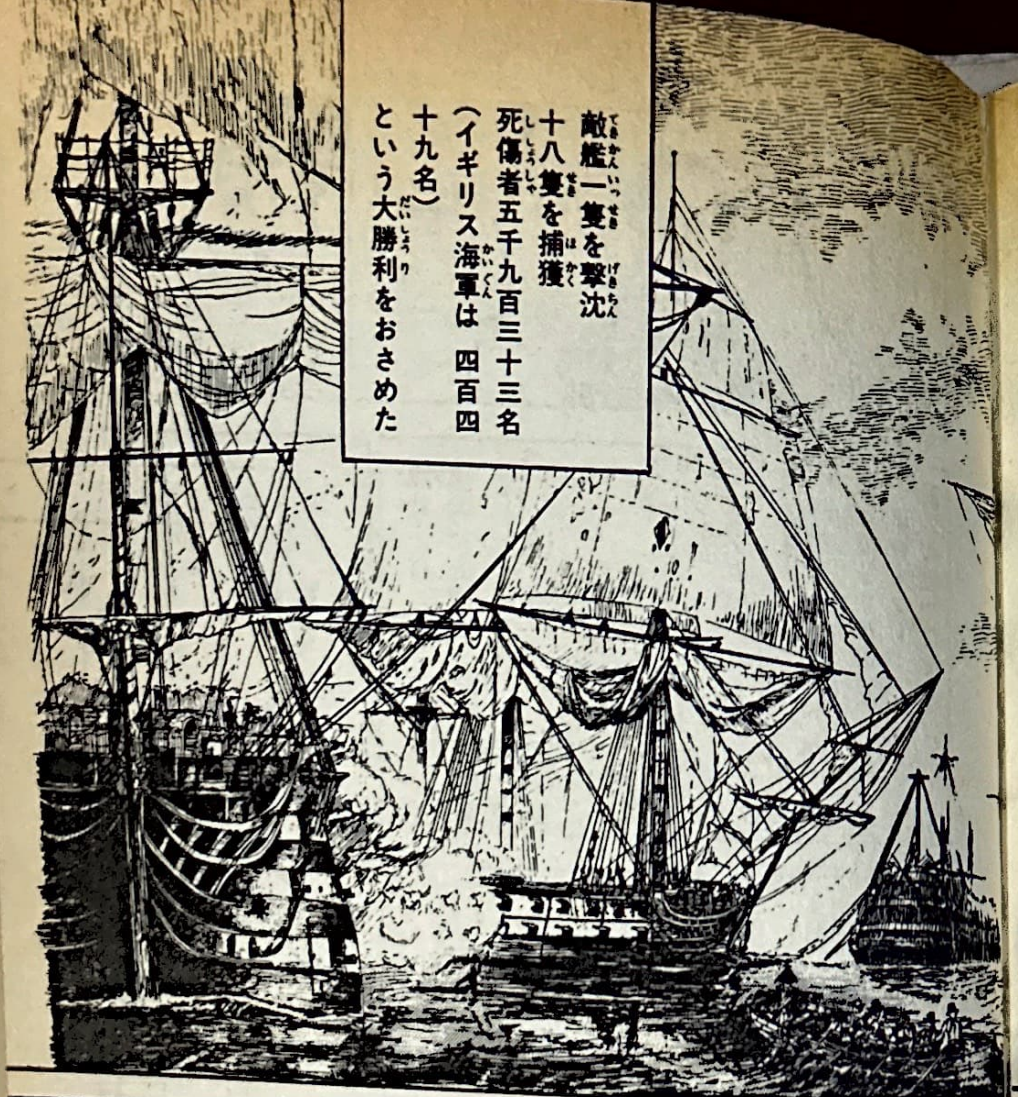
イギリス艦隊は
トラファルガー岬沖で
フランス・スペイン
連合艦隊を捕捉
これを攻撃

イギリス艦隊司令
ホレーショ・ネルソン提督は
戦闘ちゅう敵弾にたおれ

Thank god
神に感謝する

I have done my duty…
わたしは義務をはたした…

という
言葉を残し
壮烈な最期を
とげたが



敵艦一隻を撃沈
十八隻を捕獲
死傷者五千九百三十三名
(イギリス海軍は 四百四
十九名)
という大勝利をおさめた

フランス艦隊は
まさに壊滅的な
打撃をうけ

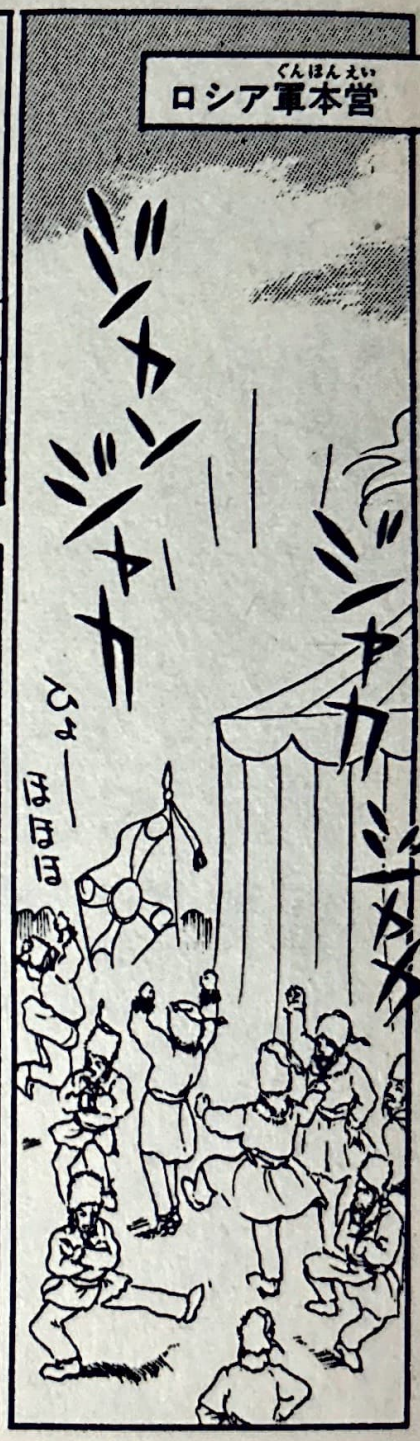
ナポレオンは
地中海における
制海権を
失った

これで
海はおわりだ
……

イギリス本土上陸は
ありえない…

ベルチェ
サバリを
よべ!!

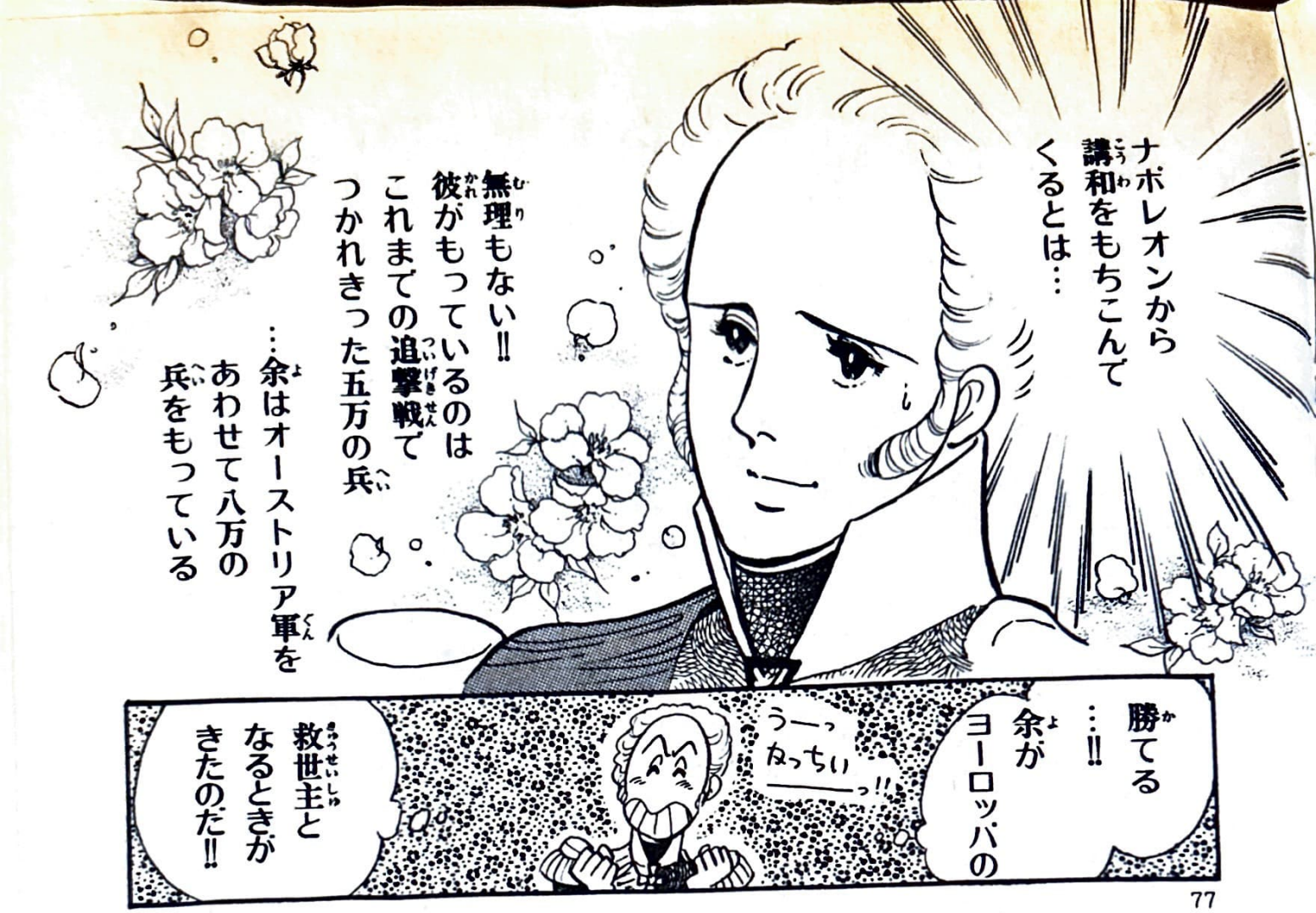
講和…!?
講和だと!?
ははは!!
トラファルガーの
敗戦でさすがの
ナポレオンも
弱気になったな!!


ロシア軍本営
ジャカジャカ
ジャカジャカ
ひょ——
ほほほ

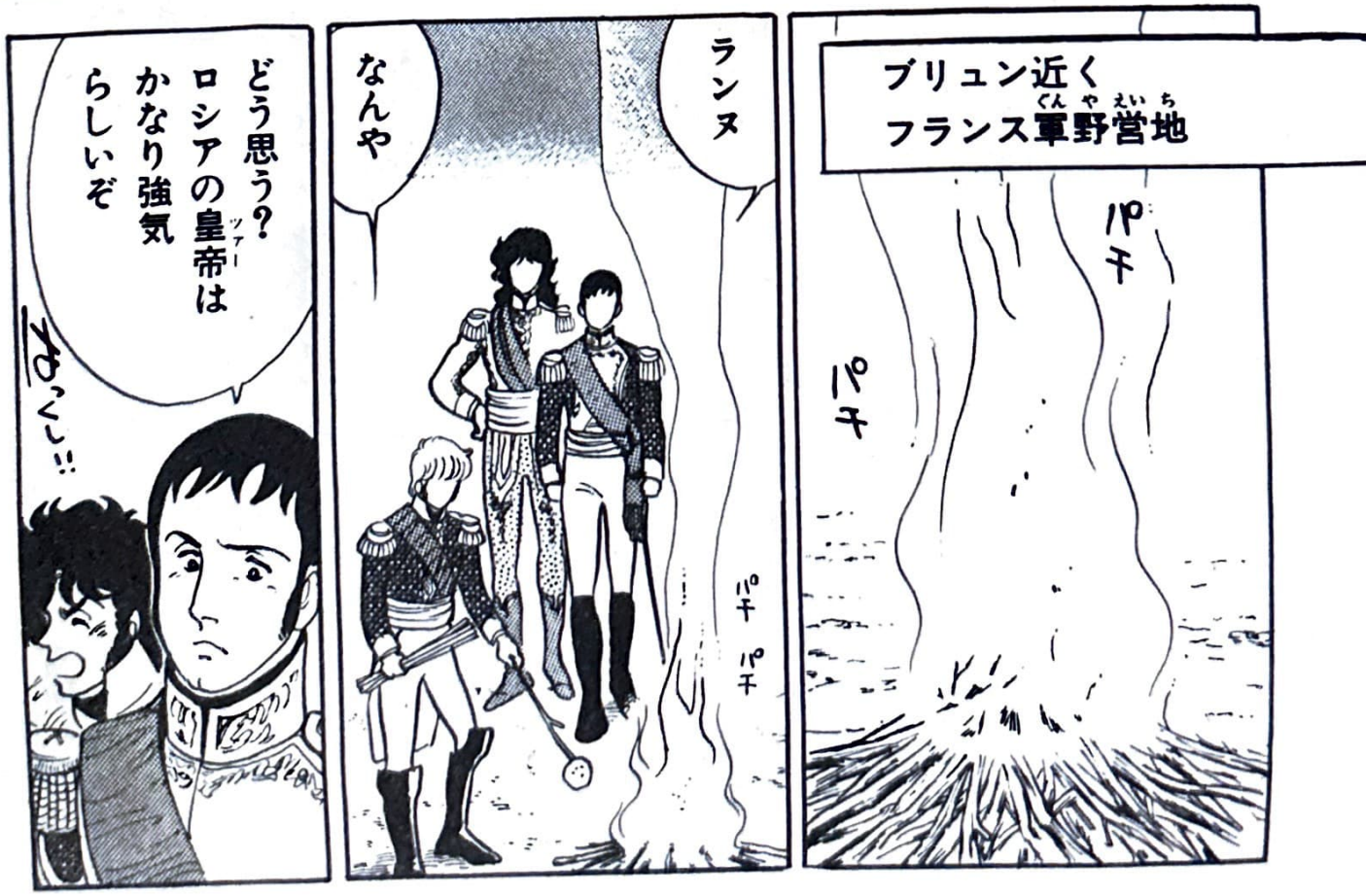
76

帰って
ナポレオン将軍に
伝えよ!!
余はヨーロッパの
平和のために
戦っておるのじゃ
フランスの使者
サバリ将軍

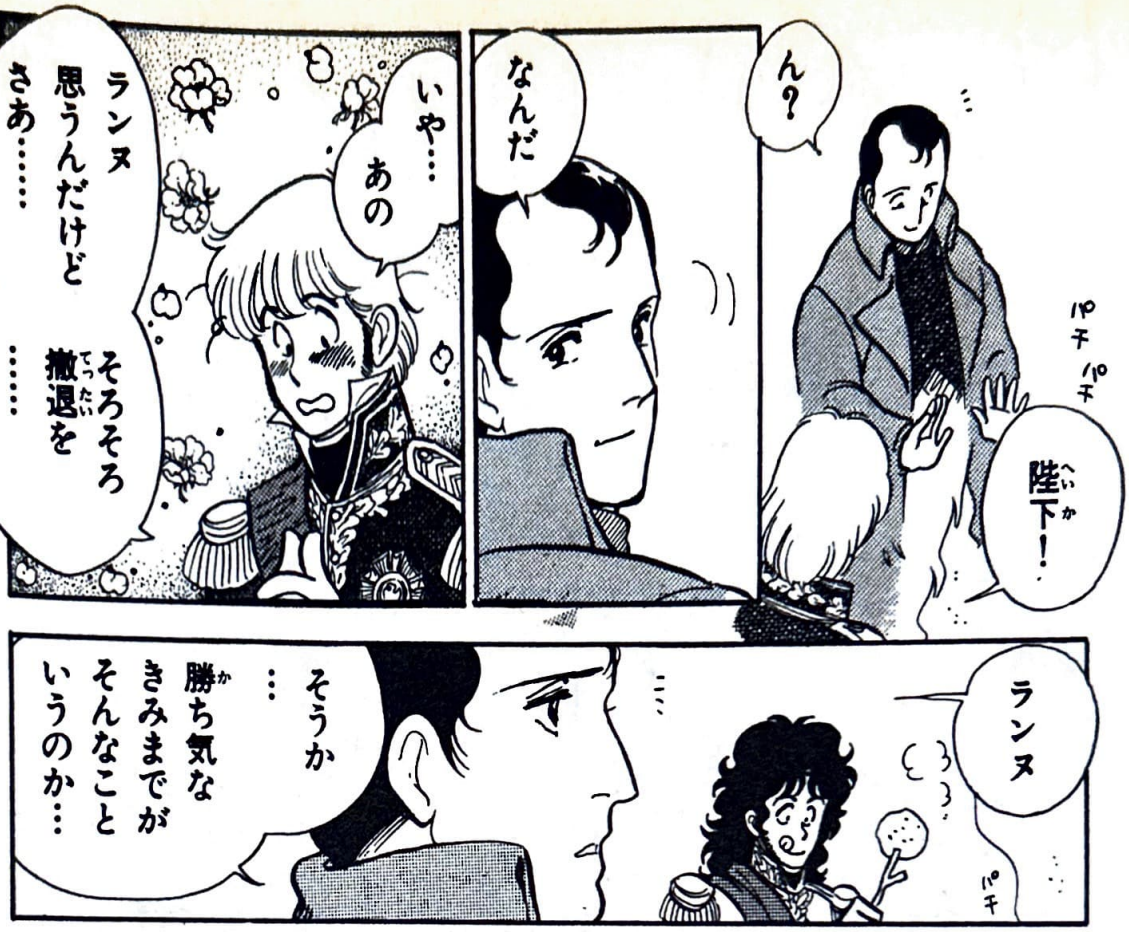
降伏せぬ限り
汝たちに和平の
道はない!!
諸国の
占領をといて
ただちに
国へ帰るがよい!!
ピッ!!
キマッた
!!


ナポレオンから
講和をもちこんで
くるとは…
無理もない!!
彼がもっているのは
これまでの追撃戦で
つかれきった五万の兵
…余はオーストリア軍を
あわせて八万の
兵をもっている
勝てる
…!!
余が
ヨーロッパの
救世主と
なるときが
きたのだ!!
うーっ
ねっちり
っ!!

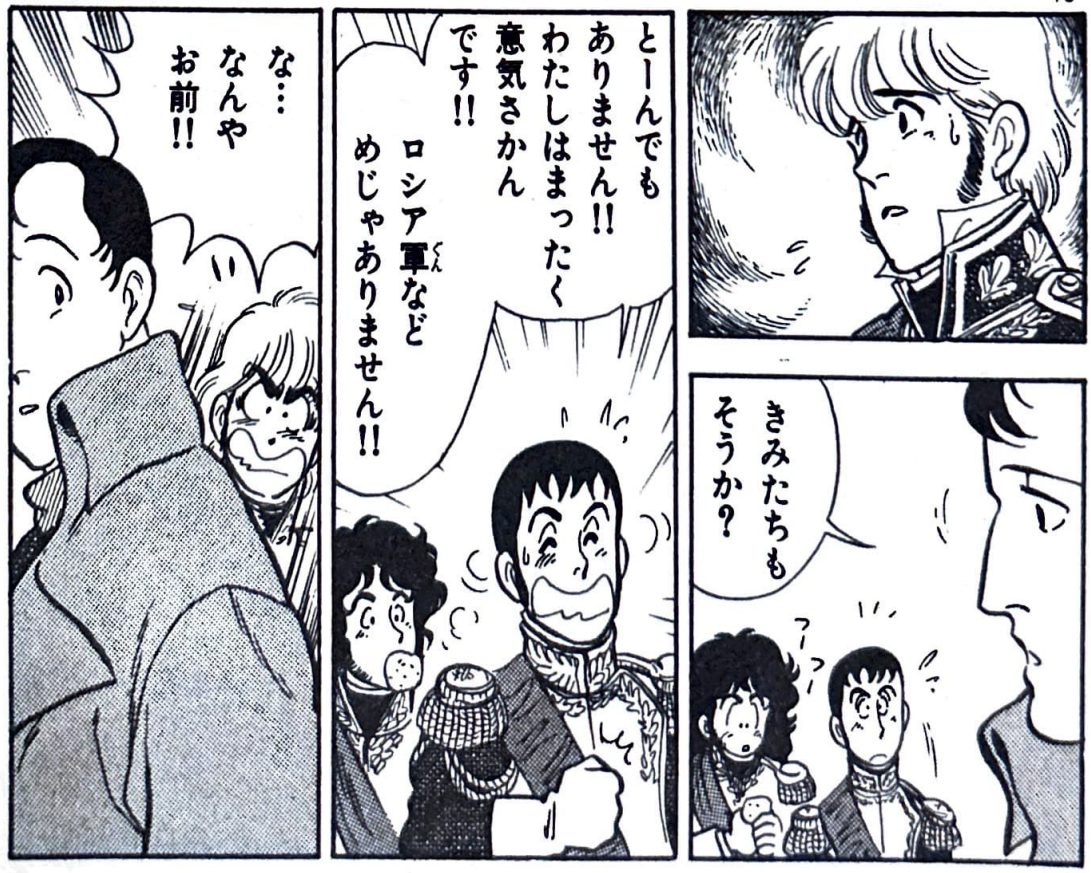
77


ブリュン近く
フランス軍野営地
パチ
パチ
ランヌ
なんや
パチ パチ
どう思う?
ロシアの皇帝は
かなり強気
らしいぞ
なるっくし!!

ラインからドナウとえんえん連合軍をおっかけてきたが…もう限界だ
フランス第4軍団司令
スールト
さむ〜
敵のほうが数は多いしわが軍はつかれきっているし…
ダブー軍はよぶには遠すぎる……
そのうえここは敵国やしな
あほ!!
わかっとるわい!!
仮にオルミュッツに攻撃をしかけてもまた逃げられて——またまた追撃戦や
決定的なダメージをあたえることは不可能や…
潮どきとちゃうか
おっ?イモやいとるやんか…
くうなよ!!
うん…
フン
フン
なんだなにしてるんだ
わたしにもあたらせてくれるか?


ん？
なんだ
陛下！
パチ パチ
いや…
あの
ランヌ
思うんだけど
さあ……
そろそろ
撤退を
……
ランヌ
パキ
そうか
…
勝ち気な
きみまでが
そんなこと
いうのか…

79


とーんでも
ありません!!
わたしはまったく
意気さかん
です!!
ロシア軍など
めじゃありません!!
な…
なんや
お前!!
きみたちも
そうか？

話がちがうやないけ!!

それはそれこれはこれだ

なんやと――っ

おひとついかが?

つ――っ

……

ほたらわい一人を臆病者にするつもりやったんかい!!

別にそんなつもりじゃないよなりゆきじゃないかうたぐりぶかい奴だな

ふざけんないてもーたる!!剣をぬけ決闘や!!

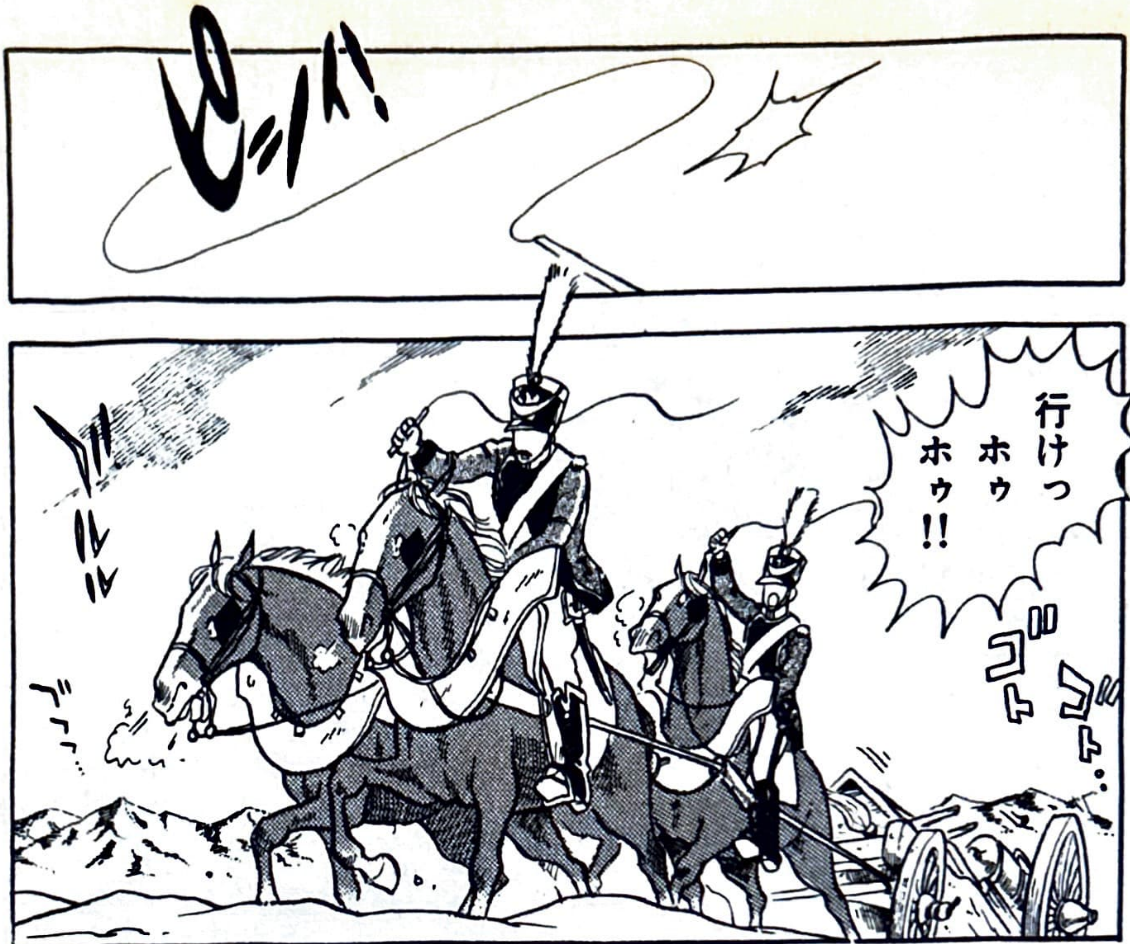
いーかげんにしろ!!ここをどこだと思ってるんだ!!

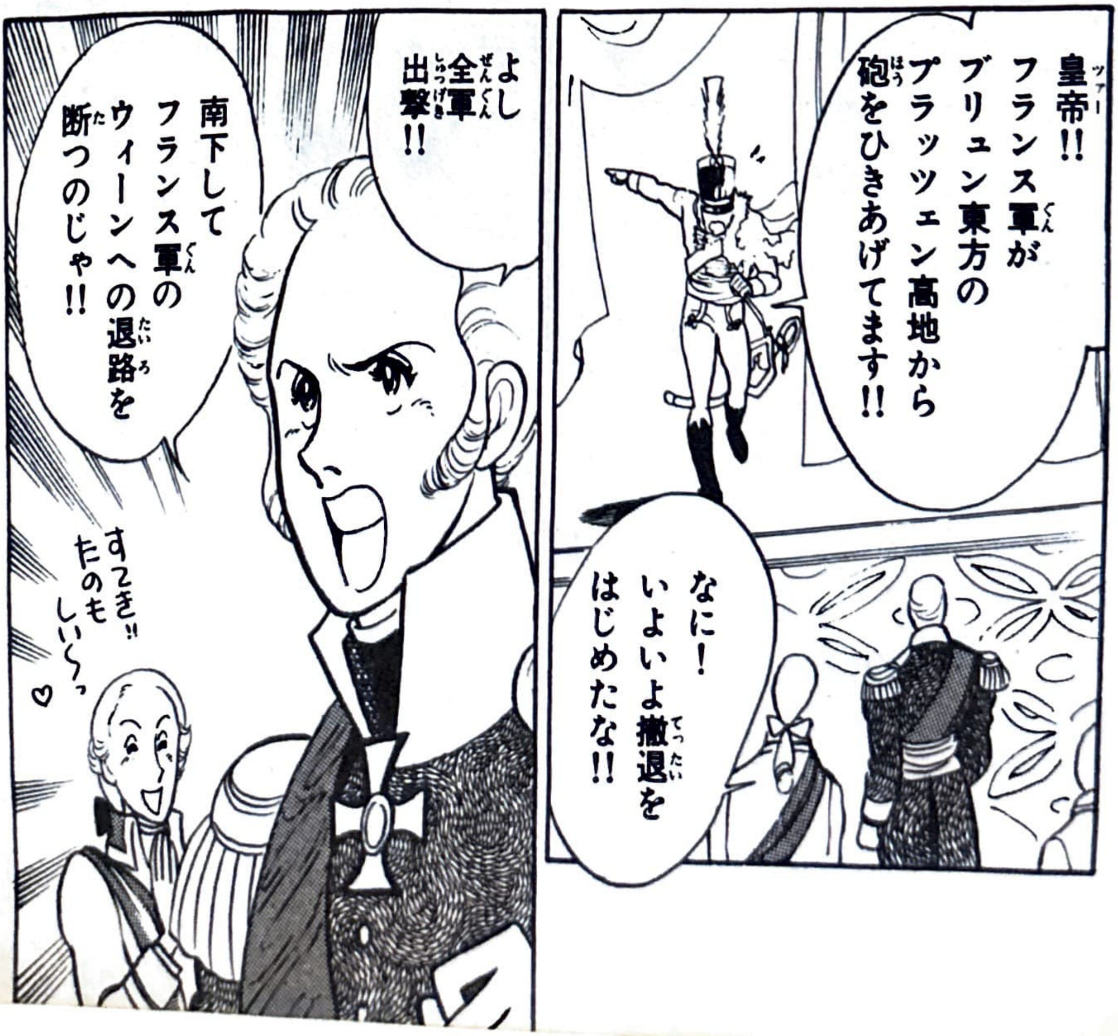
まて

わたしも撤退のときがきたと思ってた

ベルチェをよべ

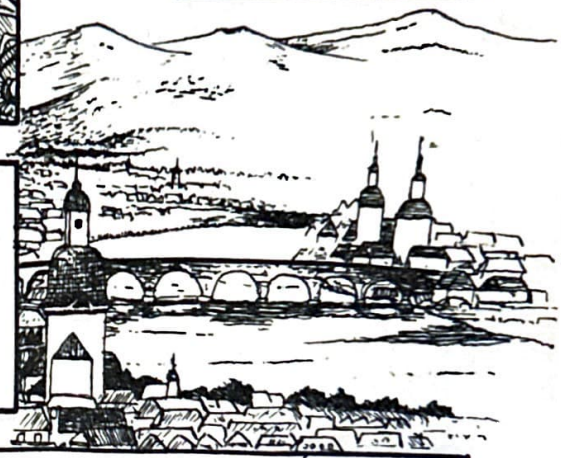
プラッツェン高地の砲をサントンまで後退させるのだ!


ピシッ!
行けっ ホウ ホウ!!
ゴトゴト…
ブルル

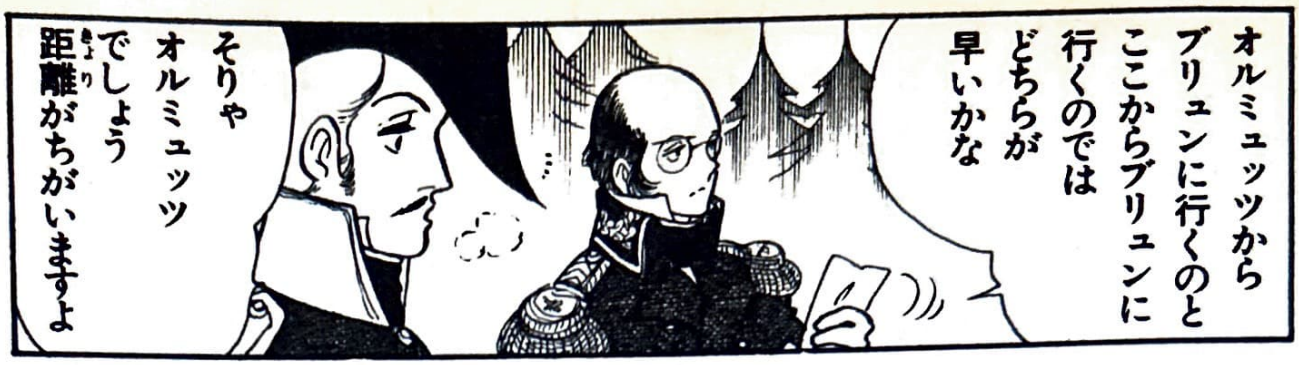

皇帝!! フランス軍がブリュン東方のプラッツェン高地から砲をひきあげてます!!
なに! いよいよ撤退をはじめたな!!
よし 全軍出撃!!
南下してフランス軍のウィーンへの退路を断つのじゃ!!
すてき!! たのもしい〜っ ♡

プレスブルグ――ここでは
フランス第3軍団が
オーストリアの
イタリア方面軍を
おさえるために
駐屯していた…

フランス第3軍団司令　ダブー



82

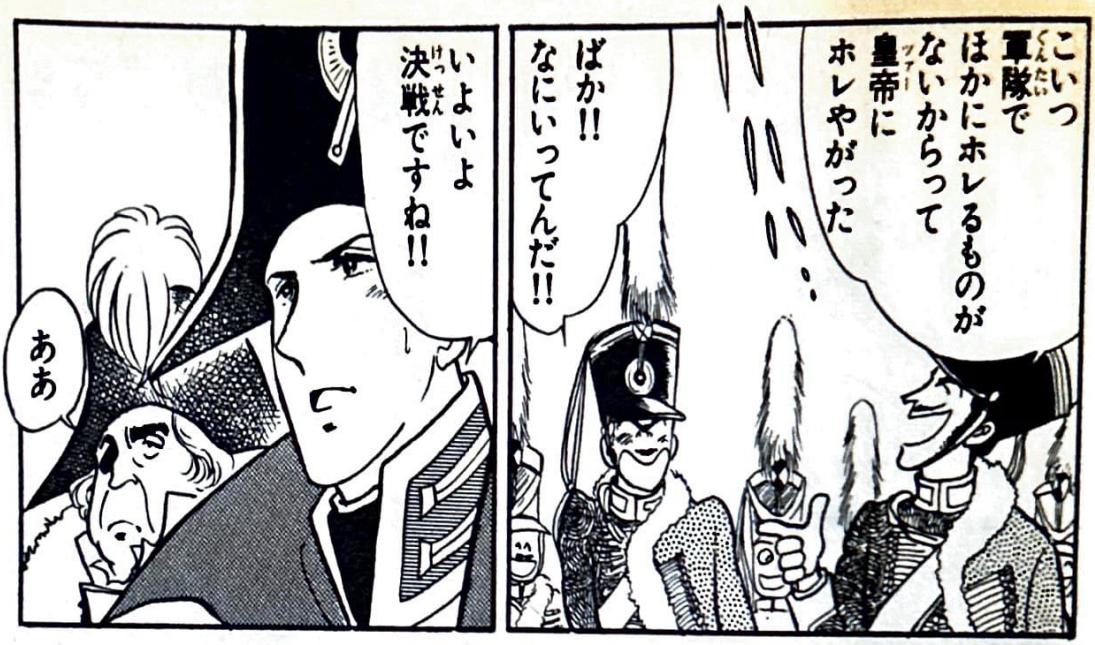

オルミュッツから
ブリュンに行くのと
ここからブリュンに
行くのでは
どちらが
早いかな
そりゃ
オルミュッツ
でしょう
距離がちがいますよ

では
われわれは
行軍の記録を
つくろう
えっ

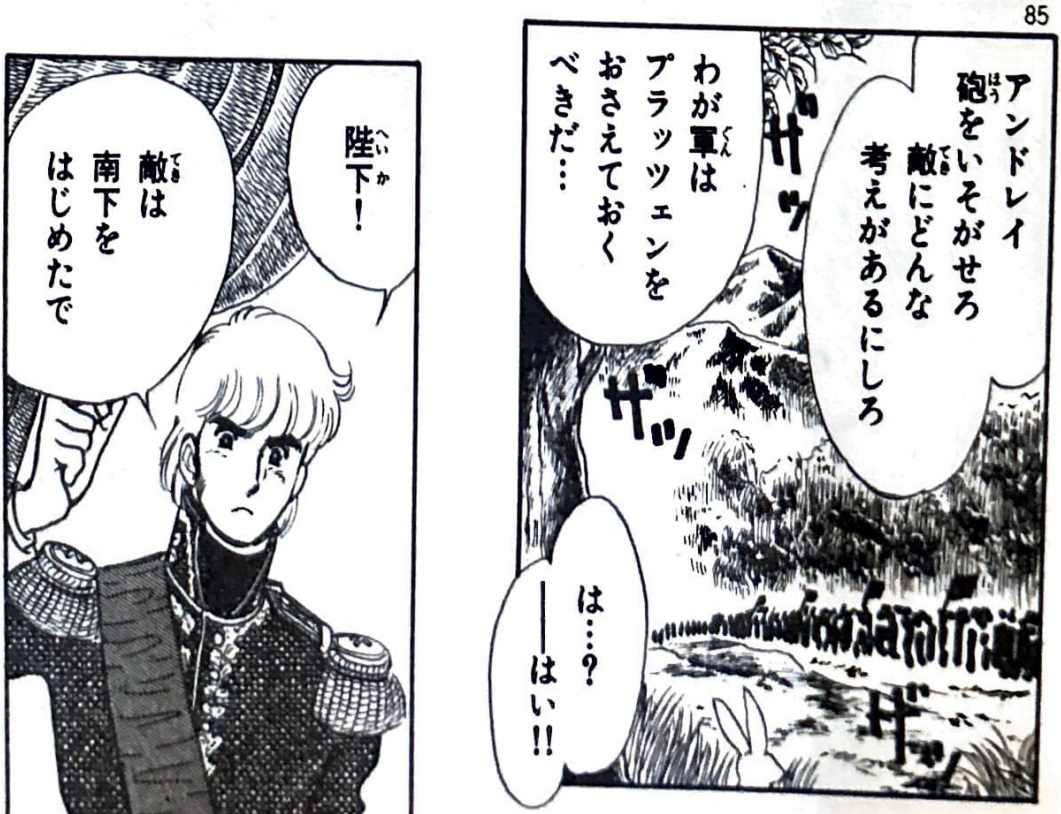
83

連合軍より
早くブリュンに
着く
間にあいそうに
なかったら
走れ！

ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
おい 皇帝(ツァー)だ!!
ウラアー!!
ドモー
みろ 皇帝(ツァー)を!! なんて エレガントで ものやわらかな……


こいつ軍隊でほかにホレるものがないからって皇帝にホレやがった
ばか!!なにいってんだ!!
いよいよ決戦ですね!!
ああ

どうも気になる戦では高地をとるのは原則だ…
なぜナポレオンはプラッツェンから砲をおろしたのだろう…


アンドレイ砲をいそがせろ敵にどんな考えがあるにしろ
わが軍はプラッツェンをおさえておくべきだ…
は…?——はい!!
陛下!
敵は南下をはじめたで
ザッ
ザッ
ザッ

こいつ軍隊でほかにホレるものがないからって皇帝にホレやがった

ばか!! なにいってんだ!!

いよいよ決戦ですね!!

ああ

どうも気になる戦では高地をとるのは原則だ…

なぜナポレオンはプラッツェンから砲をおろしたのだろう…

85

アンドレイ砲をいそがせろ敵にどんな考えがあるにしろ

わが軍はプラッツェンをおさえておくべきだ…

ザッ

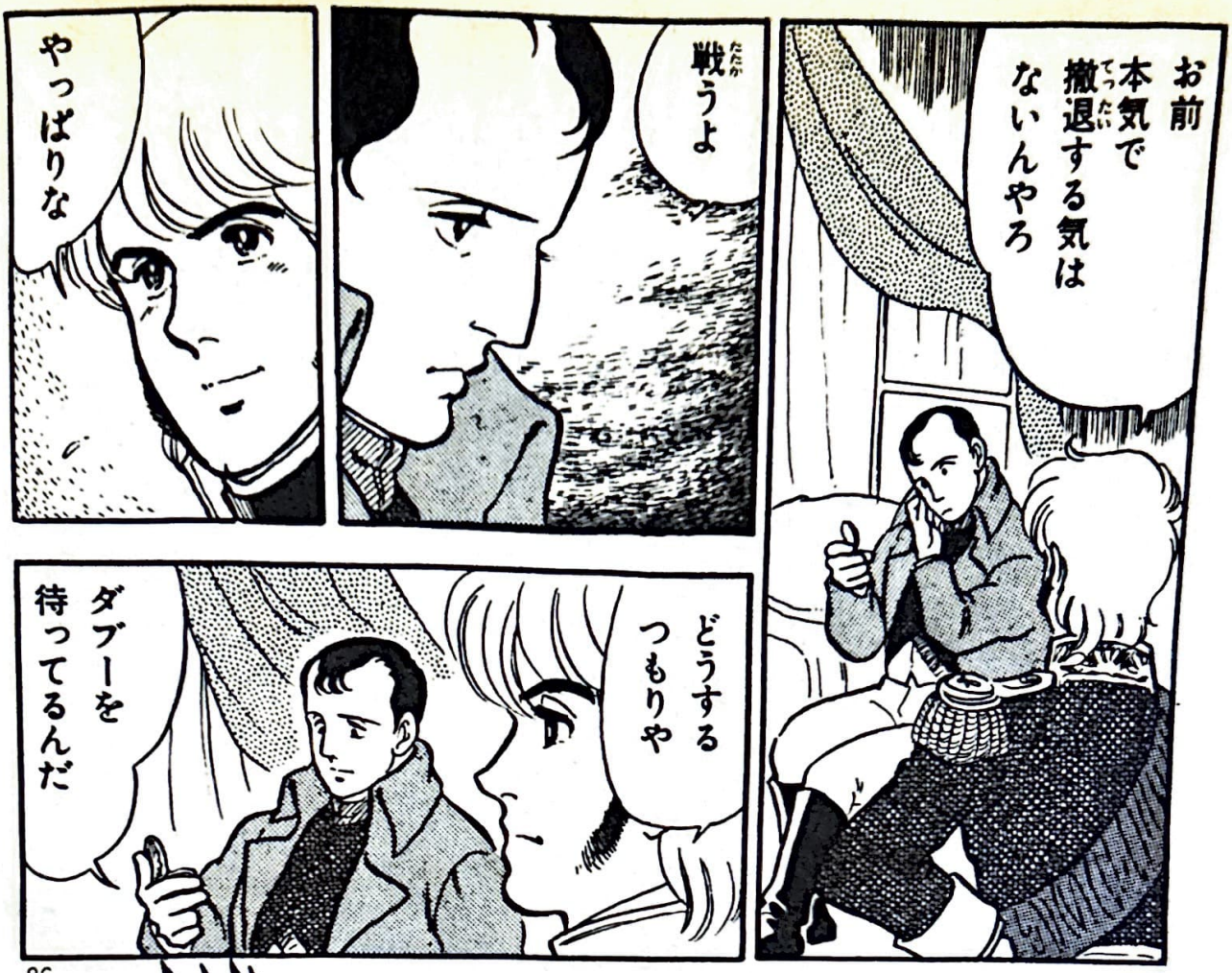
ザッ

ザッ

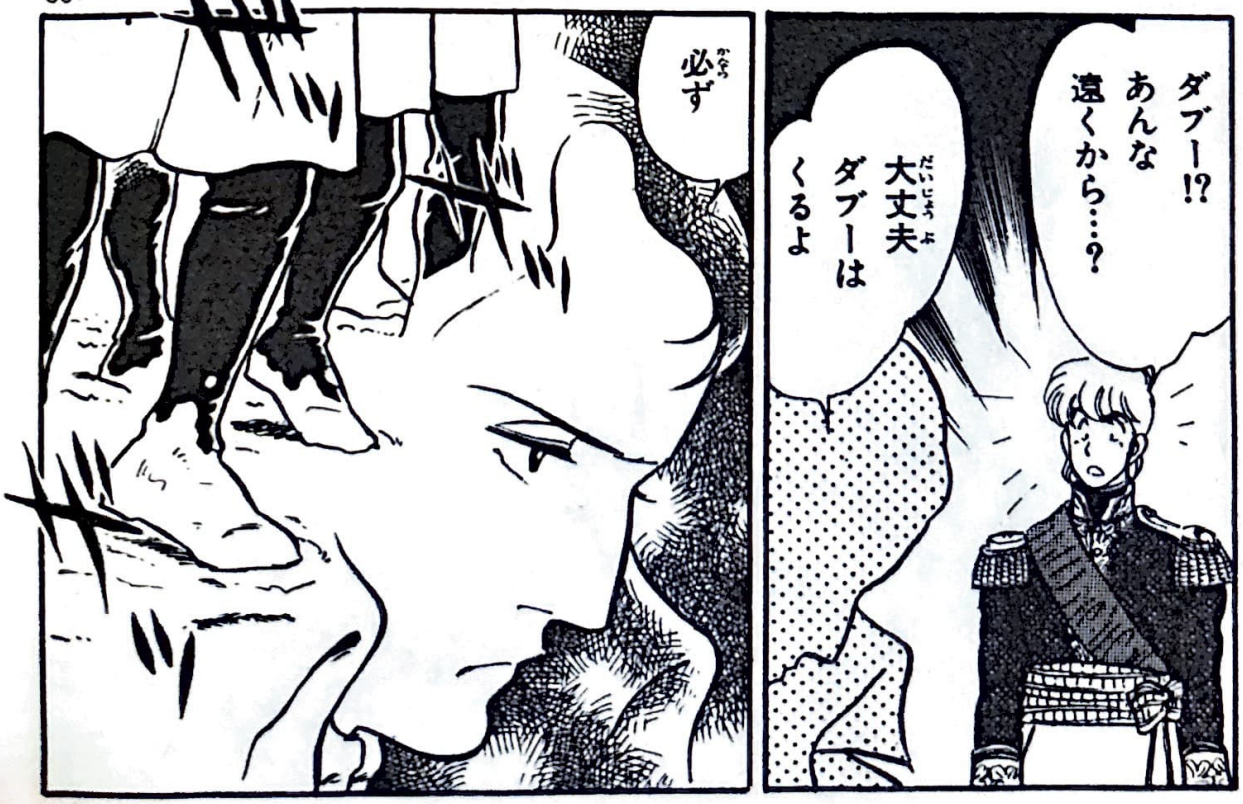
は…? ——はい!!

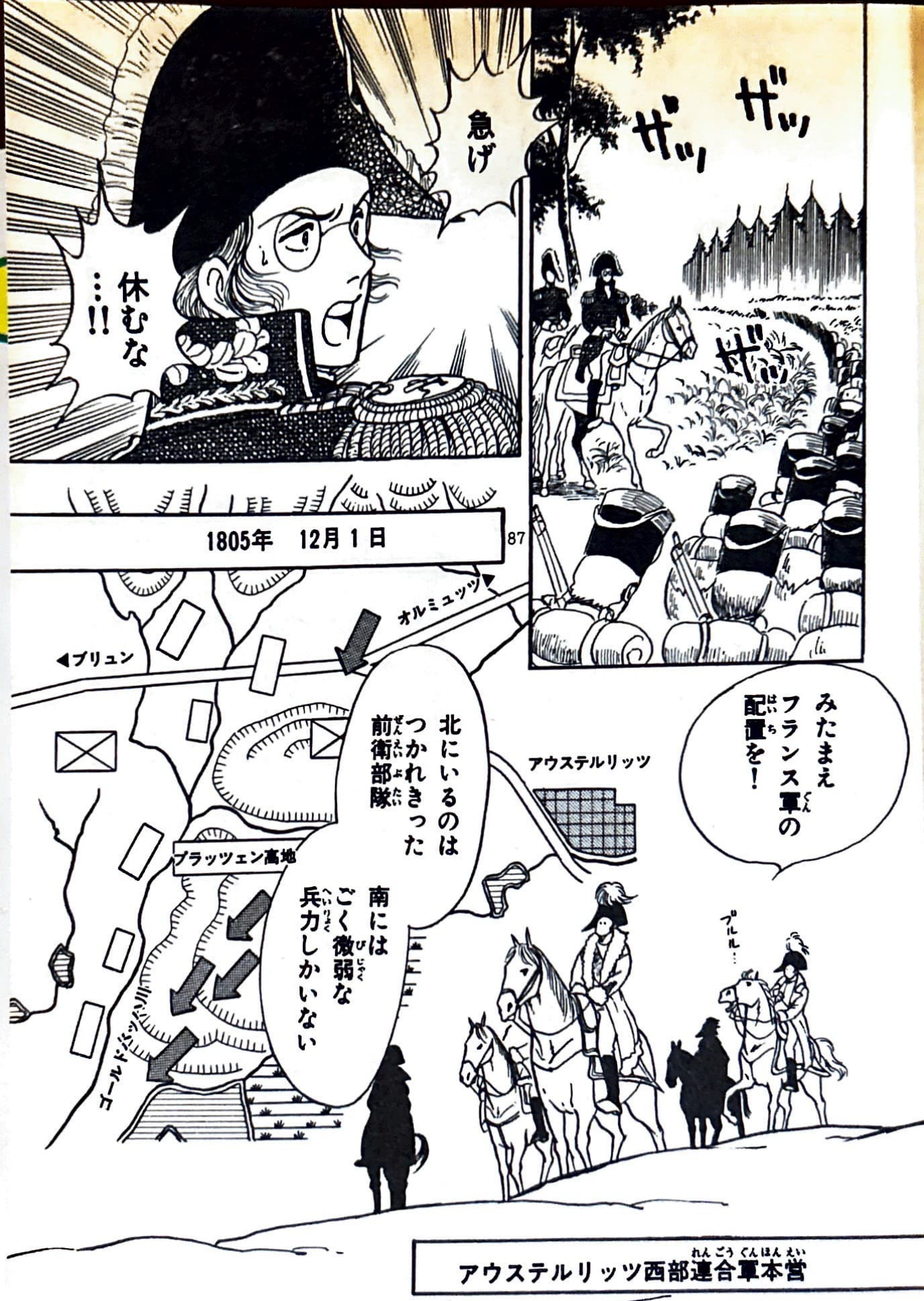
陛下!

敵は南下をはじめたで

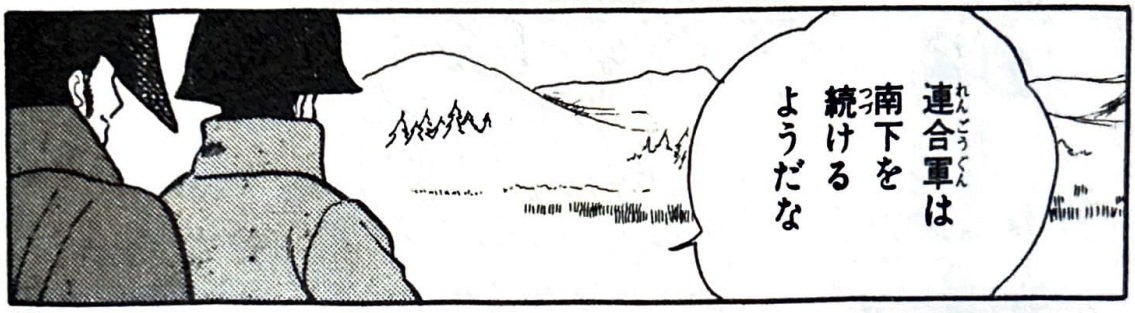

お前
本気で
撤退する気は
ないんやろ
戦うよ
やっぱりな
どうする
つもりや
ダブーを
待ってるんだ

86


ダブー!?
あんな
遠くから…?
大丈夫
ダブーは
くるよ
必ず


ザッ
ザッ
ザッ
急げ
休むな……!!
1805年　12月1日
87
オルミュッツ▶
◀ブリュン
ブラッツェン高地
ゴールドバッハ川
アウステルリッツ
みたまえ
フランス軍の
配置を！
北にいるのは
つかれきった
前衛部隊
南には
ごく微弱な
兵力しかいない
プルル…
アウステルリッツ西部連合軍本営

作戦はきまったな
北はバグラチオンに攻撃させあとは全兵力を投入して敵の右翼を突破
ギュー
両翼からフランス軍を包囲していっきに敵をたたきつぶすのじゃ

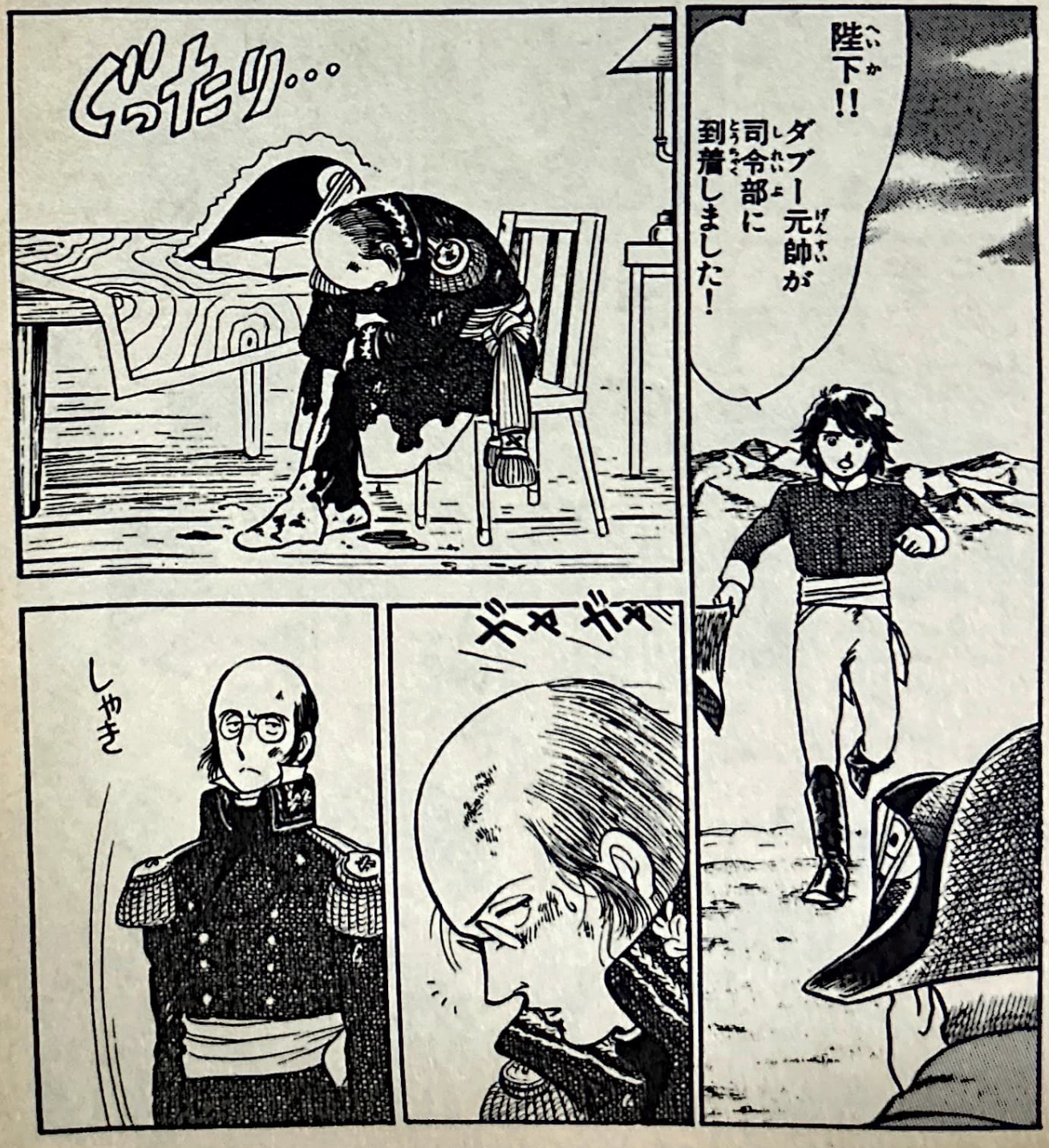

連合軍は南下を続けるようだな

弱いわいらの右翼をねらってるんやな
そうだろうなそうなるようにしむけたんだ

オルミュッツに敵が集合した時点でわが軍のこれ以上の追撃は不可能になった
そこで敵をおびきだすためにワナをかけたのだ……

撤退するとみせかけてな…みごとにかかったようだ
えものはロシアの若い白クマだ——あとは…

89


陛下!!
ダブー元帥が司令部に到着しました!
ぐったり…
ガヤガヤ
しゃき

陛下！
わが第3軍団は右翼に到着し陣を構築ちゅうです
なんやこの手は!!
しーっ!!
ごくろうダブー
ただ行軍ちゅうに落伍兵がかなりでてしまいました
軍がととのうのは明朝になるでしょう
BON! よろしい
ごくろうさん
温泉まんじゅ
ああこれさしいれだ
うーむ…
よゅーだなっ…!!
名物
バーデン温泉まんじゅう
オーストリア皇帝御用達
これでウケるんは通だ!!
うまそうやんかー
ぱくぱく
ぱくぱく
あほ!! みんなでわけて食わんかい!!
やっぱ気がききまんなさすが軍団の気くばり
おにーさん!! 頭もすっかりゼミナールしてもーて…
やめい!!
なでりなでり
……
90

もう
きみたち
よさないか
陛下の前
だぞ

まったく
こまった
人たちだ
なあ…

バコ!

うるせえ
すっこんでろ

○…

なんて
もったいない
ことを
するんだっ
表へでろっ!!

じょーとーやんけ!!
さっきのけり
つけたるわい!!

こら!!

まんじゅう
ひとつ
いくら
すると
おもっ
てんね
!!

しるか
ドケチ
ボケ!!

いいかげんに
しいや

話が前に
すすまんや
ないの

ちがう

近衛騎兵軍団司令
ベシェール

やかまし!!
われに
さしずされる
すじあいは
ないわい!!

あっ
やめてんか!!
髪粉がとれて
まうやんか!!

じゃ
じゃ
じゃ

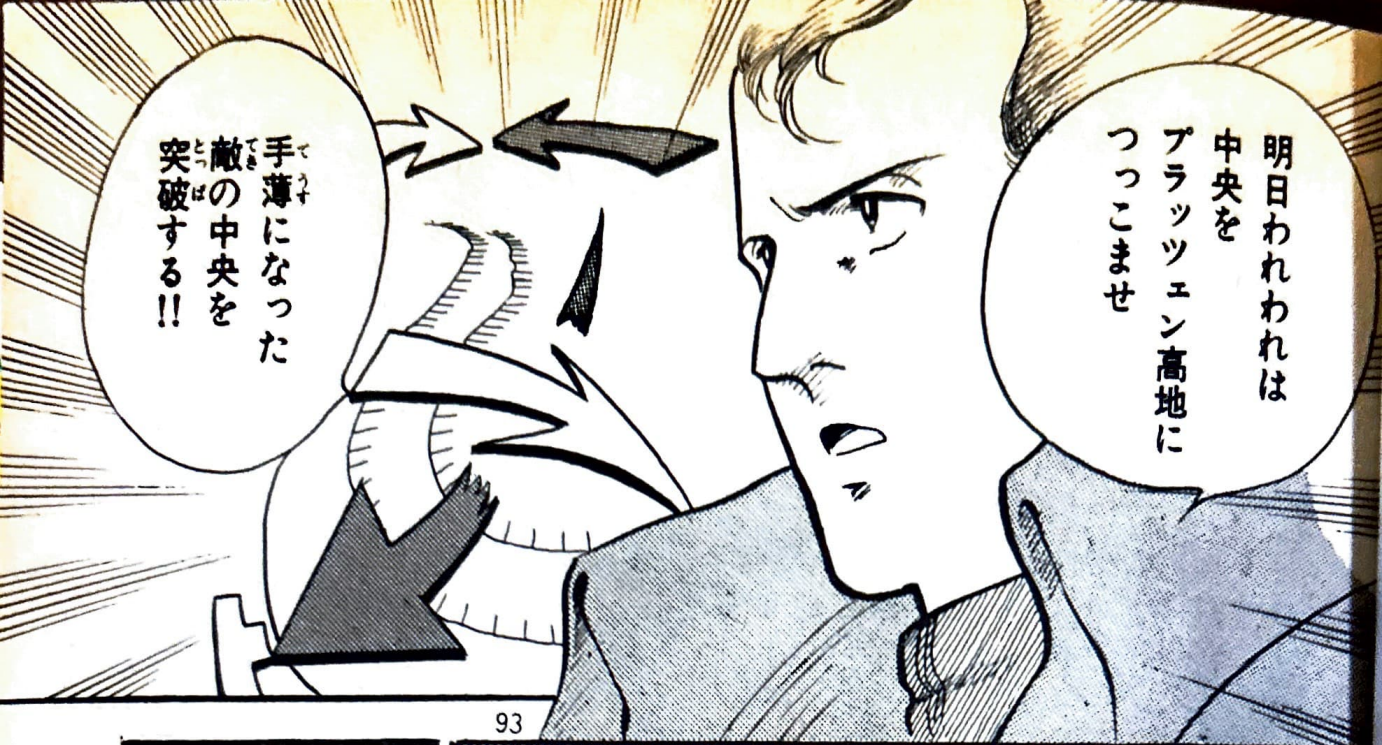
もう!!
うちは
あんさんみたく
フケかくしに
髪粉ふってんのと
ちゃうねんで

なんやと
——っ

んもー
セットが…

おい

ぴーたっ
作戦の説明をしたいんだが
みたまえ
◀ブリュン
第1軍団
ランヌ
バクラチオン
オルミュッツ▶
衛兵
ミュラ
サントン
衛兵
リヒテンシュタイン
ホルビッツ
スールト
クツーゾフ
アウステルリッツ▶
プラッツェン高地
ゾコルニッツ
ブックスホウデン
ダブ!!
われわれは敵に壊滅的な打撃をあたえるべくワナをかけた
すなわち微弱な右翼に敵兵力を集中させることだ
その結果敵はわれわれに側面をさらす結果となった
ほーおまえ字かけるか
ミュラメモ


明日われわれは
中央を
プラッツェン高地に
つっこませ
手薄になった
敵の中央を
突破する!!

中央突破した軍は
そのまま左と右に
展開し
敵をはさみこみ
たたきつぶす
勝負は
プラッツェンだ
!!
右は
エサか…!!

だが
右が
つぶれたら…

明朝
われわれは
ビュックスホフデン軍
四万八千の兵を
もちいて
敵右翼の
突破に
あたります

情報によると
敵中央と右翼に
増援部隊が
到着したそうですが

どのくらい
だ？

六千あまりと
いうことで
あります

それでは
問題じゃない

連合軍本営

すでにいる
兵力とたしても
一万あまり

しかも強行軍で
つかれきっている
……

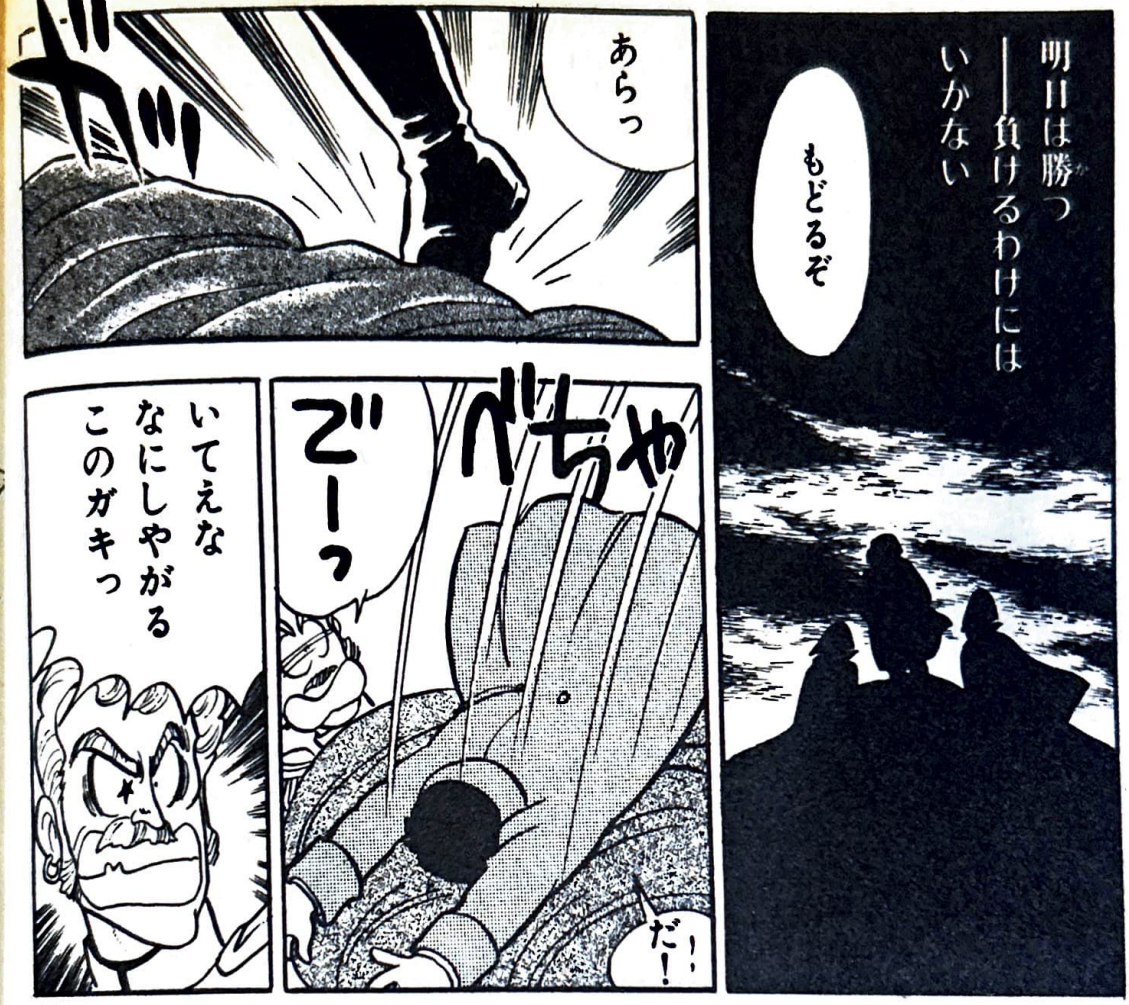
しょせん
われわれの
敵では
ありません

計画通り
われわれは
明日右翼を
突破し

北と南から
敵を包囲
します

連合軍主力部隊指揮官
ビュックスホフデン将軍

勝利はわが手中にある……
んがぁ！
……
ぐーっ
敵の——右か……
——右翼
これは賭けだ……
右翼がつぶれるのがさきか
敵中央がつぶれるのがさきか……
だがダブーがまにあった……
一万対三万だがこれで賭けは成立する……
彼なら五分五分……
——いやそれ以上だ……


明日は勝つ
——負けるわけには
いかない
もどるぞ
あらっ
ベちゃ
ぢーっ
だ!
いてえな
なにしやがる
このガキっ

96

ごめ——ん
あーっ
フィル・
コリンズだ!!
スッス
スディーオ
——ッ
ゆお!!
ちがうっ!!
あ——っ
皇帝だ!!
皇帝だ!!

Vive
l'emperur !!
皇帝ばんざい!!

Vive
l'empereur !!
皇帝ばんざい!!

皇帝
ばんざい!!

わあお

セギュール!!
やめさせろ
こちらの配置が
わかってしまう!!

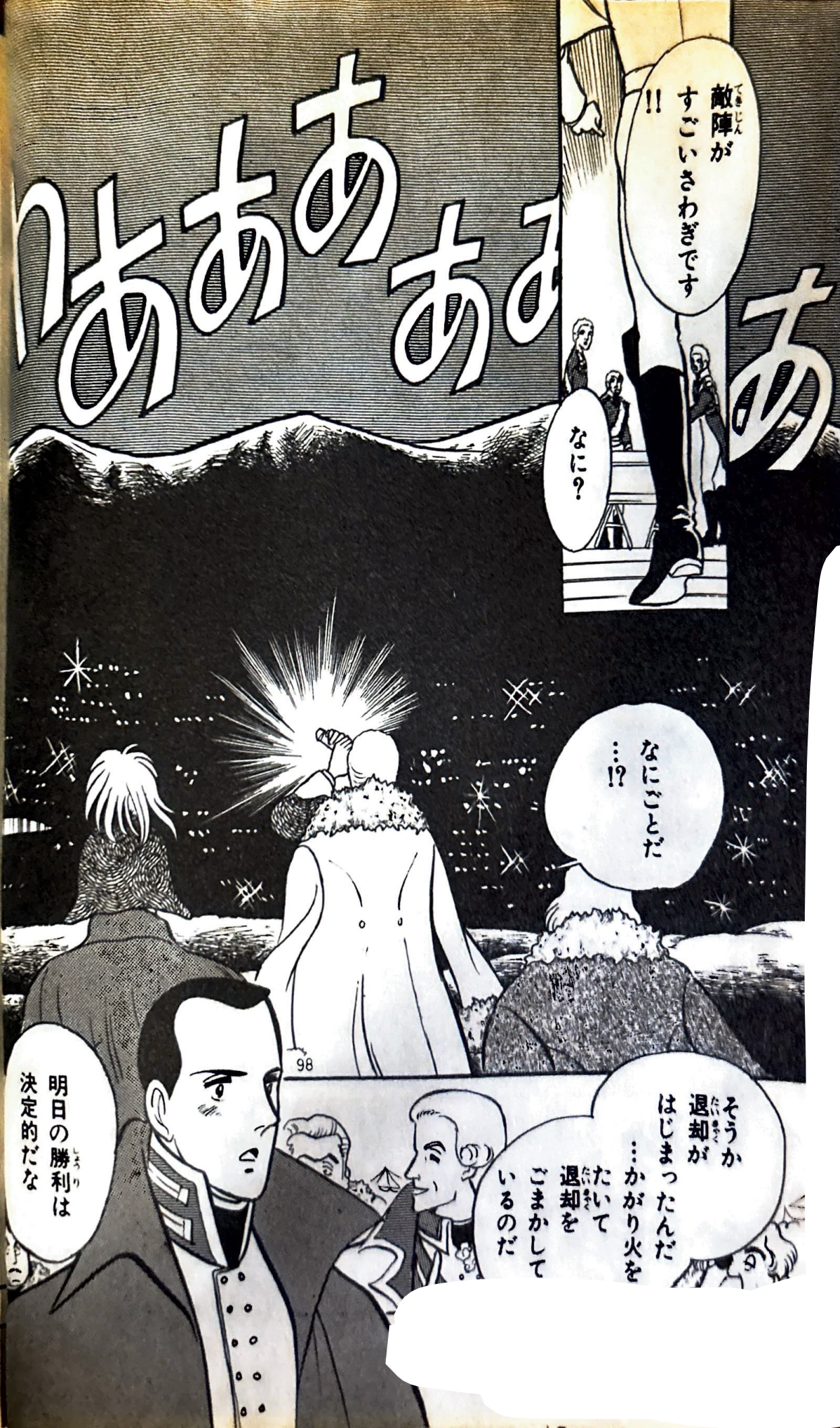
無理ですよ
もう
とめられません

今日は
陛下の
戴冠式の
一周年です

みんな
陛下に
おいわいを
いってる
のです!

Vive
l'empereur!!

Vive
l'empereu


あああああ
敵陣がすごいさわぎです!!
なに?
なにごとだ…!?
そうか退却がはじまったんだ…かがり火をたいて退却をごまかしているのだ
明日の勝利は決定的だな
98

なんて
美しい
ながめだ

まるで
地上におりてきた
天の星座のようだ
……

わあ

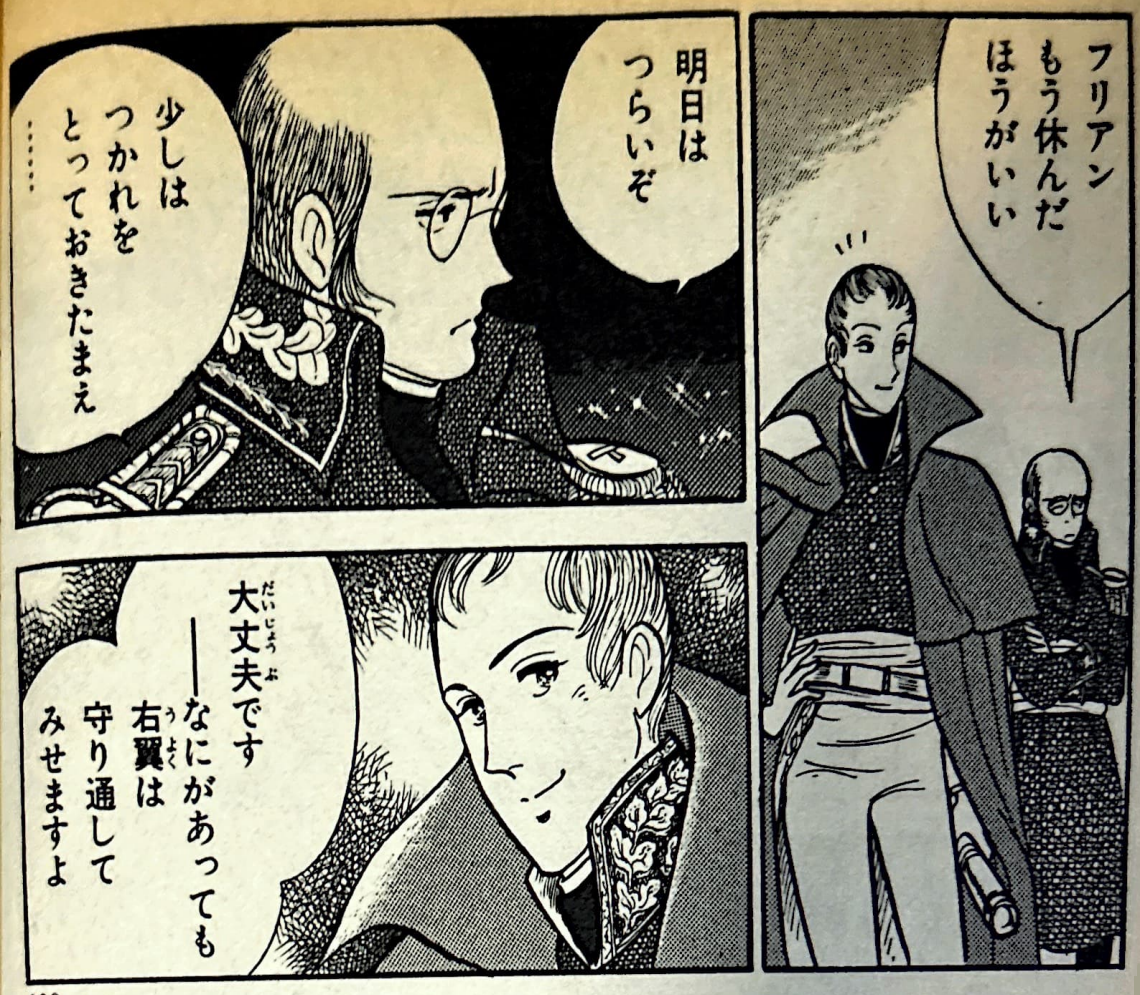
セギュール
……

わあ

今宵は
わたしの人生で
一番美しい
夜だ……

きれい
ですね
元帥……!!

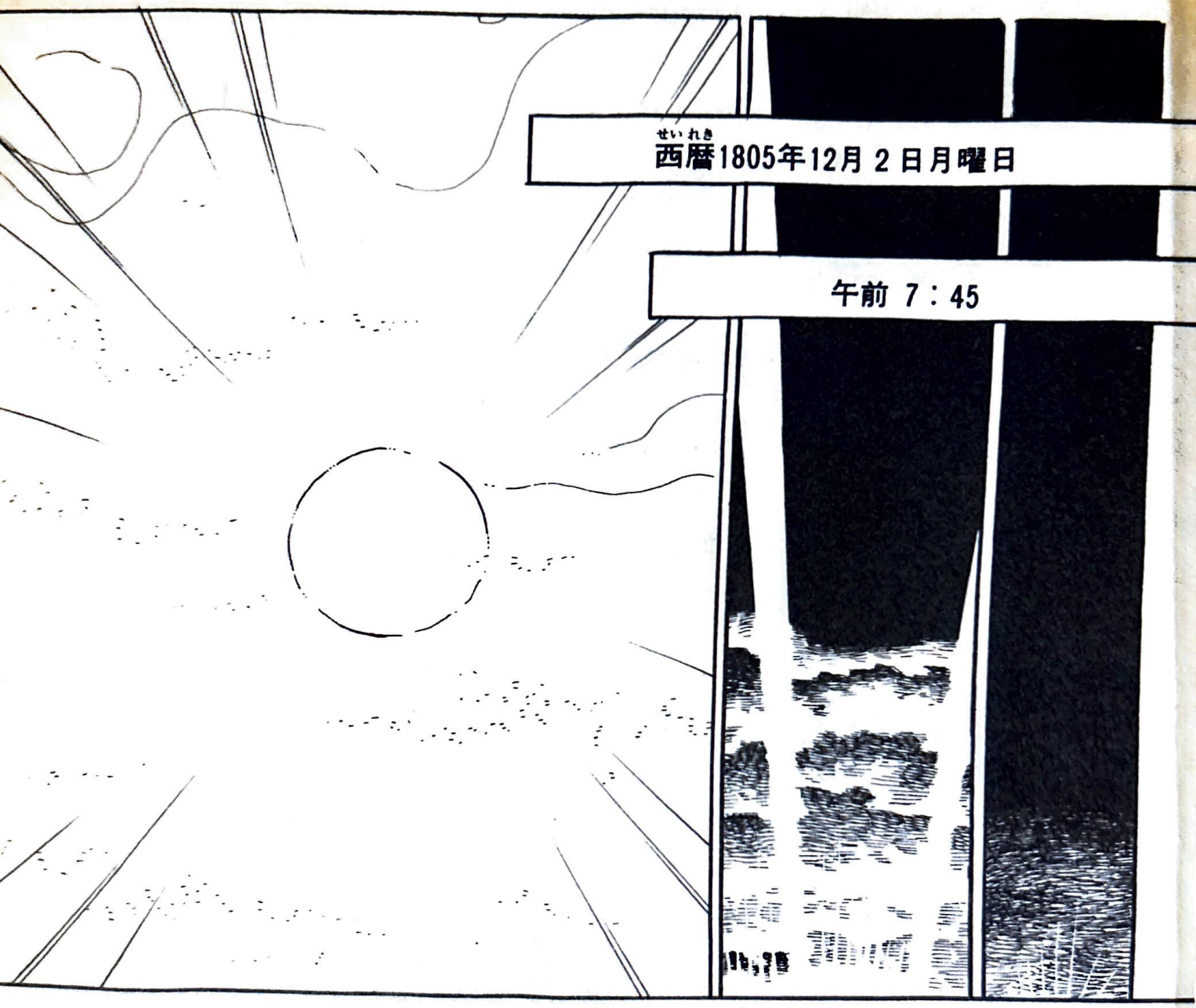
フランス軍・右翼


フリアン
もう休んだ
ほうがいい
明日は
つらいぞ
少しは
つかれを
とっておきたまえ
……
大丈夫です
——なにがあっても
右翼は
守り通して
みせますよ

100

陛下と
フランスの
勝利のために…!!

第5章　アウステルリッツの太陽



アウステルリッツの野をヨーロッパの太陽(たいよう)の輝(かがや)きがつらぬいた

ミュラ(騎兵軍団)

COLOLILOCO Boy!

ランヌ(第5軍団)

第1軍団

近衛軍団

スールト(第4軍団)

ダブー(第3軍団)

フランス軍

連合軍

騎兵

ゴールドバッハ川

リヒテンシュタイン騎兵軍団

近衛軍団

バグラチオン(露)

クツーゾフ(露)

プラッツェン高地

ブックスホウデン(墺)

ドークトロフ(露)

フランツ二世

アレクサンドルー世

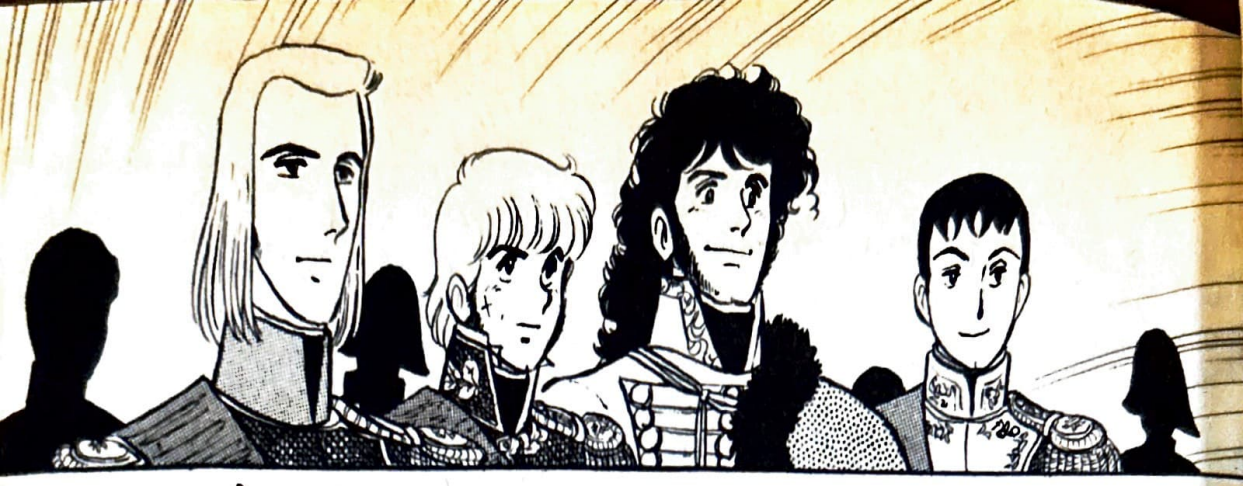
ロシア・オーストリア連合軍兵力約八万五千
フランス軍兵力約六万五千
連合軍はプラッツェン高地に縦隊をかまえ
フランス右翼にむかって前進を続け…

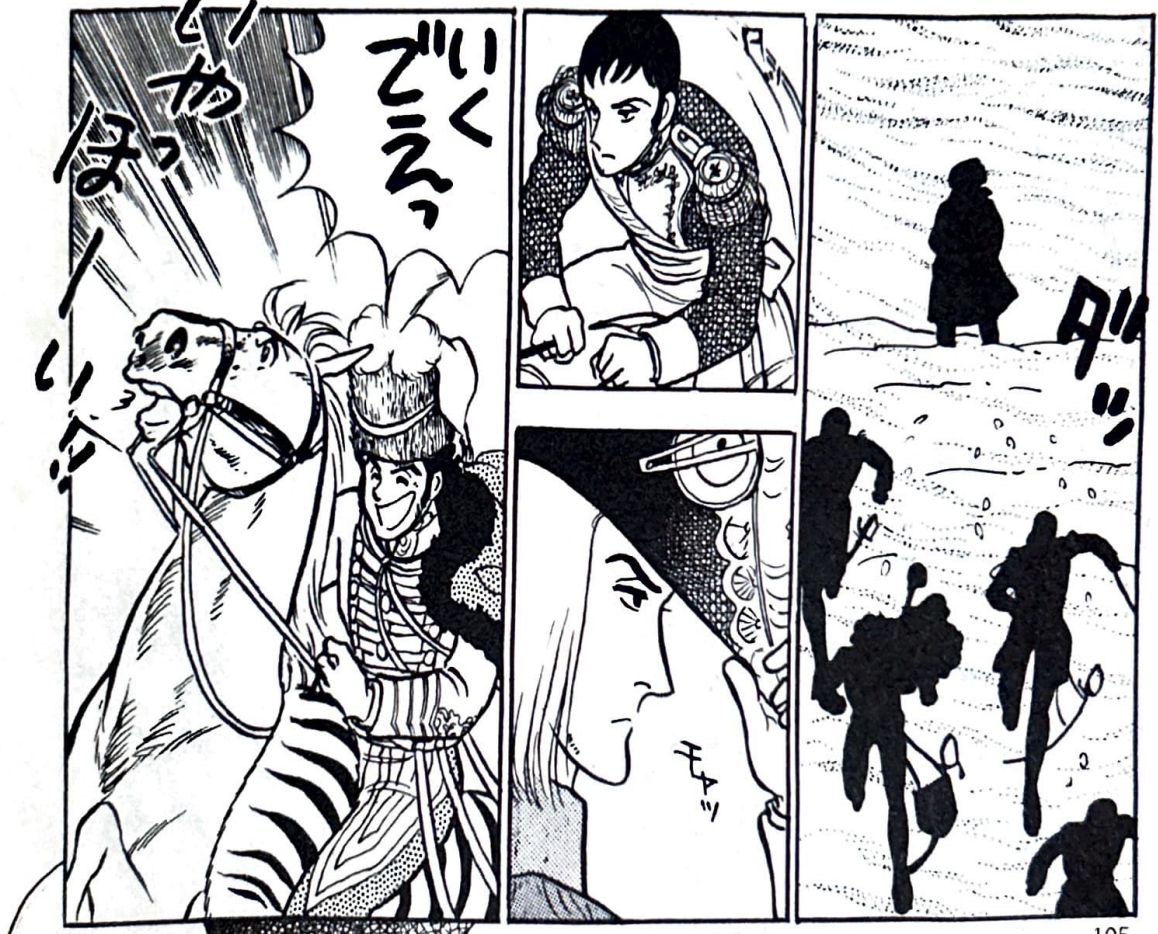
フランス軍はその縦隊をぶちぬくため
中央に戦力を集中し　そのときを待っていた

世にいう三帝会戦
——アウステルリッツ大会戦の開始である!!

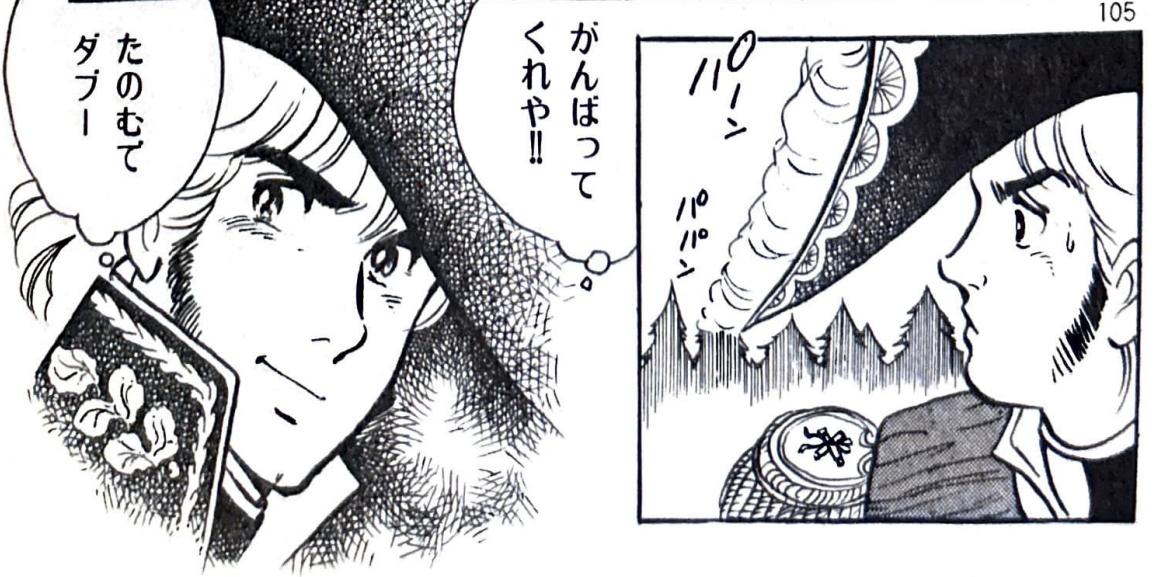
103

ドーン
ズズーン
陛下!!
敵軍が
わが右翼に
攻撃を
開始
しました!
よし!
行け
諸君!!



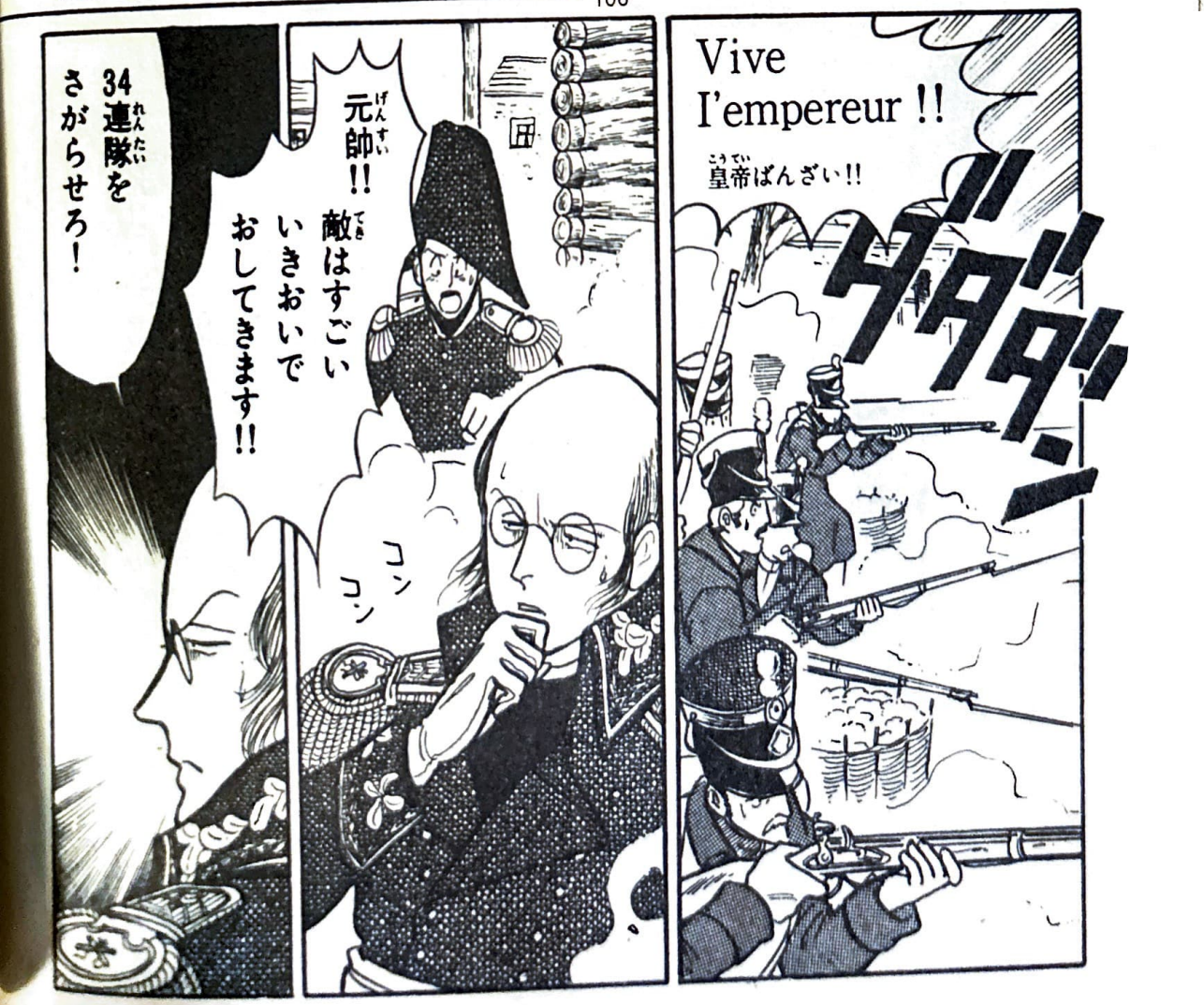


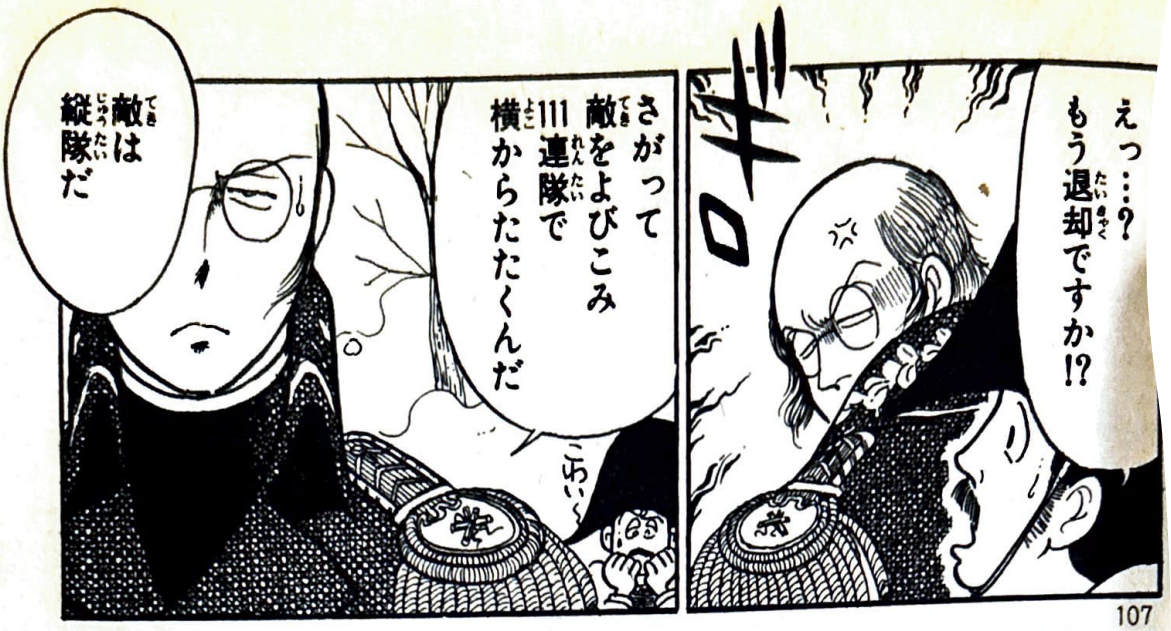
105



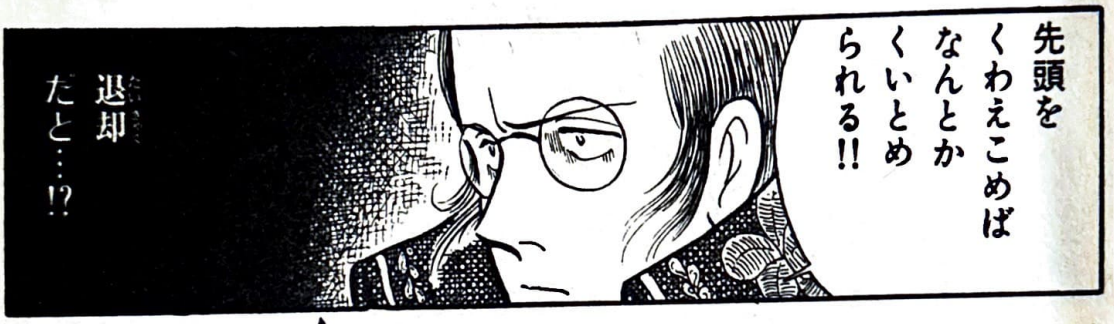
ウラァァ
フランス軍・右翼　ソコルニッツ村
パパパン…
フランス軍兵士は村の家一軒一軒にしがみついて連合軍の怒濤のような進撃にたえていた

106


Vive
l'empereur !!
皇帝ばんざい!!
ダダダ!
元帥!!
敵はすごい
いきおいで
おしてきます!!
コン
コン
34連隊を
さがらせろ!

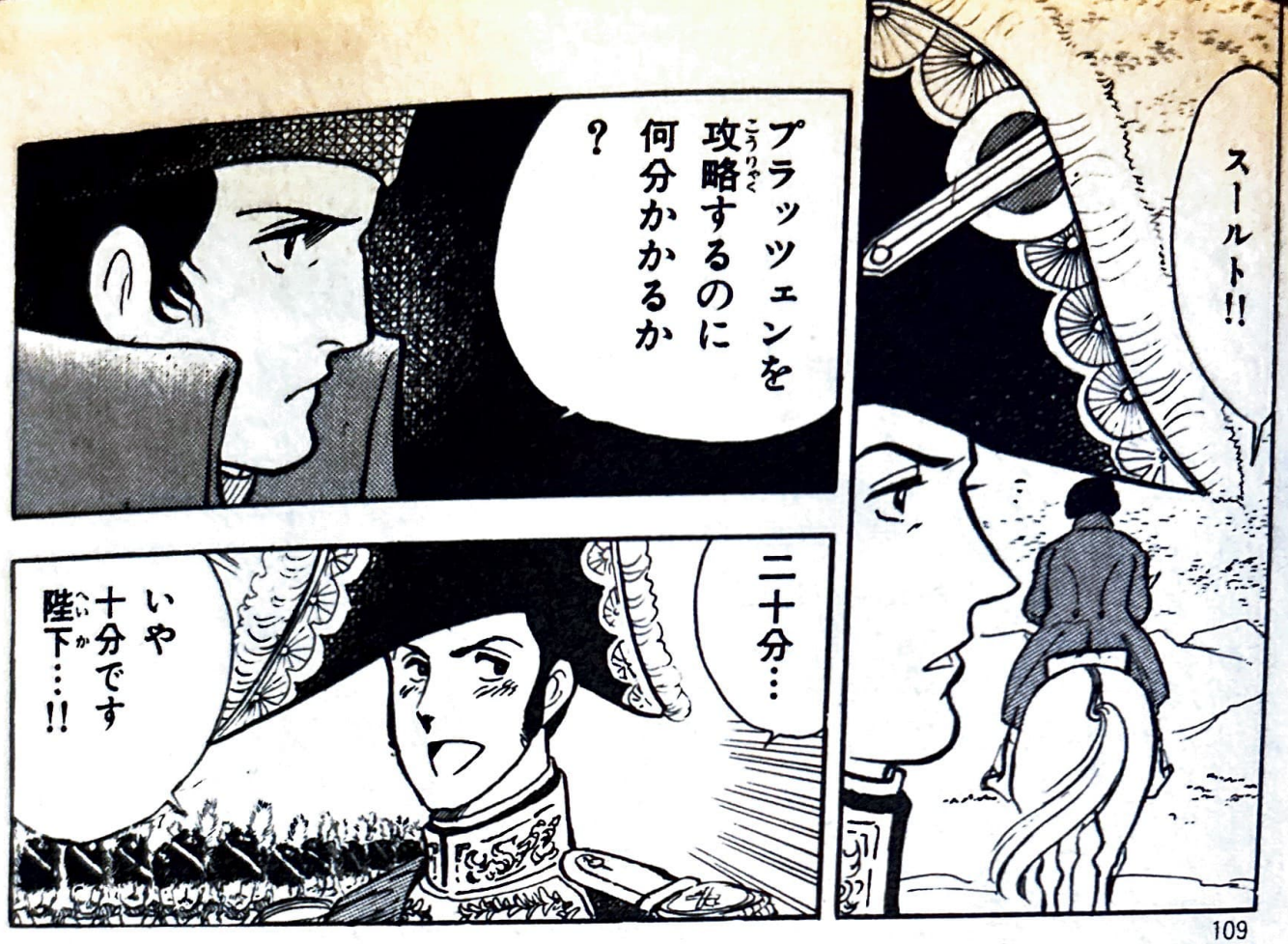

えっ…？
もう退却ですか!?
ロギ
さがって
敵をよびこみ
111連隊で
横からたたくんだ
こわい
敵は
縦隊だ

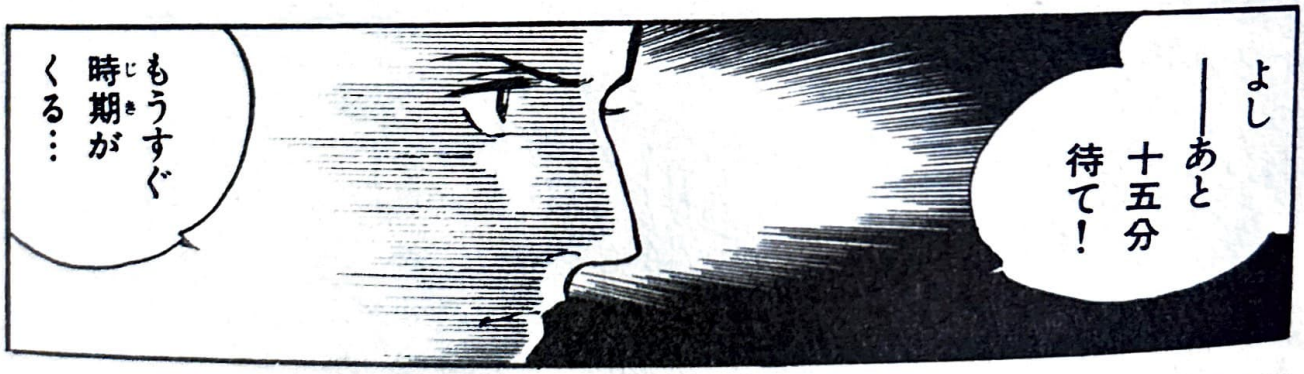
107

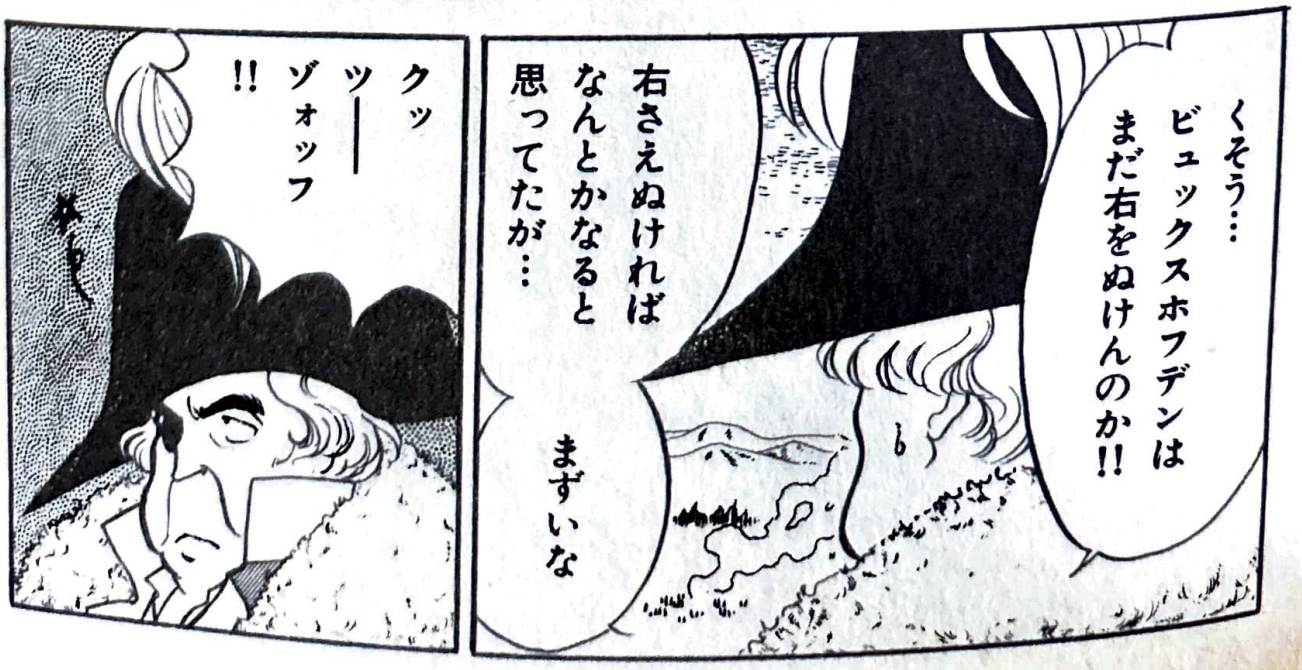

先頭を
くわえこめば
なんとか
くいとめ
られる!!
退却
だと…!?

わたしが
生きてる限り
そんなことは
させん!!
よーし
移動だ!!
敵は
ひいたぞ
っっこ
めぇー!!

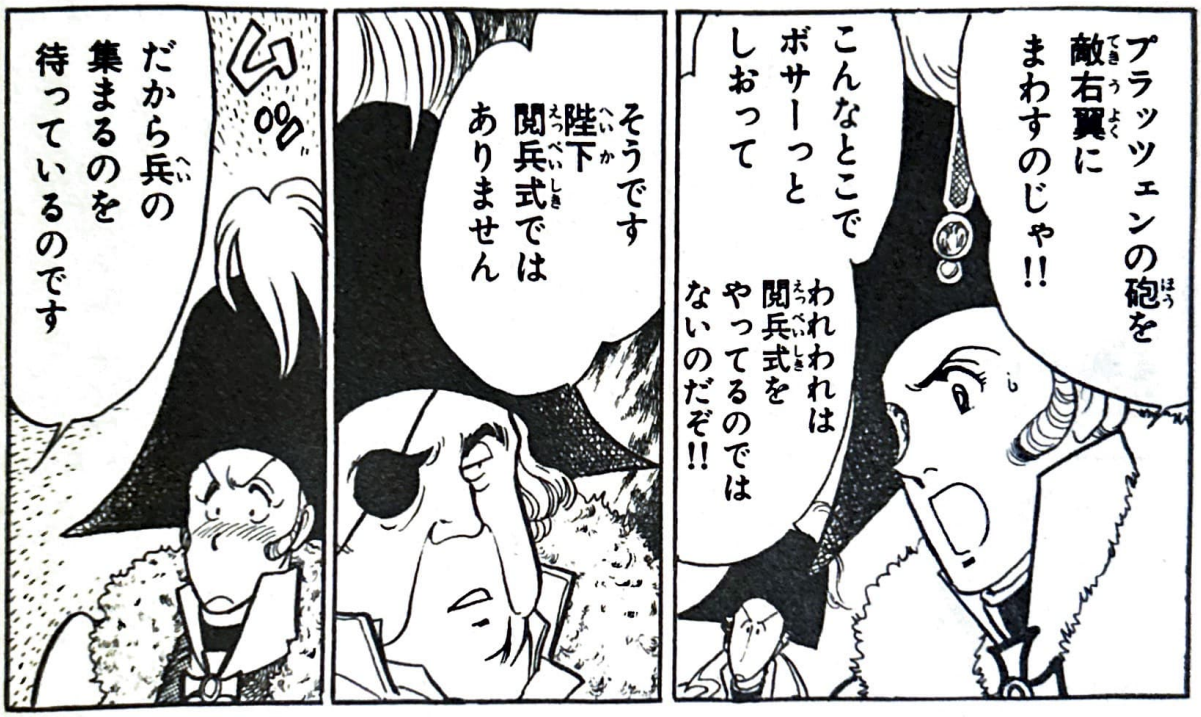
にゅ!!
撃てっ!
わあっ!!
108
ここかと
思えば
ま――たまた
あちら
♪
♪
♪
ゴールドバッハの
シンドバットと
よんで♡
♪
古いよ
フーちゃん
右はよく
おさえている
……

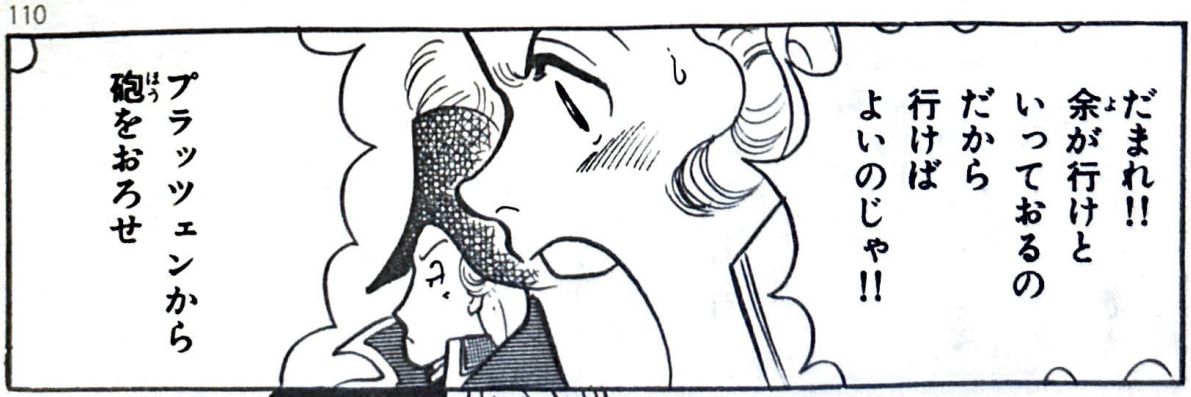

スールト!!
プラッツェンを攻略するのに何分かかるか？
二十分…
いや十分です陛下…!!


よし——あと十五分待て！
もうすぐ時期がくる…


くそう…ビュックスホフデンはまだ右をぬけんのか!!
右さえぬければなんとかなると思ってたが…
まずいな
クッツ——ゾォッフ!!

これは
陛下…
なにを
もたもた
してるのじゃ!!
右がぬけねば
作戦は
成立しない!!


プラッツェンの砲を
敵右翼に
まわすのじゃ!!
こんなとこで
ボサーっと
しおって
われわれは
閲兵式を
やってるのでは
ないのだぞ!!
そうです
陛下
閲兵式では
ありません
だから兵の
集まるのを
待っているのです


だまれ!!
余が行けと
いっておるの
だから
行けば
よいのじゃ!!
プラッツェンから
砲をおろせ

御意
…!?
万事
休す——

むっ！
プラッツェンが動きはじめたぞ!!
111
よしいまだ
いけスールト!!
ガチィーン
SACRE NOM DE DIEU!!
神の名において
ブルル
EN AVANT!
前進

午前 9：00
朝霧をついて
スールト配下の第4軍団が
プラッツェン高地へふみこんだ…!!

くそっ 前がつかえて 進みやしねえ!!

早く 進めよ——

ん…

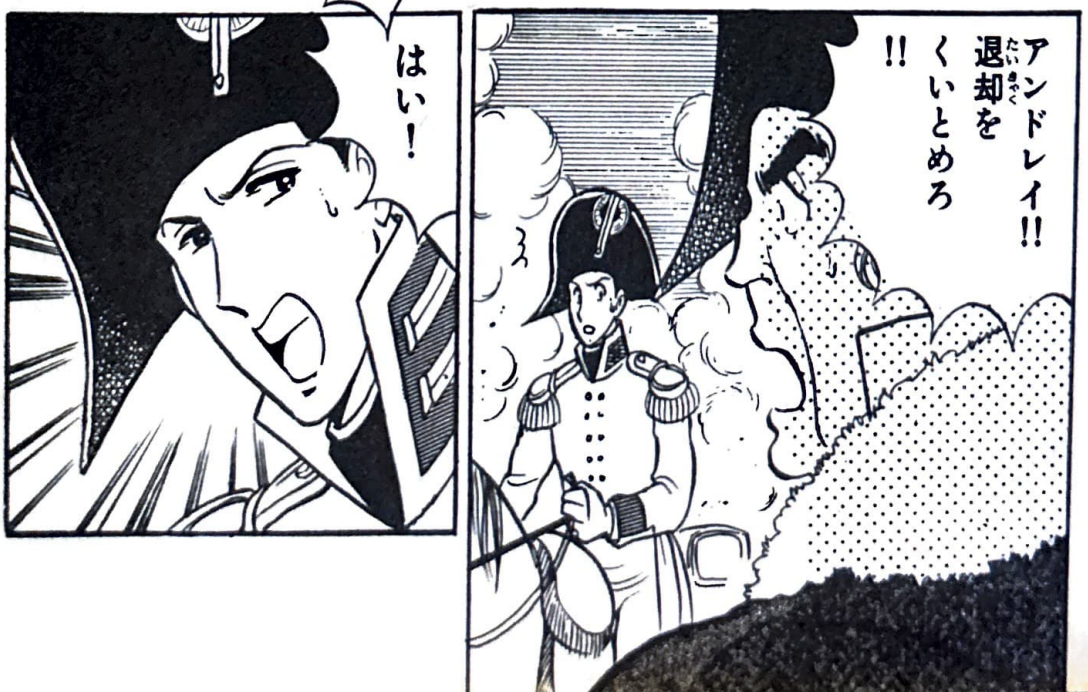
なんだ あの音……

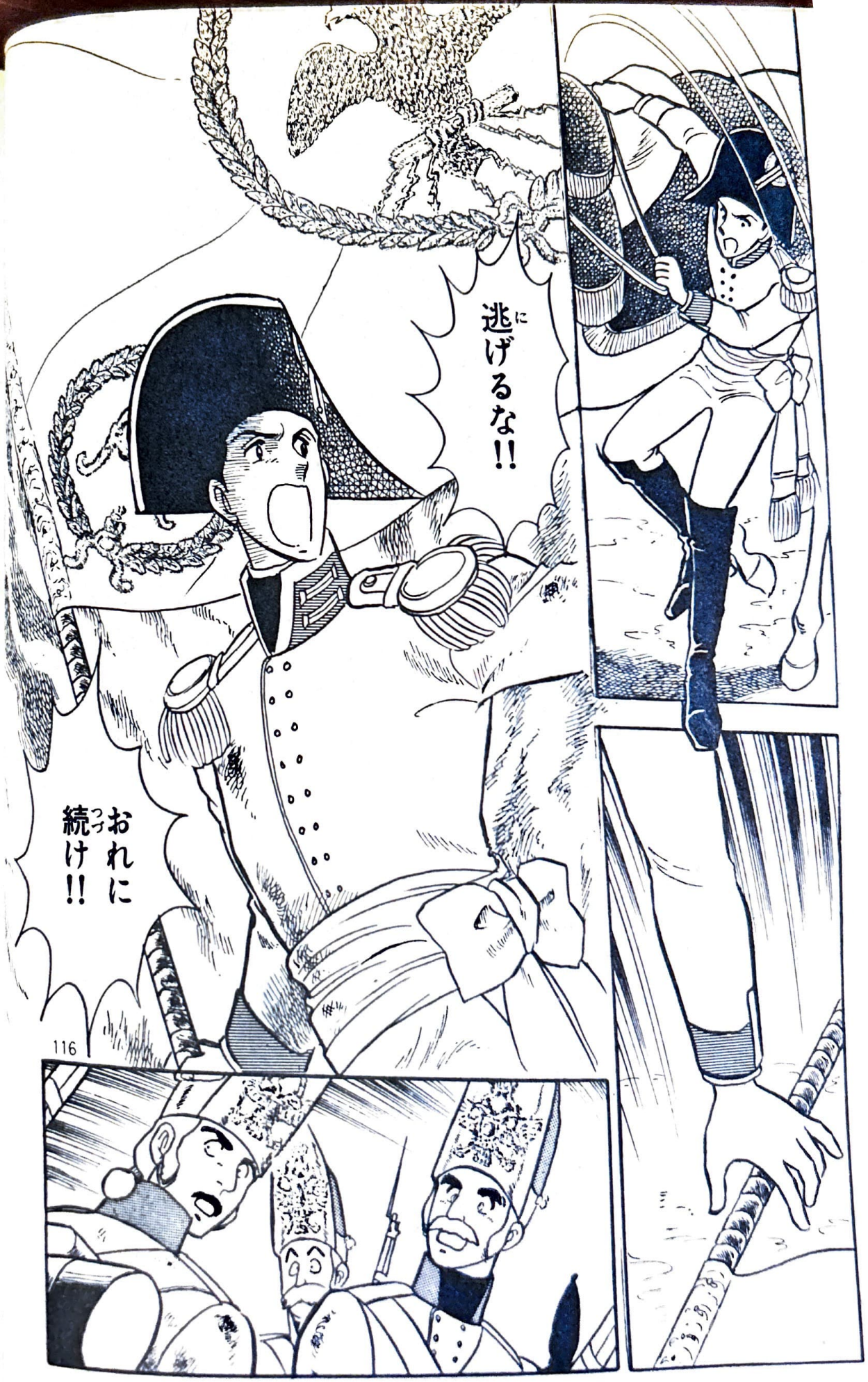
ドドド…

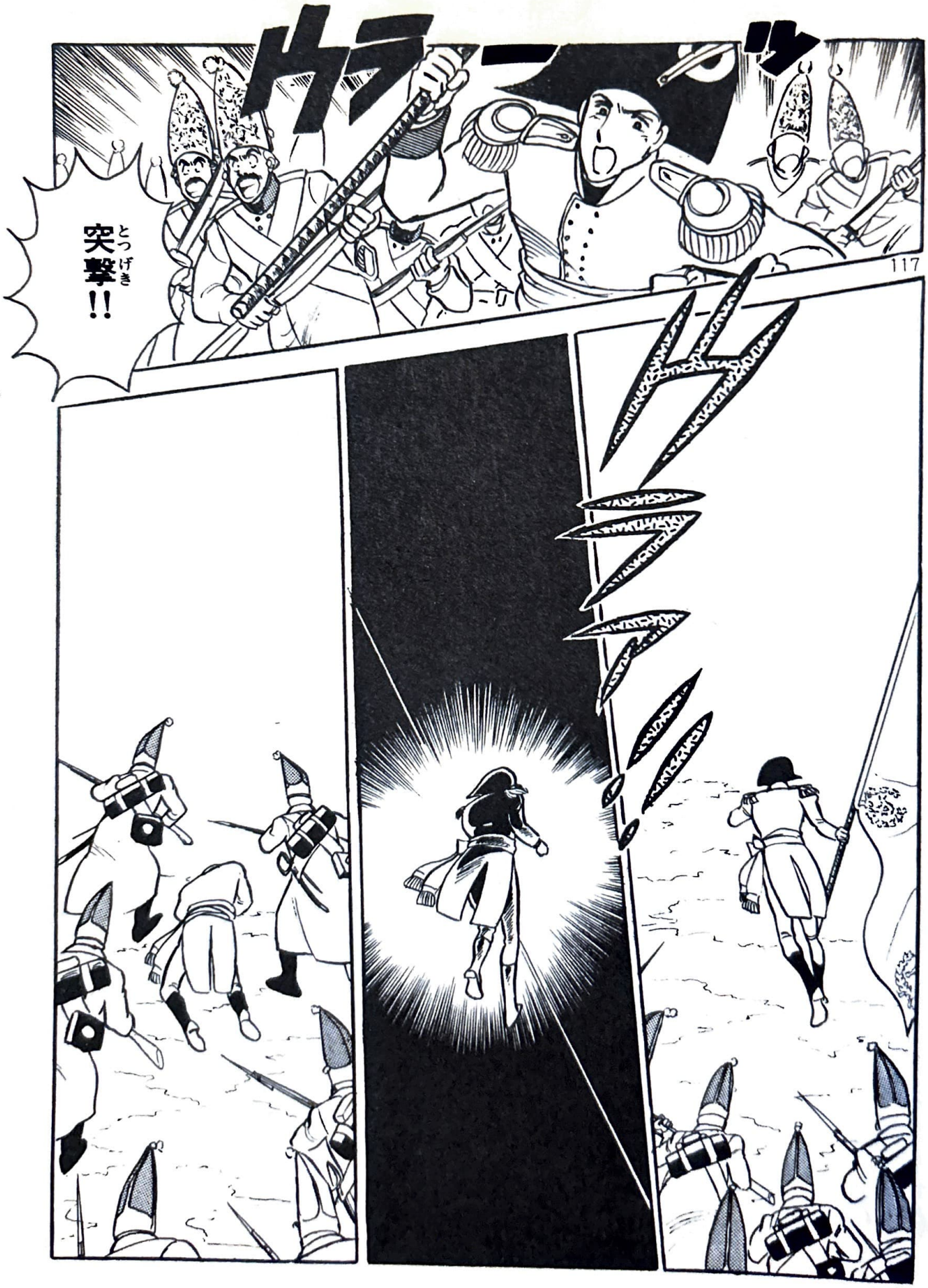
ドドドドド…
114
フランス軍(ぐん)だ!!
わあああ

クツーゾフ将軍！
フランス軍の攻撃です!!
ぬうっ やはりきたか!!
わあああ
あー
こうなったら右をぬくしかないなんとしてもダブーをたたきつぶせ!!
われわれは三万!!やつらは一万もいないのだぞ!!

われわれはフランス軍とむかいあって中央の突撃をくいとめるのだ!!
わあー
逃げろ！
逃げるな!!
戦列をたてなおせ！


アンドレイ!!退却をくいとめろ!!
はい！

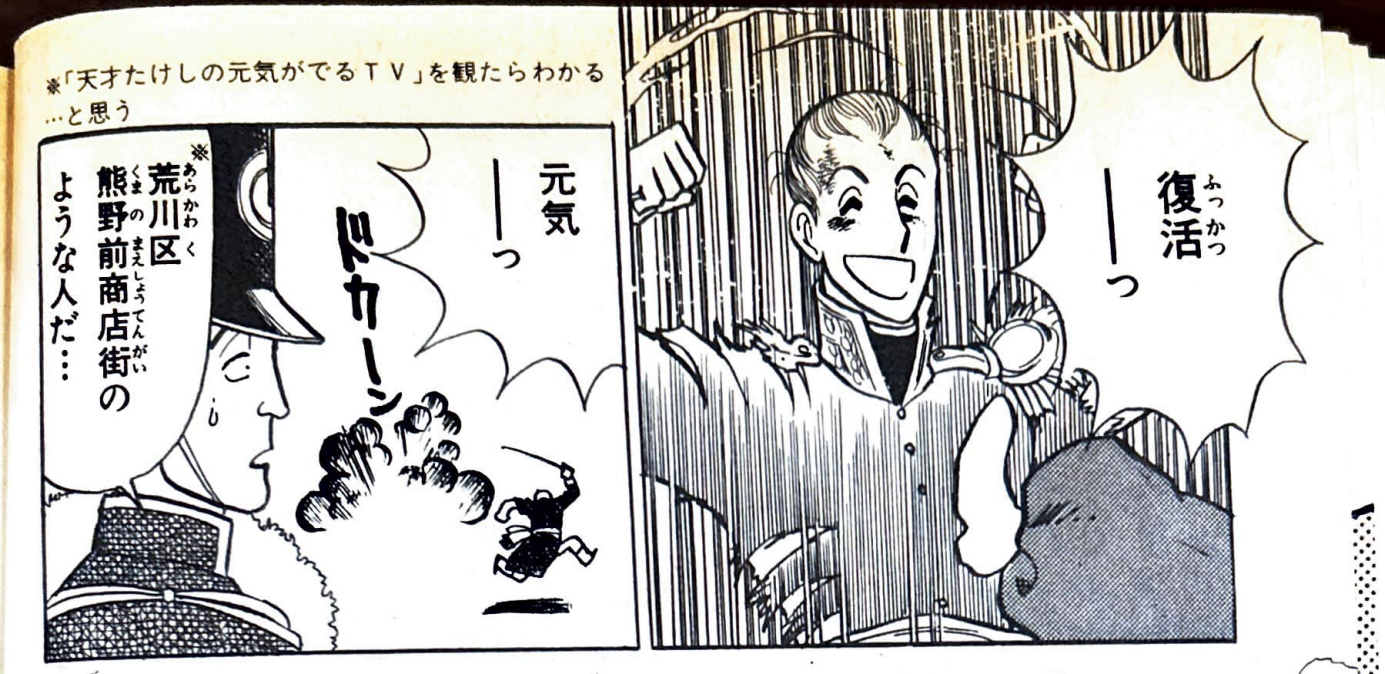

逃げるな!!
おれに続け!!
116


ウラーッ
突撃(とつげき)!!
117

おれは
死ぬのか
…?

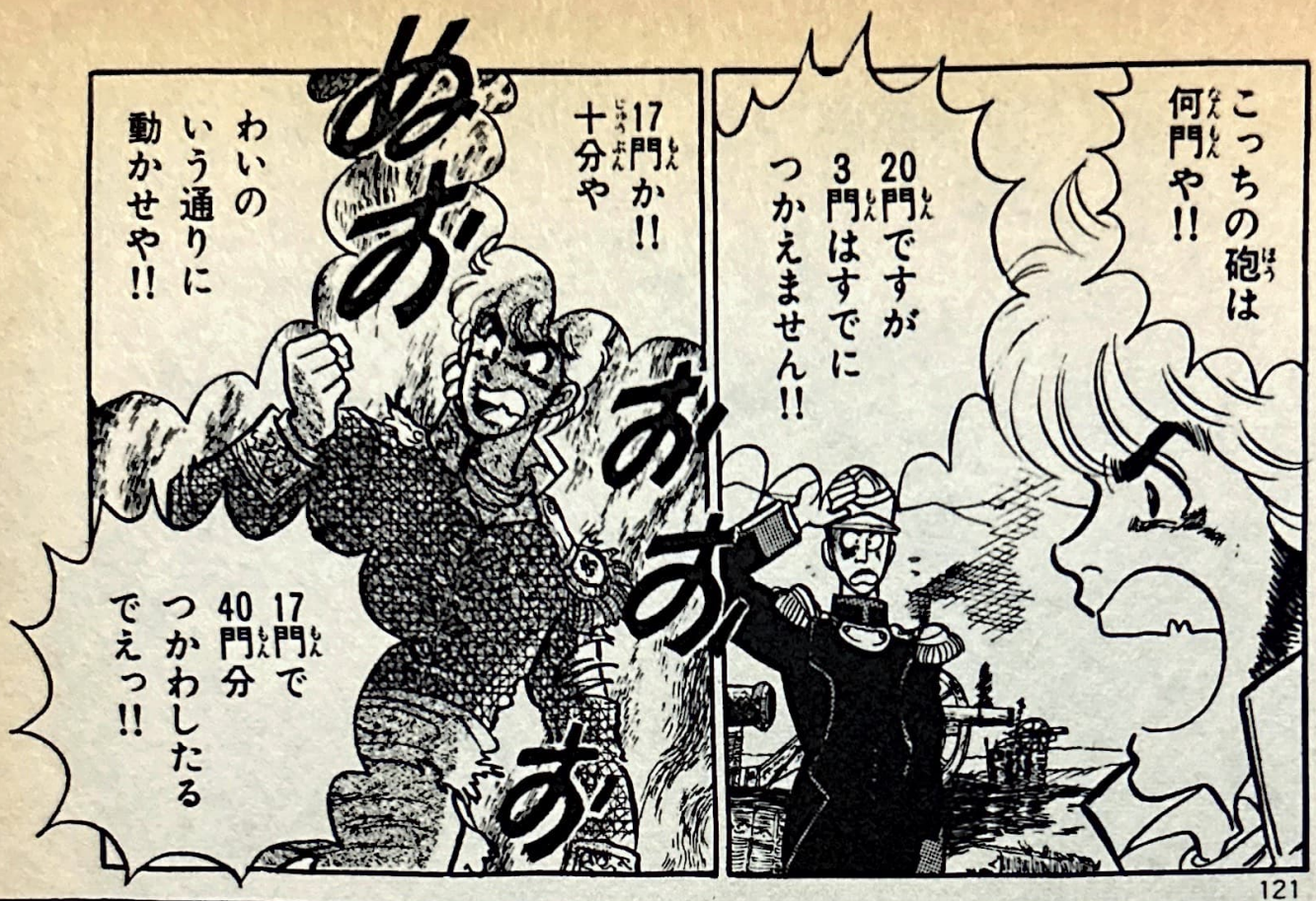
AM 9：45 フランス軍・右翼
フランス軍は少数の兵で
得意の機動力を発揮し
神出鬼没の活躍で連合軍の
三万の大軍を抑制しつづけていた
はずかしいと思わんのか!!
押せ!! ぶっつぶせ
←ビュックスホフデンだよ
わーーっ!!
フリアン将軍!!
将軍っ!!

※「天才たけしの元気がでるＴＶ」を観たらわかる…と思う



午前 10：30　フランス軍・左翼

ランヌの第5軍団は
バグラチオン軍の南下を
くいとめるために
攻撃を開始していた



121

午前 10：45　プラッツェン高地

なめたら
あかん
でえっ!!
ドゴゴ
いまや連合軍は
三つに分断されていた
バクラチオン
ランヌ
ミュラ
リヒテンシュタイン
騎兵軍団
衛兵
第1軍団
スールト
グリーンソフ
ダブー
ブックスホウデン
よし!!
スールトを
右翼へ
まわらせろ!!
右の大軍を
ダブーと
はさみうちに
するんだ!!
ドドドド
わあああ

……!!

アレクサンドル皇帝(こうてい)…!!

近衛(このえ)だ!!
近衛(このえ)を
投入(とうにゅう)しろ!!

123

ドドドドド!!

よし
こちらも
近衛(このえ)を
ぶつけよう

はいっ!!

近衛だ!!
ブルル…
近衛騎兵を出すぞ!!
わあ!!
近衛が!?
近衛騎兵がでるぞ!!
ちくしょうらやましいな!!
124
いよ――っ
大統領!!
かっこいいぞ――っ
おれたちもでてぇよーっ

午前 12：30　プラッツェン高地
POUR L'EMPERUR!!
皇帝のために!!
125
ラップ将軍率いる近衛マムルーク騎兵槍騎兵二個中隊乗馬てき弾兵一個中隊がロシア近衛騎兵にぶつけられた
EN AVANT!
前進！
ドドドドドドド

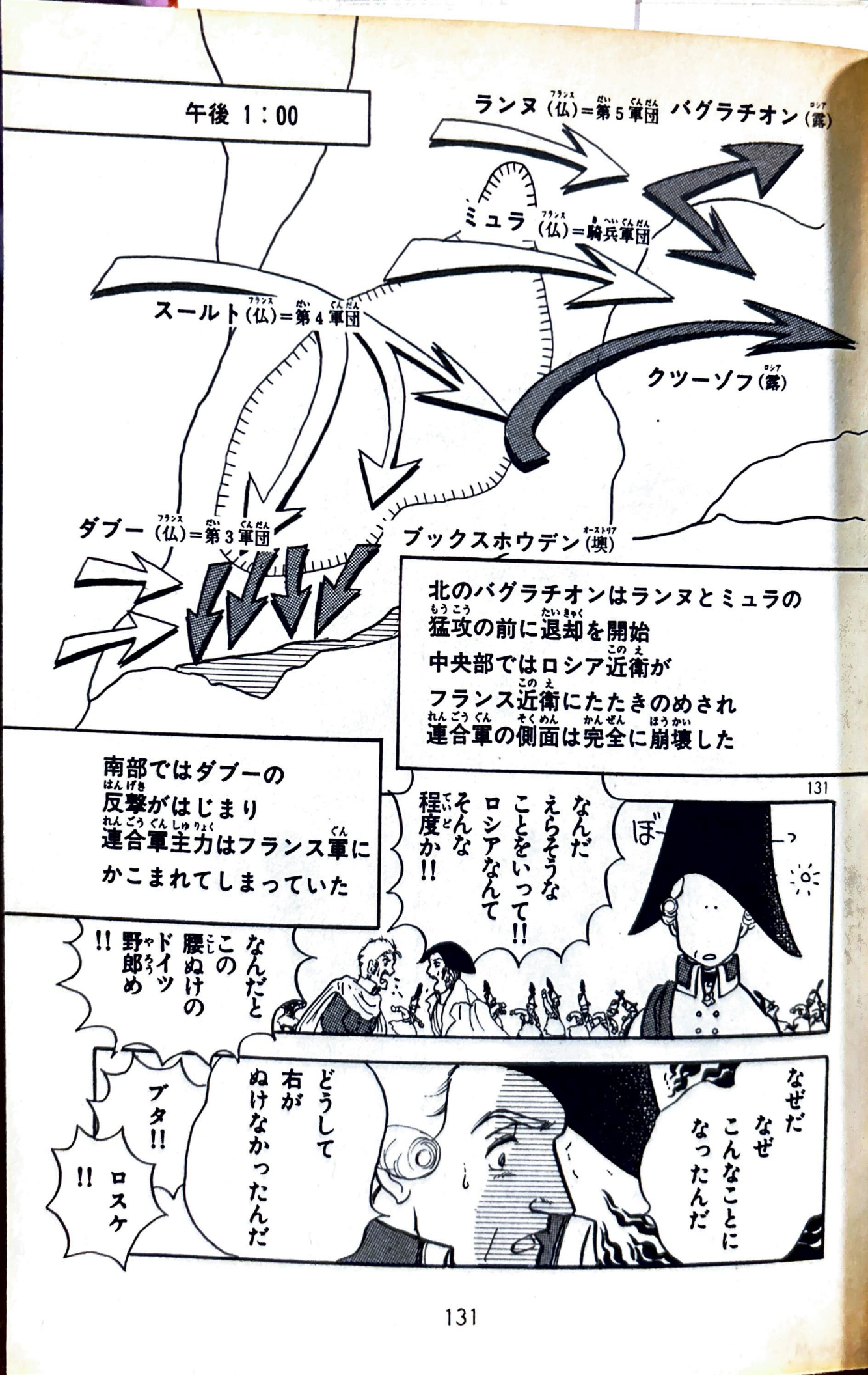
いてこませーっ!!
同じころ北部では
ランヌがバグラチオン軍団の
右翼に位置するオーストリア軍を
ぶちぬいていた
ぐぬ!!
なんて
やつらだ
…!!
くそっ
騎兵だ
ありったけの
騎兵を
ぶっつけろ!!

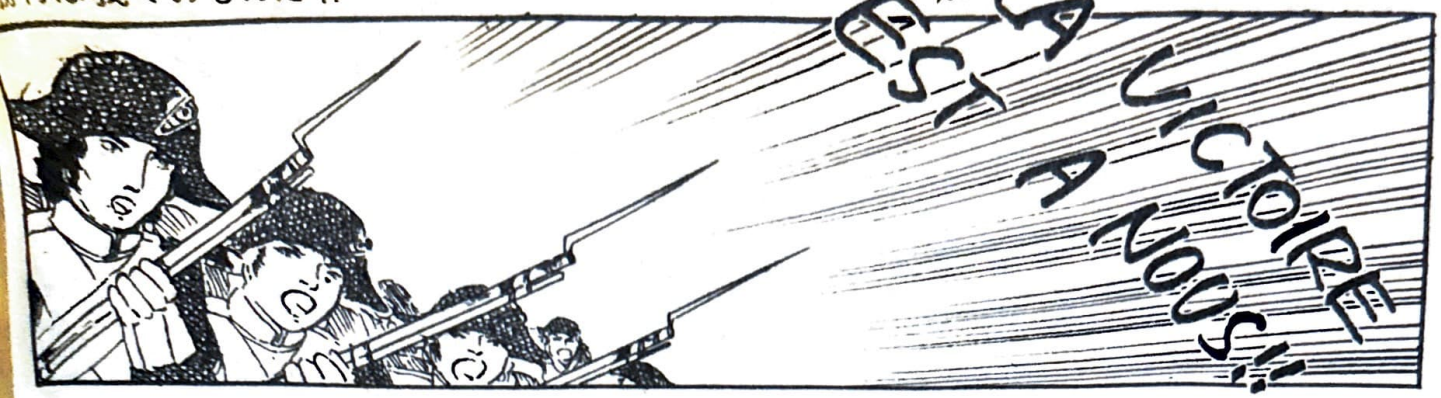
ドドドドドドド
およ!?
DORAGONS
ガチャ
ガチャ
ガチャ
おーーっ
ありゃ騎兵や!!
六千はいるで
チビ(ランヌ)があぶない!!
よっしゃ
続けえ!

ヴィヴ
Vive!!
皇帝ばんざい!!
L'EMPERUR !

130

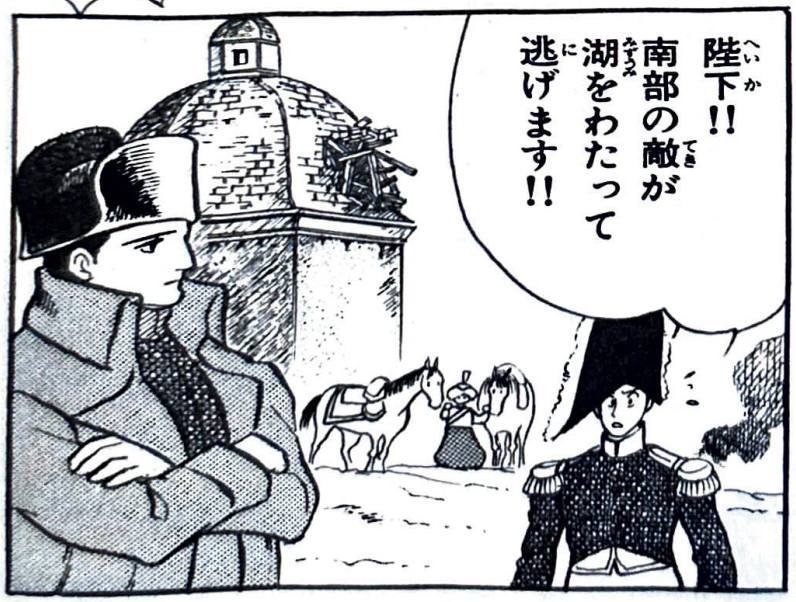
またの名を頭に羽根つけたニワトリともいう。


午後 1：00
ランヌ（仏）＝第5軍団
バグラチオン（露）
ミュラ（仏）＝騎兵軍団
スールト（仏）＝第4軍団
クツーゾフ（露）
ダブー（仏）＝第3軍団
ブックスホウデン（墺）
北のバグラチオンはランヌとミュラの
猛攻の前に退却を開始
中央部ではロシア近衛が
フランス近衛にたたきのめされ
連合軍の側面は完全に崩壊した
南部ではダブーの
反撃がはじまり
連合軍主力はフランス軍に
かこまれてしまっていた
131
ぼー
なんだ
えらそうな
ことをいって!!
ロシアなんて
そんな
程度か!!
なんだと
この
腰ぬけの
ドイツ
野郎め
!!
なぜだ
なぜ
こんなことに
なったんだ
どうして
右が
ぬけなかったんだ
ブタ!!
ロスケ
!!


※VICTOIRE NOUS!!

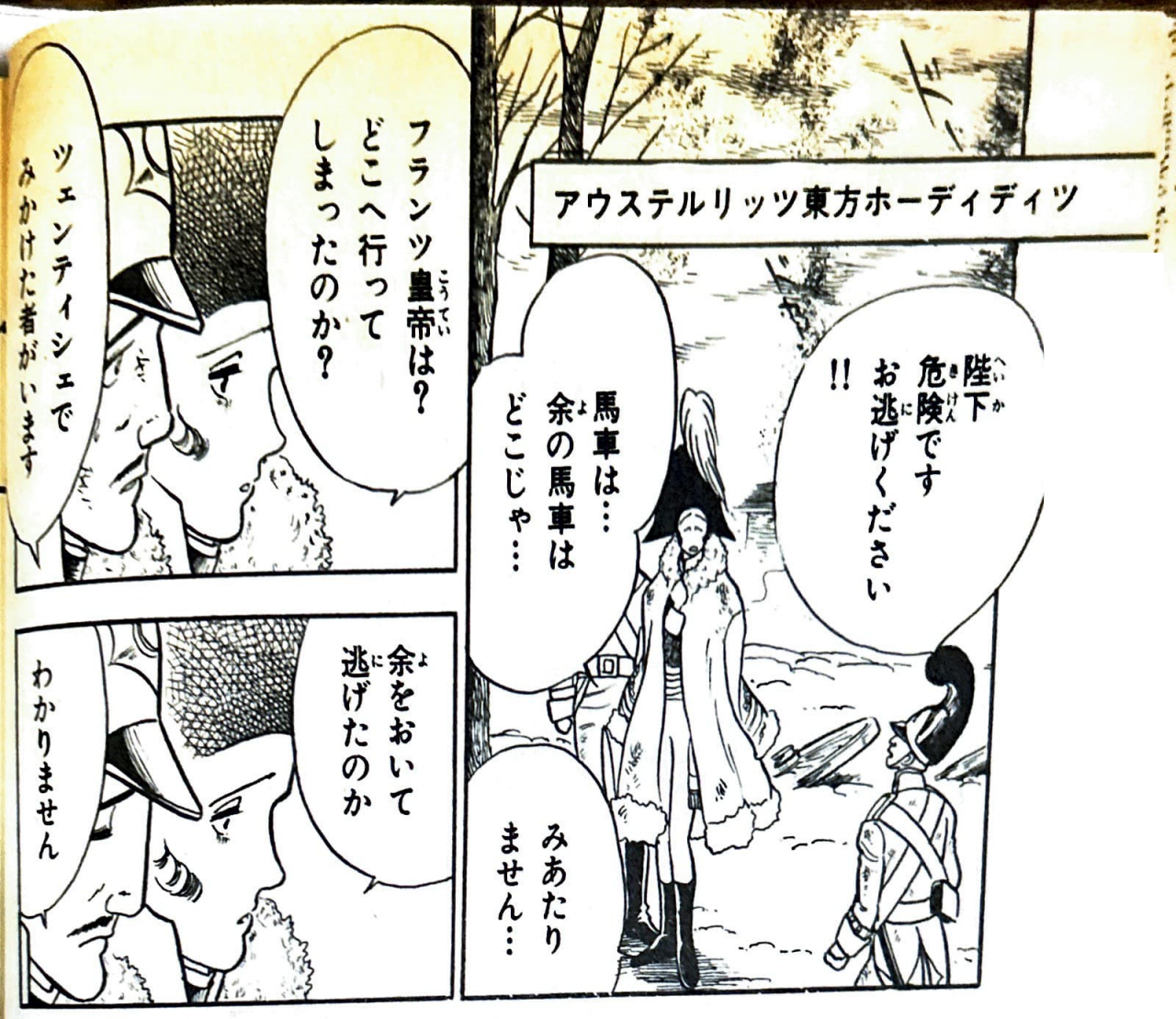
フランス軍だ!!
逃げろ!!
逃げるってどこへ!?

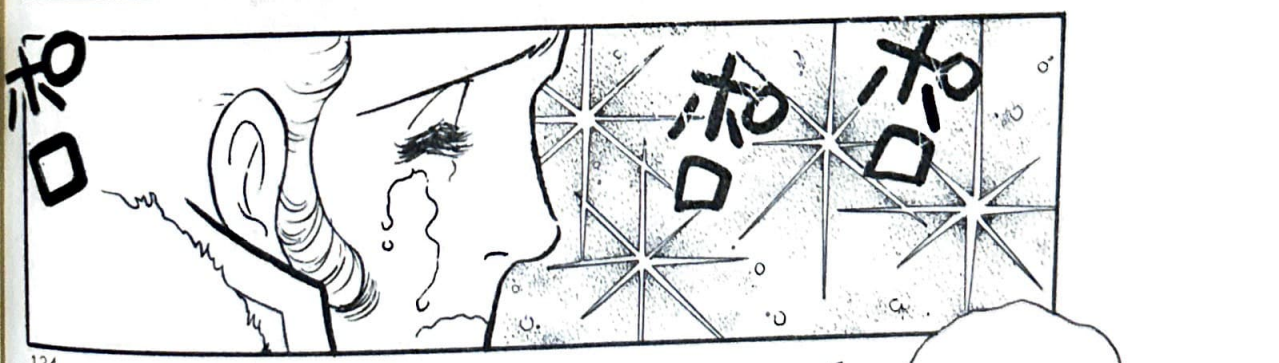
湖だ!!
湖が凍ってわたれるぞ!!


陛下!!
南部の敵が湖をわたって逃げます!!

よし
ダブーに砲撃させろ
人馬をねらう必要はない

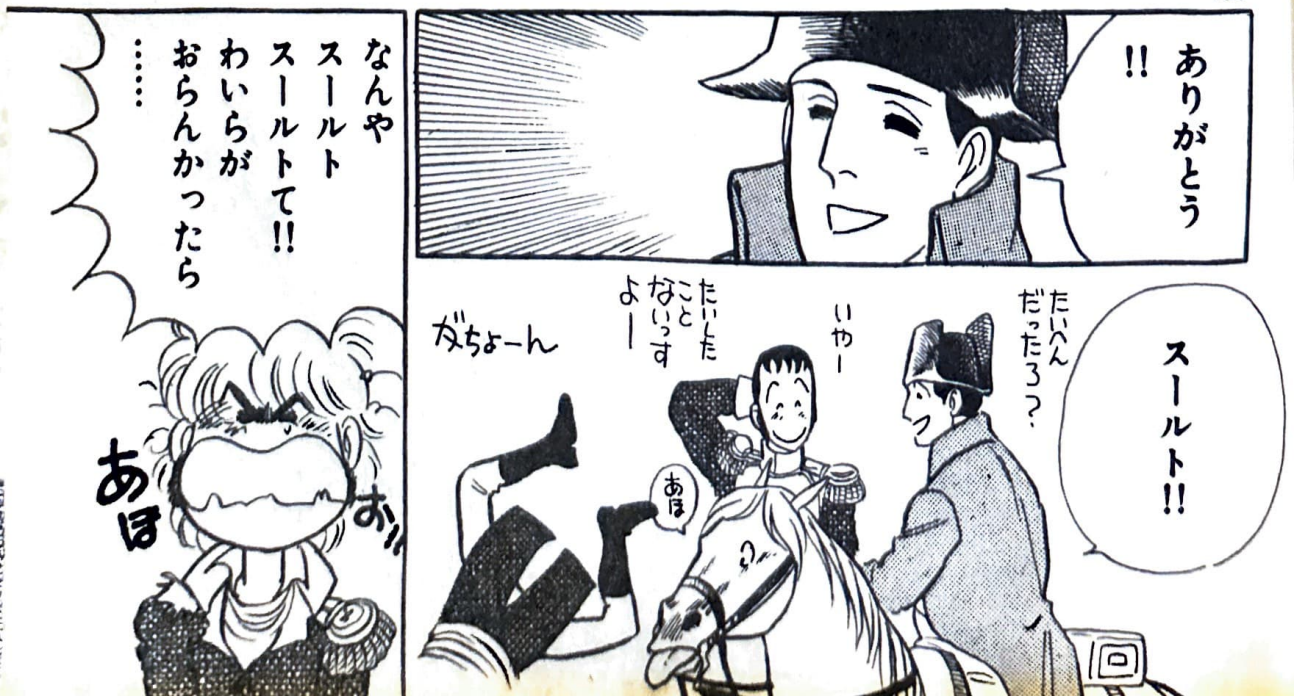
氷を
われ…
ガボッ
うわっ
ドガーン
ドガーン
わああああ
バキッ
ガボ
メキ
わーーっ
ひーーっ

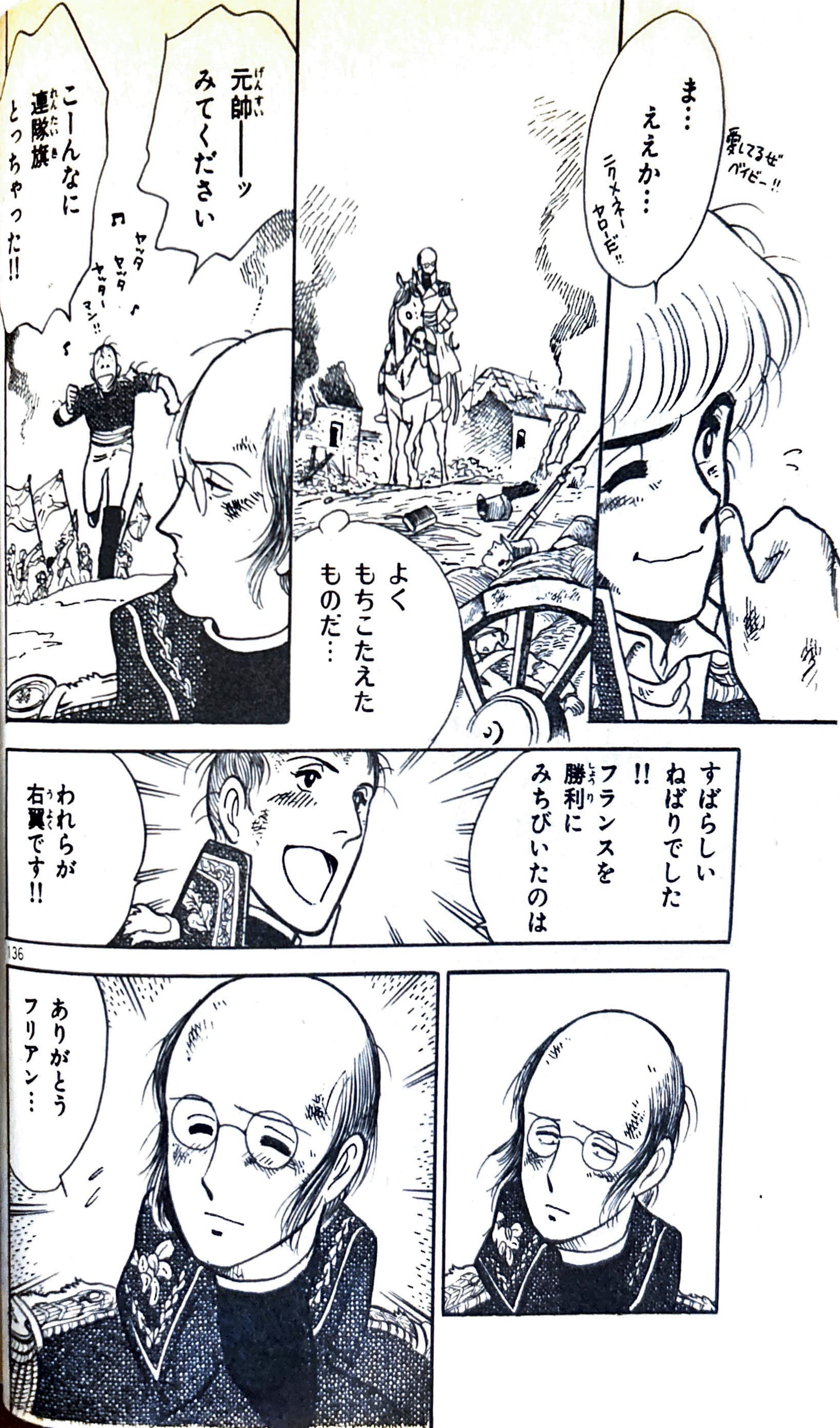

陛下 危険です お逃げください!!
馬車は… 余の馬車は どこじゃ…
みあたりません…
フランツ皇帝は? どこへ行ってしまったのか?
ツェンティシェで みかけた者がいます
余をおいて 逃げたのか
わかりません

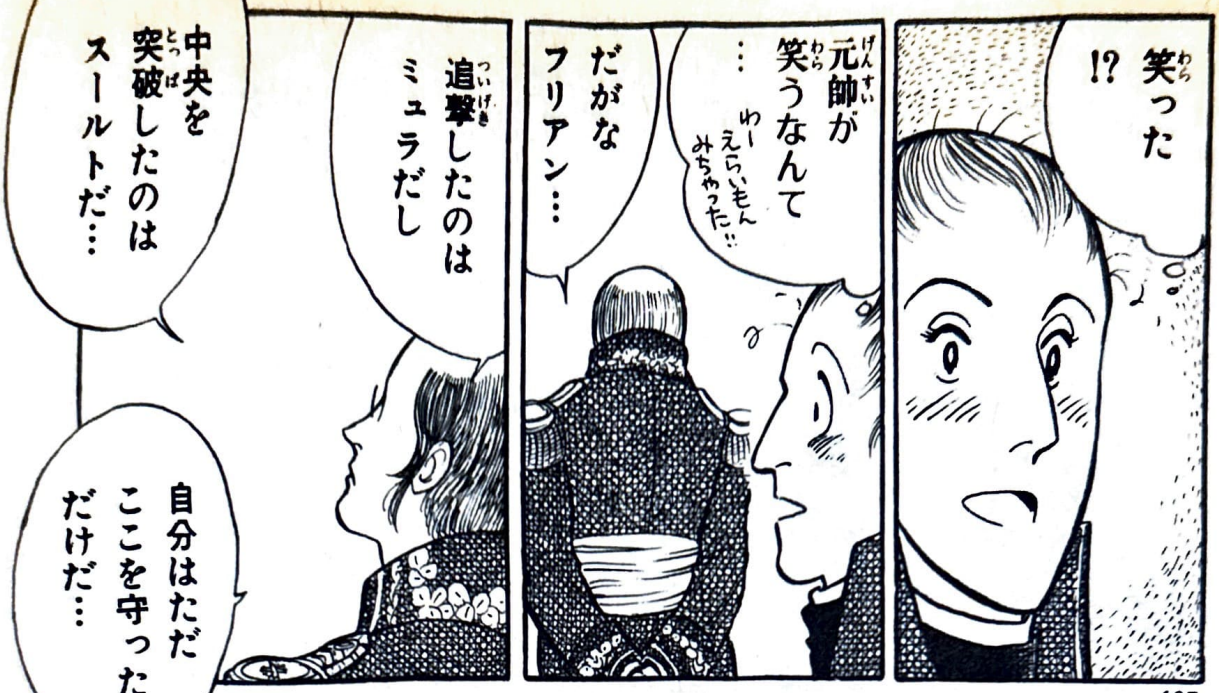

ポロ
ポロ
ポロ

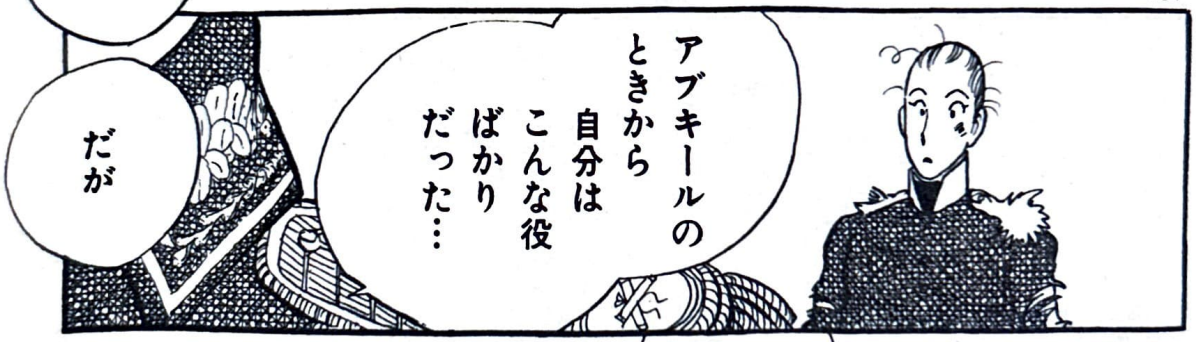
負けちゃったよ〜〜
陛下…… お気をたしかに
やれやれ……
この敗戦の責任はみんなわしがかぶるんだろうな…

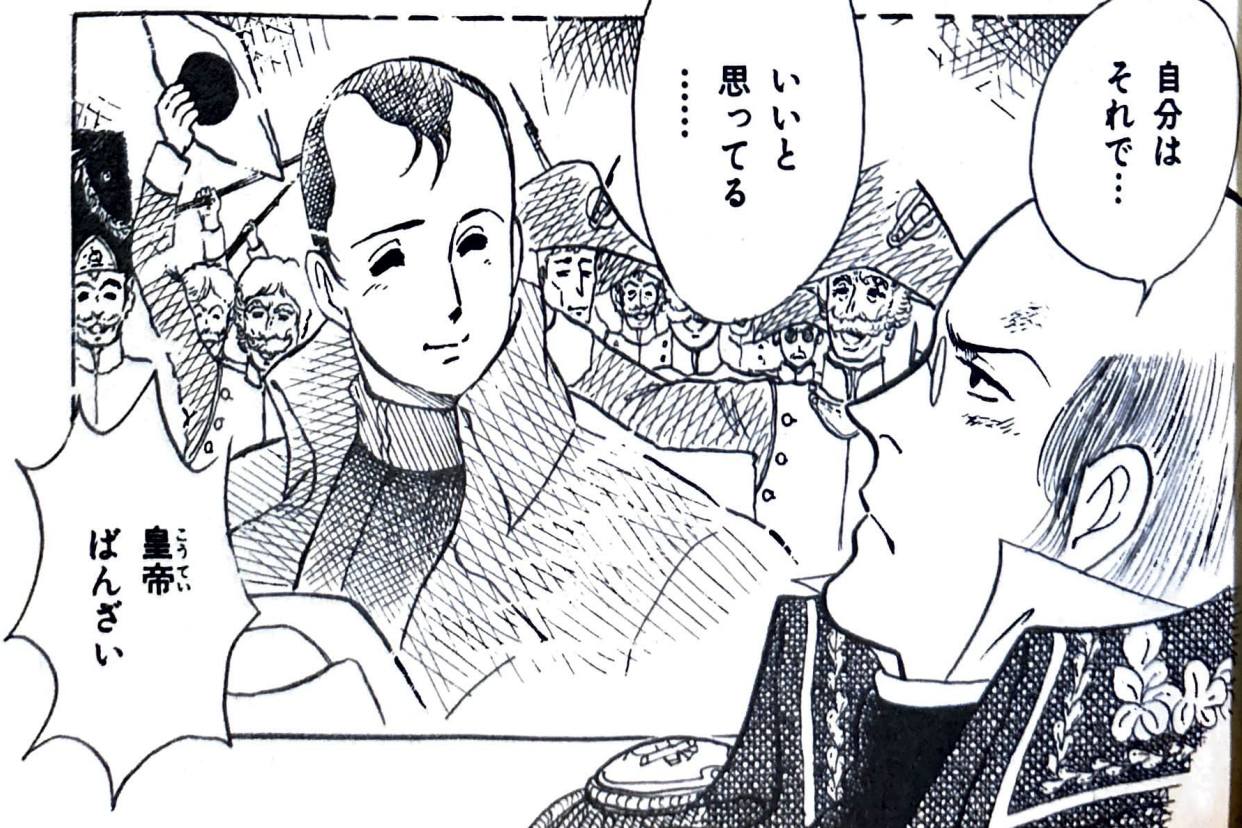
それにしても
ナポレオンは
…さすがに
強い
ひあああ
陛下
みいや!!
北の敵は
追いちらした
でっ!!
うおおおお!!

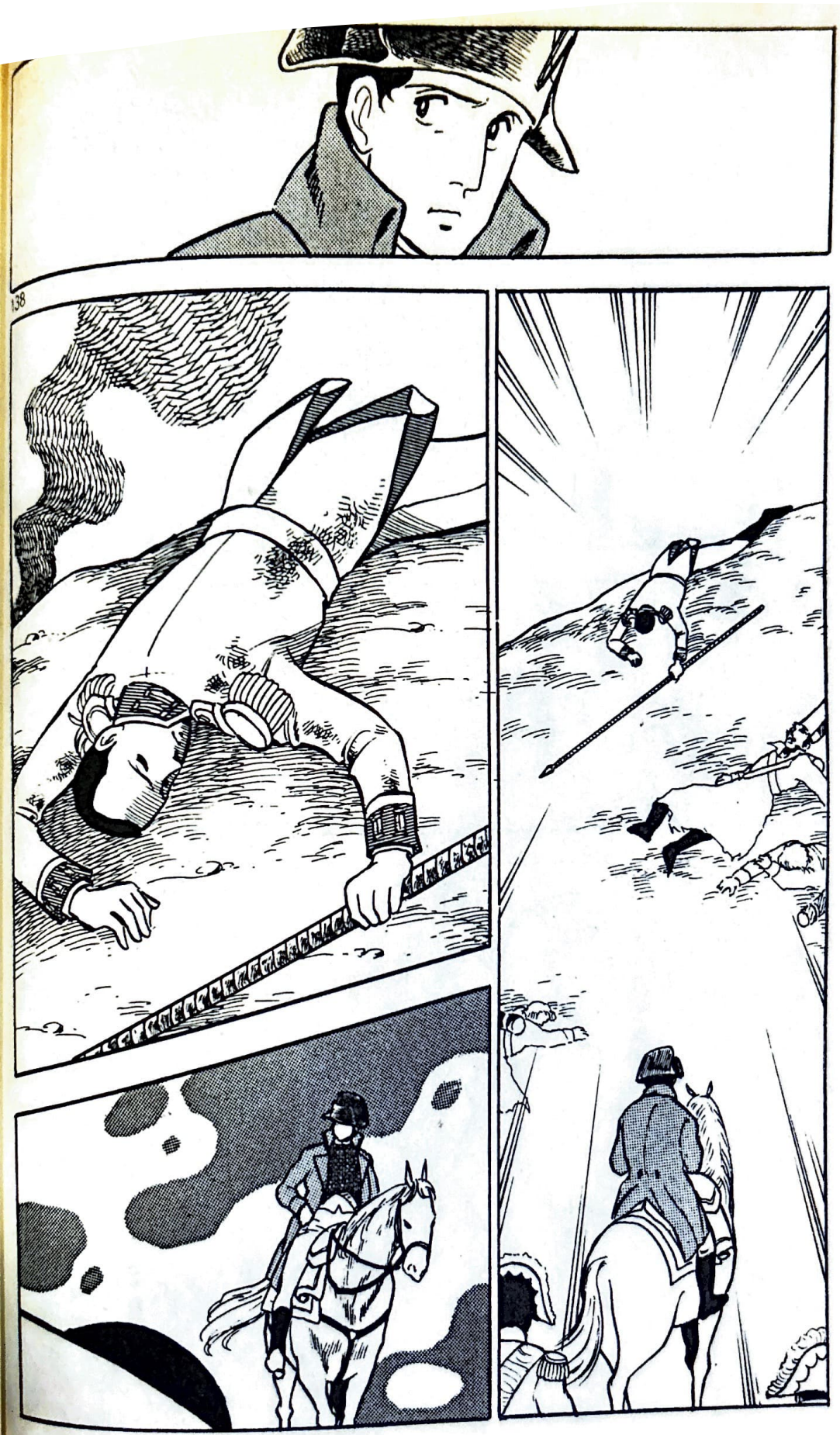

ありがとう
!!
スールト!!
たいへん
だったろ?
いやー
たいした
ことない
すよー
がちょーん
あほ
なんや
スールト
スールトて!!
わいらが
おらんかったら
……
あほ


ま…
ええか…
ニクメネーヤローだ!!
愛してるぜベイビー!!
よくもちこたえたものだ…
元帥ーーーッ
みてください
こーんなに連隊旗とっちゃった!!
ヤッタヤッタヤッターマン!!
すばらしいねばりでした!!
フランスを勝利にみちびいたのは
われらが右翼です!!
ありがとうフリアン…


笑った!?
元帥が笑うなんて…
わーえらいもんみちゃった…
だがなフリアン…
追撃したのはミュラだし
中央を突破したのはスールトだ…


自分はただここを守っただけだ…
だが
アブキールのときから自分はこんな役ばかりだった…


自分はそれで…
いいと思ってる……
皇帝ばんざい



うっ…

ベルチェ

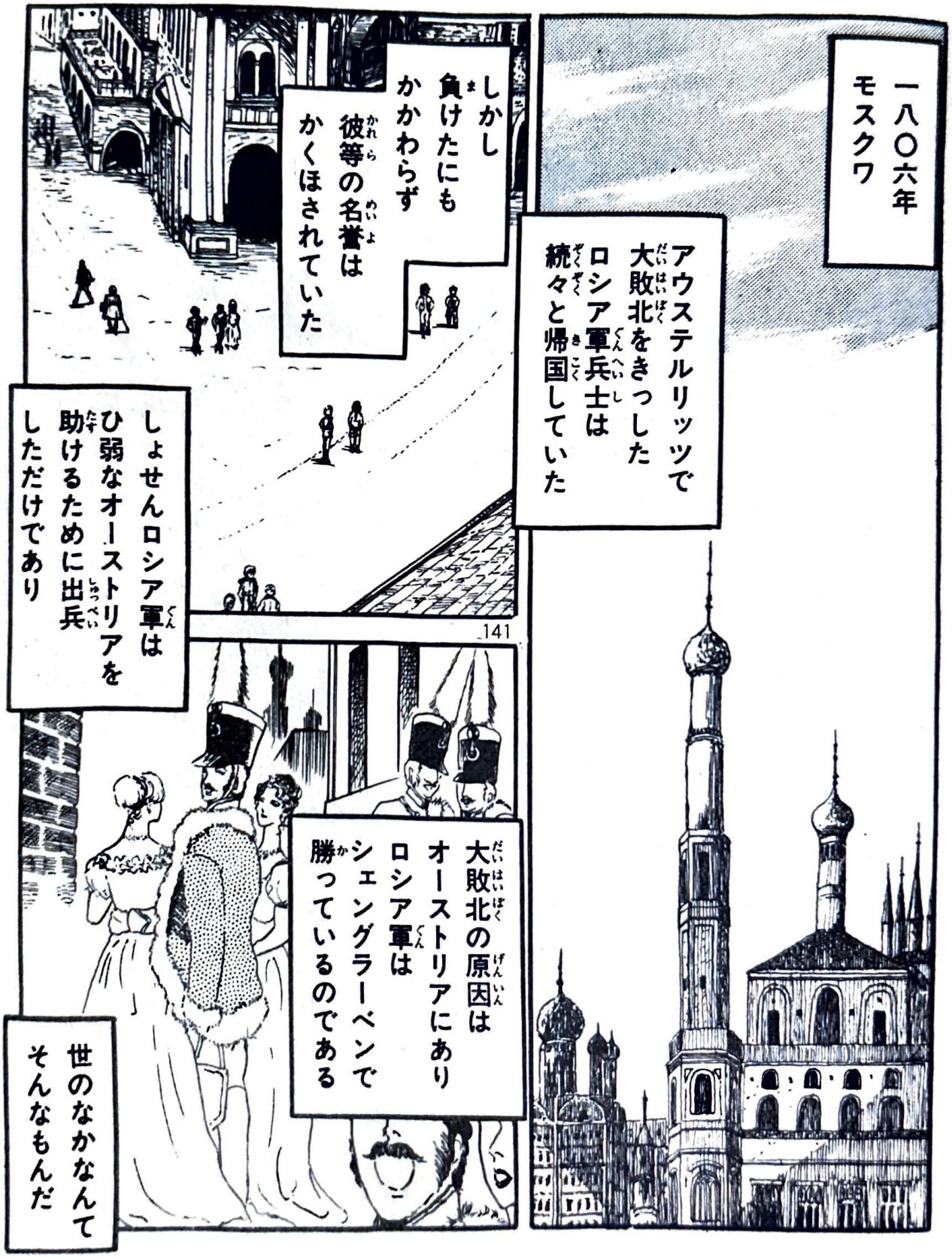
あの男は
まだ
生きている
救護所へ
はこんで
やるがいい

「兵士諸君
余はきみたちに満足している
きみたちは人々に
アウステルリッツにいたと
告げるだけで十分である
――人々はきみたちにいうであろう
〝ここに勇者あり〟…と」

アウステルリッツ
それは
ナポレオン時代の
華やかな幕あけであった

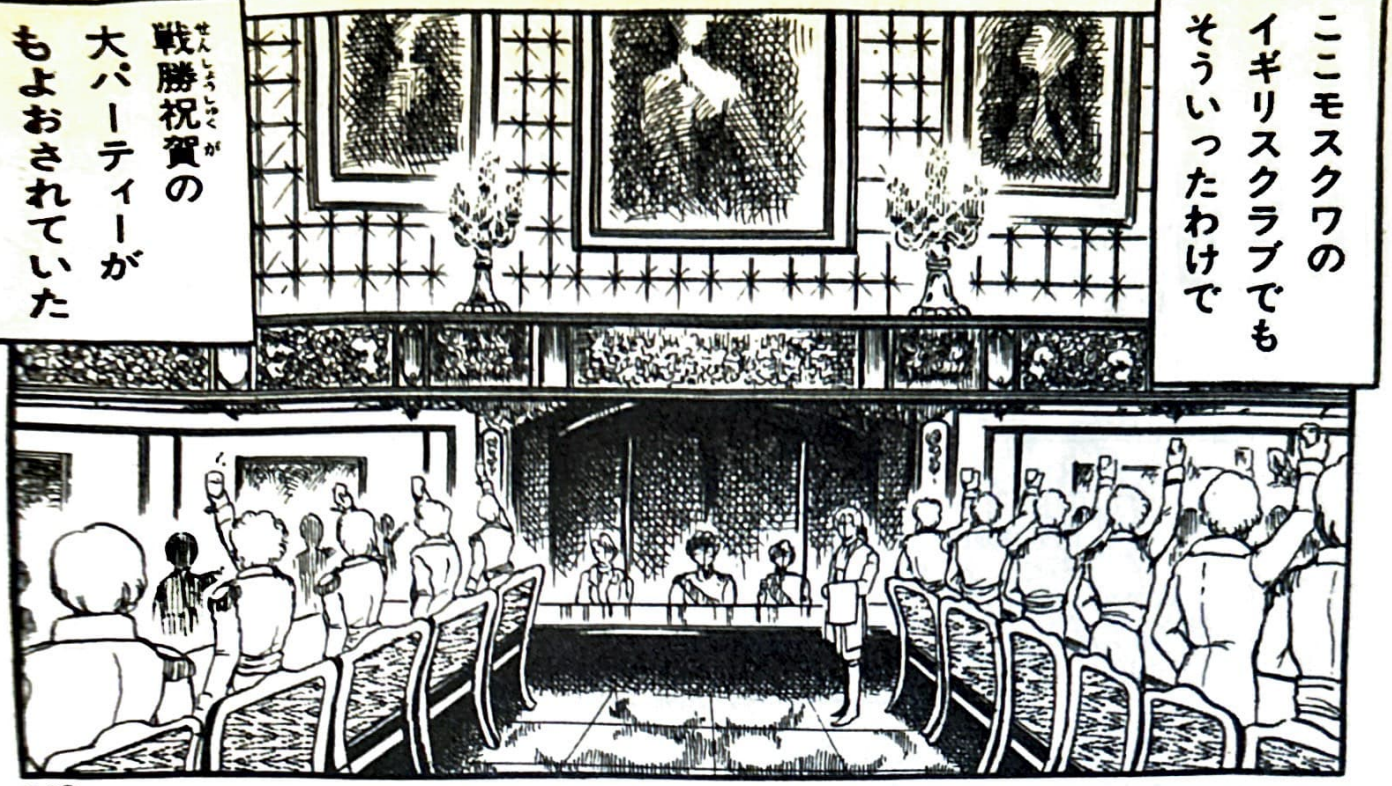
十二月二十六日
フランツ二世は
プレスブルグにおいて
フランスと和約を結び
第三次対仏同盟は
崩壊した…

第6章　ピエールの決闘


一八〇六年
モスクワ
アウステルリッツで
大敗北をきっした
ロシア軍兵士は
続々と帰国していた
しかし
負けたにも
かかわらず
彼等の名誉は
かくほされていた
141
しょせんロシア軍は
ひ弱なオーストリアを
助けるために出兵
しただけであり
大敗北の原因は
オーストリアにあり
ロシア軍は
シェングラーベンで
勝っているのである
世のなかなんて
そんなもんだ

ここモスクワの
イギリスクラブでも
そういったわけで

戦勝祝賀の
大パーティーが
もよおされていた



142

主賓はおなじみ
バグラチオン公爵

いや
どーも

彼はシェングラーベンの
勝利者であり
アウステルリッツでは
フランス軍の追撃をのがれ
自軍を全滅から
救いだした
英雄である

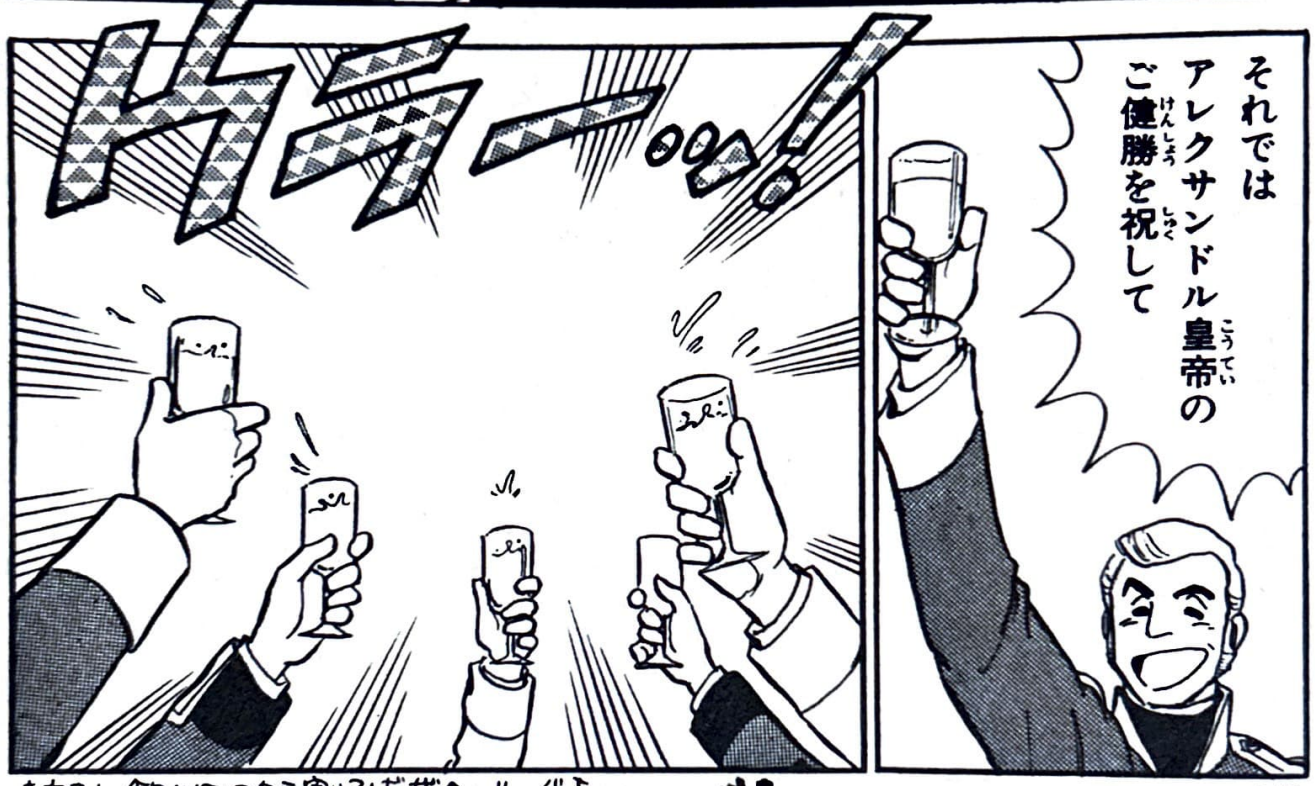
よっ!!
大統領!!

そしてこのパーティーには
シェングラーベン戦で
勲章をもらった
ニコライ・ロストフ

おまえ
馬からおちて
気失なって
たんとちがうか?

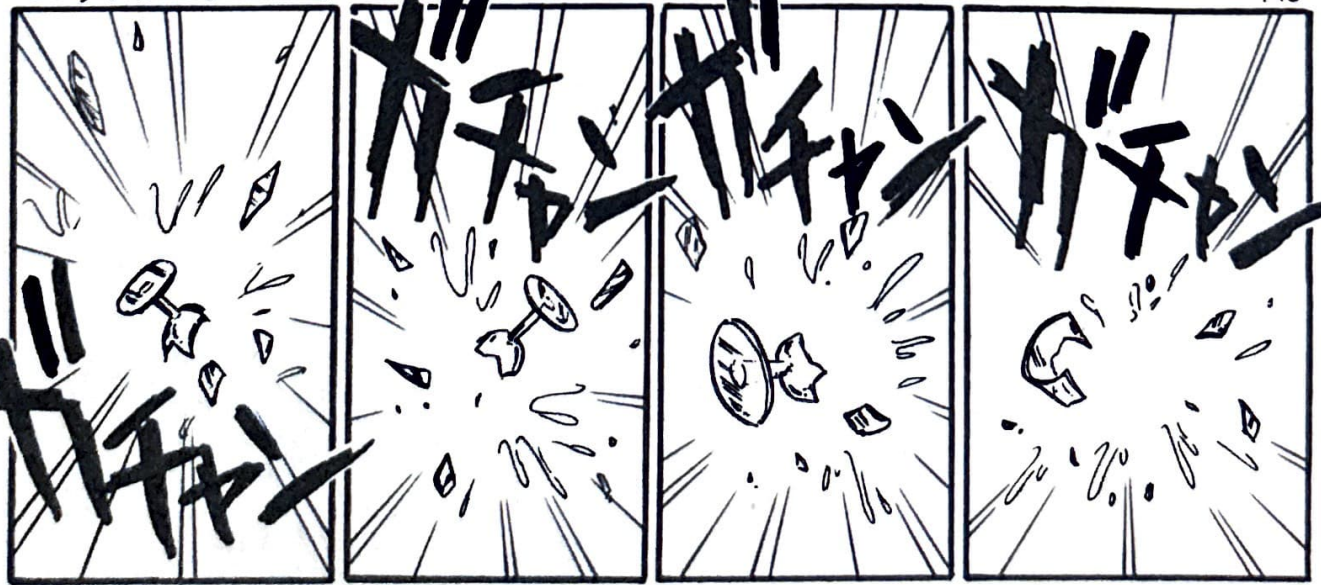
兵隊ヤクザの
ドロホフ

ばかやろ
にあわねえよ
いくなねえよ

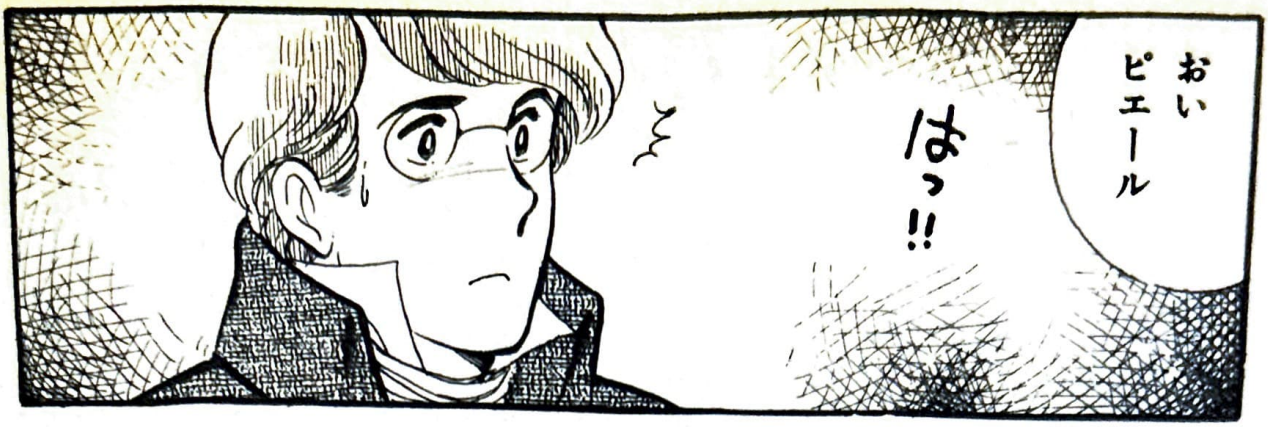


もちろん飲みほしてから割るんだぜ…!! ぐあー、

143

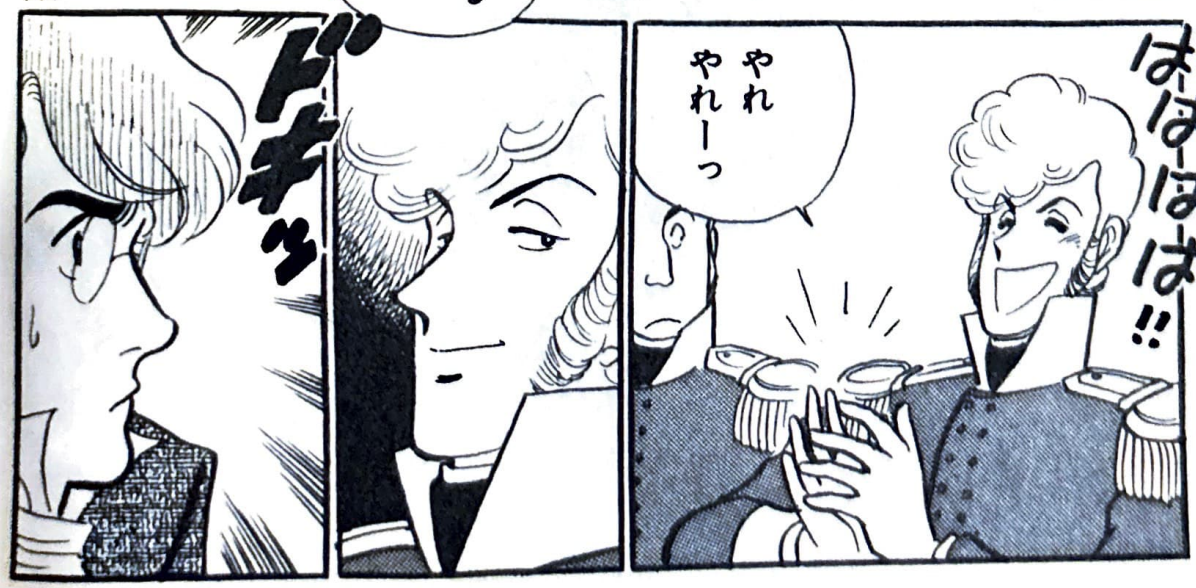


ももも…もったいない ロシア式カンパい …… 一度はやってみたい…

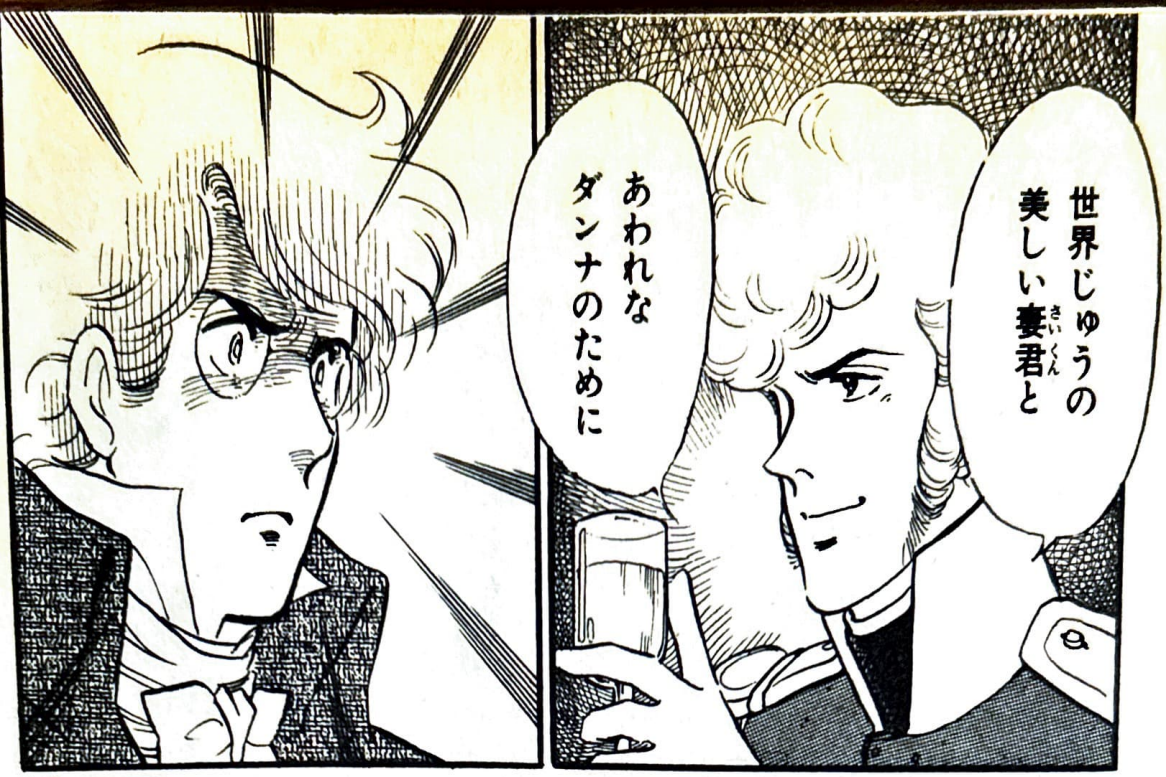

おい
ピエール
はっ!!

なんで
かんぱい
しないんだ
え…?
…あ…
ごめん
ボーっと
してて…
なにが
ボーだ!!
ほかならぬ
皇帝陛下の
ためだぞ
そうだぞ
こいつ愛する
人のことと
なると
こわいぞ
まだそーゆー
そんなこと
いってんのか
きみはーっ!!

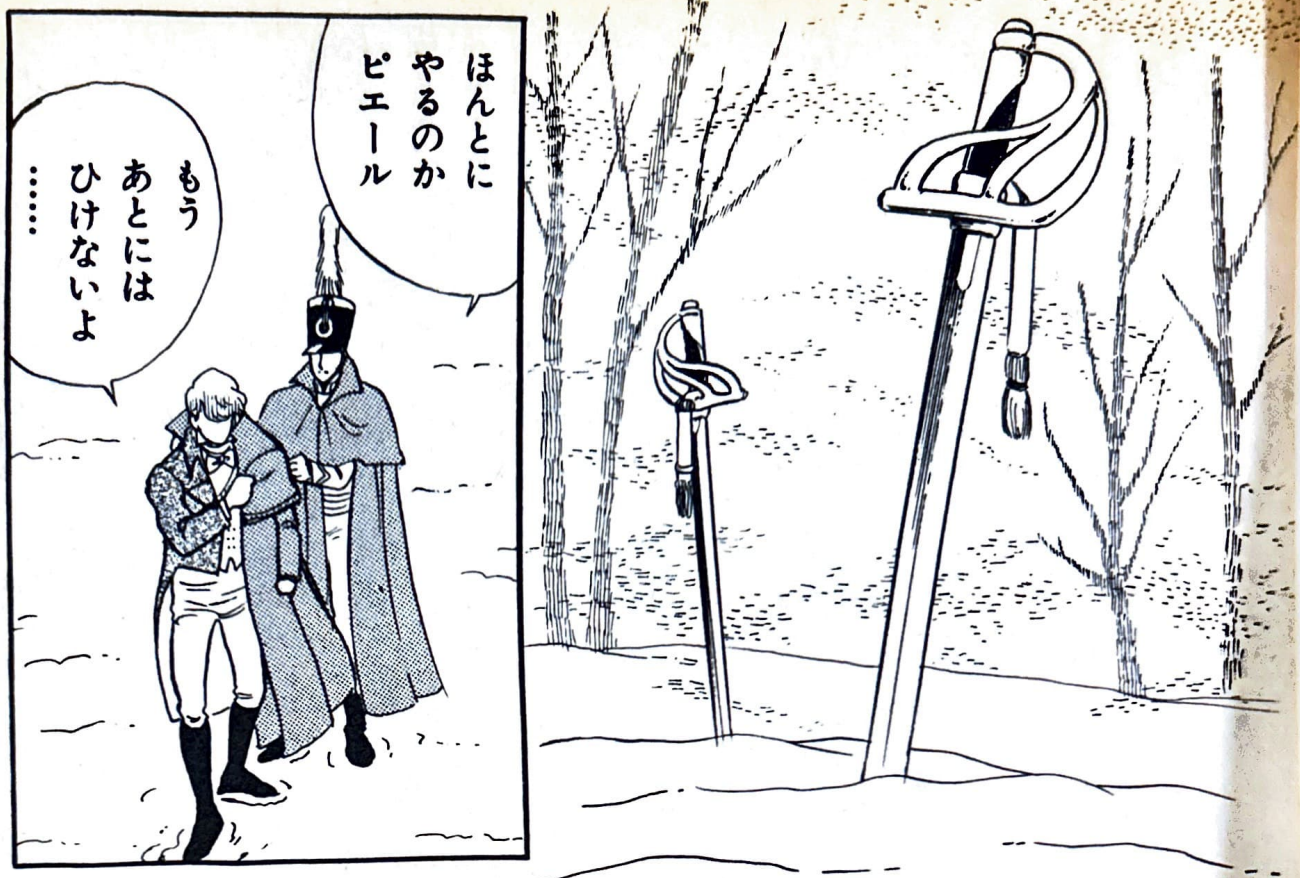
144

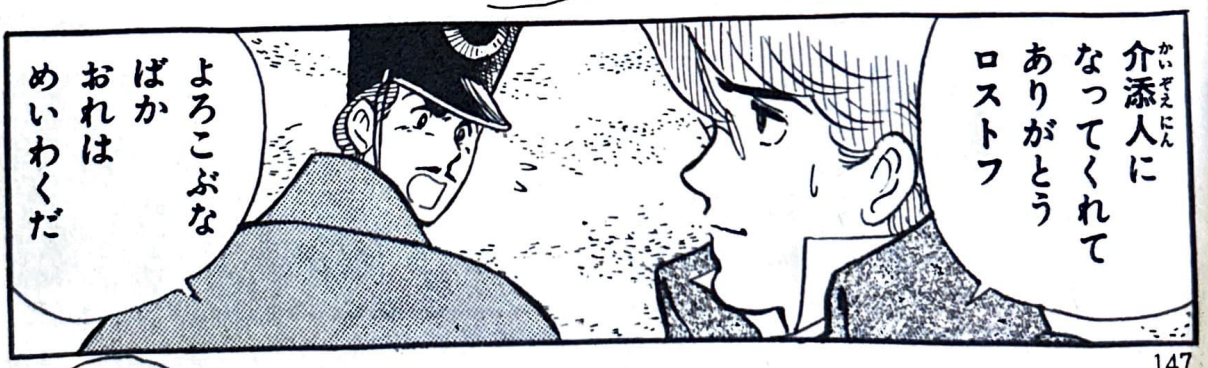

ははは!!
やれ
やれーっ
ドキッ

ピエール　君はめがねを
かけているのに まわりがよく
見えないらしい
君の奥さんとドロホフの関係を
モスクワ中で 知らないのは 君だけだ
と、ロシア語で
かいてある
145
ドロホフ…
シェングラーベンで
二人のフランス兵を
捕虜にし
すばらしい
活躍をして
帰ってきた英雄
そんなうわさが
あるなんて
本当だろうか
……
財産を手にいれ
妻もめとり
それでもまだおれは
ばかにされつづけるの
だろうか…
おい
かんぱいしようぜ
ダンナ
ピー

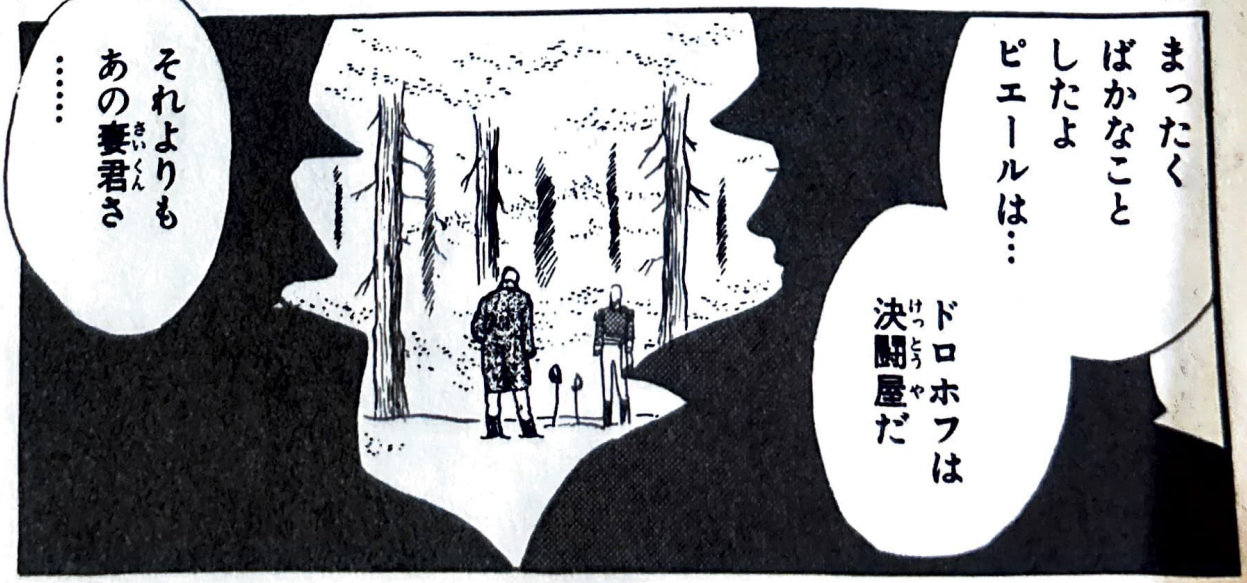


146

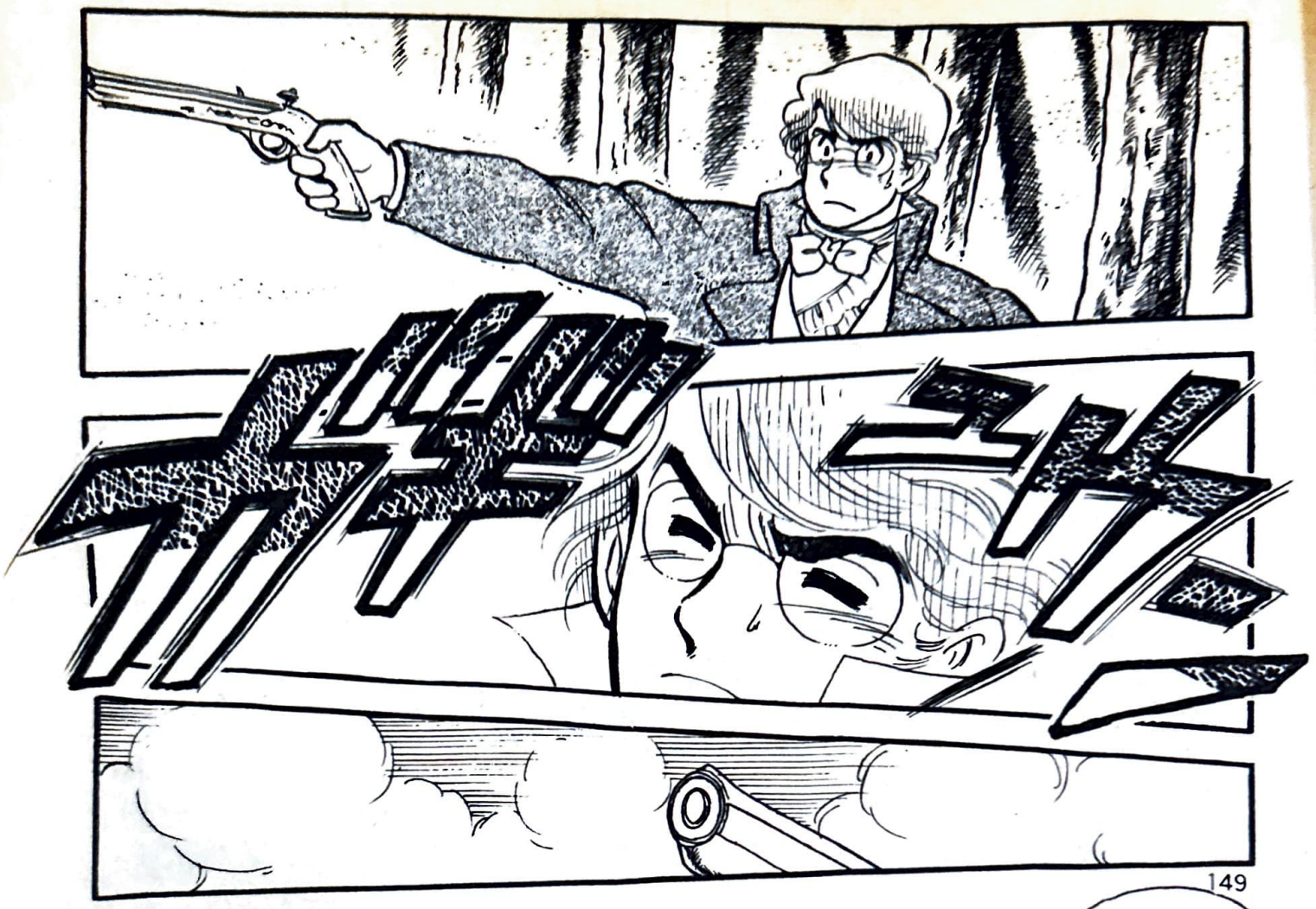

ほんとにやるのかピエール
もうあとにはひけないよ……


介添人になってくれてありがとうロストフ
よろこぶなばかおれはめいわくだ

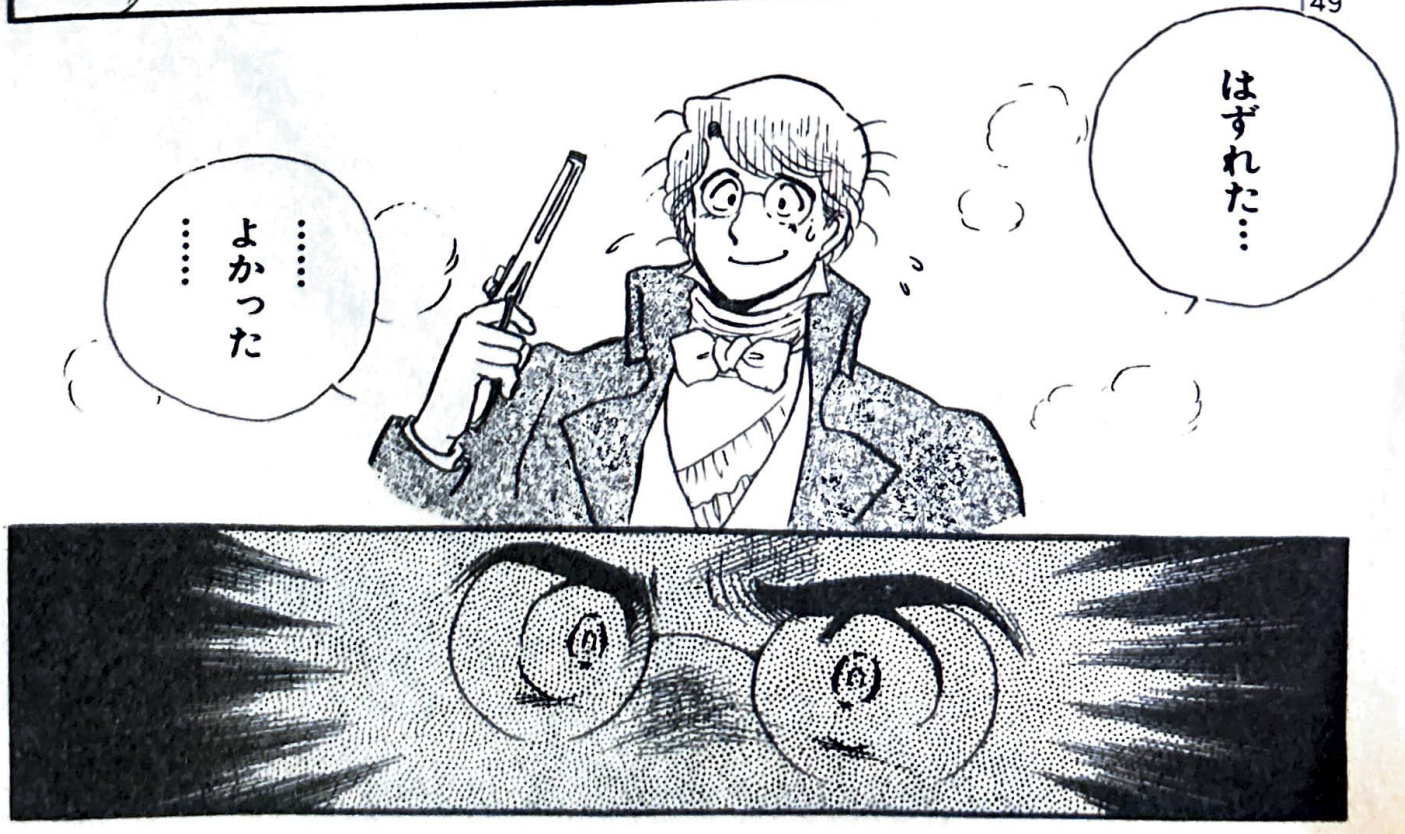
147


まったくばかなことしたよピエールは…
ドロホフは決闘屋だ
それよりもあの妻君さ……

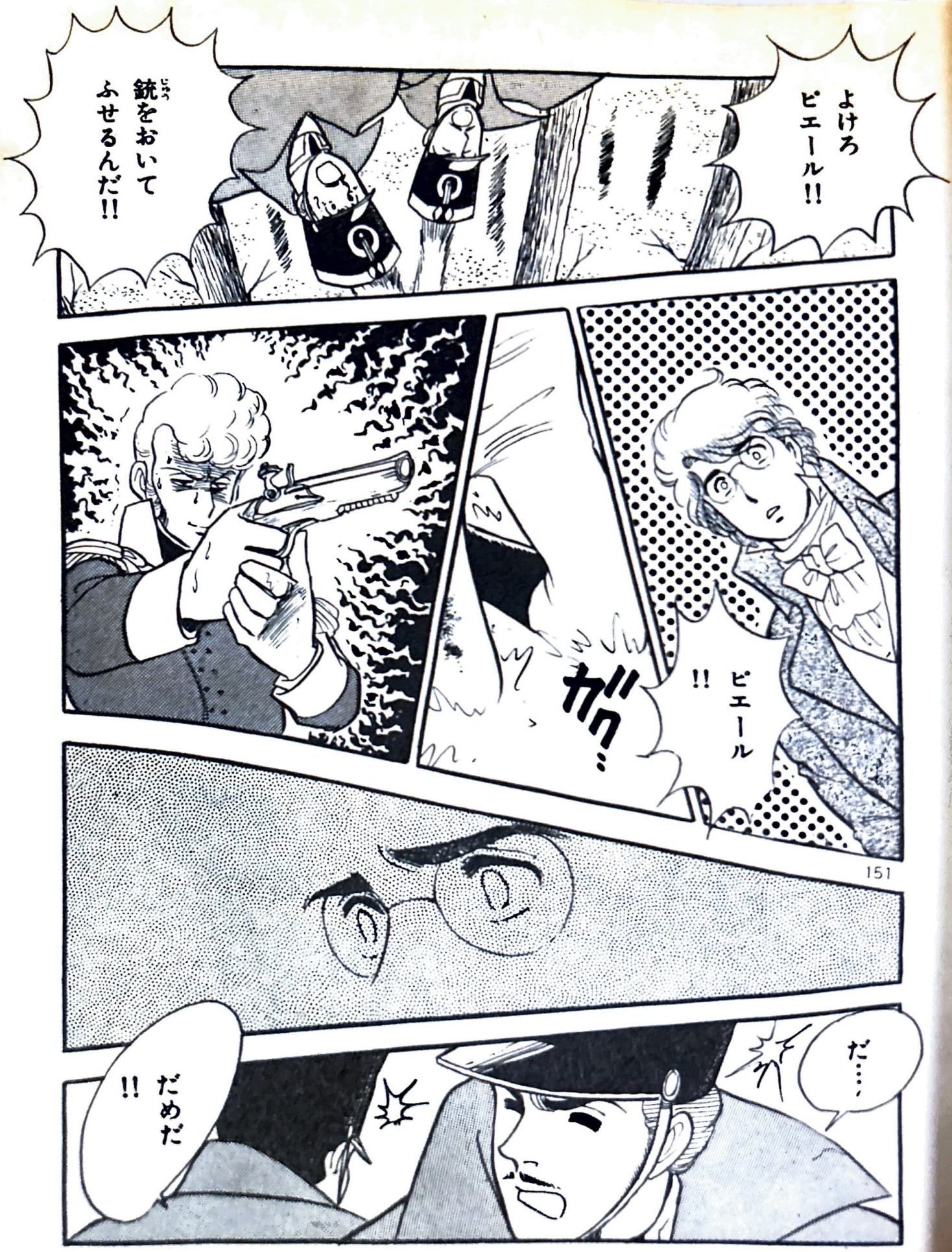
あんな女
財産めあてに
近づいてきたような
女じゃないか…
命を賭けるだけの
価値なんか
あるものか…
はじめっ!!
ザク
ザク
ザク

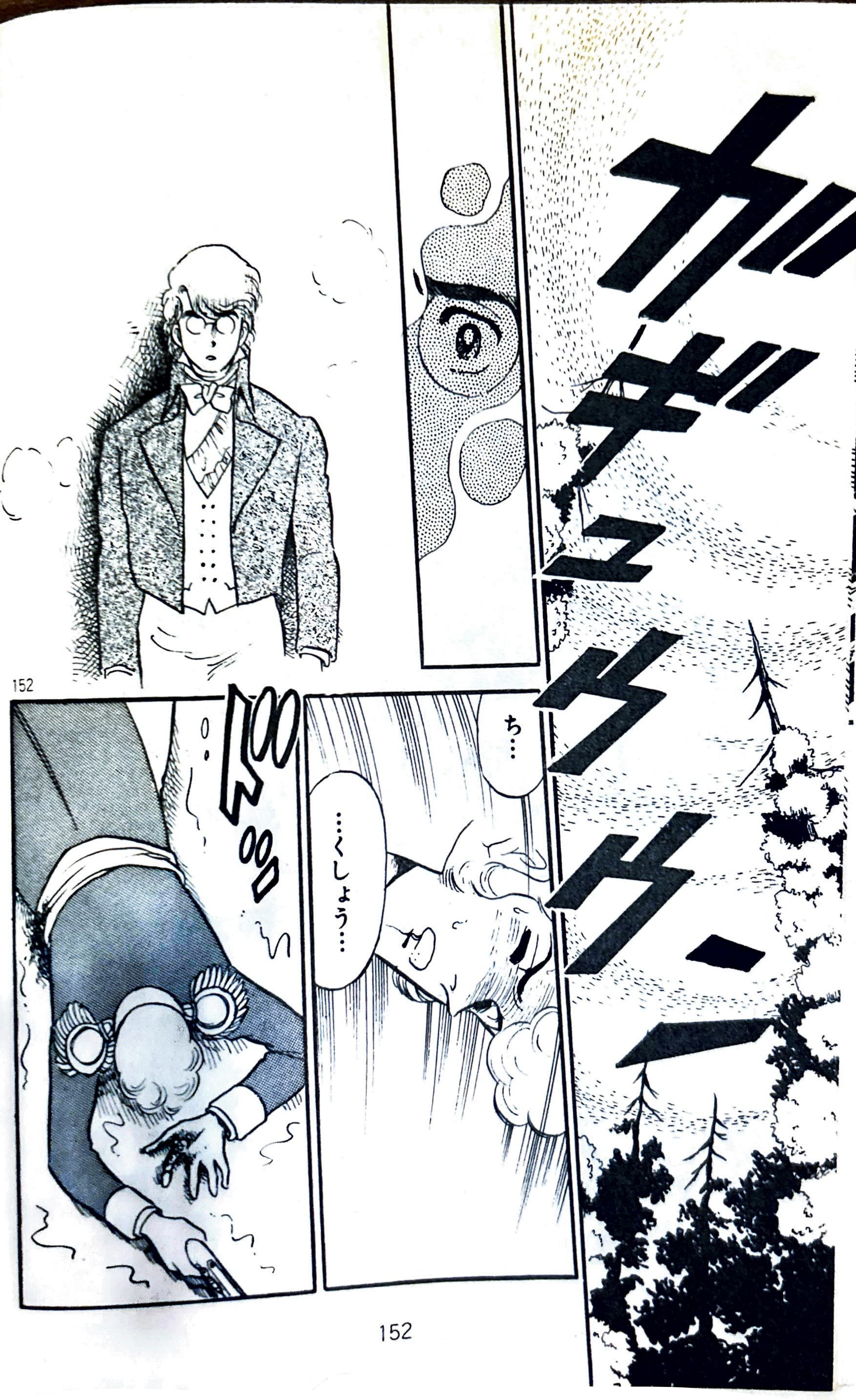


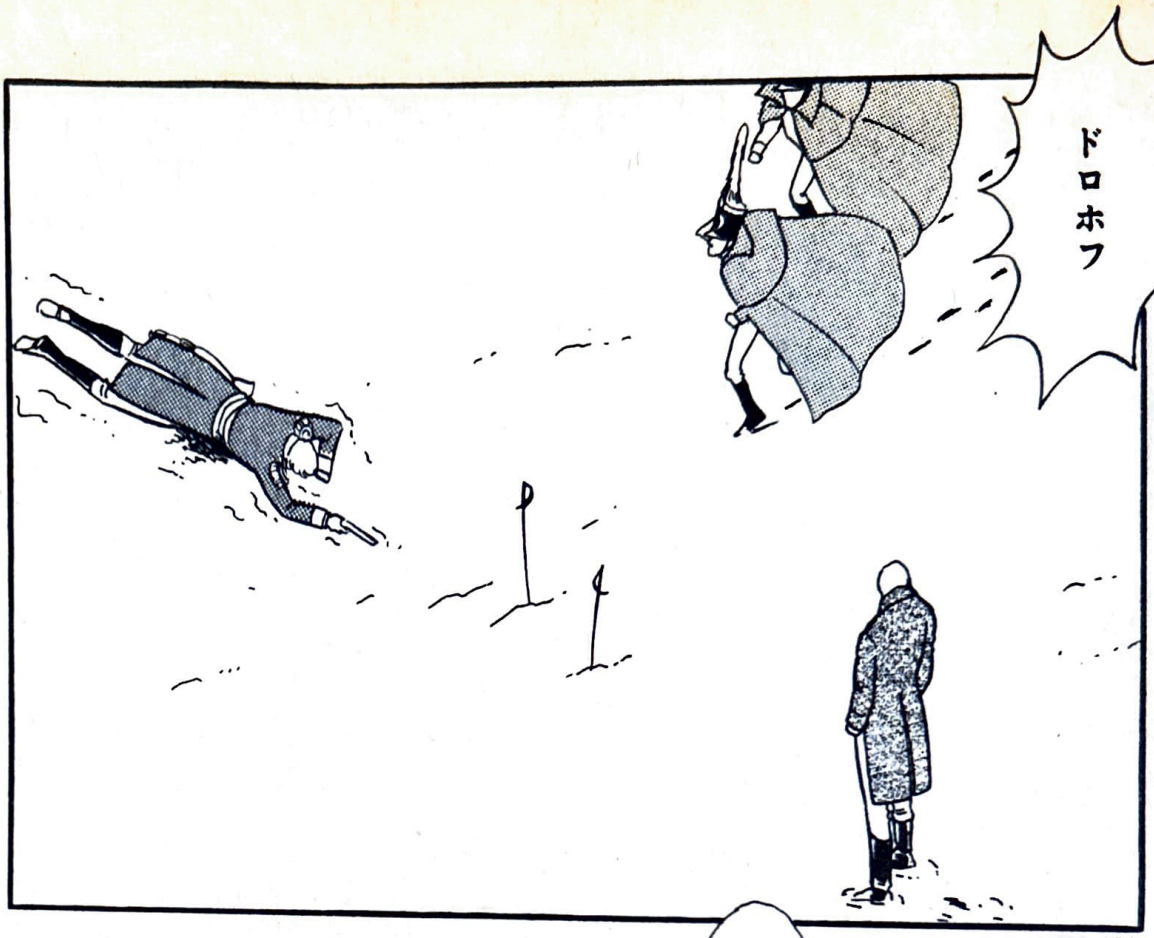
149

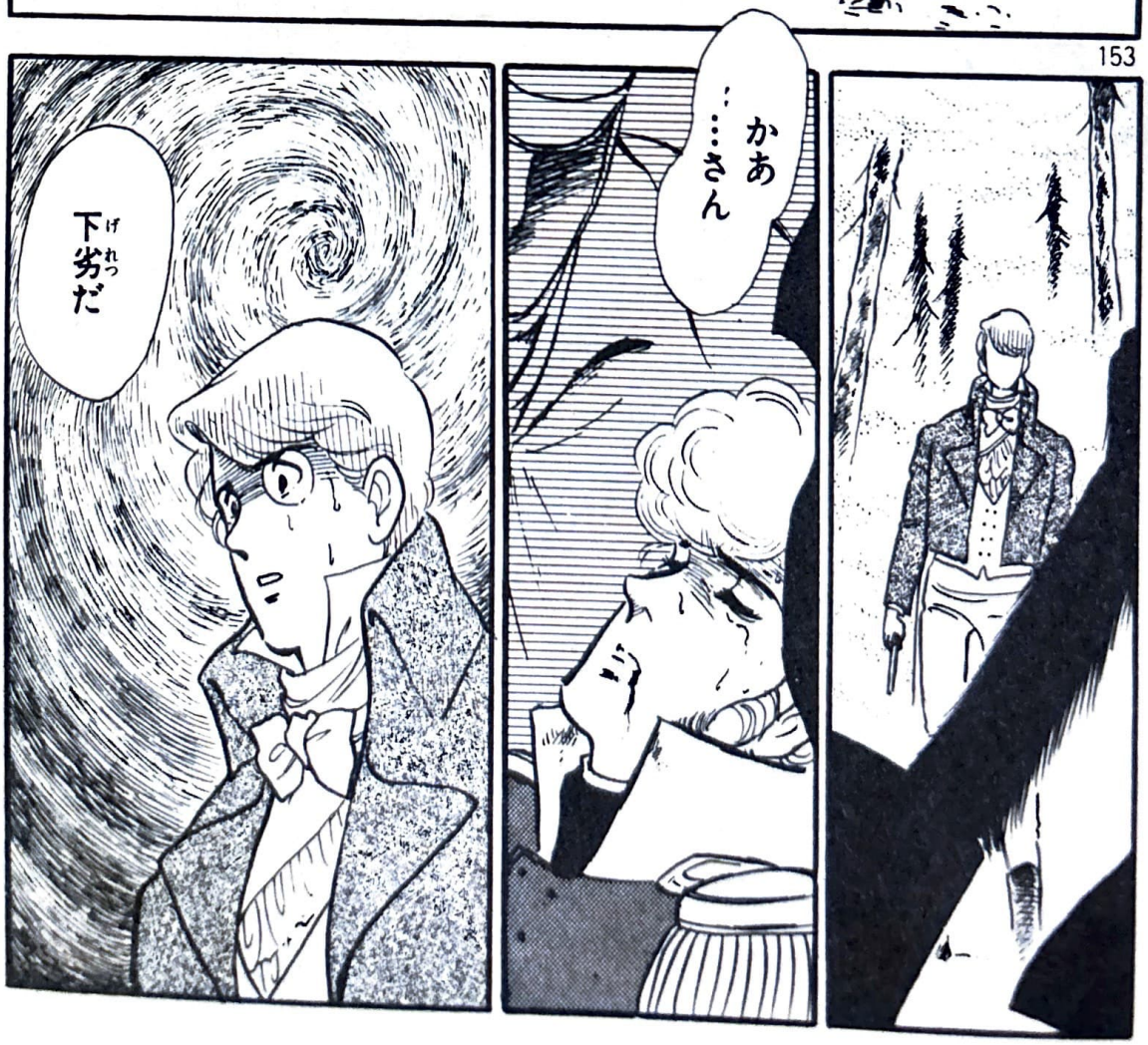


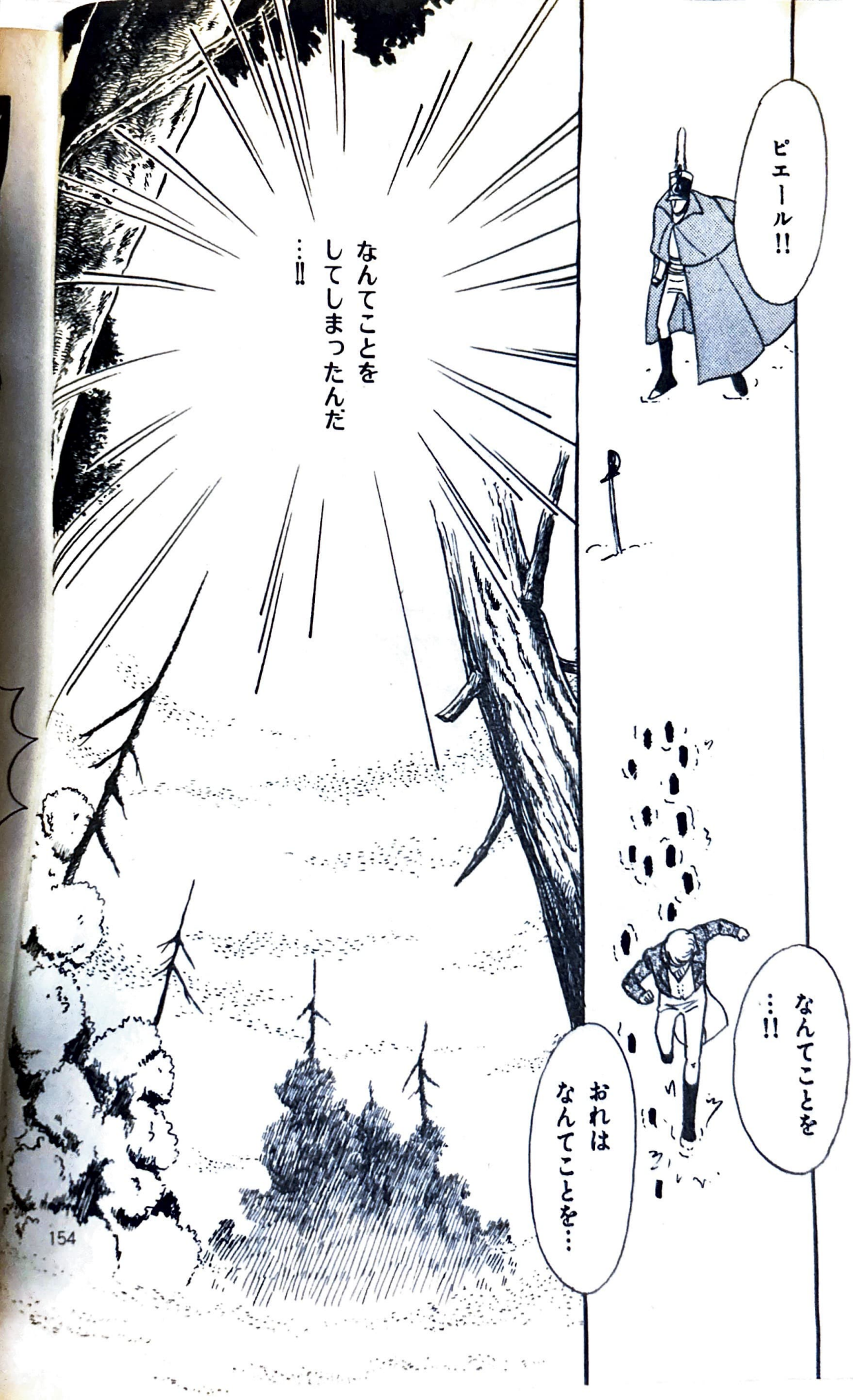
く…
くそう…
150
きみ!!
うごくなあ!!
そこで立って待ってろ!!
まだ勝負はおわっちゃいねえ!!


よけろ
ピエール!!
銃をおいて
ふせるんだ!!
ピエール
!!
ガ!
だ…
だめだ
!!


ガギュウウン
ち…
…くしょう…
ドッ

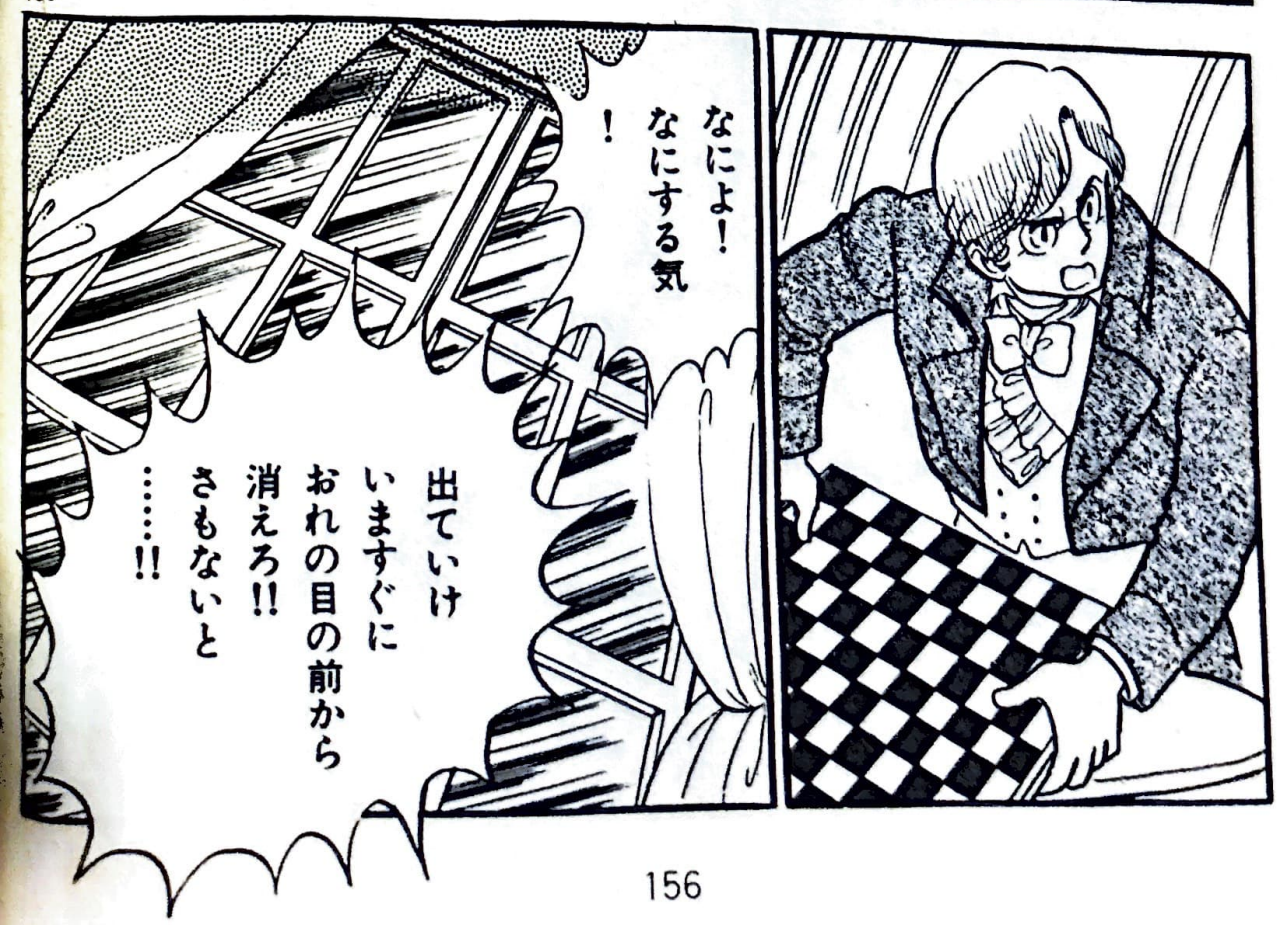

ドロホフ


かあ…さん
下劣(げれつ)だ


ピエール!!
なんてことを…!!
おれは なんてことを…
なんてことを してしまったんだ…!!

たいした英雄ね!!
うわさを信じたってわけ!?
なんてまぬけな人なの!!
まったく!!
わたしはどういう顔して社交界にでたらいいのよ!!
ドロホフさんは立派な人よ
あんたみたいなウスノロとはちがうわ!!
!!
あんたなんか…
もういいよエレン…
はじめからまちがっていたんだ…別れよう

別れる…!?
別れる
ですって!!
ええけっこうよ!!
そのかわり財産の
半分をわたしに
くださる
のでしたらね!!
そうでも
なければ
あんたみたいな人と
結婚なんか
しなかったわ!!
あんた
みたいな
淫売の子…!!


なによ!
なにする気
!
出ていけ
いますぐに
おれの目の前から
消えろ!!
さもないと
……!!

出て行け——っ
ピエールとエレンは別居した
そしてこの事件以来彼の心のなかでなにかが変わったのである
ヒュウウウウ

第7章　終わらない戦争

一八〇七年
ピエールは二年ぶりに
アンドレイに会いに行った
領地にこもって
隠者のような生活を
おくっていた
…変わったな…
アンドレイ
158
アウステルリッツから
帰ってからの
アンドレイは
そうか？
――そうだな
たしかに変わったよ
…なにもかも…

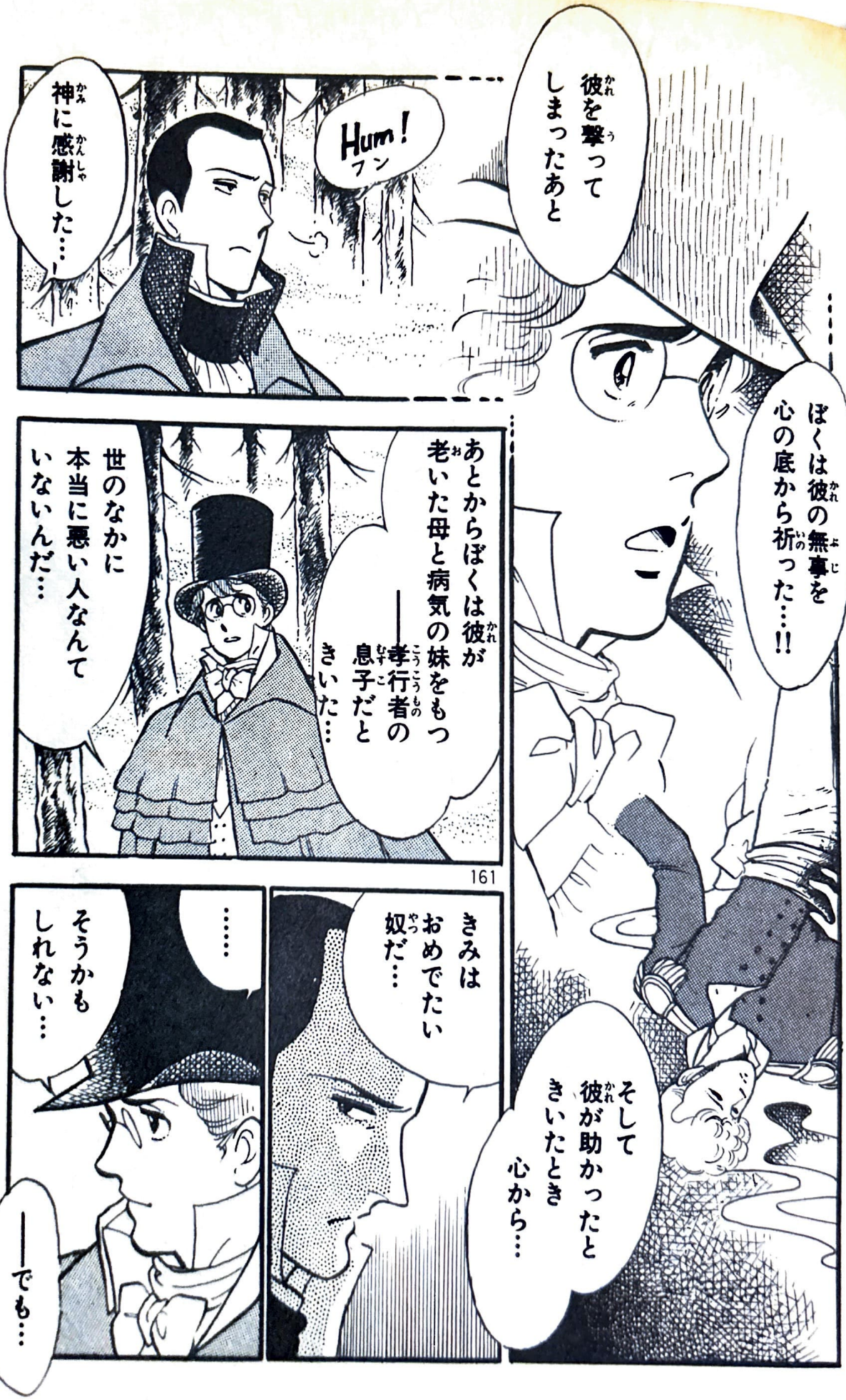
くだらない
社交界や
——妻のグチや
そんな世界がいやで
戦場にでたが
戦場で待っていたのは
それこそ——
ぼくは
ケガをして
捕虜に
なり
栄光も
名誉も
うちくだかれて
国へ帰って
きた…

おくさん……
お子さん産んですぐ
死んでしまったん
だってね
世のなかなんて
そんなものさ
ぼくにはもう
なにもない…
ばかみたいに
夢をみてるあいだに
大切なものを
なくしてしまったような
気がするよ

ぼくの
人生は
終わったんだ

ぼくのこと
……きいた？
ドロホフと
決闘したんだって？
うん…
でも彼は
死ななかった…
彼を殺さずに
すんで…
本当によかった…

なぜだ？
狂犬を
殺すのは
当然のこと
じゃないか
それは
ちがう!!
人間が
人間を殺すなんて
ぜったい
よくないことだ!!


彼を撃ってしまったあと
Hum! フン
神に感謝した…!
ぼくは彼の無事を心の底から祈った…!!
あとからぼくは彼が老いた母と病気の妹をもつ——孝行者の息子だときいた…
世のなかに本当に悪い人なんていないんだ…
161
きみはおめでたい奴だ…
そして彼が助かったときいたとき心から…
……
そうかもしれない…
——でも…

ぼくは
信じてる
いつかきっと
この世に
争いごとが
なくなる日が
くるって…
——だが…
一八〇七年
中立の立場を
とっていた
プロイセンが
ロシアと同盟し
フランスに宣戦布告
ダンチセ
ハンブルグ
ブリュン
ライプチヒ
バウツェン
イエナ
アウステルリッツ
ベネチア
第四次
対仏同盟戦を
開始した

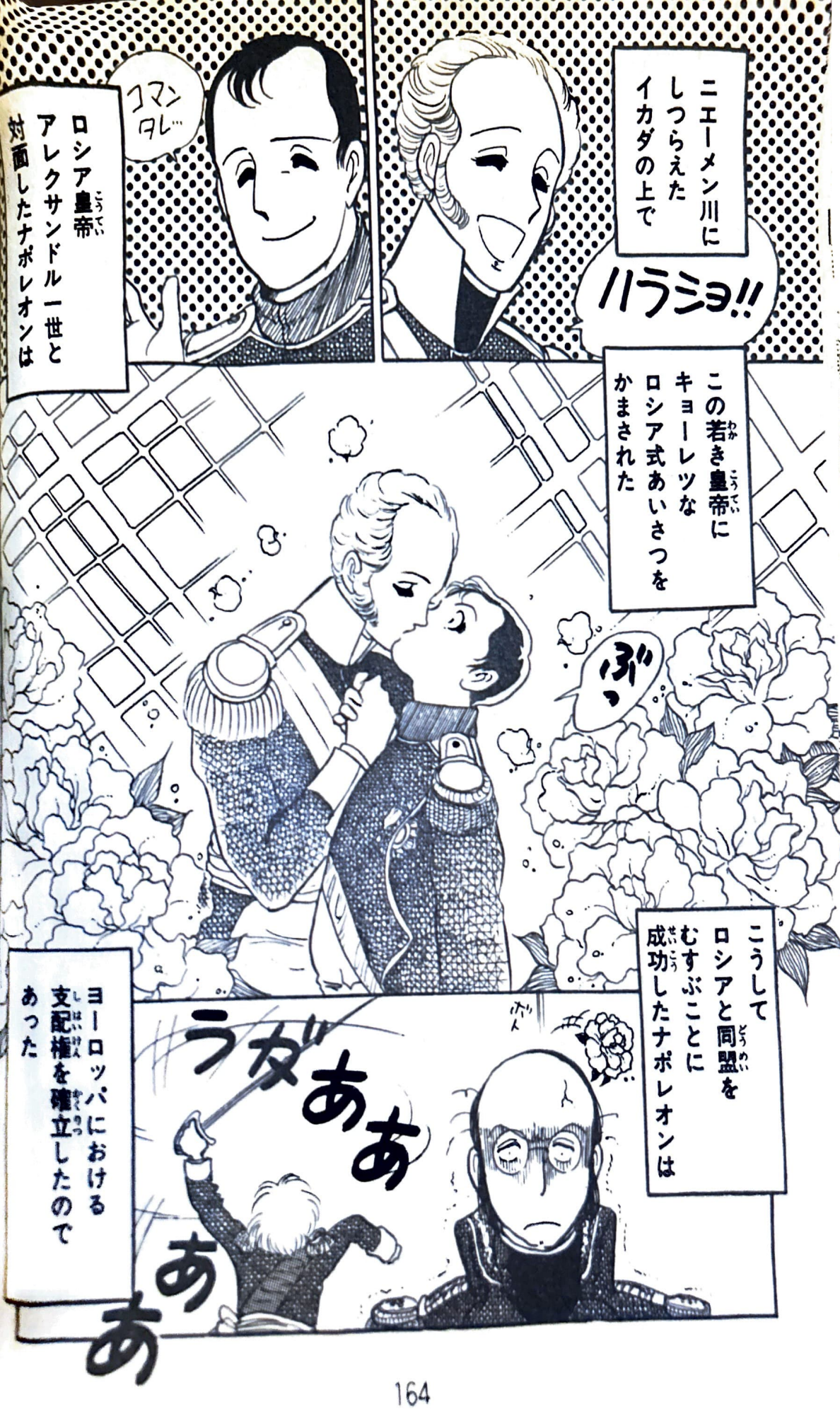
ナポレオンと
大陸軍は
直ちにプロイセンへ
出兵

イエナ
アイラウ
そして
フリードランドで
同盟軍を敗り
再び同盟を
解体した

163

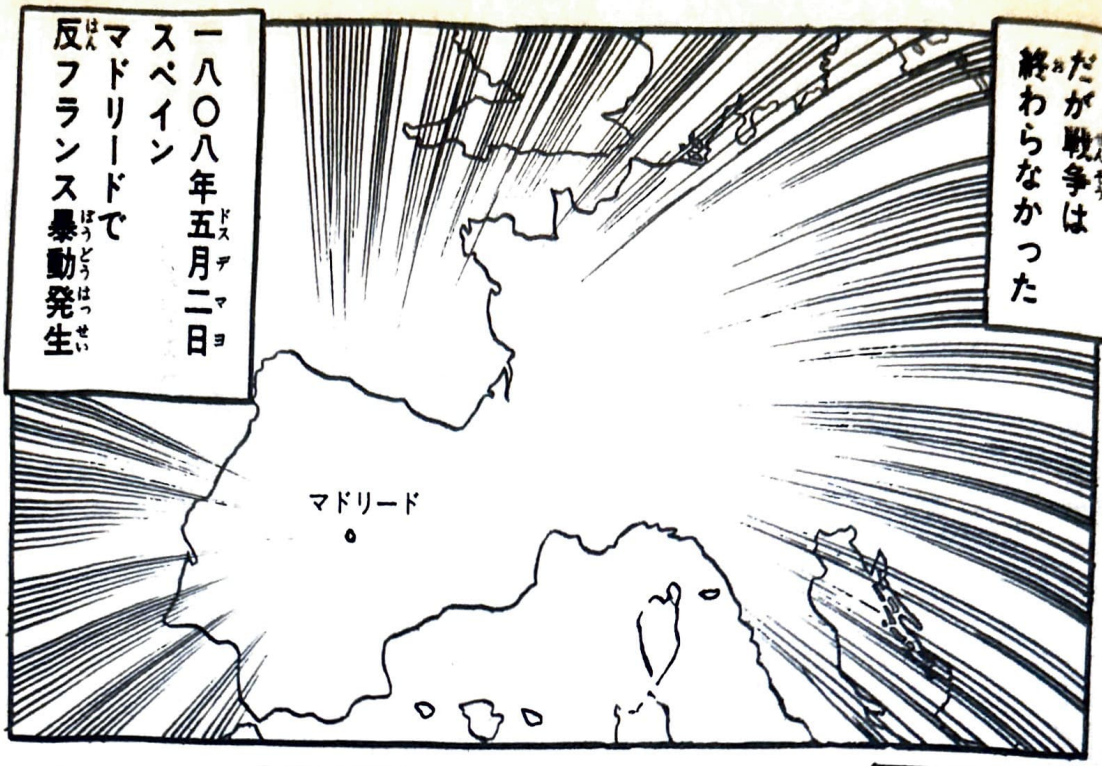
ヨーロッパを征した
ナポレオンは
これらの戦争を
影で支配している
イギリスに対し
大陸封鎖という
政治手段にでた

大陸封鎖を
完成させるために
ロシアと手を組むことが
必要である
そこでナポレオンは
一八〇七年ティルジットで
ロシア皇帝アレクサンドル
と会見した


ニエーメン川にしつらえたイカダの上で
ハラショ!!
この若き皇帝にキョーレツなロシア式あいさつをかまされた
ぶっ
こうしてロシアと同盟をむすぶことに成功したナポレオンは
ヨーロッパにおける支配権を確立したのであった
ロシア皇帝アレクサンドル一世と対面したナポレオンは
コマンタレブー
うがあああ

だが戦争は終わらなかった

一八〇八年五月二日
スペイン
マドリードで
反フランス暴動発生



反乱の火は
またたくまに
スペイン
じゅうに引火

スペイン人は
ギターを銃にもちかえ
国じゅういたる
ところでたちあがった

そして遂に
フランスの宿敵

イギリスが参戦し
ポルトガルより
ヨーロッパ大陸に
上陸してきたのである

フランスがスペインに気をとられてるスキに

ヨーロッパの東側ではオーストリアがまたまた宣戦布告

フェルジナンド

熱血がにあわんな——

フランツ二世

イタリアはやっぱり余のものじゃ——っ

ヨハン

カール

とにかく戦争にいってきます

大陸軍はオーストリア皇帝カール大公率いる主力軍と

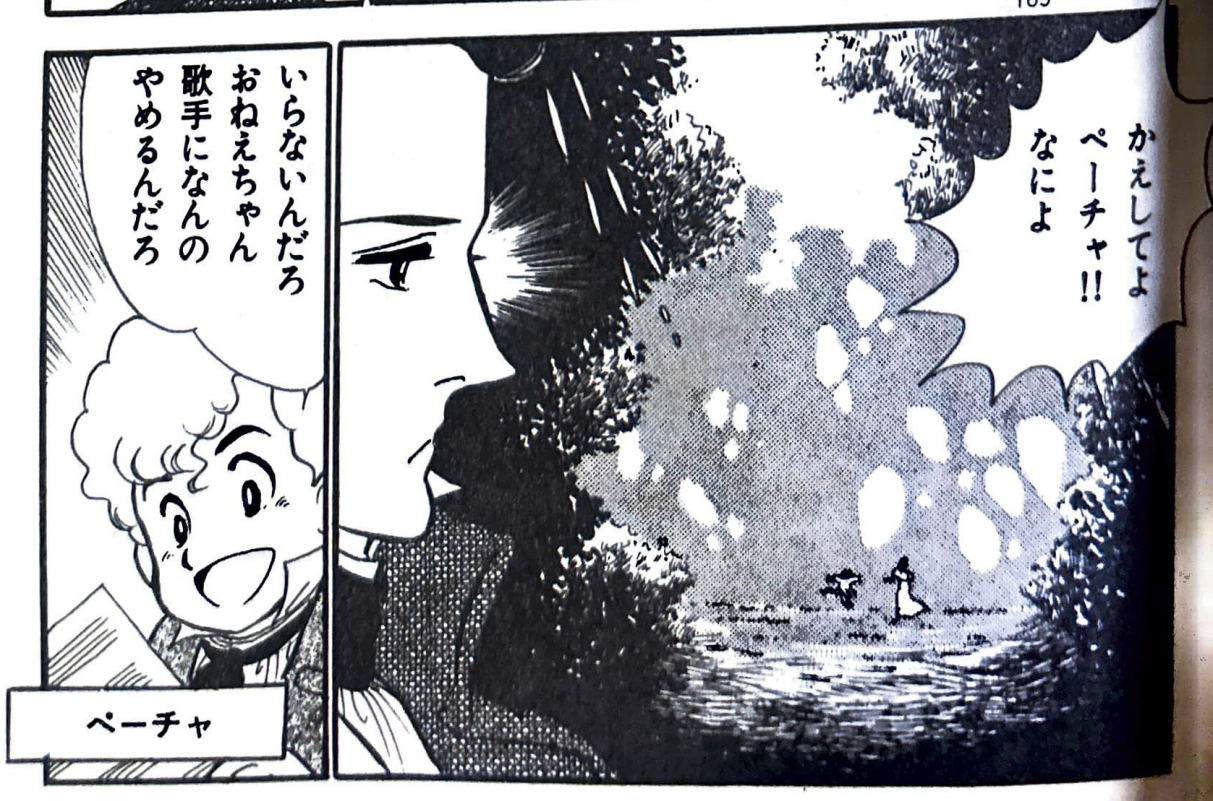
アスペルン・エスリングで激突

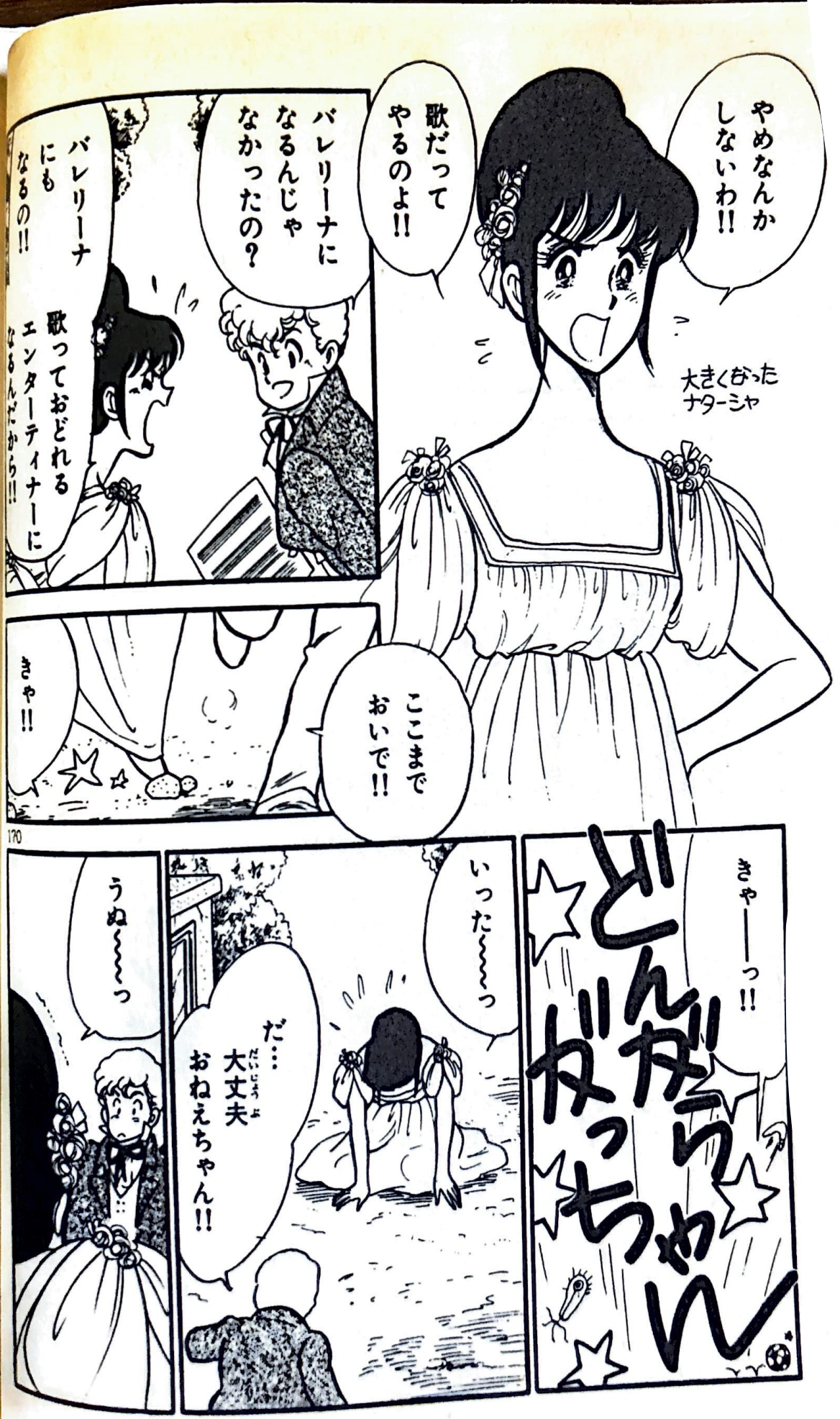
ナポレオンはこの戦いで彼の親友であったランヌ元帥を失った

戦争は
終わらない
この世から
争いごとが
なくなることなど
ないんだ…
167
一八〇九年の春
アンドレイは
リヤザンの
領地視察に
出かけた
貴族会長
ロストフの家に
むかう途中で
くちはてた樫の巨木が
アンドレイに語りかけた
あいつの
いったことなんか
——ただの夢だ

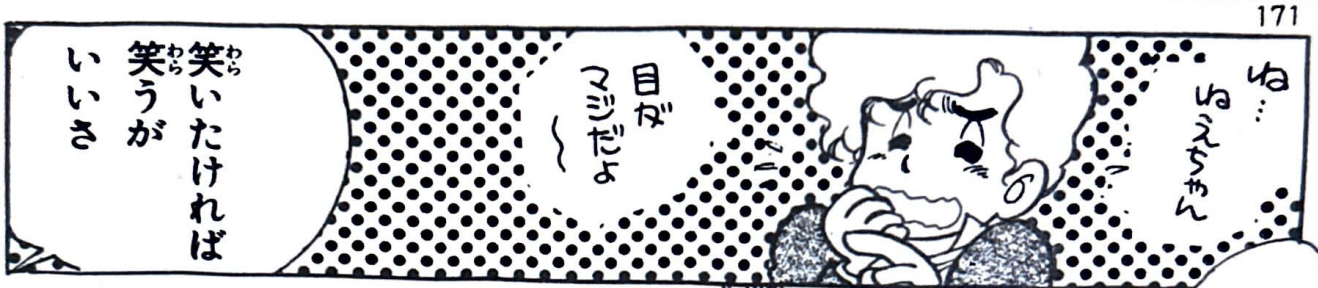
168

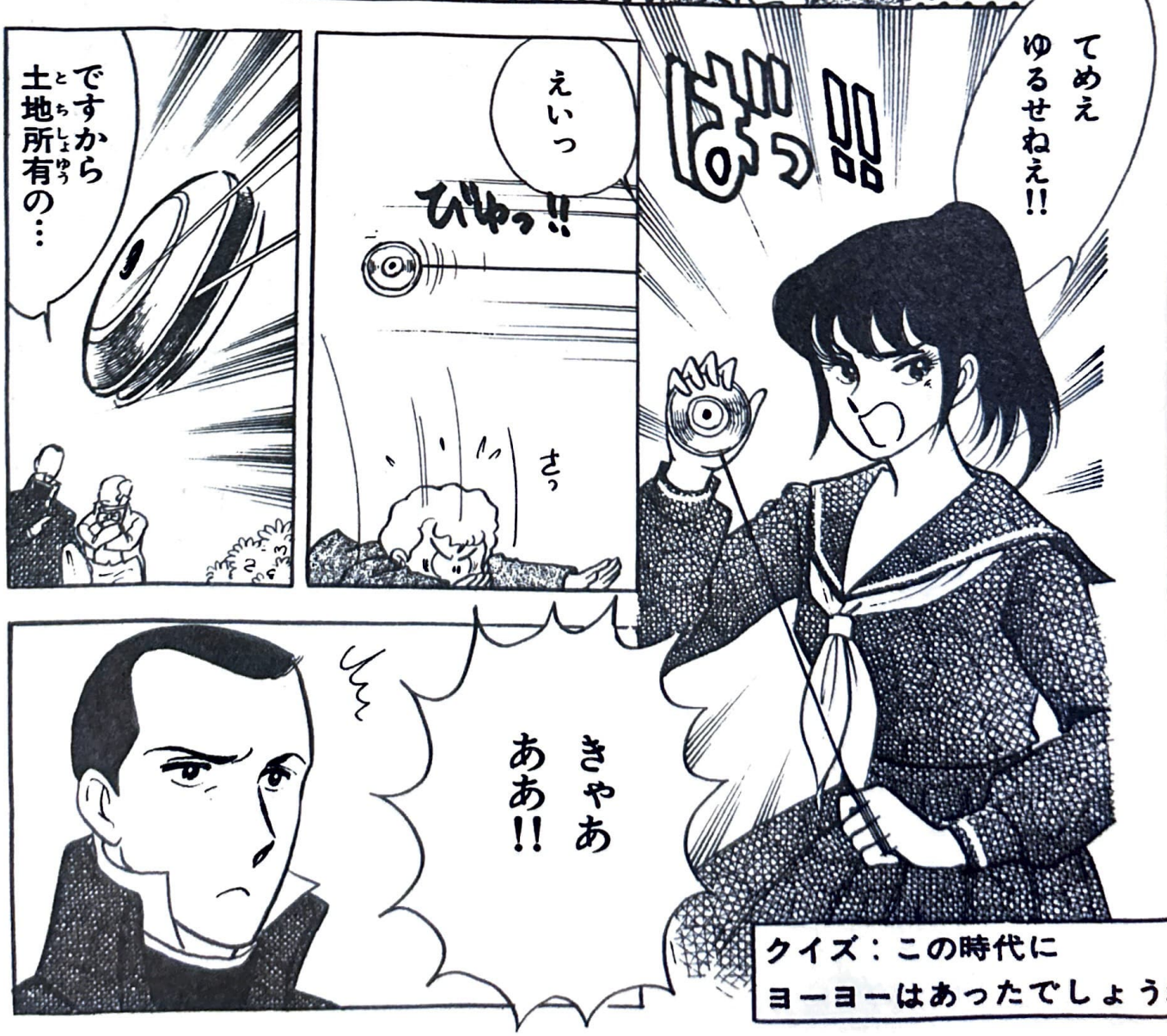
やあ
ごくろうさまです
アンドレイ公爵
そうだ…
ここは
いいところ
でしょう
仕事ぬきで
しばらく
ゆっくりしていって
くださいよ
あはは
あの木の言葉が
真実なのだ…
よろしく
ロストフ伯
169


かえしてよ
ペーチャ!!
なによ
いらないんだろ
おねえちゃん
歌手になんの
やめるんだろ
ペーチャ


やめなんか
しないわ!!
歌だって
やるのよ!!
バレリーナに
なるんじゃ
なかったの?
バレリーナ
にも
なるの!!
歌っておどれる
エンターティナーに
なるんだから!!
大きくなった
ナターシャ
ここまで
おいで!!
きゃ!!
きゃ――っ!!
どんがらがっちゃん
いった～～っ
だ…
大丈夫
おねえちゃん!!
うぬ～～っ

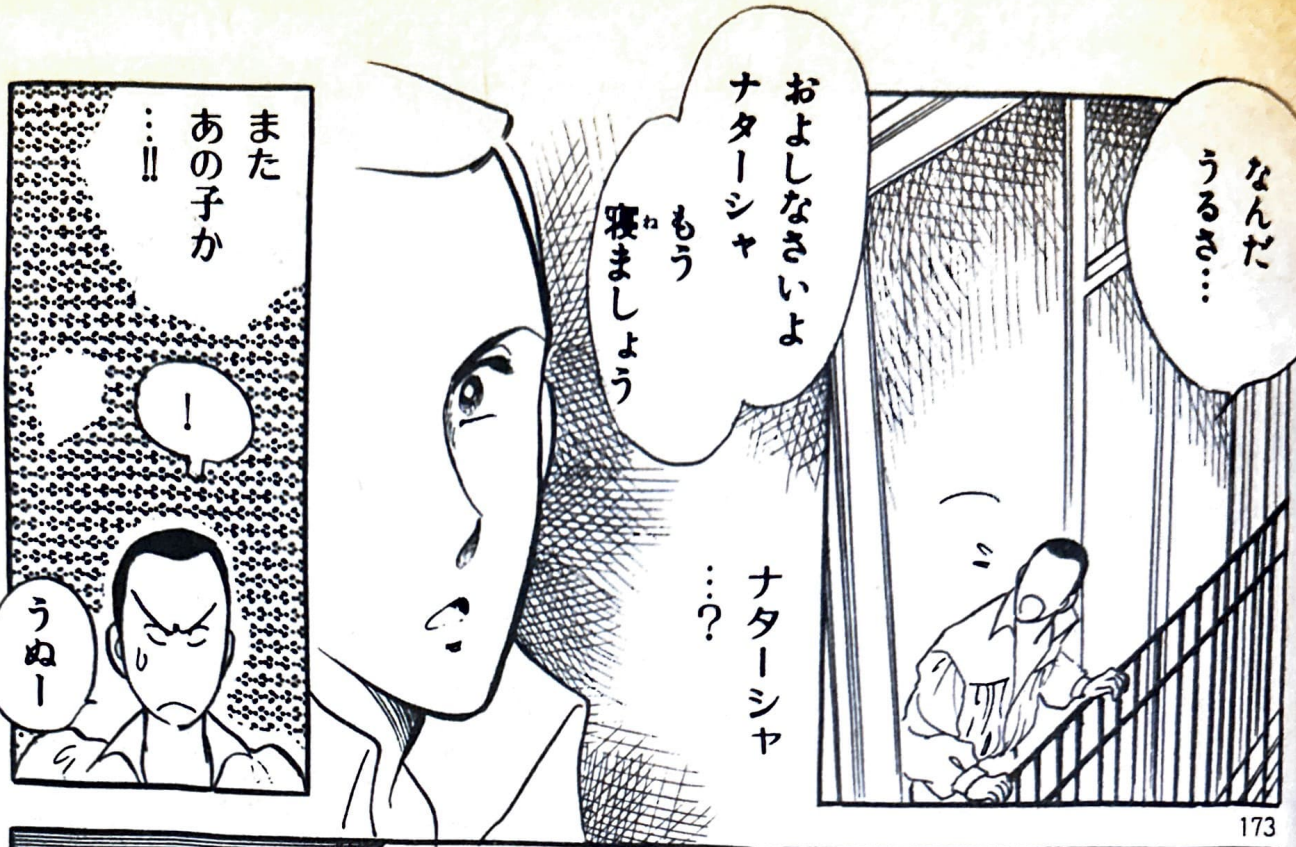
171

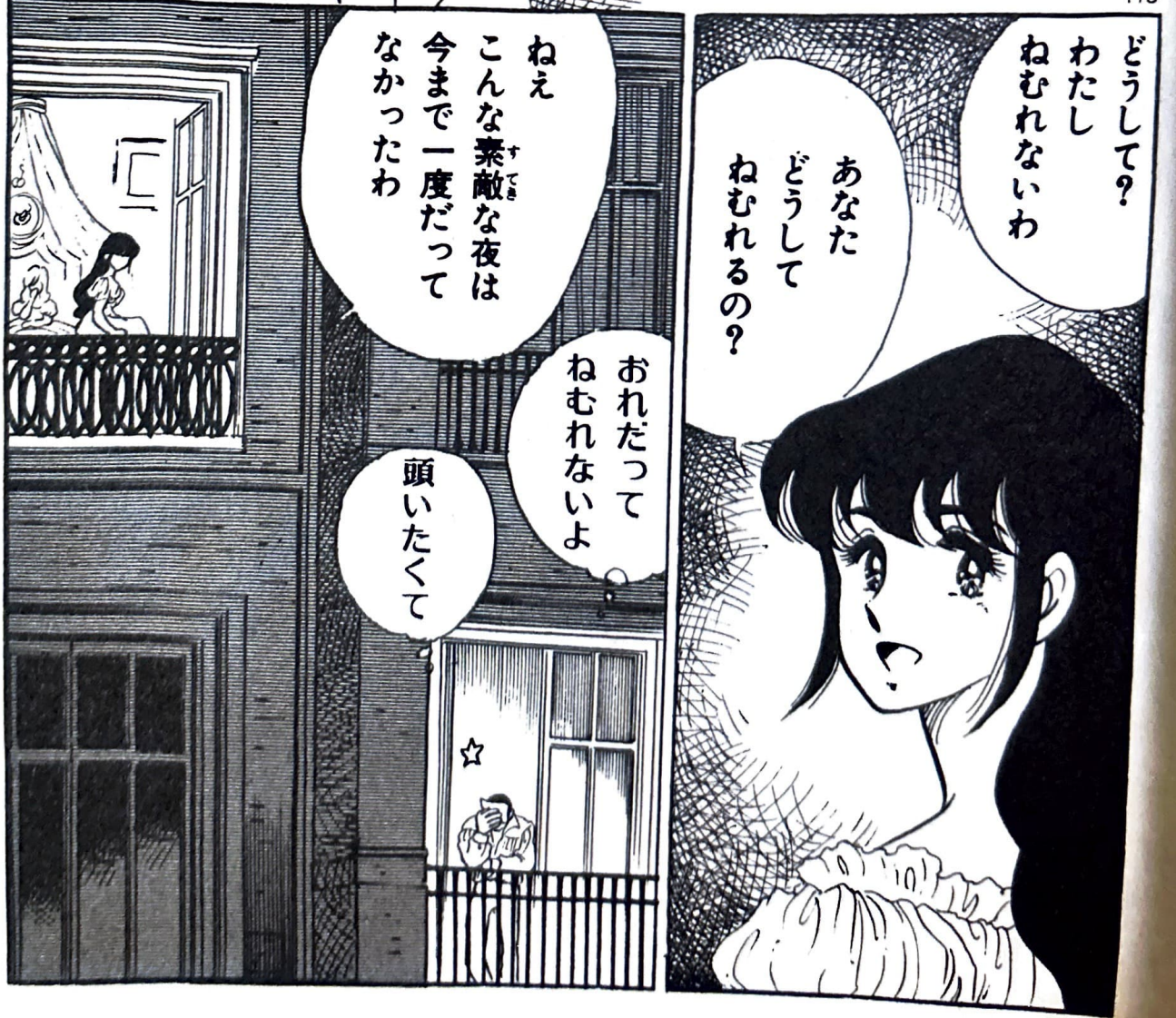


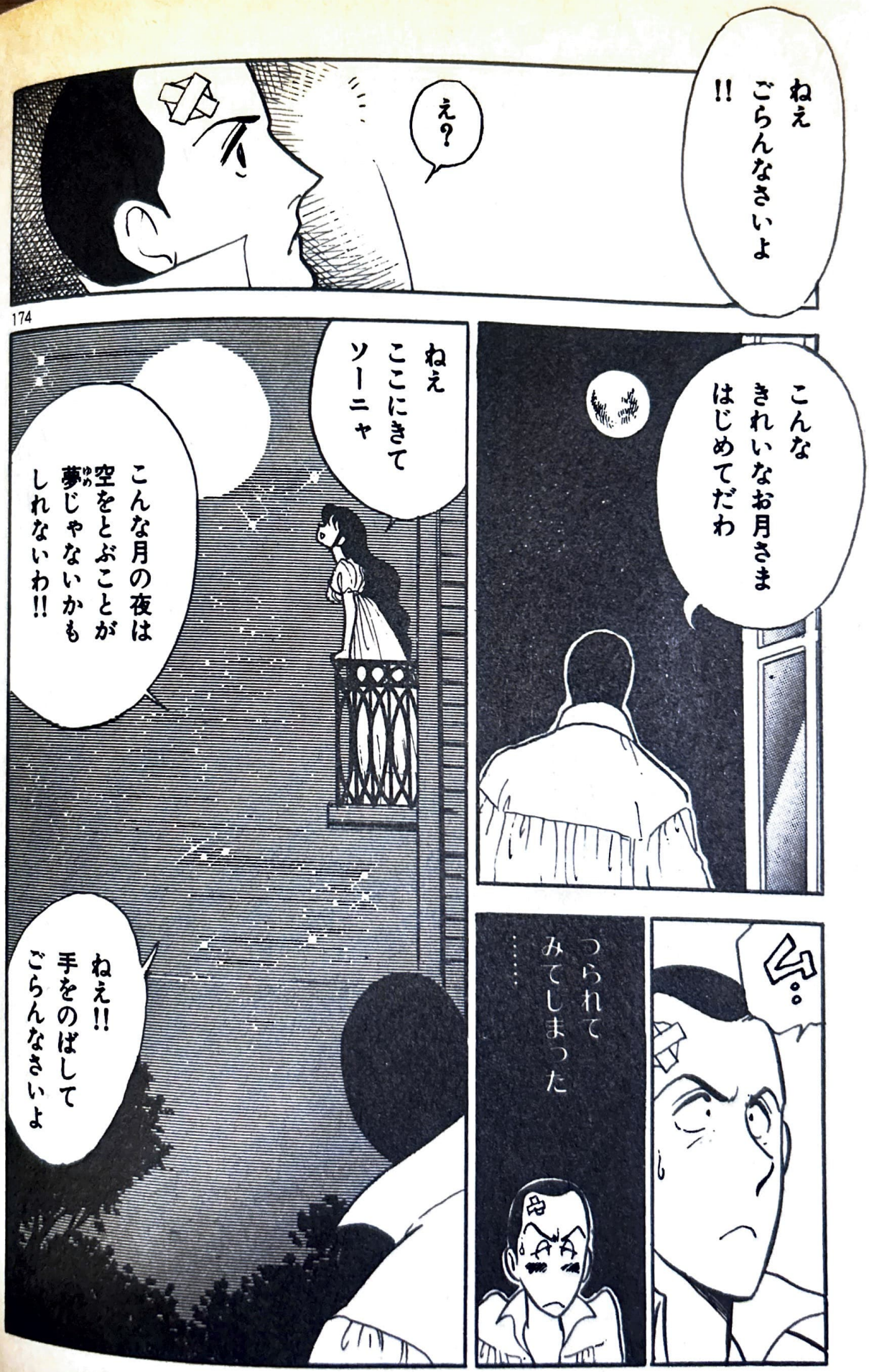


クイズ：この時代にヨーヨーはあったでしょうか

前ページの答：あったんだよーん！


なんだ
うるさ…
おとしなさいよ
ナターシャ
もう
寝ましょう
ナターシャ
…？
また
あの子か
…!!
！
うぬー


どうして？
わたし
ねむれないわ
あなた
どうして
ねむれるの？
おれだって
ねむれないよ
頭いたくて
ねえ
こんな素敵な夜は
今まで一度だって
なかったわ


ねえ
ごらんなさいよ
!!
え?
174
こんな
きれいなお月さま
はじめてだわ
ねえ
ここにきて
ソーニャ
こんな月の夜は
空をとぶことが
夢じゃないかも
しれないわ!!
ねえ!!
手をのばして
ごらんなさいよ
ん。
つられて
みてしまった
……

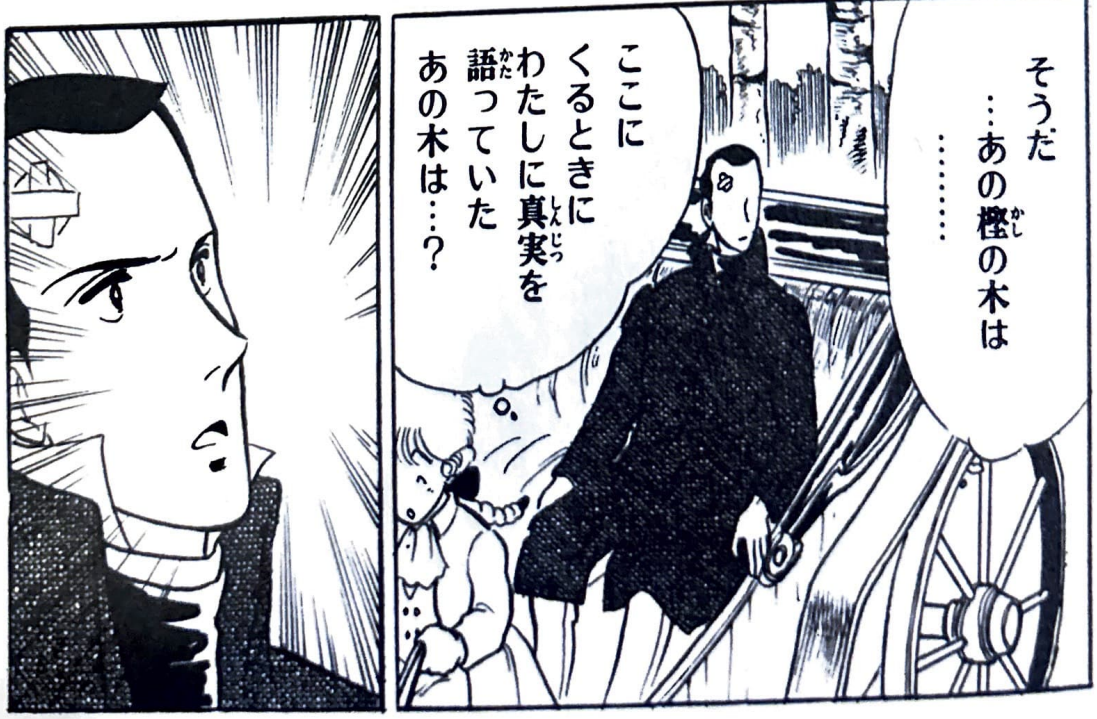
こんなふうに
!!

あぶないわよ
ナターシャ!!
おちちゃうわよ
やだ
もう!!
大丈夫よ
本当に
飛んでしまうかと
思った…
ばか
飛ぶわけ
ないじゃないか
落ちたら
頭わって
死ぬだけだ
176
くそ…
どうかしてる
ねえ
ソーニャ
アンドレイ
公爵のこと
どう思う?
どうって…
…暗い人ね
あふ…
そんけーとき
ネクラじゃない?

あの人
笑ったことなんか
ないんじゃない
？
そうかしら
笑ったことのない
人なんて
いるかしら…
177
もし
そんな人が
いるんだったら
——さみしいわ
その人たちは
気がつかないのよ
自分の笑顔が
どんなに素敵か
……
——わたし…
アンドレイさんの
笑ってるとこ
みたいな…

翌朝
アンドレイは
ロストフ伯にだけ
あいさつをして
ナターシャたちが
起きる前に
出発した

笑ったことがない人なんているのかしら…？
——悲しいことだわ……
ピエールもあの子もなんだってそう夢みたいなことばかりいってるんだ
どんなめにあっても彼等は笑っていられるというのか…？


そうだ…あの樫の木は……
ここにくるときにわたしに真実を語っていたあの木は…？

一八〇九年
七月六日——

エスリング・アスペルン
戦いのあと
ドナウ川の
ロボー島に退却していた
フランス軍は

この日の夜から
七月五日にかけて
島から脱出

182

ワグラム平原において
カール大公と
一大決戦をおこない

遂に勝利を
おさめた…!!

そして十月
オーストリアは
フランスと
シェンブルンで
平和条約をむすぶ

翌一八一〇年
スペインの
イギリス軍は
ポルトガルに退却
――戦いは終わった…

いつか
この世から
争いごとが
なくなって
……

だれもが
みんな…

183

平和
――それは
決して
恒久的な
ものでは
なかったが…

アンドレイに
とっては…

なにか
すばらしい
奇跡のように
思えたのだった

つづく

184

戦争と平和クイズランド♡♡♡♡

1 ①～⑫の作家はどこの国の人でしょうか。Ⓐ～Ⓔの記号で答えてください。

①カポーティー　②トルストイ　③リルケ　④A・ヘイリー　⑤シュトルム　⑥バース　⑦ゴンチャロフ　⑧ケッセル　⑨スコット　⑩シューウェル　⑪H・ベル　⑫ガルシン

……

Ⓐアメリカ　Ⓑドイツ　Ⓒイギリス　Ⓓフランス　Ⓔロシア

2 A群の人名はB群の本の主人公です。B群の㋑～㋣から選んでください。

(A群)

①アルセルト　②イザベル　③イライザ　④バルモン　⑤ユージーン　⑥レベッカ　⑦ロドリーグ

(B群)

㋑天使(てんし)よ故郷(こきょう)を見よ　㋺ピグマリオン　㋩ある女性(じょせい)の肖像(しょうぞう)　㋥虚栄(きょえい)の市(し)　㋭危険な関係　㋬人間ぎらい　㋣ル・シッド

〈なるほど・ザ・ナポレオン〉

1 ナポレオンの身長はつぎのうちのどれでしょうか。

①159.6cm　②162.8cm　③168.7cm

2ベルチエ参謀長とナポレオンの共通のクセはなんでしょう。

①ツメをかむ　②耳をかく　③頭をかく

3アウステルリッツ戦で、作画者の偏見によりあえて名前も出してもらえなかった第1軍団の司令官はだれでしょう。

①マセナ　②ベルナドット　③マルモン

4つぎの人物を年齢の若い順に並べかえてください。

①ミュラ　②ダブー　③フリアン　④ナポレオン

5つぎの元帥のあだなをB群の㋑～㋭から選んでください。

(A群)

①ネイ　②ランヌ　③ミュラ　④グビオン・サン・シール　⑤ダブー

(B群)

㋑騎兵の王者　㋺恐怖　㋩軍団のローラン　㋥勇者のなかの勇者　㋭ふくろう

6ティルジットのとき、ランヌ君が不機嫌だった本当の理由はどれでしょう。

①アレクサンドル一世が嫌いだったから

②アレクサンドルがナポレオンにキスしたから

③いかだのそばまで連れていってもらえなかったから

★クイズランドの答えは189ページにあります。

『戦争と平和』にナポレオニックの明日を見た……

木村　玉絵

■昭和39年2月6日生。パリ・オートクチュール協会学院に学んだ後、フランスで勉強を続けながら雑文を書く。ランヌFC「モンテベロ」会長。日本ナポレオンファンクラブ理事。

今回このシリーズの『戦争と平和』上下巻の戦闘シーン設定にたずさわらせていただきました。その結果、ちょっと珍しい『戦争と平和』になったと思います。

別にトルストイ批判をするつもりはないのですが、一般的にトルストイは『戦争と平和』のなかで、愛と平和を提唱してるように思われてます。たしかにある一面ではそうでしょうが、その裏にもっとコワーイ世界があると感じてしまうのは、わたしがフランス・ファンだからでしょうか？

しかしトルストイの、キャラクターのとらえ方は的確です。たとえばダブーとバラショフが会見する場面を読むと、ダブーの性格を知っているだけに大爆笑できます。

トルストイはダブーの暗さを分析して、つまりダブーは暗い顔をする権利を持つために、わざわざ暗いシチュエーションのなかにいるようなやつだといってるのです。わたしもまったくその通りだと思います。

『戦争と平和』といえばロシア遠征が思い浮かびますが、日本ではアウステルリッツ戦は知らなくても、ロシア遠征なら知っているというのが普通の状況で、どうもロシア遠征からなんらかの教訓を引き出そうという姿勢があるようなのです。

それは別にいいのですが、せっかくアウステルリッツでナポレオンが勝っているのですから、そちらにも目を向けてみたら、ナポレオニックの別の面が見えてくるのではないでしょうか。

というのも、アウステルリッツ戦のなかに

こそ、ナポレオニックの真髄があると思うのです。あのころはナポレオンをはじめ、大陸軍全体に若さとやる気がみなぎっており、ロシア遠征のときとは雰囲気がまるで違うのです。

わたしがランヌファンのせいかもしれませんが、彼の戦死した一八〇九年にグランダルメのある時期の終わりを感じます。

ランヌ君といえば、サシャ・ギトリ先生の映画『ナポレオン』では、ジャン・ギャバンがランヌ君役だったそうですが、日本公開版ではランヌ君のシーンはカットされてしまっていたので、非常に残念でした。まったくなにを考えているのでしょうね。でも、三面スクリーンでおなじみのアベルガンス大先生の隠れた大作、映画『アウステルリッツ』にはランヌ君の突撃シーンもあるのですよ。

こういう映画が日本でもどんどん公開されたらいいのに、と思います。

日本ではまだまだマイナーなナポレオニックですが、この『戦争と平和』を通してナポレオニックに少しでも興味を持っていただければ幸いです。また、隠れナポレオンマニアというのもさがせばいると思うのでそういう方々とお友だちになれたらと願う今日このごろです。

最近は師団長クラスの人たちにもファンがついてきているので、わたしもますます病気にみがきをかけてマイナー路線をつっ走っていきたいと思います。

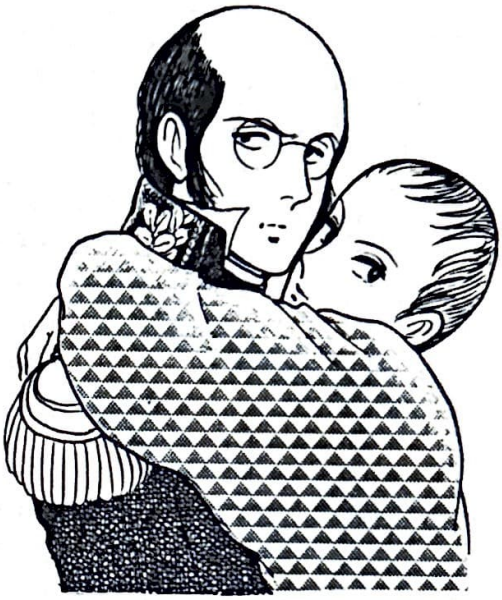
クイズランドの答え

1…Ⓐ＝①④⑥　Ⓑ＝③⑤⑪　Ⓒ＝⑨⑩　Ⓓ＝⑧　Ⓔ＝②⑦⑫　**2**…①＝ヘ　②＝ハ　③＝ロ　④＝ホ　⑤＝イ　⑥＝ニ　⑦＝ト

〈なるほど・ザ・ナポレオン〉

1…③（意外と高いのです）　**2**…①　**3**…②　**4**…②④①③（人は見かけによらないものですね）　**5**…①＝ニ　②＝ハ　③＝イ　④＝ホ　⑤＝ロ　**6**…③

作画●岸田　恋（きしだれん）&スタジオマルタの鷹　協力　金田太郎　木村玉絵



どうも。岸田恋です。（ゴホゴホ）たえがたきをたえ、しのびがたきをしのび。苦節?年、と…とうとう念願のナポレオニックが描けました。（ゴホゴホ）ただいろんな事情で思い切ったことができず、はっきりいって不完全燃焼です。いつかきっと真っ白な灰になって燃えつきるくらいナポレオニックしたいもんです。では、後編もよろしく。（ゴホッ…うっ…血だ…!!）

構成●恋塚　稔（こいづか　みのる）

昭和12年東京に生まれる。東京教育大学附属駒場高校（現・筑波大学附属駒場高校）を経て、昭和35年早稲田大学文学部仏文科を卒業。出版社勤務・経営ののちに文筆業に専念。

作品は『ミスターは死なず（正・続）』『テレビに映らない後楽園球場』『長嶋茂雄大研究』『狐ものがたり』『虚構の館』『春の海殺人事件』『みかんの花咲く丘』などがある。

♥このハイコミック名作の企画は、古くから読まれつづけている世界の名作をコミックで親しみやすく読んでいただくために始めたものです。この物語を読んでみなさんのお父さんやお母さんと一緒にいろいろなお話ができれば幸いと思います。また、将来あなたに子供ができたときにはお話ししてあげてください。

♥この本を読んだご意見やご感想、その他お気づきになったことなどおたよりお寄せください。

＝あて先＝

〒145 東京都大田区上池台4—40—5
学研 ハイコミック名作編集部
「戦争と平和」係

ハイコミック11 戦争と平和(上)

NDC726 192P 182mm

作 画 ©岸田 恋／構 成 ©恋塚 稔
装 丁 アートジャパン 村松幹三
編集長 福代 徹／編集制作 (株)エディック

編集人 佐藤 昭
発行人 鈴木泰二
発行所 株式会社学習研究社
〒145 東京都大田区上池台4—40—5
電話 03(720)1111
振替 東京8—142930

印刷所 株式会社廣済堂

この本に関するお問合せ、製本上のミスなどがありましたら、下記あて文書または電話でお知らせください。
〒145 東京都大田区上池台4—40—5 電話 03(720)1111
学研 お客さま相談センター「ハイコミック名作」係

148 411 Printed in Japan
ISBN4—05—101526—2